千葉県文化財センター調査報告第476集

建設センター・
保全事務所用地内埋蔵文化財調査報告書

芝山町金沢台遺跡

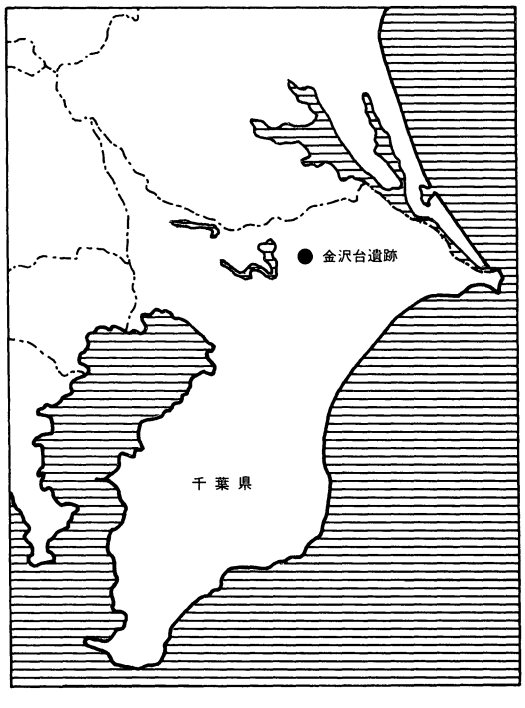
平成16年3月

新東京国際空港公団

財団法人　千葉県文化財センター

建設センター・
保全事務所用地内埋蔵文化財調査報告書

芝山町金沢台遺跡



第１文化層　石器集中２　出土石器

序　文

財団法人千葉県文化財センターは，埋蔵文化財の調査研究，文化財保護思想の涵養と普及などを主な目的として昭和49年に設立され，以来，数多くの遺跡の発掘調査を実施し，その成果として多数の発掘調査報告書を刊行してきました。

このたび，千葉県文化財センター調査報告第476集として，新東京国際空港公団の建設センター・保全事務所建設事業に伴って実施した芝山町金沢台遺跡の発掘調査報告書を刊行する運びとなりました。

この調査では，旧石器時代の石器集中地点や縄文時代の土坑や陥穴が検出されるなど，この地域の歴史を知る上で貴重な成果が得られております。

刊行に当たり，この報告書が学術資料として，また郷土の歴史を理解するための資料として広く活用されることを願っております。

終わりに，調査に際し御指導，御協力をいただきました地元の方々を初めとする関係の皆様や関係機関，また，発掘から整理まで御苦労をおかけした調査補助員の皆様に心から感謝の意を表します。

平成16年３月25日

財団法人千葉県文化財センター
理　事　長　　清　水　新　次

凡　例

1　本書は，新東京国際空港公団による建設センター及び保全事務所用地内造成事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査報告書である。

2　本書に収録した遺跡は，山武郡芝山町大字香山新田字金沢台他所在の金沢台遺跡（遺跡コード409-038）である。

3　発掘調査から報告書作成に至る業務は，新東京国際空港公団の委託を受け，財団法人千葉県文化財センターが実施した。

4　発掘調査と整理作業の実施期間及び担当者は本文中に記述した。

5　本書の執筆・編集は，第１章，第３章第１節・第２節１，第４章，第５章第２節を空港調査室上席研究員石倉亮治が，第２章，第３章第２節２，第５章第１節を同研究員永塚俊司がそれぞれ担当し，全体の編集は石倉亮治が行った。

6　発掘調査から報告書の刊行に至るまで，千葉県教育庁教育振興部文化財課，新東京国際空港公団，芝山町教育委員会の御指導，御協力を得た。

7　本書で使用した地形図は，下記のとおりである。

第１図　国土地理院発行　1/25,000地形図「新東京国際空港」（N1-54-19-10-1）・「多古」（N1-54-19-10-2）

8　航空写真は，京葉測量株式会社による平成14年撮影1/10,000のものを使用した。

9　本書で使用した図面の方位は，すべて座標北であり，日本測地系に基づく基本測量を実施した。

10　挿図に使用したスクリーントーン及び記号の内容は，挿図中及び本文中に記載した。

本　文　目　次

第１章　はじめに……1
　第１節　調査の経緯……1
　第２節　遺跡の位置と周辺遺跡……1
　第３節　金沢台遺跡の調査……5
第２章　旧石器時代……9
　第１節　概要……9
　第２節　立川ロームの分層……11
　第３節　AT下位石器群……12
　第４節　AT上位石器群……44
第３章　縄文時代……83
　第１節　遺構……83
　第２節　遺物……90
　　1　土器……90
　　2　石器……99
第４章　その他の時代……107
　第１節　遺構……107
　第２節　遺物……107
第５章　まとめ……109
　第１節　旧石器時代……109
　第２節　縄文時代……111

挿　図　目　次

第１図　遺跡の位置と周辺地形図……３
第２図　金沢台遺跡調査概況……６
第３図　上層確認トレンチ配置図……７
第４図　下層確認グリッド配置図……８
第５図　旧石器時代の石器集中地点……10
第６図　立川ロームの土層柱状図……11
第７図　石器集中１　出土状況……13
第８図　石器集中１　出土石器（１）……14
第９図　石器集中１　出土石器（２）……15
第10図　石器集中１　出土石器（３）……16
第11図　石器集中２　器種別出土状況……21・22
第12図　石器集中２　石材別出土状況……23・24
第13図　石器集中２　出土石器（１）……25
第14図　石器集中２　出土石器（２）……26
第15図　石器集中２　出土石器（３）……27
第16図　石器集中２　出土石器（４）……28
第17図　石器集中２　出土石器（５）……29
第18図　石器集中２　出土石器（６）……30
第19図　石器集中２　出土石器（７）……31
第20図　石器集中２　出土石器（８）……32
第21図　石器集中２　出土石器（９）……33
第22図　石器集中２　出土石器（10）……34
第23図　石器集中３　出土状況と出土石器……36
第24図　石器集中４　出土状況……45
第25図　石器集中４　出土石器……46
第26図　石器集中５　器種別出土状況……48
第27図　石器集中５　石材別出土状況……49
第28図　石器集中５　出土石器（１）……50
第29図　石器集中５　出土石器（２）……51
第30図　石器集中５　出土石器（３）……52
第31図　石器集中６　器種別出土状況（１）……55
第32図　石器集中６　器種別出土状況（２）……56
第33図　石器集中６　石材別出土状況……57・58
第34図　石器集中６　出土石器（１）……59
第35図　石器集中６　出土石器（２）……60
第36図　石器集中６　出土石器（３）……61
第37図　石器集中６　出土石器（４）……62
第38図　石器集中６　出土石器（５）……63
第39図　石器集中６　出土石器（６）……64
第40図　石器集中６　出土石器（７）……65
第41図　石器集中６　出土石器（８）……66
第42図　石器集中６　出土石器（９）……67
第43図　石器集中６　出土石器（10）……68
第44図　石器集中６　出土石器（11）……69
第45図　石器集中６　出土石器（12）……70
第46図　石器集中６　出土石器（13）……71
第47図　石器集中６　出土石器（14）……72
第48図　石器集中６　出土石器（15）……73
第49図　石器集中７　出土状況と出土石器（１）…76
第50図　石器集中７　出土石器（２）……77
第51図　上層土器包含層・遺構分布図……85・86
第52図　土抗・陥穴（１）……87
第53図　陥穴（２）……88
第54図　陥穴（３）……89
第55図　縄文土器（１）……91
第56図　縄文土器（２）……92
第57図　縄文土器（３）……94
第58図　縄文土器（４）……95
第59図　縄文土器（５）……97
第60図　縄文土器（６）・土製品……98
第61図　縄文石器出土状況……102
第62図　上層出土石器（１）……103
第63図　上層出土石器（２）……103
第64図　上層出土石器（３）……104
第65図　上層出土石器（４）……105
第66図　土師器・鉄製品……107
第67図　１号溝状遺構……108

表　目　次

第１表　主な周辺遺跡……４
第２表　石器集中１　組成表……12
第３表　石器集中２　組成表……17
第４表　石器集中２　母岩別組成表……17
第５表　石器集中３　組成表……35
第６表　AT下位石器群　観察表（１）……37
第７表　AT下位石器群　観察表（２）……38
第８表　AT下位石器群　観察表（３）……39
第９表　AT下位石器群　観察表（４）……40
第10表　AT下位石器群　観察表（５）……41
第11表　AT下位石器群　観察表（６）……42
第12表　AT下位石器群　観察表（７）……43
第13表　石器集中４　組成表……44
第14表　石器集中５　組成表……49
第15表　石器集中６　組成表……53
第16表　石器集中６西集中域　組成表……74
第17表　石器集中６東集中域　組成表……75
第18表　石器集中６　母岩別組成表……75
第19表　石器集中７　組成表……75
第20表　AT上位石器群　観察表（１）……78
第21表　AT上位石器群　観察表（２）……79
第22表　AT上位石器群　観察表（３）……80
第23表　AT上位石器群　観察表（４）……81
第24表　AT上位石器群　観察表（５）……82
第25表　石器集中１J　組成表……99
第26表　石器集中２J　組成表……100
第27表　石器集中３J　組成表……101
第28表　石器集中１J～３J　組成表……101
第29表　上層出土石器　観察表（１）……106
第30表　上層出土石器　観察表（２）……106
第31表　上層出土石器　組成表……106

写　真　図　版

図版１　航空写真
図版２　遺跡近景・立川ローム断面（１）
図版３　立川ローム断面（２）・石器集中（１）
図版４　石器集中（２）・包含層（１）
図版５　包含層（２）
図版６　包含層（３）
図版７　土抗・陥穴（１）
図版８　陥穴（２）・溝状遺構
図版９　石器集中１
　　石器集中２（１）
図版10　石器集中２（２）
図版11　石器集中２（３）
図版12　石器集中２（４）
図版13　石器集中３
　　石器集中４
　　石器集中５（１）
図版14　石器集中５（２）
図版15　石器集中６西（１）
図版16　石器集中６西（２）
図版17　石器集中６東（１）
図版18　石器集中６東（２）
　　石器集中７
図版19　縄文土器（１）
図版20　縄文土器（２）
図版21　縄文土器（３）
図版22　縄文土器（４）
図版23　縄文土器（５）
図版24　縄文土器（６）
図版25　土製品・土師器・鉄製品
図版26　上層出土石器

第1章　は　じ　め　に

第1節　調査の経緯

新東京国際空港公団は，山武郡芝山町大字香山新田地先において建設センター及び保全事務所建設事業を計画し，千葉県教育委員会に遺跡の有無を照会したところ当該地先が芝山町金沢台遺跡の一部に含まれることが確認されたため，千葉県教育委員会と協議の結果，事業地区内の埋蔵文化財の取扱いについて記録保存の措置を講ずることとなり，財団法人千葉県文化財センターが発掘調査を実施することとなった。

調査は，次の組織と担当者により実施された。

平成12年12月18日～平成13年3月28日（建設センター）
東部調査事務所長　折原　繁，室長　鳴田浩司
平成13年4月9日～平成13年9月28日（建設センター）
東部調査事務所長　折原　繁，上席研究員　大槻一実
平成13年10月1日～平成13年12月21日（保全事務所）
東部調査事務所長　折原　繁，上席研究員　大槻一実

また，整理作業は以下の期間及び組織と担当者により実施された。

平成14年11月1日～平成15年3月31日
東部調査事務所長　折原　繁，副所長　石倉亮治，研究員　永塚俊司
平成15年4月1日～平成15年7月31日
東部調査事務所長　折原　繁，上席研究員　石倉亮治，研究員　永塚俊司
平成15年9月1日～平成15年9月30日
東部調査事務所長　折原　繁，上席研究員　石倉亮治

第2節　遺跡の位置と周辺遺跡

金沢台遺跡は，新東京国際空港の南側の標高41m前後の下総台地北部に位置する。これらの遺跡のある台地周辺は，太平洋に東流する木戸川及び高谷川，印旛沼に西行する根木名川の各水系の分水界となっている。

新東京国際空港周辺では，昭和50年代から空港建設に関わる埋蔵文化財調査が実施されてきており，これまでに多くの遺跡が調査されてきた。

第1図及び第1表は，これまで新東京国際空港関連の埋蔵文化財調査として調査された遺跡の位置と分布の状況を示している。

金沢台遺跡は，新東京国際空港関連の遺跡番号№15として周知されていた遺跡である。

平成12年度に建設センター用地の一部について調査が実施され，平成13年度に建設センターの残り部分と保全事務所用地について調査が実施された（第2図）。

金沢台遺跡は，山武郡芝山町大字香山新田字金沢台（建設センター）及び同芝山町大字香山新田字雨堤

（保全事務所）に所在し，新東京国際空港のＡ滑走路とＢ滑走路を結ぶ誘導路（旧横風用滑走路）の南側に隣接し，旧石器時代・縄文時代・奈良平安時代・中近世の遺物が検出された。

本遺跡の周辺では，旧石器時代から縄文時代早期を中心に多くの遺跡が調査されている。

昭和51年に調査された木の根東台(No.５)遺跡では，旧石器時代のナイフ形石器や槍先形尖頭器が出土した。この遺跡と隣接する台地上にある木の根拓美(No.６)遺跡は昭和52年に調査が行われ，旧石器時代のナイフ形石器や縄文時代の撚糸文土器群と陥穴状土坑群が検出されている。

本遺跡と谷津を挟んだ西の台地上には昭和53年に調査され，旧石器時代のナイフ形石器・槍先形尖頭器，縄文時代撚糸文期の住居跡や陥穴状土坑群を検出した香山新田中横堀（No.７）遺跡がある。また，昭和46年に調査された古込朝日台(No.13)遺跡でも撚糸文系及び沈線文系の土器群が出土しており，縄文時代早期の遺跡であることが確認されている。

本遺跡の北東には昭和54年，平成元年に調査された香山新田新山(No.10)遺跡があり，旧石器時代の礫群・ナイフ形石器・槍先形尖頭器，縄文時代の条痕文系土器群・陥穴状土坑群を検出している。昭和54年に台地の一部が調査されたが，未調査部分も残されている。

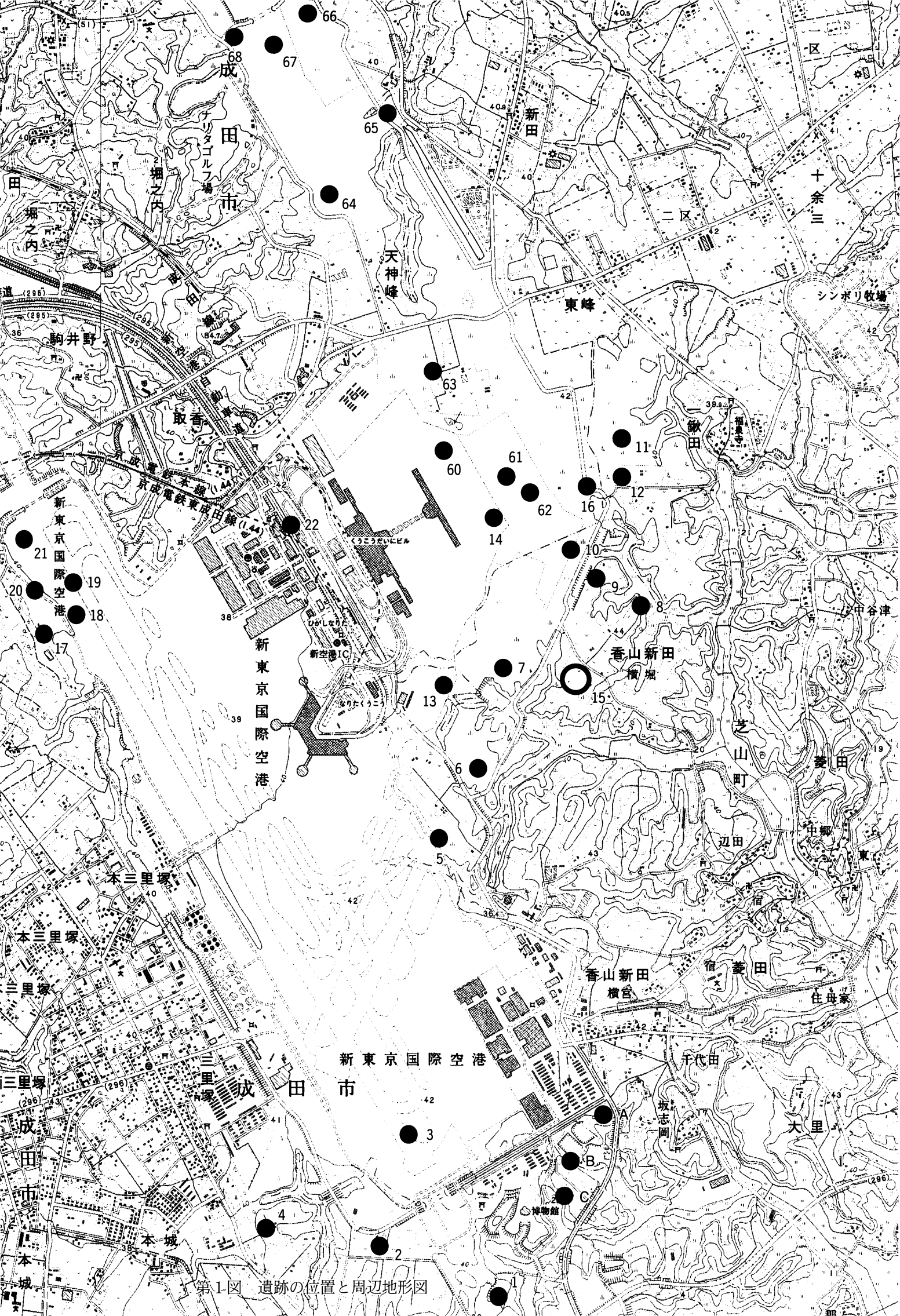
香山新田新山遺跡の南の谷津を挟んだ台地には，香山新田念仏面(No.８)遺跡，香山新田安戸台(No.９)遺跡が所在し，香山新田安戸台遺跡は平成３年に調査が実施され，旧石器時代のナイフ形石器・彫刻刀形石器・楔形石器・削器・掻器・石核，縄文時代早期の撚糸文土器や前期の浮島式土器が検出されている。香山新田念仏面遺跡は未調査である。

この他，金沢台遺跡と同じ水系に面する台地には，一鍬田甚兵衛山北(No.11)遺跡，一鍬田甚兵衛山南(No.12)遺跡，一鍬田甚兵衛山西(No.16)遺跡がある。

一鍬田甚兵衛山北遺跡は，昭和60年・63年に調査が行われ，旧石器時代では２枚の文化層からナイフ形石器・尖頭器・彫器・石核，縄文時代早期の撚糸文系土器から沈線文系及び条痕文系土器，縄文時代前期の黒浜式，浮島式及び興津式土器などと共に陥穴が８基検出されている。また，奈良・平安時代では鍛冶工房跡と共に関連する住居跡も検出されている。一鍬田甚兵衛山南遺跡は，昭和58年から59年に調査が行われ，旧石器時代の石斧，縄文時代の草創期の微隆起線文土器や有舌尖頭器・槍先形尖頭器が検出されている。一鍬田甚兵衛山西遺跡では，昭和59年・63年に調査が行われ，旧石器時代のナイフ形石器・台形様石器・スクレイパー，縄文時代の早期撚糸文系土器群・沈線文系土器群や竪穴状遺構を検出している。

新東京国際空港は房総半島北東部の分水界付近に位置するため，隣接する遺跡でも水系を異にする状況にある。古込(No.14)遺跡，取香和田戸(No.60)遺跡，東峰御幸畑西(No.61)遺跡，東峰御幸畑東(No.62)遺跡，東峰西笠峰(No.63)遺跡の各遺跡は，金沢台遺跡とは比較的近い距離にありながら，北西に流れる尾羽根川水系に面する台地上に立地する。

古込遺跡は昭和46年・53年に調査され，縄文時代早期の条痕文系土器群や黒曜石製石器群が検出された。取香和田戸遺跡は昭和53年から55年，平成12年に調査され，旧石器時代のナイフ形石器・槍先形尖頭器，縄文時代早期撚糸文期の住居跡，歴史時代の製鉄遺構が検出されている。東峰御幸畑西遺跡は昭和54年・55年に調査され，旧石器時代の石斧やナイフ形石器，縄文時代早期沈線文系・条痕文系の土器群，弥生時代後期の集落跡，歴史時代の製鉄遺構が検出されている。谷津を挟んだ南東の台地上に立地する東峰御幸畑東遺跡は昭和53年・54年に調査され，旧石器時代のナイフ形石器，縄文時代早期の沈線文系土器群・条痕文系土器群，弥生時代後期の集落跡が確認されている。東峰西笠峰遺跡は昭和55年・56年に調査され，



第1図　遺跡の位置と周辺地形図

第１表　主な周辺遺跡

空港No.	遺　跡　名	所　在　地	時　代　（時　期）	水　系	立地・現状	文献
1	岩山押堀遺跡	山武郡芝山町岩山字押堀		木戸川		
2	岩山中袋遺跡	山武郡芝山町岩山字中袋他	旧石器、縄文（早・前・中）	高谷川	台地上	1
3	東三里塚吉野台遺跡(No.51・No.52を含む)	成田市東三里塚字吉野台	旧石器、縄文（早・中）	高谷川	台地上	2
4	南三里塚宮園	成田市南三里塚字宮園６他		木戸川		3
5	木の根東台遺跡	成田市木の根字東台217他	旧石器、縄文（早）	高谷川	台地上	4
6	木の根拓美遺跡	成田市木の根字拓美192他	旧石器、縄文（早）	高谷川	台地上	5
7	香山新田中横堀遺跡	成田市香山新田字中横堀101-2他	縄文	高谷川	台地上	6
8	香山新田念仏面遺跡	成田市香山新田字念仏面	縄文	高谷川	台地上	
9	香山新田安戸台遺跡	山武郡芝山町香山新田字安戸台128-1他	旧石器、縄文	高谷川		7
10	香山新田新山遺跡	成田市香山新田中横堀101-2他	縄文	高谷川	台地上	8
11	一鍬田甚兵衛山北遺跡	香取郡多古町一鍬田字甚兵衛山472-2他		高谷川		9
12	一鍬田甚兵衛山南遺跡	香取郡多古町一鍬田字甚兵衛山454-22他	縄文	高谷川	台地上	10
13	古込朝日台遺跡	成田市古込字朝日台		高谷川		11
14	古込遺跡(No.55・No.56を含む)	成田市古込字古込	旧石器、縄文（早）、奈良・平安	高谷川	台地上	12
15	香山新田金沢台遺跡	成田市香山新田字金沢台	縄文（早、前、中）	高谷川	台地上	13
16	一鍬田甚兵衛山西遺跡	香取郡多古町一鍬田字甚兵衛山454-14他	縄文	高谷川	台地上	14
17	駒井野横谷津遺跡	成田市駒井野字横谷津		根木名川		
18	天浪大里遺跡	成田市天浪字大里	縄文（早）	根木名川	台地上	15
19	天浪浪丘遺跡	成田市天浪字浪丘	縄文	根木名川	台地上	16
20	駒井野新田遺跡	成田市駒井野字新田		根木名川		
21	駒井野新堀遺跡	成田市駒井野字新堀		根木名川		
60	取香和田戸遺跡	成田市取香字和田戸711他	奈良・平安	尾羽根川	台地上	17
61	東峰御幸畑西遺跡	成田市東峰字御幸畑89-1他	縄文（早・前・中）、弥生、奈良・平安	尾羽根川	台地上	18
62	東峰御幸畑東遺跡	成田市東峰字御幸畑89他	縄文（早・前・中）、弥生、奈良・平安	尾羽根川	台地上	
63	東峰西笠峰遺跡	成田市東峰字西笠峰25-2他	旧石器、縄文、古墳、近世	尾羽根川		19
64	天神峰最上遺跡	成田市天神峰字最上14-1他	旧石器、縄文、奈良・平安～中・近世	尾羽根川		20
65	天神峰奥之台遺跡	成田市天神峰字奥之台17他	旧石器、縄文、奈良、近世	尾羽根川		21
66	十余三稲荷峰東遺跡	成田市十余三字稲荷峰151-29	旧石器、縄文、中・近世	尾羽根川		22
67	十余三稲荷峰遺跡	成田市十余三字稲荷峰151-262	旧石器、縄文。弥生、中・近世	尾羽根川		
68	十余三稲荷峰西遺跡	成田市十余三字稲荷峰151-75	旧石器、縄文、中・近世	尾羽根川		23
A	大里馬土手・柳谷遺跡	山武郡芝山町大里字次木57-14他	旧石器、縄文、古墳、近世	高谷川	台地上	
B	東三里塚岩之台（井森戸）２遺跡	成田市東三里塚字岩之台	縄文（早・前）、古墳	高谷川	台地上	24
C	井森戸遺跡	山武郡芝山町岩山字井森戸133番地-1他	縄文（早・前・中・後）	高谷川	台地上、畑、山林	25

文献

1　1985新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅴ・1997土木保守管理センター等埋蔵文化財発掘調査報告書
2　1971三里塚
3　1971三里塚・1993新東京国際空港埋蔵文化財調査報告書Ⅶ
4　1971三里塚・1981木の根
5　1971三里塚・1993新東京国際空港埋蔵文化財調査報告書Ⅶ・1981木の根
6　1984新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅳ・1993新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅶ
7　2002新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書ⅩⅦ
8　1985新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅴ・2003新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅷ
9　1995新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅸ
10　1986研究紀要（一部掲載）
11　1971三里塚
12　1971三里塚
13　（本報告書）
14　2001新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書ⅩⅣ
15　1971三里塚
16　1971三里塚
17　1994新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅷ・2002新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅶ
18　2000新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書ⅩⅢ
19　1999新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書ⅩⅠ
20　2001新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書ⅩⅤ
21　1997新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅹ
22　2001新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書ⅩⅥ
23　2000・2003新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書ⅩⅡ・ⅩⅧ
24　1983・2003千葉県埋蔵文化財発掘調査抄報（昭和58年度）・旧296号線代替地内埋蔵文化財調査報告書
25　1985主要地方道成田松尾線Ⅳ（一部報告済み）

旧石器時代のナイフ形石器・尖頭器・楔形石器・彫刻刀形石器，縄文時代早期撚糸文系土器群・沈線文系土器群，歴史時代の住居跡が検出された。

第３節　金沢台遺跡の調査

１　調査区及び発掘区の設定

金沢台遺跡は，建設センター用地と保全事務所用地として事業別に調査委託されたが，同一の遺物包蔵地であり，単一の遺跡として扱うことが適当と考えられた。そこで，両事業地に共通する調査区を設定し，それぞれについて発掘調査を実施した。

金沢台遺跡の調査区の設定は，公共座標を基準として40m×40mの方眼グリッドを設定し，北から１，２，３，…，西からA，B，C，…とし，１A，２B，３C，…と呼称した。また，各方眼グリッド内を北西端から南東端にかけて先頭の00グリッドを第１段第１列とし10列ごとに次段の西端に移り，10段10列の100分割小グリッドを設定し，遺構の検出や遺物の取上げの際の基準とした。

２　調査の概要

平成12年度の建設センター用地内の調査は，対象面積25,523㎡のうち10％に相当する2,552㎡の上層と，対象面積15,571㎡の４％に相当する623㎡の下層について確認調査のみを実施した。上層の確認調査は，幅2mのトレンチを事業用地範囲に対応して配置した。下層の確認調査では，上層確認の際に設定したトレンチ内に２m×２mの確認グリッドを設定して武蔵野ローム層上面までの遺物の有無を確認した。

確認調査の結果，上層では縄文時代早期の包含層，縄文時代の陥穴，中世以降の溝状遺構が検出された。下層では11か所の確認グリッドにおいて石器が検出された。

平成13年度の建設センター用地内の調査では，対象面積14,795㎡のうち上層調査の必要な9,115㎡の10％に相当する912㎡の上層と，下層調査の必要な7,359㎡の４％に相当する294㎡の確認調査を実施した。上層の確認調査は，幅2mのトレンチを事業用地範囲に対応して配置した。下層の確認調査では，上層確認の際に設定したトレンチ内に２m×２mの確認調査発掘区を設定して武蔵野ローム層上面までの遺物の有無を確認した。

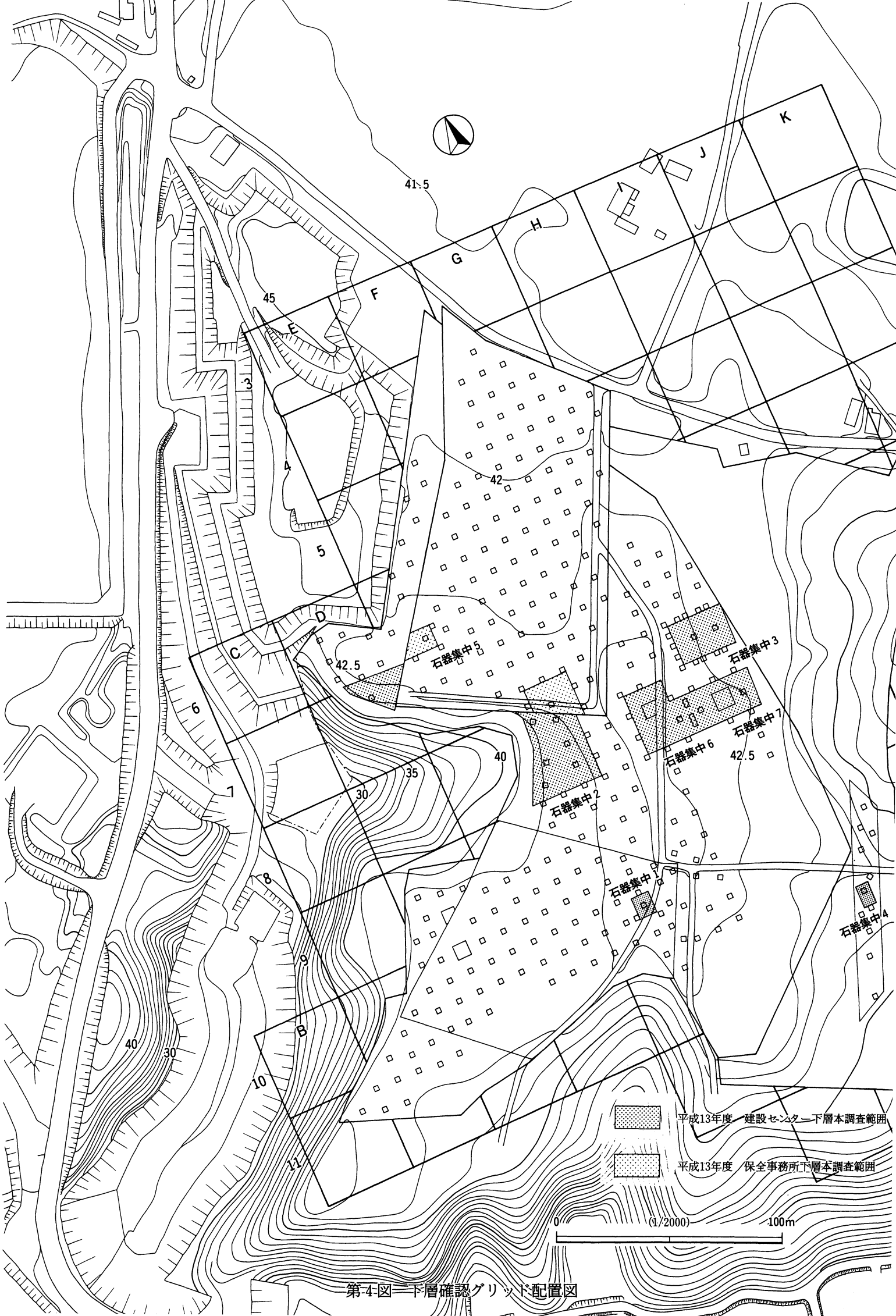
確認調査の結果をもとに，前年度に確定した本調査範囲を合わせ，上層4,030㎡と下層2,770㎡について本調査を続けて実施し，旧石器時代の遺物集中地点６か所，縄文時代早期の包含層６か所，縄文時代土坑１基，縄文時代陥穴５基，中世以降の溝状遺構１条を検出した。

平成13年度の保全事務所用地内の調査では，対象面積9,401㎡のうち10％に相当する940㎡の上層と，４％に相当する376㎡の下層について確認調査を実施した。上層の確認調査は，幅２mのトレンチを事業用地範囲に対応して配置した。下層の確認調査では，上層確認の際に設定したトレンチ内に２m×２mの確認調査発掘区を設定して武蔵野ローム層上面までの遺物の有無を確認した。

その結果，調査区南端に耕作による撹乱を免れた縄文時代早期の包含層と下層確認グリッド２か所から石器が検出された。その結果を受けて，上層1,500㎡と下層360㎡の本調査が実施され，縄文時代早期の包含層と旧石器時代の遺物集中地点２か所を検出した。石器集中地点の１か所は建設センター事業地内で調査を行ったものに連続するものであることが判明した。

第 2 図　金沢台遺跡調査概況

第3図　上層確認トレンチ配置図



第4図　下層確認グリッド配置図

第２章　旧石器時代

第１節　概　要（第５図）

金沢台遺跡では建設センター建設事業と保全事務所建設事業による確認調査によって，15か所の下層確認グリッドから石器が検出され，８地点の本調査が実施された(第４図)。本調査の結果，石器集中地点として広がりを確認できなかった地点や両事業地内に連続して石器分布が広がる地点等があるため，出土層位・平面分布等を考慮して便宜的に，石器集中１～７に分離し，報告することとする(第５図)。石器集中５と石器集中２の北半部は保全事務所建設事業地内，石器集中１・３・４・６・７と石器集中２の南半部は建設センター建設事業地内で調査されたものである。

出土層位から，石器集中地点の形成は複数時期にわたるが，本報告では，姶良丹沢（AT）火山灰を包含するⅥ層より下位の石器群をAT下位石器群，上位の石器群をAT上位石器群と呼称する。

AT下位石器群は石器集中１～３の３ブロックが該当し，出土層位が第２黒色帯下部（Ⅸ層）を中心として一部Ⅹ層から検出された石器集中地点である。石器集中１は嶺岡頁岩を主体とした石器群で少数母岩を搬入し，矩形の小型剥片を剥離する良好な接合資料が確認された。台形様石器・ナイフ形石器等の特徴的な器種は検出されなかった。出土層位はⅨ層下部～Ⅹ層上部で金沢台遺跡で最古の石器群と位置づけられる。石器集中２はⅨｃ～Ⅸａ層を主体として検出された石器群で，台形様石器・楔形石器・刃部磨製石斧などが出土した。平面分布は８か所の小さな集中域を形成しており，各集中域は特定石材により形成されている。本調査では周辺を広く拡張し，石器分布は径20mほどの範囲に広がることが確認できたが，各集中域の分布がいわゆる「環状ブロック」と呼ばれるような形態を呈していたとは言い難い。珪質頁岩・安山岩・黒曜石・石英・メノウ・凝灰岩・チャート・ホルンフェルス・トロトロ石など多彩な石材が用いられている。石器集中３は確認調査時にⅦ～Ⅸ層上部付近から，隣接する確認グリッドにおいてそれぞれ石器が検出されたため周囲を広く拡張したが，新たに礫片２点が検出されたのみで，零細な集中地点である。

AT上位石器群は石器集中４～７の４ブロックが該当し，Ⅵ層上部～Ⅲ層に包含された石器集中地点である。石器集中４はⅣ～Ⅴ層を中心に検出されたブロックで，ナイフ形石器・掻器など18点を出土した。石器集中５は，礫群と分布が重複するブロックで，Ⅲ層中～下部を中心に検出された。剥片石器の利用石材は嶺岡産の特徴を有する資料が多く，特徴的である。石器集中６はⅢ層から検出されたブロックで東西に大きく二分される。角錐状石器や鋸歯状の調整が特徴的なトウール類が見られるとともに，遺跡内に原石を搬入し，積極的な剥片剥離が行われていることが接合資料から明らかとなった。また両集中域には接合関係はないが，同一母岩と思われる資料の存在も指摘され，ほぼ同時期に残された集中域として理解される。石器集中７はⅢ層中～上部から検出された石器群であるが，出土石器の点数が６点と零細なブロックである。

AT下位石器群のうち，石器集中１・２は谷頭を上った平坦地もしくは緩く傾斜したところに立地するのが特徴で，AT上位石器群は谷から離れた台地平坦地に立地する石器集中地点（石器集中４・６・７）と谷に面していても谷頭からは離れたところに立地するもの（石器集中５）に分かれる。

第 5 図　旧石器時代の石器集中地点

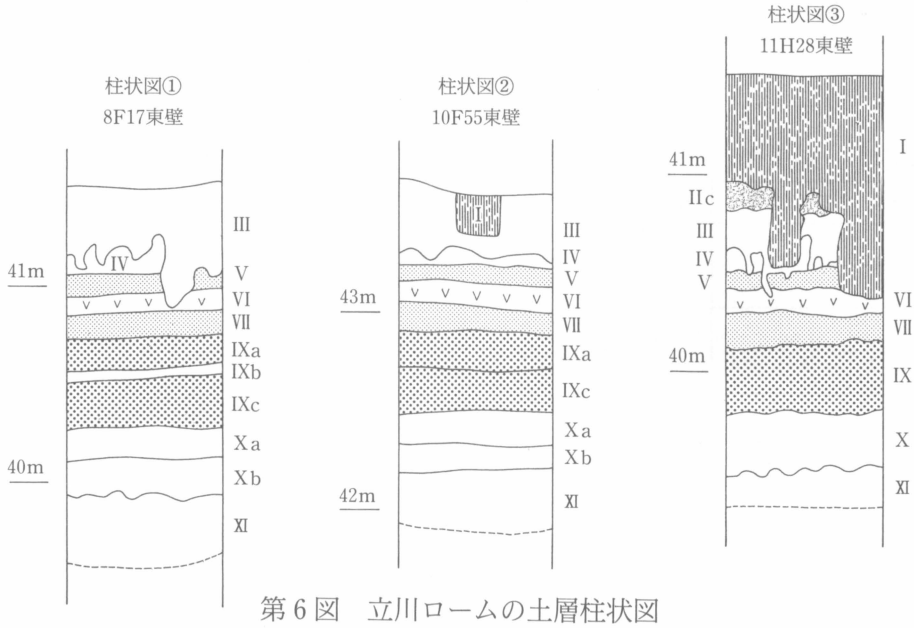
第２節　立川ロームの分層（第６図）

第６図に３地点の土層柱状図を掲載した（柱状図①～③，図版２）。基本的には島立・新田・渡辺[1)]による提言を踏まえて分層したものである。ただし，Ⅸ層（第２黒色帯下半部）の細分については各地点で若干の違いが見られる。柱状図①は第２黒色帯下半部（Ⅸ層）の中位よりやや上部に極僅かであるが明るい間層が挟入する。いわゆる，Ⅸｂ層と呼ばれるものであるが，明確に帯状を呈して確認できるものではなくブロック状に分布するものを抽出したものである。柱状図②は上下２枚にわかれるだけでⅨｂ層(間層)は確認できなかった。下半部の方が僅かながら黒味を帯びているようである。柱状図③は色調等に違いが認識できなかったため，Ⅸ層の細分はなされていない。それぞれの地点でこのように第２黒色帯の細分に違いがあるものの，台地上の平坦地で立川ローム層の堆積は安定しており，Ⅵ層上面から武蔵野ローム上面までは0.9～1.0mの層厚をもつ。

以下は，柱状図③における調査時の土層注記を転載した。

Ⅰ　層	耕　作　土	
Ⅱｃ層	暗 褐 色 土	ソフトロームへの漸移層
Ⅲ　層	暗黄褐色土	ソフトローム
Ⅳ　層	黄 褐 色 土	以下ハードローム
Ⅴ　層	黄 褐 色 土	第１黒色帯に相当（あまり明瞭ではない）
Ⅵ　層	黄 褐 色 土	ＡＴ包含層
Ⅶ　層	黄 褐 色 土	第２黒色帯上半部
Ⅸ　層	暗黄褐色土	第２黒色帯下半部
Ⅹ　層	黄 褐 色 土	立川ローム最下層（分層は困難）
ⅩⅠ層	灰 褐 色 土	武蔵野ローム最上層

注１　島立　桂・新田浩三・渡辺修一　1992「下総台地における立川ローム層の層序区分－平成２・３年度職員研修会から－」『研究連絡誌』第35号（財）千葉県文化財センター



第６図　立川ロームの土層柱状図

第３節　AT下位石器群

１　石器集中１（第７～10図，第２・６表，図版３・９）

分　布　10F44グリッドを中心に４ｍ×５ｍの範囲に分布する。台地の平坦地に立地するが，石器集中地点から25m程南へいくと，東西に走る支谷から南へ延びる浅い谷にぶつかる。このように谷頭から台地へ上がった平坦地に石器群を残すという意味では，石器集中２と同様である。クラムシェルによる確認調査によって10F44グリッドから７点の遺物がまとまって採集された。

出土層位はⅨ層下部～Ⅹ層上面にまとまり，出土レベルの最大値は41.630m，最小値は41.271mで，平均値は41.410mである。

器　種　使用痕のある剥片２点，剥片14点，石核２点，礫片１点の合計19点が出土した(第２表)。小型で矩形の剥片と石核で占められ，剥片の縁辺には一部微細な剥離痕が観察されるものがある。

１・２は背面が自然面に覆われたもので，平坦な剥離面を打面として，打瘤が発達し縁辺へ向かうと急に薄くなる。１はとくに打面からの頭部調整が顕著である。

接合資料１は，小型剥片同士の接合資料で６→７→８→９の順で剥離された。６を剥離後90°打面転位して７・８・９を同一打面から剥離している。

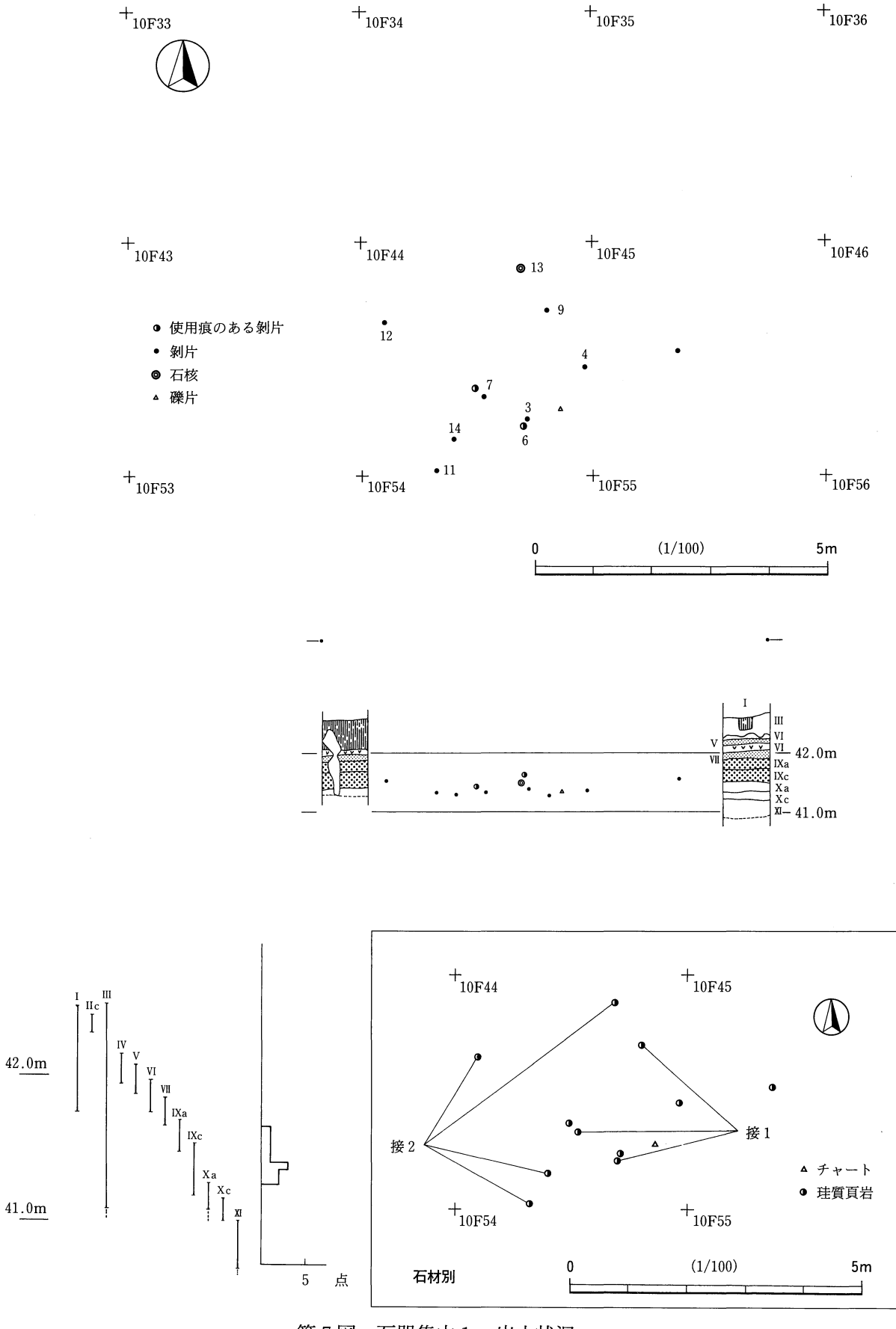
接合資料２は，打面と作業面を入れ替えながら表裏に剥片剥離が行われた資料で，剥離の進行に伴って棒状を呈した石核の形状修正のために13が剥離されたと考えられる。

石　材　珪質頁岩18点，チャート１点で構成される。珪質頁岩は嶺岡産の特徴を有するもので，３母岩に分類された。接合資料１・２の10点と未掲載の砕片１点の合計11点で構成される母岩№１は，やや暗い色調の青灰色を帯びたもので節理面はほとんど見られず良質である。平坦な黄土色を呈した自然面が残っているが，すでに剥離が進行した石核が搬入され，本地点で僅かながら剥片剥離を行ったことが分かる。石核は残核として廃棄された。母岩№２は母岩№１よりも明るい色調を呈し，剥離面はツルツルとした良質なもので(３～５)，剥片５点で構成される。母岩№３は自然面が背面を覆っている資料で，自然面は黄土色を呈した特徴的なものである(１・２の２点のみ)。自然面から近い部分は風化が著しく，内部の様子がよく分からないためはっきりしないが，母岩№２と同一母岩の可能性もある。

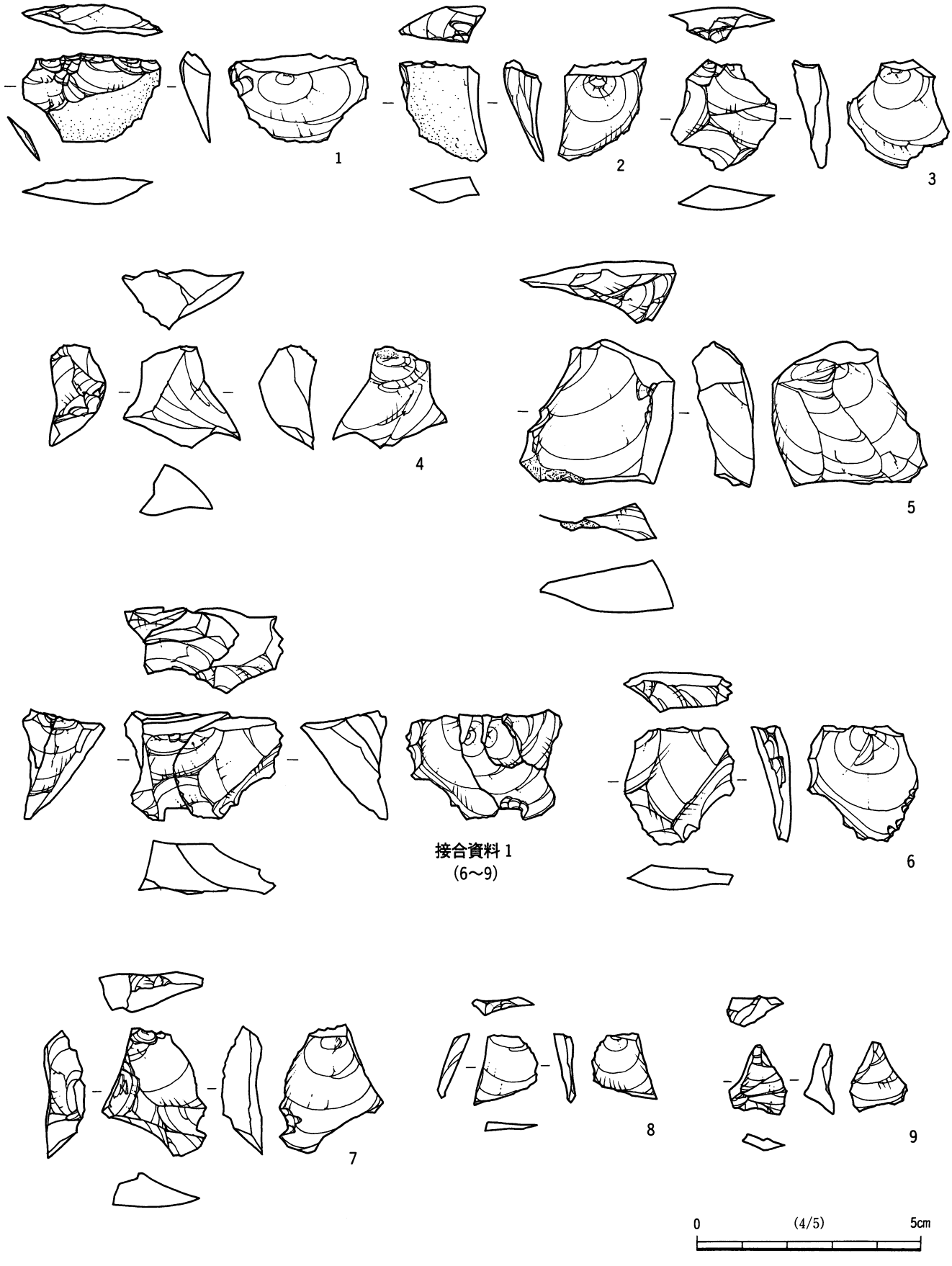
※実測・トレースが終了し，挿図が組上がってから接合資料１と接合資料２が接合することが判明した。ちょうど12の上に接合資料１の４点が接合し，９を剥離した後に同一打面から12→11を剥離している。

第２表　石器集中１　組成表

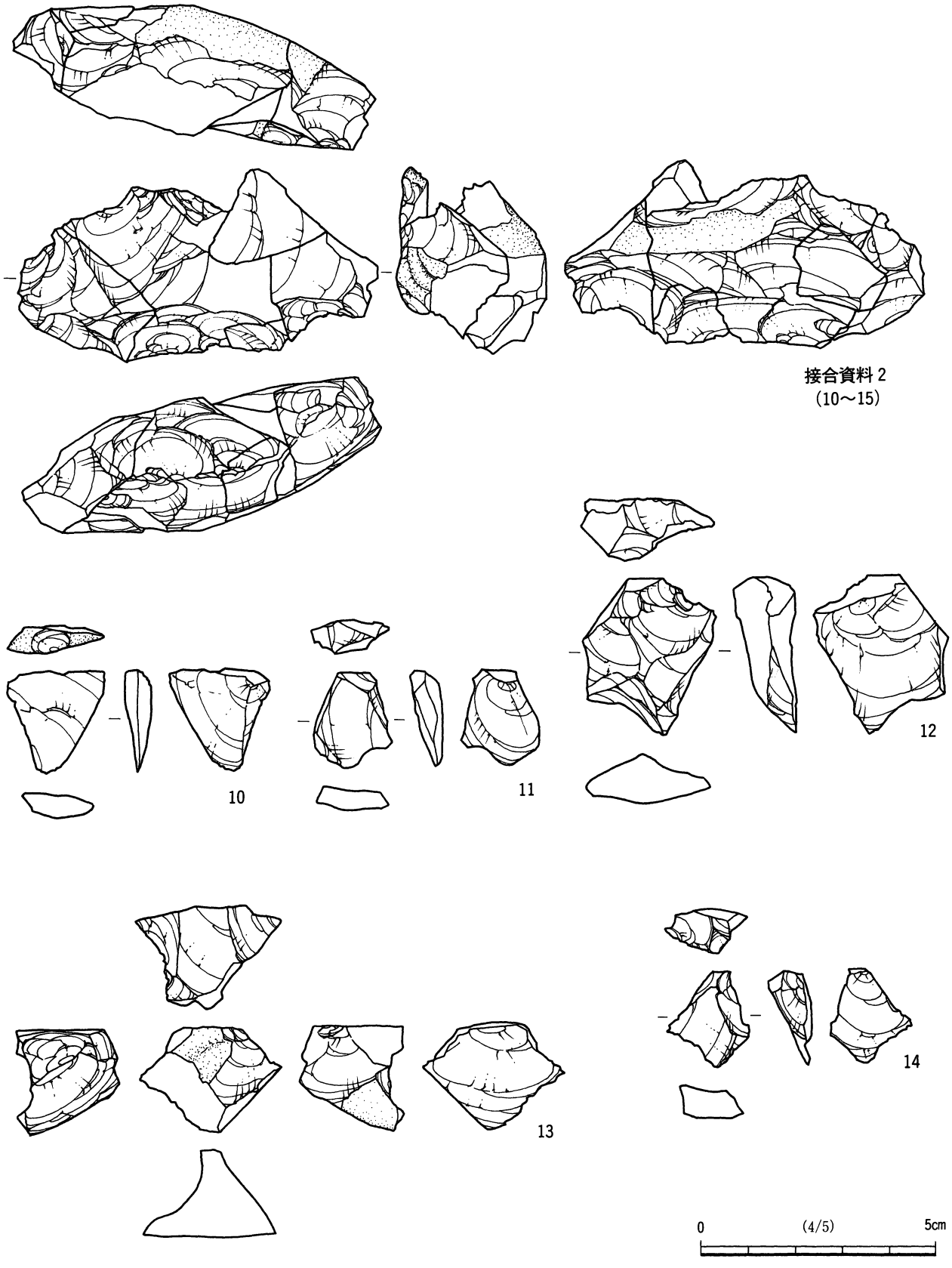
	使用痕のある剥片	剥片	石核	礫片	合計	組成比
珪質頁岩	2 4.36	14 43.86	2 51.50		18 99.72	94.7 98.8
チャート				1 1.19	1 1.19	5.3 1.2
合計(点数) 合計(重量)	2 4.36	14 43.86	2 51.50	1 1.19	19 100.91	100.0 100.0
組成比(点数) 組成比(重量)	10.5 4.3	73.7 43.5	10.5 51.0	5.3 1.2	100.0 100.0	



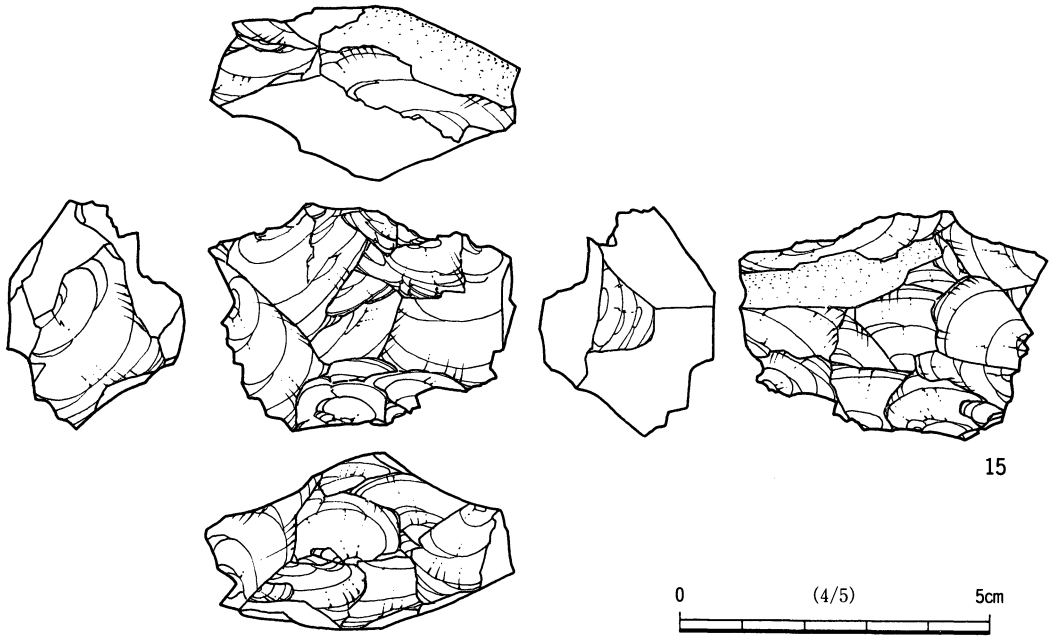
第7図　石器集中1　出土状況



第8図　石器集中1　出土石器（1）



第 9 図　石器集中 1　出土石器（2）



第10図　石器集中１　出土石器（３）

２　石器集中２（第11～22図，第３・６～12表，図版３・９～12）

分　布　建設センター建設事業と保全事務所建設事業という二つの事業範囲の境界に位置し，土層断面図作成ラインを境界にして各事業で本調査が実施された。8F23～26・33・34・44を中心として集中域が点在し，その範囲は南北約20m，東西約20mに広がる。西からの谷に向かって緩やかに南西へ傾斜する傾斜面に立地している。集中域ａ～ｈに分離され，各集中域は径４ｍ～６ｍの狭い範囲にまとまる。分布状況は，この時期に特徴とされる「環状ブロック」とするにはいささか無理があるが，集中域ｃ・ｄを中心に南東側に開口する弧状を呈した分布形態である。集中域はそれぞれ特定の石材（母岩）によって構成されていることが判明し，接合関係も各集中域に収束するものが大半であるが，隣接する集中域間で接合する資料も存在する。

出土層位はⅨａ～Ⅸｃ層で，出土状況写真・土層断面図へ投影された垂直分布などを改めて確認すると，Ⅸ層の中位～上部（Ⅸａ層）に分布の中心があると思われる。出土レベルの最大値は41.737m，最小値は41.030mで，約70cmのレベル差が見られるが，南西へ緩く傾斜する地形面に立地するためと思われる。なお，出土レベルの平均値は41.360mである。

器　種　刃部磨製石斧２点（接合して１点），打製石斧１点，ナイフ形石器１点，周縁調整尖頭器１点，台形様石器10点（組成表・観察表で（bip）としたものは，両極加撃により，側縁を整形したものである），楔形石器10点，楔形石器剥片18点（楔形石器剥片は剥片のうち両極剥離によってはがされた特徴を持つものとする），調整痕のある剥片１点，使用痕のある剥片６点，剥片151点，砕片60点（砕片は最大長・最大幅の両者が10㎜未満のものとする），石核４点，礫・礫片41点の合計306点が出土した（第3表）。

器種別の分布状況を見てみよう（第11図）。楔形石器・楔形石器剥片等，両極剥離に関する遺物が多く分

布するのは集中域ｂ・ｄ・ｈである。ただし，両極剝離によって調整された台形様石器は各集中域に点在し，集中域ｅ・ｆを除く，集中域ａ・ｂ・ｃ・ｄ・ｇ・hに見られる。打製石斧は集中域ｅに，刃部磨製石斧は刃部片が集中域ｄ，基部片が集中域ｂに離れて分布している。ナイフ形石器・周縁調整尖頭器は小規

第３表　　石器集中２　組成表

	ナイフ形石器	尖頭器	台形様石器	台形様石器(bip)	楔形石器	楔形石器剝片	調整痕のある剝片	使用痕のある剝片	剝片	砕片	石核	刃部磨製石斧	打製石斧	礫	礫片	合計	組成比
安山岩A			1 4.01	5 12.47		1 1.25			27 101.34	10 0.63						44 119.70	14.4 9.8
安山岩B				1 1.71	1 7.04			1 5.01	13 44.16	3 0.24	1 12.71					20 70.87	6.5 5.8
安山岩				1 6.60		1 1.86			6 15.83	1 0.09	1 92.42					10 116.80	3.3 9.6
珪質頁岩	1 4.98	1 3.30		2 9.43	3 5.97	4 3.76		2 11.74	32 105.62	7 0.39						52 145.19	17.0 11.9
黒曜石					1 0.73	3 2.35		2 0.83	13 11.52	32 1.61						51 17.04	16.7 1.4
メノウ							1 5.46	1 0.76	20 40.73	1 0.60	2 38.79			1 0.79	19 46.62	45 133.75	14.7 11.0
チャート					1 0.72	1 0.98			8 89.91	2 0.05				1 0.94	12 66.03	25 158.63	8.2 13.0
ホルンフェルス						1 0.30			15 59.29	2 0.17			1 42.56		1 0.34	20 102.66	6.5 8.4
凝灰岩					3 15.70	4 0.95			9 23.38	1 0.05		2 101.11			2 8.87	21 150.06	6.9 12.3
石英					1 3.50	3 5.49			3 6.65							7 15.64	2.3 1.3
砂岩									1 19.62					1 96.30	2 46.63	4 162.55	1.3 13.3
流紋岩									2 10.54							2 10.54	0.7 0.9
黒色頁岩									1 6.97							1 6.97	0.3 0.6
その他・不明									1 7.23	1 0.15					2 2.10	4 9.48	1.3 0.8
合計(点数) 合計(重量)	1 4.98	1 3.30	1 4.01	9 30.21	10 33.66	18 16.94	1 5.46	6 18.34	151 542.79	60 3.98	4 143.92	2 101.11	1 42.56	3 98.03	38 170.59	306 1219.88	100.0 100.1
組成比(点数) 組成比(重量)	0.3 0.4	0.3 0.3	0.3 0.3	2.9 2.5	3.3 2.8	5.9 1.4	0.3 0.4	2.0 1.5	49.3 44.5	19.6 0.3	1.3 11.8	0.7 8.3	0.3 3.5	1.0 8.0	12.4 14.0	100.0 100.1	

第４表　石器集中２　母岩別組成表

母岩No.	台形様石器(bip)	楔形石器	楔形石器剝片	調整痕のある剝片	使用痕のある剝片	剝片	砕片	石核	刃部磨製石斧	礫片	合計	重量
1　黒曜石		1	3		1	11	24				40	13.70
2　黒曜石					1	2	4				7	3.33
3　珪質頁岩						5	2				7	12.14
4　珪質頁岩						6	1				7	15.45
5　珪質頁岩	1	2				1					4	12.53
6　珪質頁岩	1		1			1					3	6.73
7　珪質頁岩			1			1					2	0.74
8　珪質頁岩						2					2	4.65
9　ホルンフェルス						5	2				7	22.75
10　ホルンフェルス			1			6					7	3.25
11　凝灰岩		1				2	1				4	6.56
12　凝灰岩		2	4			3					9	12.57
13　チャート		1	1			3	2				7	4.69
14　メノウ						5		1			6	26.39
15　メノウ					1	6					7	4.44
16　メノウ				1		5					6	12.00
17　石英		1	3			3					7	15.64
18　メノウ						3	1	1		18	23	46
19　安山岩A						3					3	9.96
20　安山岩B						2		1			3	18.76
21　安山岩	1		1								2	8.46
22　凝灰岩									2		2	101.11
23　チャート						1				5	6	50.35
24　凝灰岩						2					2	13.23
25　安山岩						6					6	12
26　チャート						3					3	12.61
27　ホルンフェルス						2					2	15.50

模な集中域ａ・ｃに分布する。礫・礫片は集中域ａ・ｇにまとまって分布する。

１は周縁調整が施された尖頭器である。素材となった剝片の打面を除く両側縁に急角度調整が施され，尖頭部を形成している。良質な嶺岡産の珪質頁岩を用いたもので，背面に黄土色の自然面が残る単独母岩である。

４は縦長剝片（石刃）を用いたナイフ形石器である。先端部を中心に急角度調整が施されている。

２・３・５・７～13は台形様石器である。両極剝離を施すことによって側縁を整えている特徴的なものと，そうでないものに分かれるが，前者は９点（２・３・５・７～12），後者は１点（13）が該当する。圧倒的に両極剝離によって調整された台形様石器が主体を占めるが，これらは平面形は菱形を呈するもの（２・３・７）と，基部が逆三角形を呈するが先端がとがらないもの（５・８），刃部水平で概ね四角形を呈するもの（９～12）に大きく分かれる。２・８は珪質頁岩製，３・７・９・10・12は安山岩Ａ製，11は安山岩Ｂ製，５は安山岩製である。接合資料１は両極剝離により剝離された素材剝片の打面部（６）と台形様石器（５）の接合資料である。両極剝離による調整によらない台形様石器は安山岩Ａ製のもの１点があり（13），平面形は逆三角形状を呈するもので，厚みのある剝片を素材とし，側縁は折断と主要剝離面側からの急角度調整によって整形されている。

14～19は楔形石器である。いずれも上下一方向から両極剝離が施されたもので，15は柱状を呈している。接合資料２と19は両極剝離により棒状となった特徴的な資料である。分類は楔形石器としたが，おそらく台形様石器の素材剝片剝離のための石核的な機能を有していたと推測される。両極剝離による調整によって整形された台形様石器やこのような石核的機能を有した楔形石器の存在を考慮すると，14・16のような資料も未調整部分を刃部とした台形様石器と理解しても良いのかもしれない。15・16は珪質頁岩製，17～19は凝灰岩製，14は石英製である。

20はホルンフェルス製の打製石斧である。扁平な楕円礫を素材として周縁から調整を加えたものである。平面形は左右対称形で下ぶくれ状となり，下半部に最大幅がくる。最大厚は器体中央にあり刃部に向かって急激に薄くなる。刃部は円形に整えられているが，研磨痕は観察されない。

接合資料３は凝灰岩製の刃部磨製石斧である。20と同様に扁平な礫を用いて厚みのある端部を刃部に設定している。平面形は左右対称形で寸詰まりな短冊状を呈している。刃部は円弧状をなし，その稜は正面から見ると直線状となっているが，刃こぼれなど使用の痕跡が全く見られないことから，研磨終了直後にアクシデントで上下に分断された石斧が未使用のまま廃棄されたと考えられる（あるいは何かしら意図をもった折断と捉えることもできるかもしれない）。側縁の一部と刃部の研磨面に研磨されなかった小さな剝離面が残されているが，極僅かである。調整剝離によってあらかた整えられた刃部に対して入念な研磨が施されたため，ほとんどこのような剝離面が残らなかったと理解される。分布は，集中域ｂ（基部片）と集中域ｄ（刃部片）に分かれ，その距離は約７ｍである。

23～32は楔形石器・楔形石器剝片である。チャート（23・30）・珪質頁岩（24・29）・石英（25～27）・黒曜石（28・31・32）が見られ，多彩な石材が用いられている。いずれも加撃方向は一方向のみで，最大長20㎜前後以下の小型のものである。両極剝離調整による台形様石器との違いは明瞭ではなく，きわめて主観的なものであるが，鋭利な未調整刃部をもたないものを楔形石器としている。

33～89は剝片・微細剝離痕のある剝片・石核，あるいはそれらの接合資料を掲載した。幅広で寸詰まりなものと縦長剝片が共存する。特に後者を57～80にまとめた。縦長剝片には単独母岩のもの（57～60・63）

以外にも，安山岩Ａを主体とした剝片剝離がブロック内で見られる。打面は平坦な単一剝離面が多く，特徴的である。

石　材　安山岩Ａ44点，安山岩Ｂ20点，安山岩10点，珪質頁岩52点，黒曜石51点，メノウ45点，チャート25点，ホルンフェルス20点，凝灰岩21点，石英７点，砂岩４点，流紋岩２点，黒色頁岩１，その他４点で構成される（第３・４表)。一つの石材が突出して用いられるというよりは，バラエティーのある構成を示している。集中域毎に主体となる石材がみられ，黒曜石は集中域ｂ，メノウは集中域ｇ，珪質頁岩は集中域ｄ・ｅ・ｈにまとまって分布している。

安山岩Ａは各集中域から出土しているが，点数的には10点前後分布する集中域ｂ・ｃ・ｈに多い。風化が著しいため母岩分類は行っていないが，接合資料には母岩№19を付けた。いわゆる「黒色緻密質安山岩」や「ガラス質黒色安山岩」と呼ばれているもので，風化剝離面は明るい灰色を呈し，表面は指に引っかかるようにザラついている。自然面には爪形の裂痕が顕著で，内部はガラス質で黒色を呈している。台形様石器６点（３・７・９・10・12・13)，楔形石器剝片１点，剝片27点（73～81)，砕片10点で構成される。台形様石器６点のうち５点が両極剝離による調整が施されたものである。同石材の剝片剝離には，縦長剝片が生産される通常の一般的な剝片剝離と，両極剝離の両者が見られる。

安山岩Ｂはいわゆる「トロトロ石」のことを指すが，著しく風化しているため母岩分類は行わない。ただし，接合したものについては母岩№20とした。分布は各集中域に広がるが，集中域ｇに７点がまとまり，接合資料９も同集中域に収束する。台形様石器１点（11)，楔形石器１点，剝片類17点（68～72・82・83)，石核１点（84）で構成される。台形様石器はやはり両極剝離によるものである。

珪質頁岩は25点６母岩を抽出した(母岩№３～８)。珪質頁岩は，単独母岩が多く，各母岩の点数も少ないのが特徴で，接合資料も少数しか確認できなかった。遺跡内での素材剝片生産の痕跡は乏しく，搬入された素材剝片に若干の調整が加えられる程度のものではなかったかと推測される。分布は10点前後分布する集中域ｄ・ｅ・ｈに偏在する。母岩№３は灰色を帯びた珪質頁岩で，剝片５点（44・45)・砕片２点で構成される。砕片同士が折れ面で接合した資料を含む(実測図未掲載)。母岩№４は，風化剝離面が若干粉を吹いたかのような濃緑灰色を呈した母岩で，自然面は黄土色を呈した典型的な嶺岡産の珪質頁岩の特徴を有する。剝片６点，砕片１点で構成され，剝片２点の接合資料がある(実測図未掲載・図版12)。母岩№５は，風化剝離面は僅かに緑がかった薄黄土色を呈した光沢をもつもので，被熱により赤化したものがある。台形様石器１点（８)，楔形石器２点（16・24)，剝片１点で構成され，両極剝離による調整が顕著な母岩であるが，資料はきわめて少ないことから主に製品が持ち込まれたのであろう。母岩№６は黒色を呈した珪質頁岩で光沢はない。台形様石器１点(２)，楔形石器剝片１点，剝片１点(37)で構成される。母岩№５と同様に製品が持ち込まれ，遺跡内では両極剝離が僅かに行われたにすぎない。母岩№７は楔形石器剝片１点，剝片１点で構成される母岩で，白色を帯びた薄青灰色を呈している。母岩№８は剝片２点が接合したもので(接合資料７)，やや赤みを帯びた乳灰色を呈した特徴的なものである。その他，単独母岩であっても嶺岡産の特徴を有するものが多い点を指摘できる。

黒曜石は大きく２母岩に分かれる(母岩№１・２)。微細剝片のため分類不明のものも含めて，黒曜石はすべて集中域ｂに集中する。母岩№１は透明感はあるが全体に均質に曇りがかった母岩で，斑晶も混在する。同母岩は，楔形石器１点（28)，楔形石器剝片３点（31・32)，使用痕のある剝片１点，剝片11点（39・40)，砕片24点で構成され，全黒曜石51点中40点が属する。母岩№２は母岩№１と同様の質感を示し斑晶

も混在するが，内部に縞状の模様が明瞭に観察される資料である。使用痕のある剝片１点，剝片２点，砕片４点の７点が抽出された。両母岩とも，両極剝離に関する砕片類が大半を占める。

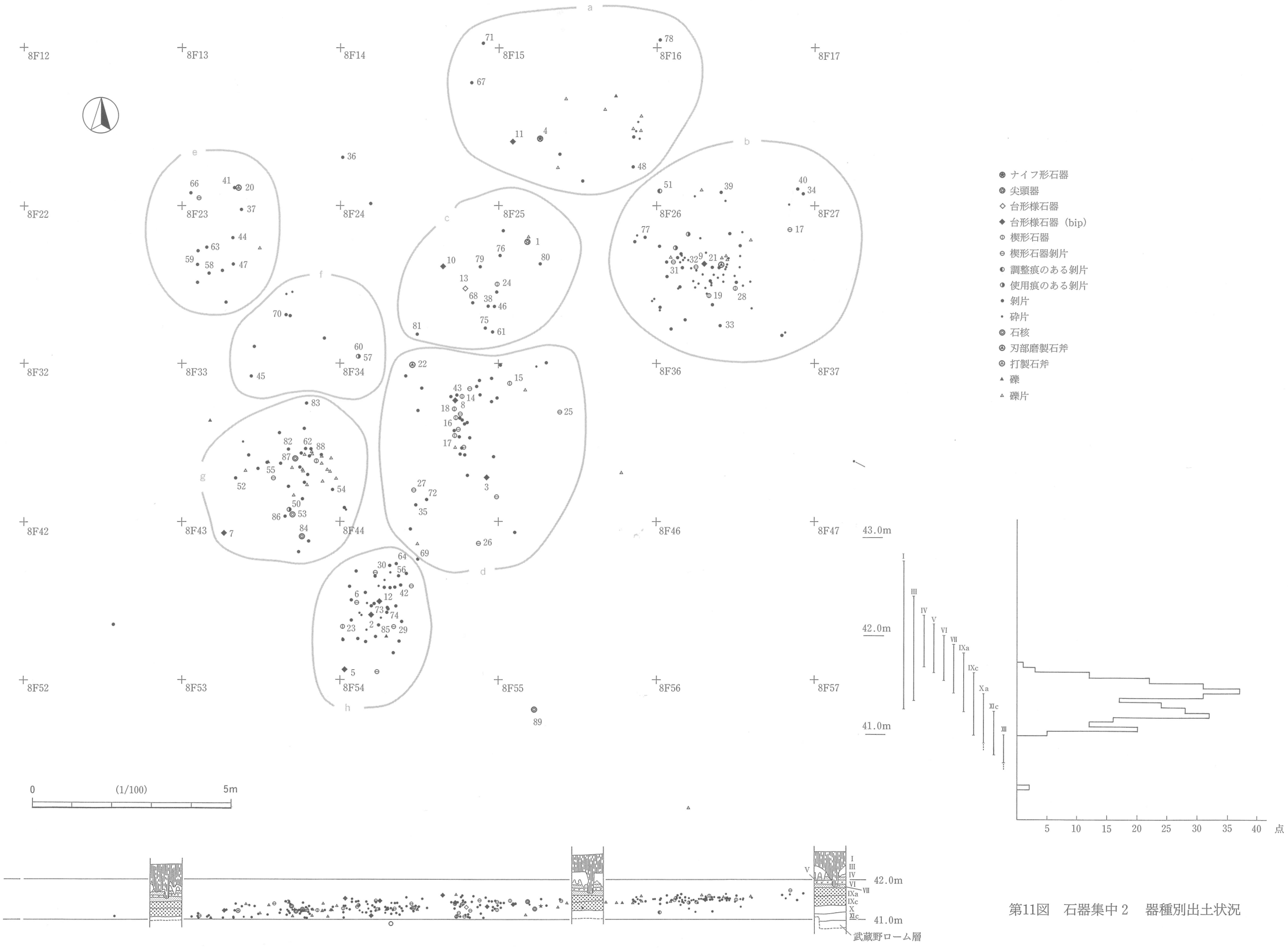
メノウは４母岩を抽出した(母岩№14～16・18)。母岩№14は接合資料２個体を含む，剝片５点，石核１点の合計６点で構成される(接合資料５・６)。直方体状の素材を分割したものを素材とし，自然面を打面として小型剝片が剝離される。光沢のある平坦な自然面が特徴で，母岩№16よりも白っぽい色調を呈している。集中域ｇに５点が分布し，隣接する集中域ｈに１点が分布する。母岩№15は母岩№14とよく似ているが，母岩№15の方が透明感ある印象を受ける(50)。ただし，その分布は集中域ｇ・ｈであり，母岩№14と同じ分布域を示すことから両者は同一母岩である可能性も否定できない。母岩№16は全体に燈色を帯びた母岩で，特に自然面と接する部分は濃くなり，内部には気泡が点在する。礫面は爪形状の裂痕が密集する特徴的なものである。調整痕のある剝片１点，剝片５点（47～49）の合計６点で構成される。分布は集中域ａ・ｂ・ｅ・ｇに広く散在する。母岩№18は白色を呈した礫面をもち，内部は網目状の模様が見られるもので，剝片３点，砕片１点，石核１点，礫片18点の合計23点で構成される(接合資料10)。おそらく被熱によって変形しハジけたものと思われる。分布は集中域ｇに集中し，１点のみ隣接する集中域ｈから出土した。

凝灰岩は４母岩を抽出した(母岩№11・12・22・24)。母岩№11は灰色を呈した母岩で棒状の楔形石器１点（19）と剝片・砕片３点で構成される。分布は集中域ｂにまとまる。母岩№12は緑色を呈した母岩で，母岩№11と同様の形態を呈した棒状の楔形石器２点（接合資料２）と剝片類７点で構成される。分布は集中域ｄにまとまる。両母岩とも楔形石器と両極剝離によって剝がされた剝片類で占められるが，先にも述べたように楔形石器としたものは台形様石器の素材剝片生産のための石核的な機能を持った石器と考えられる。母岩№22は上下に分断された刃部磨製石斧のことで(接合資料３)，複数点数といっても接合によって１点に復元したためこれは単独母岩と捉える。集中域ｂと集中域ｄから約７ｍ離れて出土した。

ホルンフェルスは３母岩を抽出した。母岩№９と母岩№10は風化が著しい母岩で，風化剝離面は白く粉をふいた状況を呈している。より風化が激しいものを母岩№９とした(85)。両母岩とも大半は集中域ｈにまとまるが，母岩№９が北側に，母岩№10が南側に偏在する。剝片・砕片類で占められる。母岩№27は縦長剝片の端部が折れた資料で，複数点数といっても接合によって１点に復元されたため単独母岩と捉える（接合資料８)。集中域ｃと集中域ｇから約５ｍ離れて出土した。

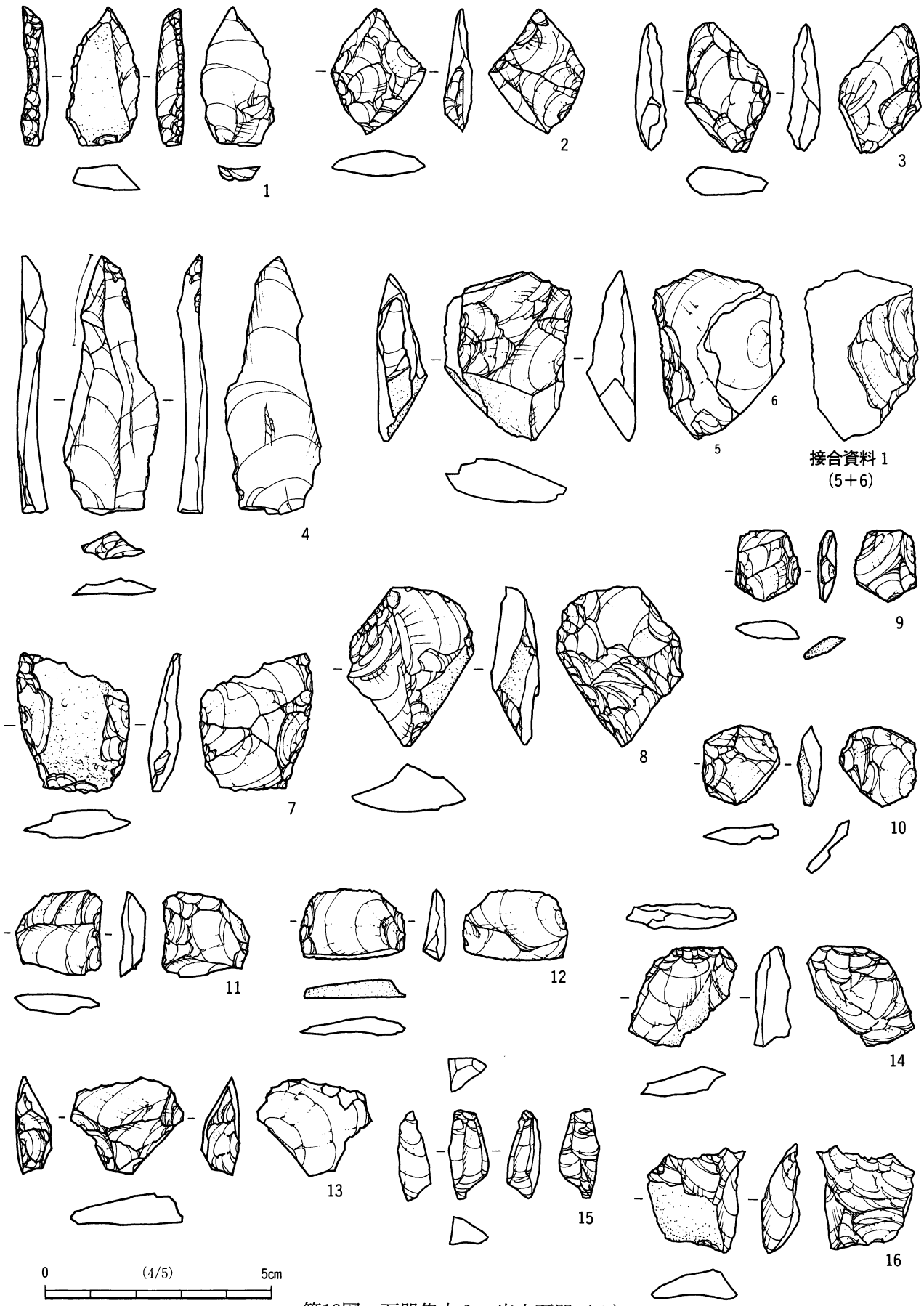
チャートは３母岩を抽出した(母岩№13・23・26)。母岩№13は青色を呈し，ひも状の模様のはいるものである。楔形石器１点（23)，楔形石器剝片１点（30)，剝片３点（33・35)，砕片２点の７点がある。集中域ｈに５点，集中域ｄと集中域ｂに各１点ずつ分布している。黒曜石と同様に両極剝離を行う母岩である。母岩№23は全体に白色帯びた濃緑色が霜降り状に混じる母岩で，破砕した礫片同士の接合資料を中心に，剝片１点，礫片５点で構成される。分布は集中域ｂにまとまる。母岩№26は風化剝離面が粉を吹いたようなザラついたもので，熱を受けたため赤化している。剝片３点で構成され(43)，集中域ｄに分布する。剝片の状況から一般的な剝片剝離に供されたようである。

石英はすべて同一母岩と判断した（母岩№17)。楔形石器１点（14)，楔形石器剝片３点（25～27)，剝片３点（38）の合計７点で構成される。通常の剝離では困難と思われる石英を両極剝離によって何とか剝がしているといった印象である。分布は集中域ｄにあり，あまりまとまらず散在する状況である。

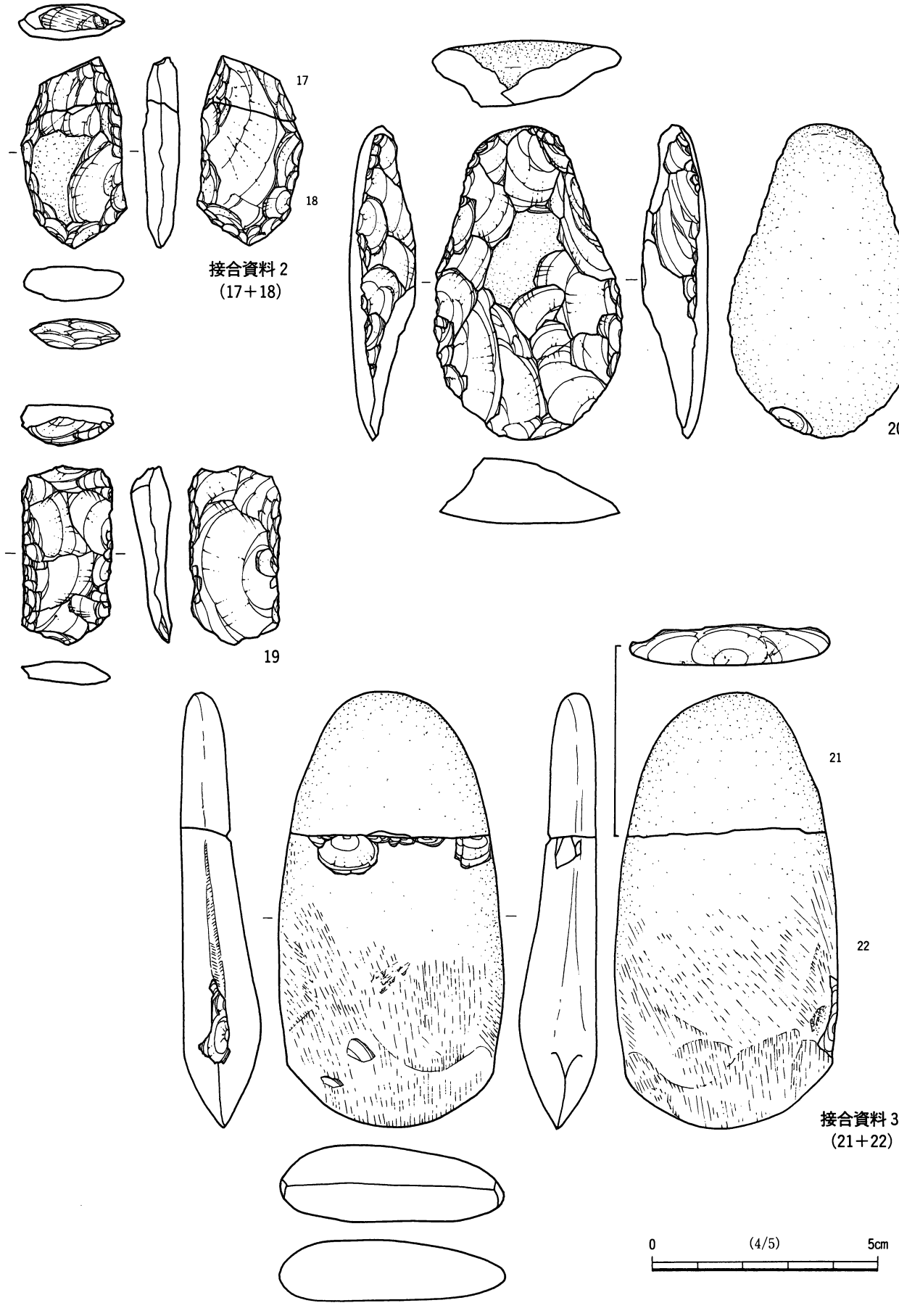


第11図　石器集中２　器種別出土状況

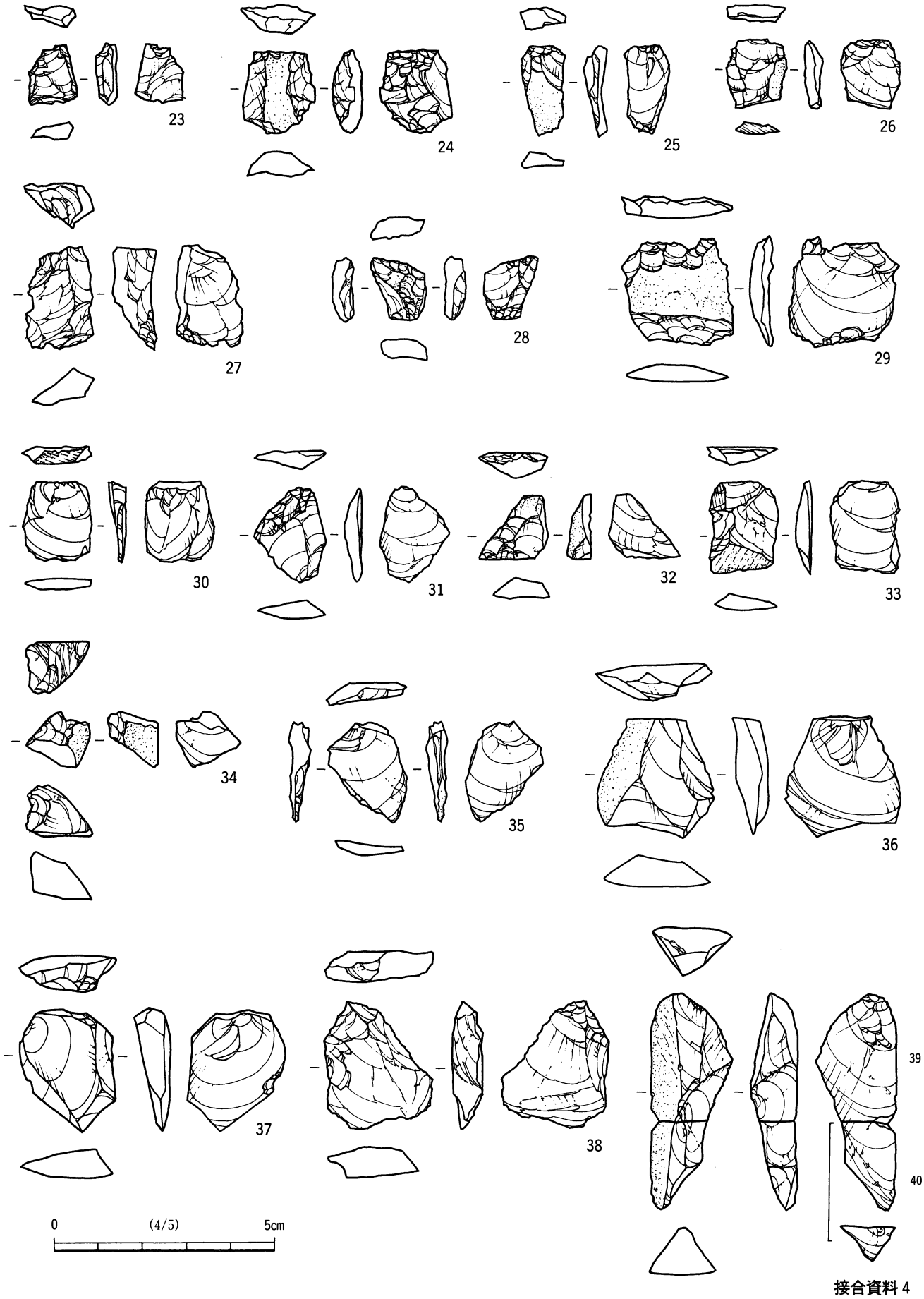
第12図　石器集中２　石材別出土状況



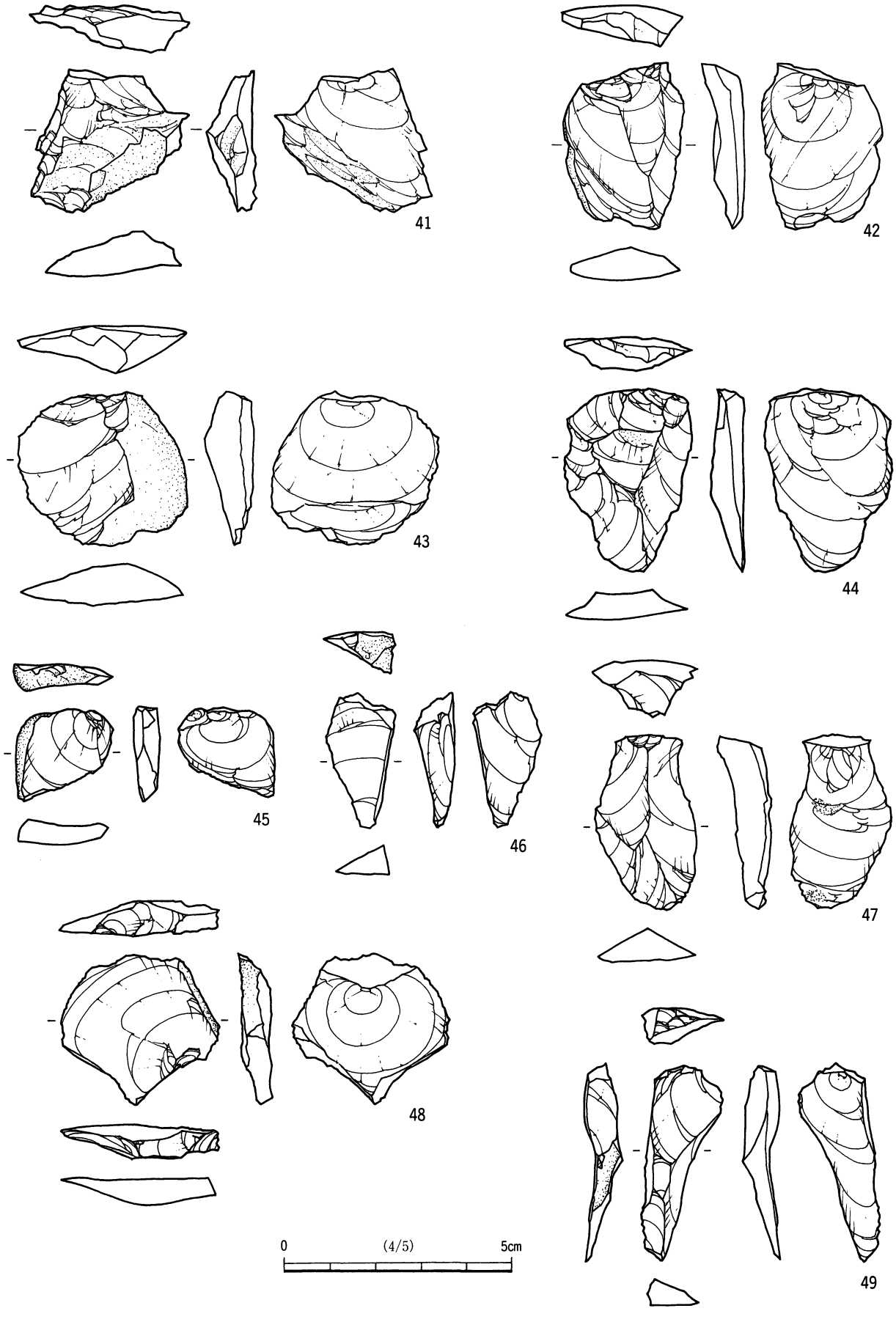
第13図　石器集中２　出土石器（１）



第14図　石器集中 2　出土石器（2）

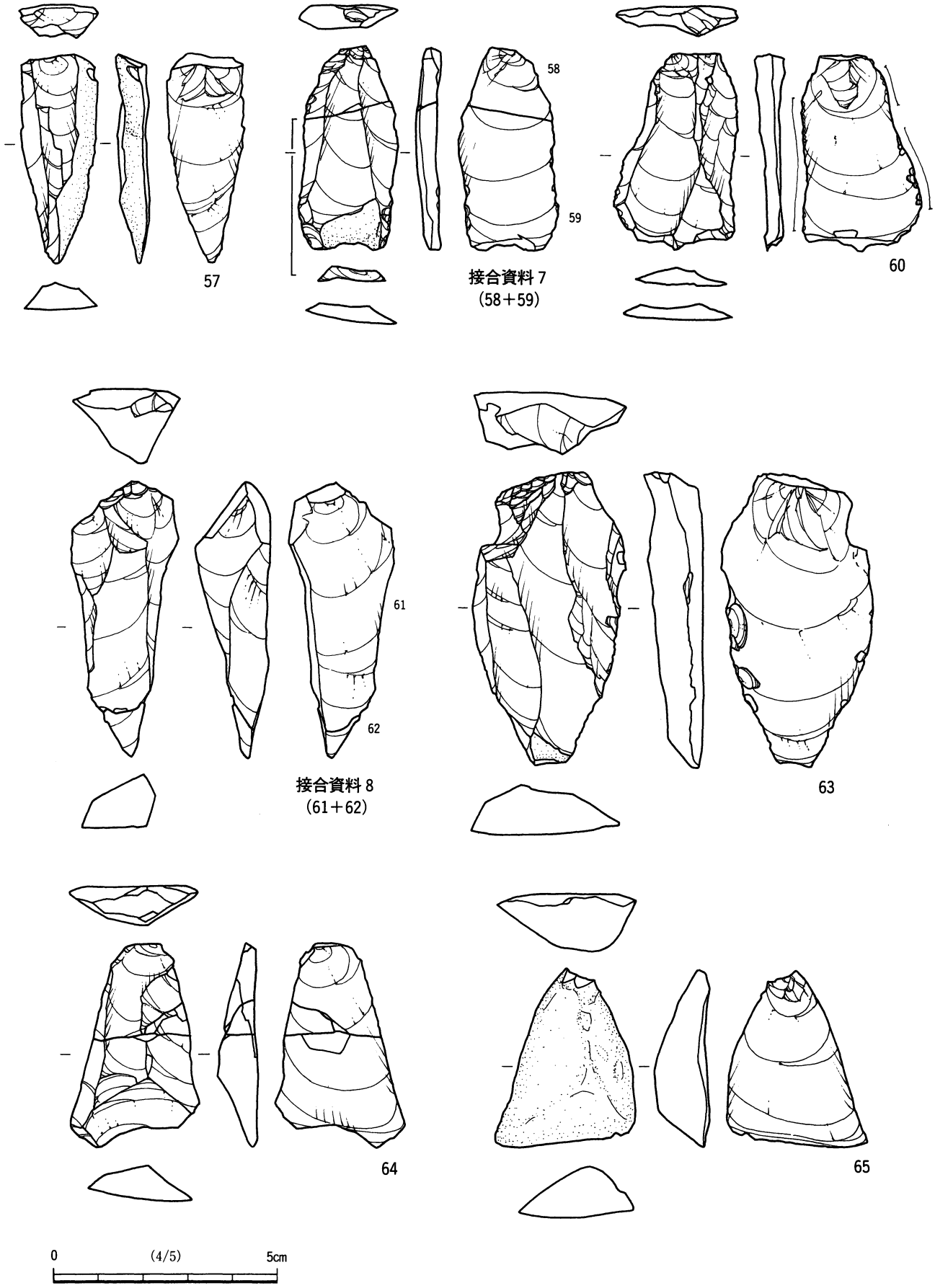


第15図　石器集中２　出土石器（３）

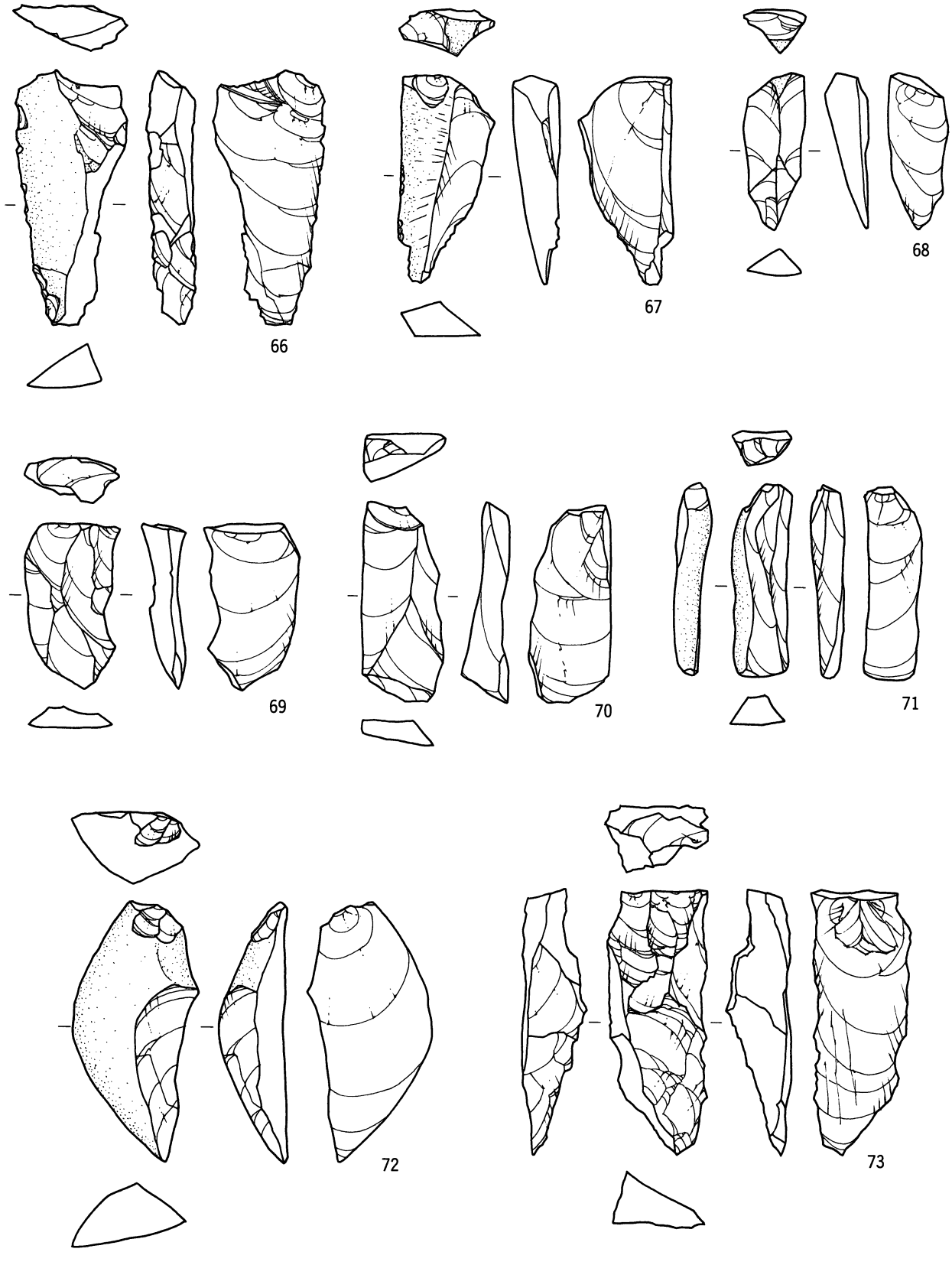


第16図　石器集中２　出土石器（４）

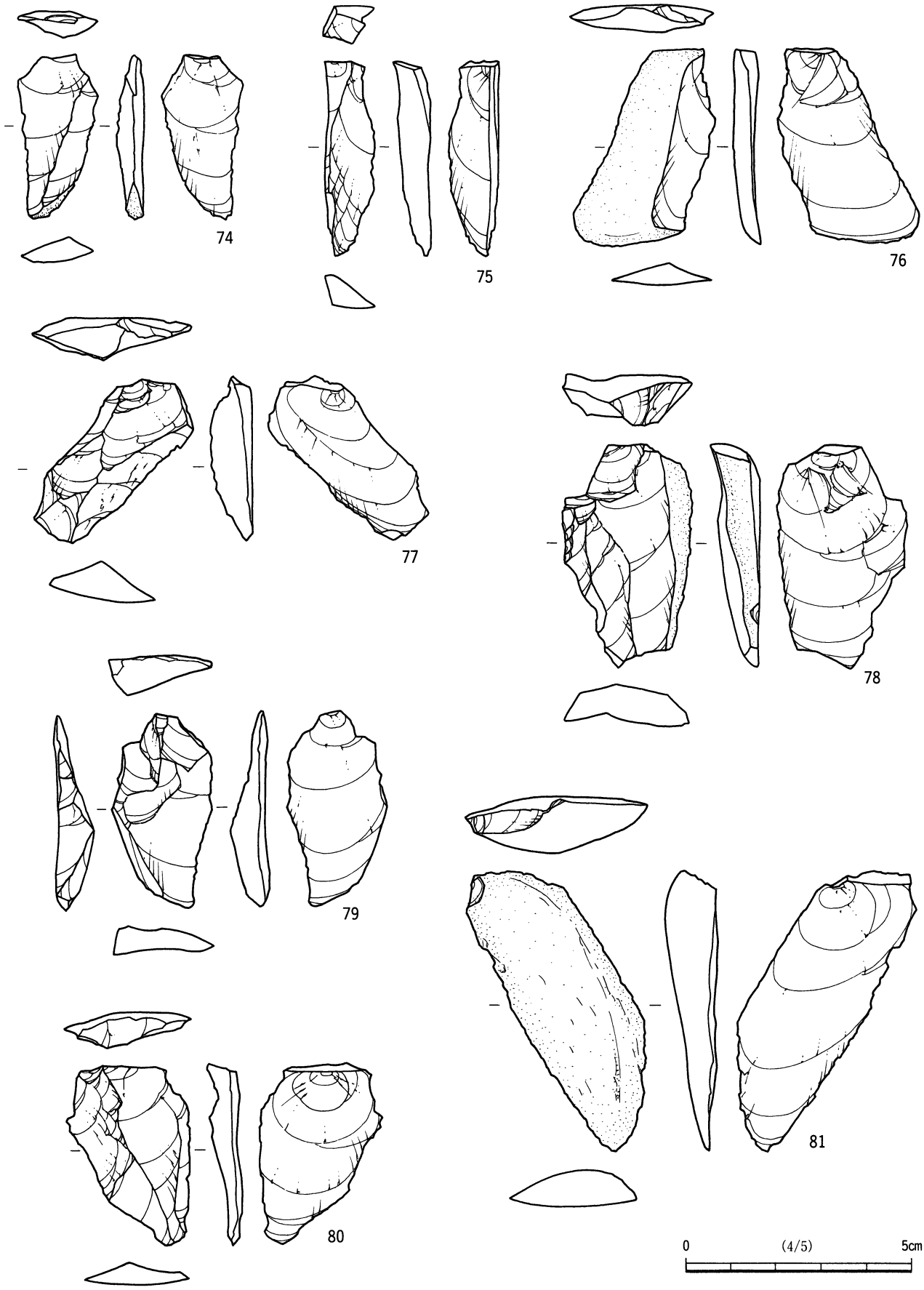
第17図　石器集中 2　出土石器（5）



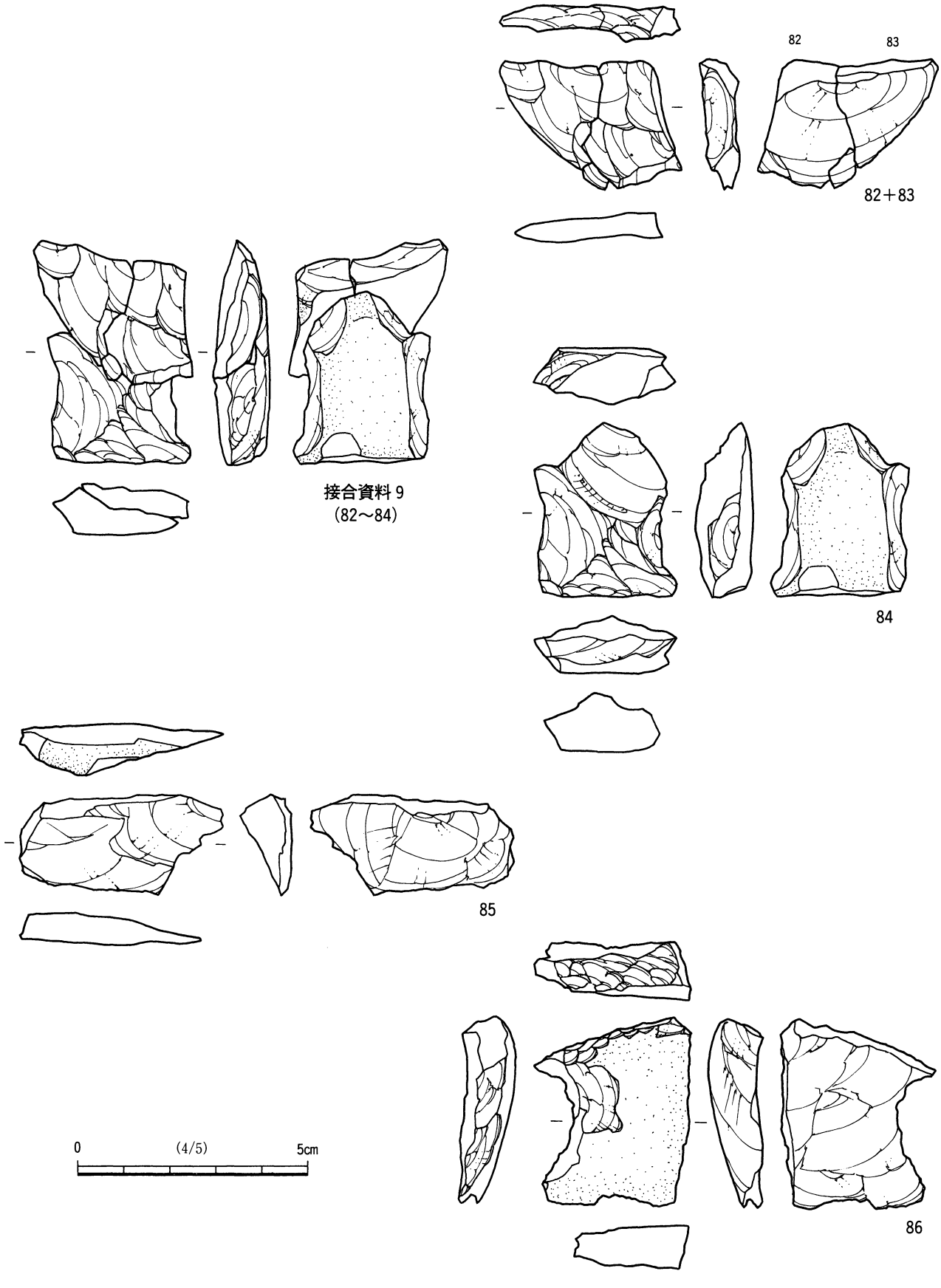
第18図　石器集中2　出土石器（6）



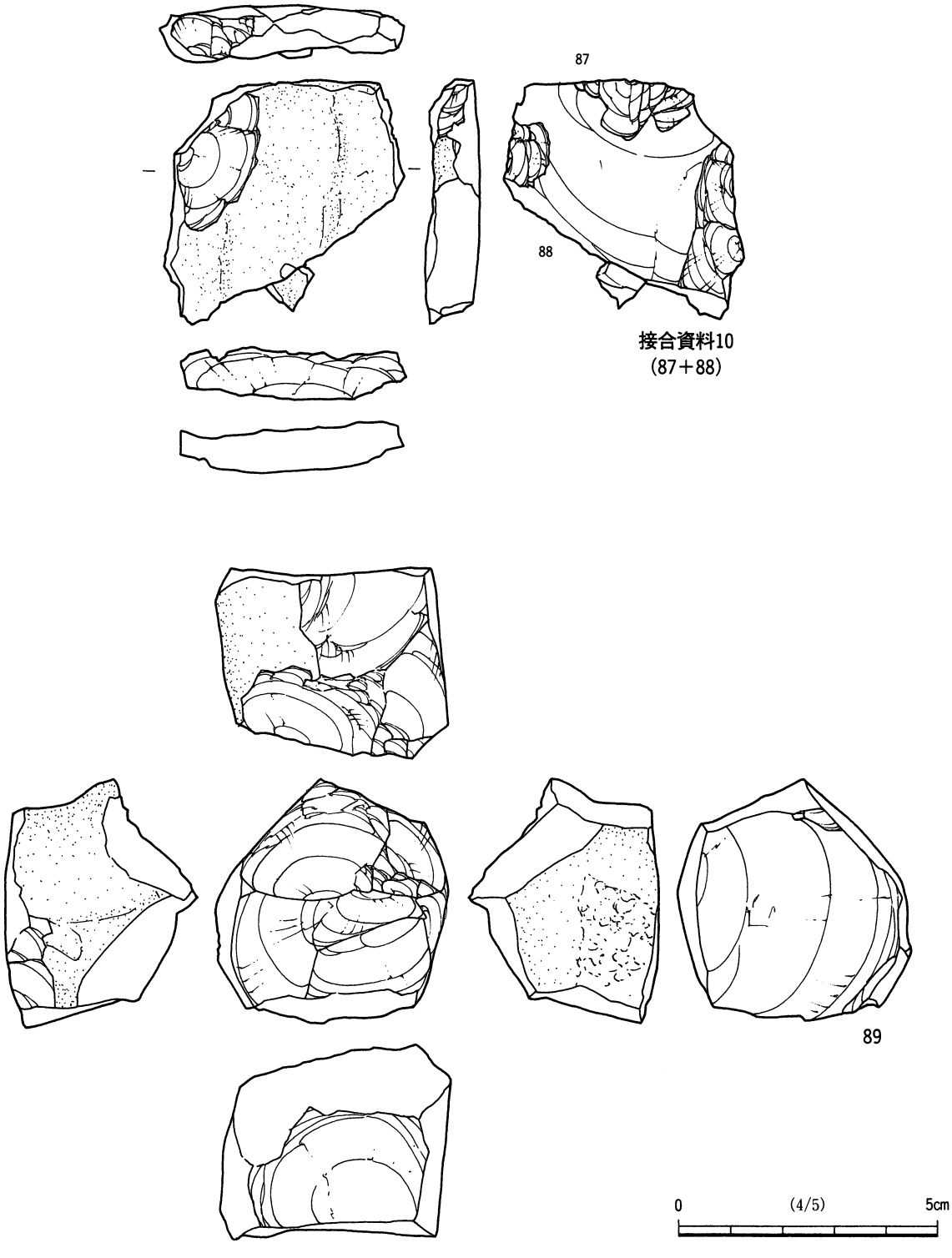
第19図　石器集中２　出土石器（７）



第20図　石器集中２　出土石器（８）



第21図　石器集中２　出土石器（９）



第22図　石器集中２　出土石器（10）

3　石器集中3（第23図，第5・12表，図版13）

分　布　8H02～05グリッドに点在する小規模なブロックである。クラムシェルによる確認調査で確認グリッド2か所（8H02・04グリッド）から剥片と石核が各1点検出されたため周辺を広く広げたが，新たに小礫片2点を検出しただけであった。出土層位は第2黒色帯下半部（Ⅸ層）であるが，確認調査時に出土した遺物の出土層位は，重機を使用したため限定できず，Ⅶ層～Ⅹ層まで幅広く捉えることしかできない。

器種・石材　剥片1点，石核1点，礫片2点の合計4点が出土した。1はチャート製の石核で平坦な未調整剥離面を打面として小型剥片を剥離している。裏面には自然面が大きく残っている。2は矩形を呈したやや厚みのある剥片で，打面調整の施された石核から剥離されている。左側面にはガジリ痕が見られ，背面には自然面が残っている。珪質頁岩製である。

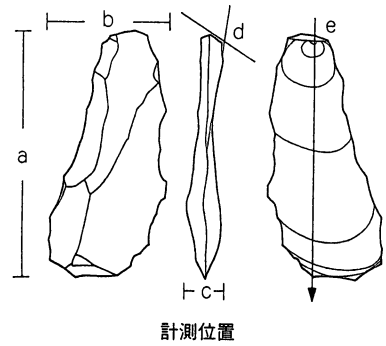
第5表　石器集中3　組成表

	剥片	石核	礫片	合計	組成比
チャート		1 32.36	1 6.56	2 38.92	50.0 72.5
凝灰岩			1 1.37	1 1.37	25.0 2.6
珪質頁岩	1 13.38			1 13.38	25.0 24.9
合計(点数) 合計(重量)	1 13.38	1 32.36	2 7.93	4 53.67	100.0 100.0
組成比(点数) 組成比(重量)	25.0 24.9	25.0 60.3	50.0 14.8	100.0 100.0	

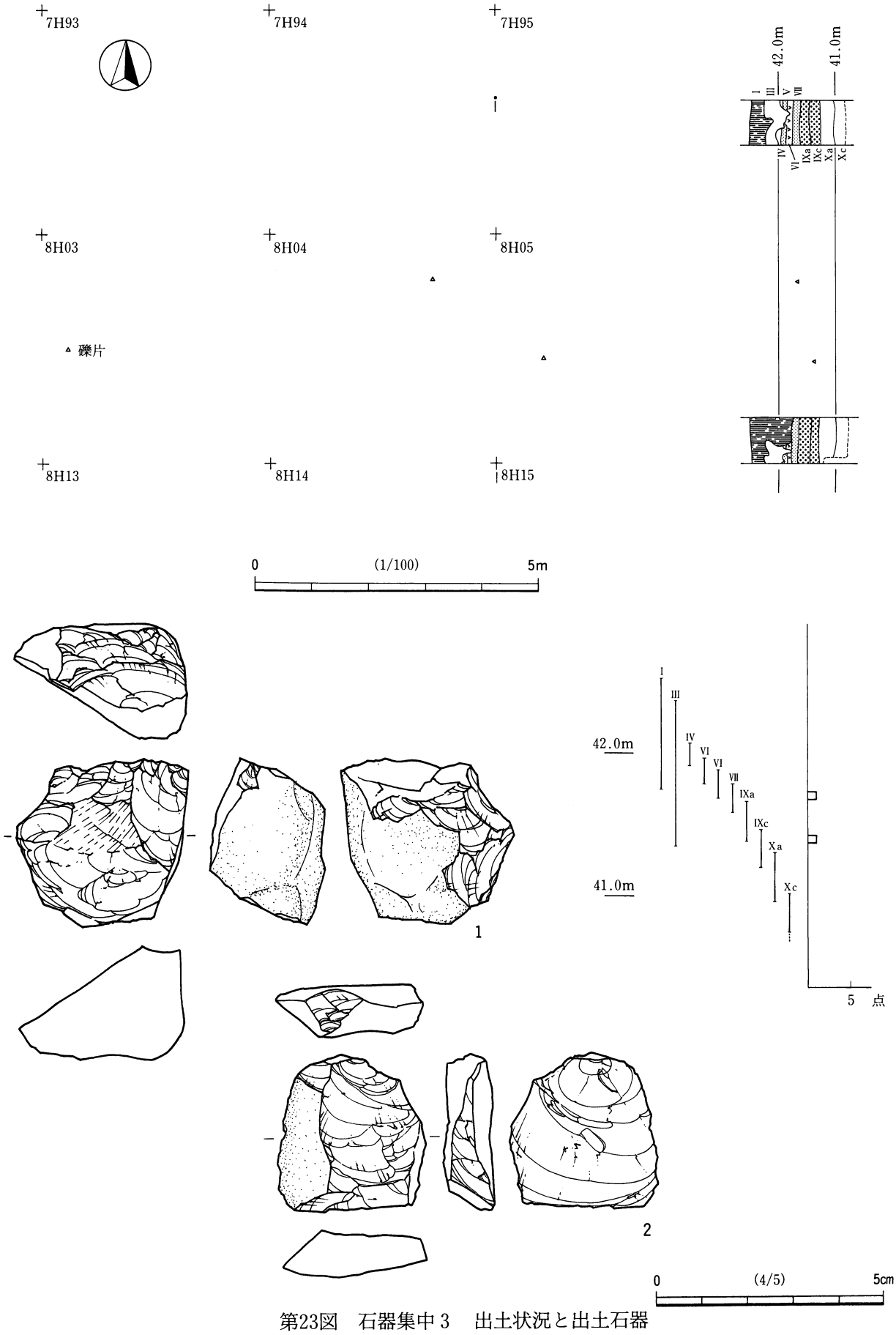
観察表について

・**挿図No.**　実測図を掲載した遺物の通し番号。平面分布図に付した番号，写真図版の番号と一致する。実測図を掲載しなかったものについてはグリッド，遺物No.順に続けて並べた。
・**器　種**　砕片については，最大長・最大幅の両者が10㎜以下のものとした。
・**最大長・最大幅・最大厚・打角**　計測方法については下図に示した。
・**打面形状**　Cは自然面，Pは点状打面，Lは線状打面，1は平坦打面，2以上は複剥離打面を示し，括弧内はそのうちネガティブバブルの残る剥離面の数を示している。空欄は欠損等による打面なし，計測不可を示す。
・**打面調整・頭部調整**　観察されるものについて「○」で示した。
・**背面構成**　主要剥離面の剥離方向を基準とし，背面を構成する剥離面の加撃方向と剥離面の数を記した。ただし，変形度の高いもの（楔形石器等）は記さなかった。砕片はわかる範囲で記した。H＝頭部側，T=尾部側，R＝背面を正面にして右側，L＝左側，D＝背面側，V＝腹面側からの加撃方向を示す。自然面（C），節理面（S）を有する資料については「○」で示した。
・**折面部位**　主要剥離面の剥離方向を基準とした折れ面の部位。H＝頭部側，T=尾部側，R＝背面を正面にして右側，L＝左側を示す。
・**末　端**　F＝フェザーエンド，H＝ヒンジフラクチャー，S＝ステップフラクチャー，O＝ウートラパッセを示す。
・**石　材**　石材名を記した。石材毎の大別をアルファベットで記した。大別の特徴は本文中に記載した。
・**母岩No.**　母岩の抽出は，基本的に複数の石器が帰属する母岩のみを対象とした。したがって，単独個体のものや細分困難なものについては番号を付していない。ただし，細分困難なものでも接合した場合には，接合関係にあるもののみに母岩No.を振った。母岩No.は各石器集中地点毎に，別石材であっても関係なく通し番号とした。
・**接合No.**　石器集中地点毎に，接合個体に対して，接合No.を振った。礫片同士の接合等，実測図を掲載しなかったものについては，（　）を付けた。
・**層　位**　調査時の層名を記した。
・**X座標・Y座標**　Ⅸ系平面直角座標の原点（経度139°50′00″，緯度36°00′00″）からの距離を示す。ただし，この値は日本（旧）測地系によるものである。

a 最大長　d 打角
b 最大幅　e 加撃方向
c 最大厚



計測位置



第23図　石器集中３　出土状況と出土石器

第6表　ＡＴ下位石器　群観察表（1）

石器集中	挿図No.	グリッド	遺物番号	器種	石材	母岩No.	接合No.	層位	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	打面形状	打角°	打面調整	頭部調整	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整角°	先端角°	調整部位	折面部位	末端	X座標	Y座標	標高	備考
1	1	10F44	001c	剥片	珪質頁岩	3			20.7	31.2	6.2	3.20	1	132		○	○		5										F				プレ試掘
1	2	10F44	001d	剥片	珪質頁岩	3			24.9	18.0	6.7	2.24	2(1)	124			○							1					F				プレ試掘
1	3	10F44	0012	剥片	珪質頁岩	2		Ⅹ層	25.2	23.5	6.9	2.64	2(1)	113					2	1		1							H	-26179.045	51598.859	41.382	
1	4	10F44	0010	剥片	珪質頁岩	2		Ⅹ層	24.7	21.8	13.3	4.01	L						1				2	1					F	-26178.166	51599.867	41.364	
1	5	10F44	001b	剥片	珪質頁岩	2			35.4	34.0	10.9	12.03	1	123					1			3		1					H				プレ試掘
1	6	10F44	0008	使用痕のある剥片	珪質頁岩	1	1	Ⅸ層下部（Ⅸc層）	27.1	25.0	6.4	3.93	3	117					3		1								H	-26179.161	51598.808	41.630	
1	7	10F44	0011	剥片	珪質頁岩	1	1	Ⅹ層	28.7	23.4	8.1	4.33	1	128					2			5							F	-26178.664	51598.126	41.351	
1	8	10F44	001g	剥片	珪質頁岩	1	1		16.4	12.2	2.9	0.60	2	117					1				1						H				プレ試掘
1	9	10F44	0002	剥片	珪質頁岩	1	1	Ⅹ層	14.6	12.6	6.5	0.61	1	100					2			1							F	-26177.181	51599.216	41.271	
1	10	10F44	001e	剥片	珪質頁岩	1	2		21.5	21.7	5.2	1.85	1	115								1							H				プレ試掘
1	11	10F44	0005	剥片	珪質頁岩	1	2	Ⅹ層上部（Ⅹa層）	20.4	17.7	5.7	1.61	1	115							2	2							H	-26179.910	51597.284	41.314	
1	12	10F44	0004	剥片	珪質頁岩	1	2	Ⅸ層下部（Ⅸc層）	31.0	25.1	12.3	8.18	1	121					4	2									F	-26177.387	51596.399	41.511	
1	13	10F44	0003	石核	珪質頁岩	1	2	Ⅸ層下部（Ⅸc層）	20.0	22.5	19.1	10.34																		-26176.467	51598.762	41.492	
1	14	10F44	0006	剥片	珪質頁岩	1	2	Ⅹ層	20.5	17.3	8.0	1.64	1	106					2				1						H	-26179.377	51597.601	41.272	
1	15	10F44	001a	石核	珪質頁岩	1	2		25.9	51.3	27.6	41.16																					プレ試掘
1		10F44	001f	剥片	珪質頁岩	2			18.8	12.2	4.8	0.73	1	100					3										F				プレ試掘
1		10F44	0007	使用痕のある剥片	珪質頁岩	2		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	17.8	11.8	3.5	0.43										2						H		-26178.521	51597.974	41.428	
1		10F44	0009	礫片	チャート			Ⅹ層	21.7	9.3	5.5	1.19																		-26178.883	51599.458	41.348	
1		10F45	0002	剥片	珪質頁岩	1		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	11.8	5.9	3.0	0.19	1	135					2										F	-26177.900	51601.457	41.560	
2c	1	08F25	0005	尖頭器	珪質頁岩			Ⅸ層上部（Ⅸa層）	31.3	15.5	4.8	3.30																		-26088.918	51600.724	41.462	
2h	2	08F44	0046	台形様石器(bip)	珪質頁岩	6		Ⅹ層	27.6	20.6	5.7	2.61																		-26098.352	51596.789	41.114	
2d	3	08F34	0014	台形様石器(bip)	安山岩A			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	30.0	18.3	6.7	3.64																		-26094.865	51599.706	41.342	
2a	4	08F15	0012	ナイフ形石器	珪質頁岩			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	56.8	21.0	5.3	4.98							3									H	F	-26086.278	51601.050	41.339	
2h	5	08F44	0033	台形様石器(bip)	安山岩	21	1	Ⅶ～Ⅸ層	36.8	26.6	7.5	6.60																		-26099.716	51596.110	41.550	
2h	6	08F44	0045	楔形石器調整剥片	安山岩	21	1	Ⅸ層下部（Ⅸc層）	17.8	24.9	5.0	1.86	C	90															F	-26098.055	51596.418	41.321	
2g	7	08F43	0002	台形様石器(bip)	安山岩A			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	32.9	24.7	6.0	4.84																		-26096.305	51593.063	41.230	
2d	8	08F34	0006	台形様石器(bip)	珪質頁岩	5		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	35.2	27.4	9.7	6.82																		-26092.933	51598.892	41.447	
2b	9	08F26	0021	台形様石器(bip)	安山岩A			Ⅸ層上部（Ⅸa層）	15.1	13.8	3.5	0.89																		-26089.497	51605.205	41.506	
2c	10	08F24	0010	台形様石器(bip)	安山岩A			Ⅶ層	17.6	17.1	4.3	1.38																		-26089.533	51598.587	41.634	
2a	11	08F15	0013	台形様石器(bip)	安山岩B			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	18.4	18.5	4.9	1.71																		-26086.366	51600.357	41.389	
2h	12	08F44	0014	台形様石器(bip)	安山岩A			Ⅸ層上部（Ⅸa層）	15.3	23.1	3.8	1.72																		-26098.013	51596.998	41.477	
2c	13	08F24	0009	台形様石器	安山岩A			Ⅸ層	21.0	25.2	7.8	4.01																		-26090.100	51599.157	41.333	
2d	14	08F34	0005	楔形石器	石英	17		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	22.6	24.3	7.4	3.50																		-26092.822	51599.083	41.441	
2d	15	08F35	0007	楔形石器	珪質頁岩			Ⅸ層上部（Ⅸa層）	19.3	9.3	6.1	0.96																		-26092.500	51600.284	41.489	
2d	16	08F34	0038	楔形石器	珪質頁岩	5		Ⅹ層	23.6	21.5	8.0	2.88																		-26093.363	51598.927	41.105	
2d	17	08F34	0037	楔形石器	凝灰岩	12	2	Ⅹ層	20.6	11.5	6.0	2.07	P					○	3											-26093.816	51598.904	41.072	
2d	18	08F34	0033	楔形石器	凝灰岩	12	2	Ⅸ～Ⅹ層	22.9	32.0	7.5	7.54																		-26093.143	51598.889	41.409	
2b	19	08F26	0007	楔形石器	凝灰岩	11		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	19.7	39.3	8.3	6.09																		-26090.269	51605.328	41.604	
2	20	08F13	002b	打製石斧	ホルンフェルス			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	69.7	41.8	14.2	42.56																		-26086.541	51595.795	41.215	
2b	21	08F26	0017	刃部磨製石斧	凝灰岩	22	3	Ⅸ層上部（Ⅸa層）	33.5	44.6	9.5	19.82																		-26089.517	51605.639	41.544	
2d	22	08F34	0019	刃部磨製石斧	凝灰岩	22	3	Ⅸ層下部（Ⅸc層）	65.9	50.1	17.2	81.29																		-26092.030	51597.827	41.292	
2h	23	08F44	0028	楔形石器	チャート	13		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	13.5	11.2	4.2	0.72																		-26098.653	51596.071	41.290	
2c	24	08F24	0013	楔形石器	珪質頁岩	5		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	20.0	16.0	6.1	2.13																		-26090.001	51599.966	41.250	
2d	25	08F35	0003	楔形石器調整剥片	石英	17		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	20.3	9.8	4.8	1.03																		-26093.241	51601.560	41.488	
2d	26	08F44	0002	楔形石器調整剥片	石英	17		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	15.3	13.5	4.2	1.06																		-26096.558	51599.493	41.504	
2d	27	08F34	0022	楔形石器調整剥片	石英	17		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	22.5	16.4	10.0	3.40	1	98					2									R	F	-26095.202	51597.841	41.220	
2b	28	08F26	0054	楔形石器	黒曜石	1		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	13.6	13.3	4.4	0.73																		-26090.102	51605.997	41.496	
2h	29	08F44	0017	楔形石器調整剥片	珪質頁岩			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	24.0	25.0	4.2	2.93	L				○		3	2									F	-26098.662	51597.362	41.287	

第７表　ＡＴ下位石器群　観察表（２）

石器集中	挿図No.	グリッド	遺物番号	器種	石材	母岩No.	接合No.	層位	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	打面形状	打角°	打面調整	頭部調整	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整角°	先端角°	調整部位	折面部位	末端	X座標	Y座標	標高	備考
2h	30	08F44	0011	楔形石器調整剥片	チャート	13		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	18.1	15.1	3.2	0.98	C	112					1										F	-26097.288	51596.889	41.478	
2b	31	08F26	0038	楔形石器調整剥片	黒曜石	1		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	21.4	15.4	3.6	0.81	P						5	2									F	-26089.436	51604.429	41.513	
2b	32	08F26	0062	楔形石器調整剥片	黒曜石	1		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	14.3	15.8	5.2	0.86					○			4								H L	O	-26089.552	51605.003	41.454	
2b	33	08F26	0005	剥片	チャート	13		Ⅸ層中部（Ⅸb層）	20.8	15.4	4.0	1.25						○	3									H	F	-26091.044	51605.603	41.486	
2b	34	08F16	0009	剥片	黒曜石	2		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	13.2	11.4	11.1	1.37					○		3										F	-26087.694	51607.704	41.670	
2d	35	08F34	0020	剥片	チャート	13		Ⅸ層	23.7	16.6	4.2	1.65	P				○											R L	H	-26095.572	51597.901	41.354	
2	36	08F14	0002	剥片	珪質頁岩			Ⅸ層上部（Ⅸa層）	27.2	26.2	7.1	4.99	1	97			○		3	1									S	-26086.792	51596.070	41.058	
2e	37	08F23	0016	剥片	珪質頁岩	6		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	26.6	20.8	6.4	3.74	C	110					2	1									F	-26088.098	51593.505	41.337	
2c	38	08F24	0011	剥片	石英	17		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	22.7	30.3	7.1	5.37																H	F	-26090.557	51599.729	41.479	
2b	39	08F16	0007	剥片	黒曜石	1	4	Ⅸ層上部（Ⅸa層）	29.4	21.3	10.6	4.46	1	100			○		2				1					T		-26087.687	51605.634	41.633	
2b	40	08F16	0010	剥片	黒曜石	1	4	Ⅸ層中部（Ⅸb層）	20.1	12.1	7.9	1.57					○		2				1					H	H	-26087.571	51607.555	41.495	
2e	41	08F13	002a	剥片	珪質頁岩			Ⅸ層上部（Ⅸa層）	32.0	32.2	9.5	7.45					○		2	1								H	S	-26087.550	51593.323	41.237	
2h	42	08F44	0043	剥片	珪質頁岩			Ⅸ層上部（Ⅸa層）	36.9	28.1	7.4	7.25	1	103			○		3										H	-26097.610	51597.543	41.292	
2d	43	08F34	0007	剥片	チャート	26		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	33.3	36.6	9.6	9.94	1	118		○	○		2										H	-26092.805	51598.948	41.447	
2e	44	08F23	0015	剥片	珪質頁岩	3		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	40.0	28.3	7.2	7.00	1	102					4										F	-26088.813	51593.290	41.068	
2g	45	08F33	0029	剥片	珪質頁岩	3		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	20.5	21.1	5.2	2.72	C	115			○		2										H	-26092.321	51593.758	41.066	
2c	46	08F24	0006	剥片	メノウ			Ⅸ層上部（Ⅸa層）	28.4	14.5	8.1	2.62							1									H・R		-26090.559	51599.893	41.490	
2e	47	08F23	0009	剥片	メノウ	16		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	38.2	21.7	10.5	6.11	1	108					3			1							F	-26089.496	51593.291	41.048	
2a	48	08F15	0008	剥片	メノウ	16		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	33.2	35.4	7.0	7.43	2	137			○				1							T		-26087.018	51603.397	41.514	
2	49	08F14	0001	剥片	メノウ	16			43.5	17.1	8.4	3.56	4	109			○		3	3									F				確認グリッド出土
2g	50	08F33	0011	使用痕のある剥片	メノウ	15		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	17.4	14.9	2.9	0.76																		-26095.691	51594.697	41.457	
2b	51	08F16	0004	調整痕のある剥片	メノウ	16		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	26.4	21.7	10.5	5.46					○		1				1						S	-26087.627	51604.070	41.512	
2g	52	08F33	0024	剥片	メノウ	14	5	Ⅸ層上部（Ⅸa層）	23.4	16.7	7.4	2.89	1	120			○					1							H	-26094.903	51593.357	41.402	
2g	53	08F33	0009	石核	メノウ	14	5	Ⅸ層下部（Ⅸc層）	36.4	22.1	16.0	12.32																		-26095.802	51594.805	41.169	
2g	54	08F33	0002	剥片	メノウ	14	6	Ⅸ層下部（Ⅸc層）	32.2	12.1	11.6	4.44					○				1	2						H・R・T		-26095.198	51595.802	41.320	
2g	55	08F33	0031	剥片	メノウ	14	6	Ⅹ層	25.7	19.4	10.0	4.05	2	105			○		3										H	-26094.507	51594.162	41.128	
2h	56	08F44	0042	剥片	メノウ	14	6	Ⅸ層上部（Ⅸa層）	12.8	18.4	4.2	0.81	C	115								1							F	-26097.385	51597.495	41.135	
2	57	08F24	002a	剥片	凝灰岩				47.1	17.2	6.3	7.20	1	111			○		4										F	-26091.826	51596.469	41.365	確認グリッド出土
2e	58	08F23	0011	剥片	珪質頁岩	8	7	Ⅸ層下部（Ⅸc層）	15.2	19.1	4.3	1.27	P			○			3									T		-26089.722	51592.679	41.097	
2e	59	08F23	0018	剥片	珪質頁岩	8	7		32.3	21.6	4.2	3.38					○		3									H・T		-26089.164	51592.408	41.050	
2f	60	08F24	002b	使用痕のある剥片	珪質頁岩			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	45.1	27.7	6.7	6.24	1	98					5		1							T		-26091.826	51596.469	41.365	
2c	61	08F24	0012	剥片	ホルンフェルス	27	8	Ⅸ層下部（Ⅸc層）	54.5	23.6	16.9	15.34	1	123		○			5	1									F	-26091.207	51599.844	41.334	
2g	62	08F33	0015	剥片	ホルンフェルス	27	8	Ⅸ層下部（Ⅸc層）	11.0	11.0	2.4	0.16																H	F	-26094.161	51595.123	41.315	
2e	63	08F23	0014	剥片	珪質頁岩			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	63.4	35.4	12.0	24.46	1	102		○	○		5										F	-26089.073	51592.628	41.075	
2h	64	08F44	0010	剥片	黒色頁岩			Ⅸ層上部（Ⅸa層）	43.9	28.4	8.0	6.97	1	110					3	1									F	-26097.062	51597.425	41.434	
2	65	08F54	0003	剥片	珪質頁岩			Ⅹ層	40.5	31.8	12.0	11.79	L				○		1										S				確認グリッド出土
2e	66	08F13	004a	剥片	流紋岩			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	54.2	24.1	9.1	8.60					○		2				3					H・T		-26087.660	51592.235	41.070	
2a	67	08F14	0004	剥片	その他・不明			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	44.2	20.0	8.7	7.23	1	110			○	○		1								L	F	-26084.879	51599.306	41.456	
2c	68	08F24	0007	剥片	安山岩B			Ⅶ層	33.0	12.8	8.1	2.17	1	114			○		2	1									F	-26090.461	51599.346	41.601	
2d	69	08F44	0005	剥片	安山岩B			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	35.5	20.0	9.3	4.60	1	106					4										H	-26096.950	51597.961	41.327	
2f	70	08F23	0006	剥片	安山岩B			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	40.8	18.2	6.1	5.14	1	119					3										H	-26090.777	51594.634	41.127	
2a	71	08F04	0005	剥片	安山岩B			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	41.0	12.5	7.0	3.99	1	113			○		3										H	-26083.873	51599.592	41.055	
2d	72	08F34	0021	剥片	安山岩B			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	52.8	26.5	12.9	13.83	1	110		○								2					F	-26095.442	51598.182	41.295	
2h	73	08F44	0041	剥片	安山岩A			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	56.4	21.5	12.3	14.80	1	103					4	3									F	-26098.078	51596.861	41.315	
2h	74	08F44	0016	剥片	安山岩A			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	35.9	17.4	5.3	2.85	1	110			○		2										F	-26098.300	51597.193	41.300	
2c	75	08F24	0005	剥片	安山岩A			Ⅶ～Ⅸ層	42.9	10.5	7.4	3.10	1	113					2									L	F	-26091.104	51599.661	41.568	
2c	76	08F25	0003	剥片	安山岩A			Ⅸ層上部（Ⅸa層）	45.4	30.2	5.1	6.42	1	109			○		1										F	-26089.267	51600.035	41.437	
2b	77	08F25	0002	剥片	安山岩A			Ⅸ層上部（Ⅸa層）	35.3	34.5	8.2	6.15	1	123		○			3	2									F	-26088.803	51603.703	41.473	

第８表　ＡＴ下位石器群　観察表（３）

石器集中	挿図No.	グリッド	遺物番号	器種	石材	母岩No.	接合No.	層位	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	打面形状	打角°	打面調整	頭部調整	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整角°	先端角°	調整部位	折面部位	末端	X座標	Y座標	標高	備考
2a	78	08F06	0002	剝片	安山岩A			Ⅸ層中部（Ⅸb層）	49.8	28.9	9.1	13.19	2	105			○		4									T		-26083.796	51604.072	41.409	
2c	79	08F24	003a	剝片	安山岩A			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	17.1	21.2	2.2	0.83							1			2						H	F	-26089.555	51599.534	41.165	
2c	80	08F25	0006	剝片	安山岩A			Ⅸ層上部（Ⅸa層）	41.8	26.0	6.5	5.91	1	110					4										F	-26089.483	51601.057	41.527	
2c	81	08F24	0004	剝片	安山岩A			Ⅸ層	59.6	39.0	11.2	19.58	1	140			○												F	-26091.269	51597.943	41.310	
2g	82	08F33	0017	剝片	安山岩B	20	9	Ⅸ層下部（Ⅸc層）	28.5	21.9	7.0	3.56	1	99					2	1									H	-26094.175	51594.694	41.210	
2f	83	08F33	0028	剝片	安山岩B	20	9	Ⅸ層下部（Ⅸc層）	23.1	22.9	5.9	2.49	1	124					2										H	-26092.994	51595.145	41.046	
2g	84	08F43	0005	石核	安山岩B	20	9	Ⅸ～Ⅹ層	38.0	31.7	12.1	12.71																		-26096.379	51595.030	41.260	
2h	85	08F44	0026	剝片	ホルンフェルス	9		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	21.5	44.9	9.9	7.45	1	120			○		4										F	-26098.626	51596.969	41.273	
2g	86	08F33	0010	剝片	ホルンフェルス			Ⅸ層上部（Ⅸa層）	39.5	38.2	12.1	16.81	5				○					1						R	F	-26095.869	51594.610	41.461	
2g	87	08F33	0016	石核	メノウ	18	10	Ⅸ層下部（Ⅸc層）	45.6	48.7	9.7	26.47																		-26094.397	51594.871	41.212	
2g	88	08F33	0046	礫片	メノウ	18	10	Ⅹ層	9.6	9.6	6.9	0.85																		-26094.232	51595.281	41.089	
2	89	08F55	0002	石核	安山岩			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	38.8	43.5	43.5	92.42																		-26100.753	51600.898	41.280	
2		08F14	0003	剝片	凝灰岩	12		Ⅸ～Ⅹ層	16.8	18.0	5.4	1.74	L				○		1										F	-26087.949	51596.766	41.214	
2a		08F15	0003	礫片	砂岩			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	40.6	42.1	20.0	28.58																		-26085.294	51601.702	41.410	
2a		08F15	0004	礫	砂岩			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	59.2	39.6	30.3	96.30																		-26085.222	51602.976	41.419	
2a		08F15	0005	礫片	砂岩			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	39.8	25.4	18.7	18.05																		-26085.567	51602.700	41.430	
2a		08F15	0006	礫片	チャート			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	10.6	8.4	4.7	0.43																		-26085.754	51603.598	41.455	
2a		08F15	0007	礫片	チャート			Ⅸ層上部（Ⅸa層）	36.7	19.2	13.7	12.39																		-26086.111	51603.599	41.591	
2a		08F15	0009	剝片	安山岩A	19	(11)	Ⅸ層下部（Ⅸc層）	14.2	18.4	8.8	2.70	C	91					1									R・T		-26087.379	51602.112	41.303	
2a		08F15	0010	剝片	安山岩A	19	(11)	Ⅸ層中部（Ⅸb層）	23.7	14.5	5.9	1.85					○		1		1							L・T		-26086.687	51601.538	41.526	
2a		08F15	0011	礫片	その他・不明			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	12.1	12.2	4.4	0.66																		-26087.052	51601.490	41.300	
2a		08F15	0014	砕片	珪質頁岩			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	3.8	7.5	0.6	0.01																H	F	-26085.870	51603.532	41.402	
2a		08F15	0015	砕片	珪質頁岩			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	6.8	9.1	2.3	0.15	P				○												H	-26086.117	51603.472	41.575	
2a		08F15	0016	剝片	安山岩A			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	24.7	25.0	4.1	2.80	C	105					1									R・LT		-26086.248	51603.404	41.485	
2a		08F15	0017	砕片	安山岩A			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	7.1	5.4	1.0	0.03	P																F	-26086.296	51603.564	41.495	
2a		08F15	0018	礫片	チャート			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	12.8	12.2	5.1	0.70																		-26086.066	51603.392	41.418	
2b		08F16	0005	砕片	黒曜石	1		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	4.1	6.9	1.2	0.03	P						1										H	-26087.764	51604.966	41.194	
2b		08F16	0006	礫片	チャート	23	(12)	Ⅸ層上部（Ⅸa層）	25.4	18.5	16.2	8.35																		-26087.618	51605.147	41.604	
2b		08F16	0008	砕片	黒曜石	1		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	4.6	9.3	1.3	0.04	P						2										F	-26087.972	51607.358	41.645	
2b		08F16	0011	砕片	黒曜石	1		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	3.7	8.2	1.4	0.04							2									H	H	-26087.890	51605.746	41.655	
2f		08F23	0002	剝片	砂岩			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	43.3	25.6	13.9	19.62	1	119			○			1	1							R	F	-26091.385	51595.602	41.237	
2f		08F23	0003	剝片	安山岩A			Ⅸ層上部（Ⅸa層）	10.5	12.2	4.5	0.72	1	106					2									T		-26090.789	51594.733	41.394	
2f		08F23	0004	砕片	珪質頁岩	3	(16)	Ⅸ層下部（Ⅸc層）	6.0	9.4	0.7	0.06																H・R・L	H	-26090.244	51594.646	41.261	
2f		08F23	0005	砕片	珪質頁岩	3	(16)	Ⅸ層下部（Ⅸc層）	5.6	5.7	0.5	0.03																HR・L・T		-26090.196	51594.787	41.257	
2e		08F23	0007	剝片	安山岩A			Ⅸ層上部（Ⅸa層）	19.2	13.3	2.6	0.75	1	109					3									T		-26090.446	51593.112	41.255	
2e		08F23	0008	礫片	チャート			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	11.4	9.0	5.0	0.50																		-26089.077	51593.975	41.147	
2e		08F23	0010	剝片	珪質頁岩	3		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	20.1	11.9	3.0	0.60					○		1									H	F	-26089.652	51593.019	41.042	
2e		08F23	0012	剝片	珪質頁岩			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	18.5	15.5	8.0	1.53	1	84			○		1									T		-26089.947	51592.391	41.085	
2e		08F23	0013	剝片	安山岩B			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	12.9	7.1	2.6	0.26	1	107					2										F	-26089.483	51592.398	41.162	
2f		08F23	0017	剝片	珪質頁岩	3		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	21.8	11.1	3.7	0.79					○		2									H・T		-26091.569	51593.829	41.340	
2c		08F24	0008	剝片	安山岩A			Ⅸ層上部（Ⅸa層）	13.9	16.2	3.3	0.83	P			○			3									T		-26090.196	51599.949	41.420	
2c		08F25	0004	剝片	安山岩	25		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	17.7	37.0	5.9	4.00								1	1							H	F	-26088.635	51600.110	41.439	
2b		08F25	0007	砕片	黒曜石	1		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	6.8	6.1	3.9	0.12																		-26088.758	51603.503	41.522	
2b		08F25	0008	砕片	黒曜石	1		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	9.7	5.0	1.3	0.07							1	1								R	H	-26090.364	51603.940	41.532	
2c		08F25	0009	礫片	ホルンフェルス			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	10.7	9.7	1.7	0.34																		-26088.803	51600.763	41.390	
2b		08F25	0010	剝片	凝灰岩	11		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	13.2	8.0	1.6	0.11							2										F	-26088.908	51603.445	41.462	
2b		08F25	0011	砕片	黒曜石	2		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	9.9	5.8	2.8	0.08							2									H	F	-26090.415	51603.883	41.527	
2b		08F26	0002	剝片	黒曜石	1		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	10.7	8.6	1.7	0.12	P						2										F	-26091.284	51607.172	41.635	

第9表　ＡＴ下位石器群　観察表（4）

石器集中	挿図No.	グリッド	遺物番号	器種	石材	母岩No.	接合No.	層位	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	打面形状	打角°	打面調整	頭部調整	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整角°	先端角°	調整部位	折面部位	末端	X座標	Y座標	標高	備考
2b		08F26	0003	砕片	黒曜石	1		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	7.2	8.5	2.3	0.10	P						1									T		-26090.609	51606.402	41.565	
2b		08F26	0004	砕片	安山岩A			Ⅸ層上部（Ⅸa層）	7.2	10.0	1.6	0.11	L						2										S	-26089.926	51606.374	41.588	
2b		08F26	0006	剝片	黒曜石	1		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	2.9	11.3	1.6	0.04									1	2							F	-26090.510	51605.403	41.206	
2b		08F26	0008	砕片	黒曜石	1		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	7.9	5.3	2.2	0.05	P						3										F	-26089.923	51605.688	41.558	
2b		08F26	0009	剝片	凝灰岩	11		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	10.6	12.3	3.0	0.31	1	113					3									T		-26089.945	51606.013	41.613	
2b		08F26	0010	砕片	黒曜石	2		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	6.5	6.0	1.2	0.04							1									H	F	-26089.567	51606.103	41.517	
2b		08F26	0011	砕片	黒曜石	1		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	8.9	6.8	2.4	0.14	1	110		○			2	1								T		-26089.285	51606.120	41.327	
2b		08F26	0012	剝片	安山岩A	19	(11)	Ⅸ層下部（Ⅸc層）	29.4	14.5	11.4	5.41	1				○											LH	F	-26089.019	51606.110	41.309	
2b		08F26	0013	砕片	黒曜石	1		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	4.8	6.8	1.5	0.03	P						2										F	-26088.681	51606.179	41.497	
2b		08F26	0014	剝片	黒曜石	1		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	17.4	10.0	4.6	0.66	1	104						2								L	H	-26088.710	51605.852	41.532	
2b		08F26	0015	礫片	チャート	23	(12)	Ⅸ層上部（Ⅸa層）	14.2	7.8	5.5	0.59																		-26089.374	51605.792	41.532	
2b		08F26	0016	礫片	チャート	23	(12)	Ⅸ層上部（Ⅸa層）	10.0	9.0	4.2	0.45																		-26089.333	51605.649	41.531	
2b		08F26	0018	剝片	チャート			Ⅸ層上部（Ⅸa層）	59.8	53.2	28.5	73.71	C	92		○	○	○	2										F	-26089.910	51605.359	41.507	
2b		08F26	0019	楔形石器調整剝片	黒曜石	1		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	18.7	8.2	6.3	0.68																		-26088.611	51607.375	41.737	
2b		08F26	0020	砕片	黒曜石	1		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	7.1	3.1	1.6	0.03							3									H		-26089.745	51605.168	41.509	
2b		08F26	0022	砕片	黒曜石	1		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	7.2	3.5	1.4	0.02	1	112					1										F	-26089.195	51605.259	41.555	
2b		08F26	0023	砕片	黒曜石	2		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	6.3	5.6	2.5	0.06	P						1			1						T		-26089.914	51604.930	41.504	
2b		08F26	0024	砕片	凝灰岩	11		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	4.6	9.7	1.6	0.05							1			1						H	F	-26088.822	51605.118	41.519	
2b		08F26	0025	砕片	黒曜石	1		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	7.7	3.5	0.8	0.00	P						2										F	-26089.384	51604.812	41.544	
2b		08F26	0026	剝片	黒曜石	1		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	10.8	5.3	3.1	0.09	P				○		1										F	-26090.060	51604.575	41.562	
2b		08F26	0027	剝片	安山岩A			Ⅸ層上部（Ⅸa層）	31.9	9.1	5.5	1.27	1	105					3									T		-26089.315	51604.510	41.621	
2b		08F26	0028	剝片	安山岩A			Ⅸ層上部（Ⅸa層）	14.0	8.7	2.0	0.23	P				○			1									F	-26089.029	51604.060	41.194	
2b		08F26	0029	使用痕のある剝片	黒曜石	1		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	10.2	9.3	1.9	0.14	1	125		○			3										H	-26089.067	51604.464	41.555	
2b		08F26	0030	使用痕のある剝片	黒曜石	2		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	15.2	12.1	4.1	0.69	1	120		○	○		2										H	-26088.726	51604.790	41.437	
2b		08F26	0031	剝片	黒曜石	2		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	16.2	15.6	6.0	1.05	1	114			○			1									O	-26089.428	51604.244	41.625	
2b		08F26	0032	剝片	黒曜石	1		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	12.5	4.3	3.6	0.14	P						2										F	-26089.797	51604.246	41.438	
2b		08F26	0033	剝片	黒曜石	1		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	14.2	6.1	2.5	0.23	P						1	3									H	-26090.582	51604.082	41.541	
2b		08F26	0034	剝片	黒曜石	1		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	15.5	16.4	8.4	1.31							1				3						F	-26091.123	51604.357	41.492	
2b		08F26	0035	剝片	黒曜石	1		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	11.5	8.9	1.3	0.15	P						1	1								T		-26090.887	51604.704	41.568	
2b		08F26	0036	砕片	安山岩A			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	9.9	5.7	0.9	0.06																		-26090.654	51604.083	41.525	
2b		08F26	0037	砕片	黒曜石			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	3.1	2.5	0.3	0.00																		-26090.098	51604.548	41.474	
2b		08F26	0039	剝片	珪質頁岩			Ⅸ層上部（Ⅸa層）	19.0	19.5	7.1	1.72	1	106				○	2									T		-26089.220	51604.606	41.656	
2b		08F26	0040	剝片	安山岩A			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	22.1	8.0	3.7	0.71							2									H	F	-26089.571	51604.640	41.461	
2b		08F26	0041	砕片	安山岩A			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	8.0	3.9	1.5	0.05							1									H・T		-26089.588	51604.877	41.488	
2b		08F26	0042	砕片	黒曜石			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	1.7	1.8	0.2	0.00																		-26090.076	51604.977	41.469	
2b		08F26	0044	砕片	安山岩A			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	3.4	4.7	1.2	0.01																		-26090.235	51605.275	41.499	
2b		08F26	0045	砕片	安山岩A			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	7.3	7.5	1.3	0.09							2									H	F	-26090.083	51605.234	41.575	
2b		08F26	0046	砕片	黒曜石	1		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	7.0	7.3	1.1	0.04	P									1							F	-26090.017	51605.383	41.570	
2b		08F26	0047	砕片	安山岩A			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	4.0	3.5	0.4	0.00																		-26089.969	51605.392	41.564	
2b		08F26	0048	砕片	黒曜石	1		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	9.0	5.2	1.6	0.06	1	117					1										F	-26089.833	51605.553	41.570	
2b		08F26	049a	砕片	黒曜石	1		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	8.4	3.9	1.6	0.06	1	96					1		1		1					T		-26089.754	51605.689	41.571	
2b		08F26	0050	剝片	チャート	23		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	12.3	12.2	4.2	0.65	1	107				○	1										F	-26089.572	51605.405	41.515	
2b		08F26	0051	剝片	黒曜石	1		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	12.4	10.4	4.0	0.33	P					○	2									T		-26089.580	51605.582	41.557	
2b		08F26	0052	礫片	チャート	23	(12)	Ⅸ層下部（Ⅸc層）	29.0	32.0	18.3	18.68																		-26089.289	51605.764	41.540	
2b		08F26	0053	砕片	黒曜石	1		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	9.7	6.8	1.8	0.08	P						2										F	-26089.788	51605.971	41.448	
2b		08F26	0055	砕片	黒曜石	1		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	7.1	4.5	1.3	0.04	P						2										S	-26090.033	51606.183	41.523	
2b		08F26	0056	砕片	黒曜石	1		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	5.6	4.4	1.0	0.03	P						2										F	-26089.493	51605.786	41.555	
2b		08F26	0057	砕片	黒曜石	1		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	8.4	9.8	2.5	0.16	P						1	2								T		-26091.218	51607.251	41.531	

第10表　ＡＴ下位石器群　観察表（５）

石器集中	挿図No.	グリッド	遺物番号	器種	石材	母岩No.	接合No.	層位	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	打面形状	打角°	打面調整	頭部調整	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整角°	先端角°	調整部位	折面部位	末端	X座標	Y座標	標高	備考
2b		08F26	0058	礫片	チャート	23	(12)	Ⅸ層下部（Ⅸc層）	25.7	30.2	23.1	21.63																		-26088.878	51606.400	41.551	
2b		08F26	0059	砕片	黒曜石	2		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	6.2	6.2	1.7	0.04	P						2									T		-26089.333	51605.827	41.492	
2b		08F26	0060	砕片	黒曜石	1		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	7.1	8.6	1.2	0.08	P						3									T		-26089.616	51605.740	41.541	
2b		08F26	0061	砕片	黒曜石			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	1.6	3.2	1.3	0.01																		-26089.752	51605.447	41.566	
2b		08F26	0063	砕片	安山岩Ａ			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	8.6	5.9	2.6	0.10	1	112								2							F	-26089.262	51604.631	41.500	
2b		08F26	0064	礫片	チャート			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	9.6	6.4	3.0	0.18																		-26089.327	51604.348	41.444	
2b		08F26	0065	砕片	黒曜石			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	2.2	3.0	0.8	0.00																		-26089.561	51605.767	41.486	
2b		08F26	0066	砕片	安山岩Ｂ			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	5.1	3.9	1.0	0.01																		-26089.645	51605.022	41.432	
2b		08F26	0068	砕片	安山岩Ａ			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	6.2	8.7	2.0	0.11	P				○		1										F	-26089.437	51604.593	41.374	
2g		08F33	0003	礫片	メノウ	18		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	21.1	9.6	5.2	1.53																		-26094.925	51595.905	41.341	
2g		08F33	0004	礫片	メノウ	18		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	6.6	8.2	3.4	0.14																		-26094.405	51595.773	41.247	
2g		08F33	0005	礫片	メノウ	18		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	11.9	8.8	1.6	0.18																		-26094.743	51595.748	41.240	
2g		08F33	0006	礫片	メノウ	18		Ⅸ層	18.3	7.1	6.1	1.15																		-26094.995	51595.560	41.397	
2g		08F33	0007	礫片	メノウ	18	(14)	Ⅸ層下部（Ⅸc層）	17.7	17.3	8.4	2.65																		-26095.069	51595.170	41.256	
2g		08F33	0008	剝片	メノウ	18		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	15.2	12.0	4.7	0.65	P				○		1										H	-26095.441	51595.050	41.431	
2g		08F33	0012	礫片	メノウ	18	(13)	Ⅸ層下部（Ⅸc層）	34.4	22.3	9.5	9.04																		-26095.338	51594.827	41.257	
2g		08F33	0013	礫片	メノウ	18	(14)	Ⅸ層下部（Ⅸc層）	36.8	19.2	9.3	8.95																		-26094.689	51595.061	41.249	
2g		08F33	0014	剝片	安山岩	25		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	20.0	17.2	8.7	3.73	C	112					1									R･L･T		-26094.306	51595.530	41.227	
2g		08F33	0018	剝片	メノウ	15		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	18.0	13.1	4.8	0.59	P						3	1									F	-26094.521	51594.485	41.247	
2g		08F33	0019	楔形石器調整剝片	安山岩Ａ			Ⅸ層上部（Ⅸa層）	13.2	18.3	3.9	1.25					○			4								H	O	-26094.897	51594.330	41.407	
2g		08F33	0020	剝片	メノウ	15		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	16.8	9.0	6.2	0.81	1	113						2								R	S	-26094.657	51593.924	41.150	
2g		08F33	0021	礫片	メノウ	18		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	8.9	5.6	5.0	0.30																		-26094.491	51594.186	41.360	
2g		08F33	0022	剝片	メノウ	16		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	13.2	12.7	5.5	1.01	1	90			○			1									F	-26094.315	51593.690	41.370	
2g		08F33	0023	礫片	メノウ	18	(14)	Ⅸ層上部（Ⅸa層）	16.9	9.3	7.0	0.94																		-26094.707	51593.609	41.390	
2g		08F33	0025	砕片	メノウ	18		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	9.0	6.1	8.4	0.60																		-26093.979	51593.555	41.075	
2g		08F33	0026	剝片	安山岩Ｂ			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	24.7	19.6	6.6	2.67	1	94			○		2										F	-26093.757	51594.466	41.169	
2g		08F33	0027	剝片	メノウ	15		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	11.7	10.6	1.9	0.21					○											H	F	-26093.642	51595.096	41.236	
2g		08F33	0030	礫	メノウ			Ⅸ層	12.2	10.3	4.5	0.79																		-26093.443	51592.730	41.030	
2g		08F33	0032	剝片	安山岩Ｂ			Ⅸ～Ⅹ層	16.8	19.3	3.8	0.93	1	122					1										F	-26095.008	51595.095	41.055	
2g		08F33	0033	剝片	メノウ	18		Ⅸ～Ⅹ層	13.5	17.5	2.9	0.73	C	107					1										H	-26094.157	51595.271	41.262	
2g		08F33	0034	剝片	安山岩	25		Ⅸ～Ⅹ層	12.5	6.7	5.0	0.28	P						2									R	F	-26095.120	51594.711	41.170	
2g		08F33	035a	礫片	メノウ	18		Ⅸ～Ⅹ層	12.0	6.0	6.3	0.33																		-26094.302	51595.305	41.240	
2g		08F33	0036	楔形石器	安山岩Ｂ			Ⅸ～Ⅹ層	27.5	26.9	10.2	7.04																		-26094.462	51595.409	41.247	
2g		08F33	0037	剝片	メノウ	14		Ⅸ～Ⅹ層	26.3	9 0	6.2	1.88	1	104			○		1										H	-26094.270	51595.016	41.206	
2g		08F33	0038	礫片	メノウ	18	(13)	Ⅸ～Ⅹ層	30.5	24.5	17.1	14.89																		-26094.754	51595.072	41.208	
2g		08F33	0039	剝片	メノウ	16		Ⅹ層	13.5	11.3	4.0	0.68					○		1									H	H	-26094.623	51594.974	41.165	
2g		08F33	0040	剝片	安山岩Ａ			Ⅸ～Ⅹ層	13.3	15.4	3.1	0.42	C	120									1					T		-26094.824	51595.181	41.201	
2g		08F33	041a	礫片	メノウ	18		Ⅸ～Ⅹ層	14.3	9.7	4.4	0.37																		-26094.528	51595.548	41.224	
2g		08F33	0042	礫片	メノウ	18		Ⅸ～Ⅹ層	9.1	13.5	3.2	0.31																		-26094.364	51595.544	41.203	
2g		08F33	0043	礫片	メノウ	18	(14)	Ⅸ～Ⅹ層	26.3	20.0	9.0	3.94																		-26094.305	51595.116	41.220	
2g		08F33	0044	剝片	安山岩Ｂ			Ⅹ層	11.3	13.0	3.9	0.49	1	111					1	1									F	-26094.336	51595.220	41.151	
2g		08F33	0045	礫片	メノウ	18	(13)	Ⅹ層	13.5	8.8	4.8	0.69																		-26094.647	51594.784	41.070	
2g		08F33	0047	礫片	メノウ	18		Ⅹ層	7.6	9.6	2.9	0.16																		-26094.699	51595.686	41.072	
2d		08F34	0002	剝片	流紋岩			Ⅸ層上部（Ⅸa層）	16.3	26.6	6.8	1.94	1	126		○			1										F	-26092.867	51599.959	41.369	
2d		08F34	0009	剝片	珪質頁岩			Ⅶ層	17.8	18.4	4.5	1.66					○		1									T･H		-26093.389	51599.030	41.579	
2d		08F34	0010	剝片	ホルンフェルス	10		Ⅶ層	6.6	16.4	2.3	0.20							1										H	-26094.133	51599.064	41.624	
2d		08F34	0011	礫片	凝灰岩			Ⅶ層	14.0	10.0	6.4	0.60																		-26094.126	51598.914	41.640	
2d		08F34	012a	剝片	石英	17		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	9.7	15.0	2.9	0.43																		-26094.843	51599.213	41.142	

第11表　ＡＴ下位石器群　観察表（６）

石器集中	挿図No.	グリッド	遺物番号	器種	石材	母岩No.	接合No.	層位	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	打面形状	打角°	打面調整	頭部調整	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整角°	先端角°	調整部位	折面部位	末端	X座標	Y座標	標高	備考
2d		08F34	0013	剝片	凝灰岩			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	7.3	20.5	4.1	0.52					○		1									H	F	-26094.354	51599.878	41.280	
2d		08F34	0015	楔形石器調整剝片	凝灰岩	12		Ⅸ層中部（Ⅸb層）	14.9	13.7	2.8	0.51	P						4										F	-26095.378	51599.953	41.447	
2d		08F34	0016	剝片	凝灰岩	24		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	10.6	35.8	8.3	2.83					○											T		-26093.189	51597.955	41.307	
2d		08F34	0017	剝片	珪質頁岩			Ⅶ～Ⅸ層	12.2	10.2	5.9	0.59							3									T		-26092.617	51598.058	41.537	
2d		08F34	0018	剝片	珪質頁岩			Ⅶ層	26.2	18.3	7.1	2.92					○											H	F	-26092.312	51597.664	41.578	
2g		08F34	023a	剝片	安山岩	25			28.6	16.0	7.4	3.59	C	96		○			4									R	O	-26095.651	51596.109	41.356	
2d		08F34	0024	剝片	珪質頁岩	4	(15)	Ⅸ層下部（Ⅸc層）	15.7	15.7	6.7	1.82					○											H・T・R		-26092.584	51599.447	41.329	
2d		08F34	0025	剝片	凝灰岩	24		Ⅹ層	30.6	38.7	11.8	10.40					○											H	S	-26094.312	51599.144	41.126	
2d		08F34	0026	剝片	珪質頁岩	4	(15)	Ⅸ層下部（Ⅸc層）	17.4	37.8	14.6	8.92					○				3							H・T		-26093.852	51599.008	41.335	
2d		08F34	0027	剝片	珪質頁岩	5		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	16.2	21.4	2.1	0.70	P						2	1		1							F	-26093.434	51599.086	41.492	
2d		08F34	0028	楔形石器調整剝片	凝灰岩	12		Ⅹ層	9.9	9.9	1.6	0.22	L																F	-26094.117	51599.126	41.077	
2d		08F34	0029	剝片	チャート	26		Ⅹ層	18.7	23.2	5.7	1.94	1	110		○			4										H	-26094.296	51599.020	41.091	
2d		08F34	0030	剝片	珪質頁岩	4		Ⅸ層	22.0	14.4	5.4	1.79	P						1	1									F	-26093.534	51599.140	41.452	
2d		08F34	0031	楔形石器調整剝片	凝灰岩	12		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	9.5	10.0	1.6	0.15	L																	-26093.279	51599.038	41.379	
2d		08F34	0032	剝片	珪質頁岩	3		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	15.3	21.7	3.3	0.94	P						3										H	-26093.706	51598.875	41.293	
2d		08F34	0034	剝片	珪質頁岩	4		Ⅹ層	20.0	15.6	3.5	1.87	P					○	3										H	-26092.430	51599.508	41.380	
2g		08F34	0035	砕片	安山岩			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	7.0	9.8	1.3	0.09	P															T		-26095.695	51596.152	41.295	
2d		08F34	0036	楔形石器調整剝片	凝灰岩	12		Ⅹ層	7.2	8.2	1.2	0.07	P																F	-26093.662	51598.985	41.174	
2d		08F34	0039	剝片	チャート	26		Ⅹ層	11.1	23.2	3.0	0.73	P			○			2										S	-26093.495	51599.211	41.078	
2d		08F34	0040	剝片	珪質頁岩	4		Ⅹ層	8.0	10.2	1.7	0.10	P					○											F	-26093.879	51599.262	41.065	
2d		08F34	0041	剝片	安山岩	25		Ⅸ層中部（Ⅸb層）	28.8	25.6	6.5	3.65	C	91		○			2									R・T		-26092.378	51599.822	41.471	
2d		08F34	0042	剝片	珪質頁岩			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	33.7	19.7	5.3	2.18							3									H・T・R		-26092.788	51599.527	41.166	
2d		08F35	0002	礫片	チャート				9.0	10.5	2.7	0.27																		-26094.770	51603.114	41.429	
2d		08F35	0004	剝片	石英	17		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	17.4	9.4	5.5	0.85																		-26091.989	51601.189	41.372	
2d		08F35	0005	砕片	その他・不明			Ⅹ層上部（Ⅹa層）	9.8	5.8	2.2	0.15																		-26092.076	51600.954	41.112	
2d		08F35	0006	礫片	その他・不明			Ⅹ層上部（Ⅹa層）	19.3	10.2	7.8	1.44																		-26092.665	51600.671	41.115	
2d		08F35	0008	剝片	珪質頁岩	4		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	19.8	12.3	4.3	0.85							1									H	H	-26092.034	51600.040	41.315	
2g		08F43	0003	剝片	安山岩	25			11.3	14.0	5.1	0.58	1	110			○												F	-26096.491	51595.204	41.350	
2g		08F43	0004	剝片	安山岩B				21.7	21.4	8.7	3.54							1	1			1						O	-26096.767	51594.951	41.244	
2d		08F44	0003	剝片	安山岩A			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	33.9	19.9	7.1	3.02	1	115					3										F	-26096.189	51597.777	41.290	
2d		08F44	0004	礫片	チャート			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	18.4	10.2	7.7	1.86																		-26096.575	51597.941	41.250	
2h		08F44	0006	剝片	メノウ	15		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	13.8	15.5	4.1	0.56	1	101					1										S	-26097.310	51597.666	41.343	
2h		08F44	0007	楔形石器調整剝片	珪質頁岩	6		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	13.0	10.2	3.2	0.38	L				○		1	1								T		-26097.641	51597.801	41.418	
2h		08F44	0008	剝片	チャート	13		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	10.2	3.0	1.9	0.04	P						3										F	-26097.660	51597.377	41.428	
2h		08F44	0009	砕片	ホルンフェルス	9		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	7.4	8.3	1.4	0.10	L						2										F	-26097.294	51597.282	41.424	
2h		08F44	0012	剝片	ホルンフェルス	9	(17)	Ⅸ層上部（Ⅸa層）	20.0	19.3	7.1	2.42	C	90						2								R	H	-26097.256	51596.395	41.460	
2h		08F44	0013	砕片	安山岩B			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	8.8	8.8	2.9	0.23	P					○	1									T		-26097.644	51596.978	41.283	
2h		08F44	0015	剝片	安山岩A			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	12.7	6.2	2.9	0.24	P						1										O	-26098.139	51597.410	41.174	
2h		08F44	0018	剝片	安山岩A				23.3	9.0	6.0	1.37	1	110			○		2										F	-26098.145	51596.796	41.359	
2h		08F44	0019	剝片	ホルンフェルス	9	(17)	Ⅸ層上部（Ⅸa層）	20.2	14.3	5.9	1.58	1	93						1								L	H	-26097.993	51596.290	41.531	
2h		08F44	0020	剝片	メノウ	15		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	11.2	18.1	3.6	0.87	C	93					1									R・T		-26097.653	51596.225	41.260	
2h		08F44	0021	砕片	チャート	13		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	6.1	5.0	1.1	0.02	P						1										F	-26098.361	51596.544	41.197	
2h		08F44	0022	礫	チャート			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	16.6	9.8	6.2	0.94																		-26098.898	51597.175	41.265	
2h		08F44	0023	剝片	ホルンフェルス	10		Ⅸ層	11.9	10.4	3.4	0.33	L						2											-26099.028	51597.487	41.329	
2h		08F44	0024	剝片	メノウ	18		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	8.6	7.0	3.6	0.19																	F	-26099.315	51597.338	41.247	
2h		08F44	0025	剝片	安山岩A			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	33.0	24.1	7.0	4.48	P				○		1										F	-26098.914	51596.885	41.225	
2h		08F44	0027	砕片	ホルンフェルス	9			7.4	5.5	1.8	0.07	P																F	-26098.747	51596.673	41.402	
2h		08F44	0029	剝片	ホルンフェルス	10		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	5.8	9.2	1.2	0.07					○		1									H	F	-26098.501	51596.278	41.455	

第12表　ＡＴ下位石器群　観察表（７）

石器集中	挿図No.	グリッド	遺物番号	器種	石材	母岩No.	接合No.	層位	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	打面形状	打角°	打面調整	頭部調整	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整角°	先端角°	調整部位	折面部位	末端	X座標	Y座標	標高	備考
2h		08F44	0030	剝片	ホルンフェルス	10		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	15.2	24.8	4.0	1.23	2	101			○		1										F	-26098.963	51596.445	41.482	
2h		08F44	0031	剝片	ホルンフェルス	10		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	6.5	20.7	4.0	0.65					○		1									H	F	-26099.036	51596.654	41.460	
2h		08F44	0032	砕片	珪質頁岩	4			6.7	9.5	1.5	0.10	P																F	-26098.972	51596.071	41.366	
2h		08F44	0034	楔形石器調整剝片	ホルンフェルス	10			16.0	8.7	2.6	0.30	P								3								F	-26099.798	51596.932	41.278	
2h		08F44	0035	剝片	ホルンフェルス	10			15.8	11.6	2.9	0.47							1									H・R・L	F	-26098.535	51597.564	41.231	
2h		08F44	0036	剝片	珪質頁岩	7			13.5	8.0	4.3	0.50	1	116														R	O	-26098.186	51597.195	0.000	
2h		08F44	0037	砕片	珪質頁岩				4.1	5.7	0.7	0.02	P																F	-26098.433	51597.037	0.000	
2h		08F44	0038	剝片	珪質頁岩			Ⅸ～Ⅹ層	24.3	10.5	4.9	1.13					○			1									F	-26098.216	51597.209	41.272	
2h		08F44	0039	剝片	ホルンフェルス	9		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	19.7	31.5	8.8	5.43	C	123						1		1							H	-26097.386	51596.892	41.452	
2h		08F44	0040	剝片	メノウ	15		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	16.4	8.5	7.3	0.64	1	103					1				2						F	-26097.109	51597.268	41.295	
2h		08F44	0044	剝片	ホルンフェルス	9		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	28.9	25.8	8.2	5.70	1	119			○											T		-26097.667	51597.124	41.325	
2h		08F44	0047	砕片	珪質頁岩			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	8.3	8.8	0.9	0.02	P						2										F	-26098.340	51596.480	41.242	
2h		08F44	0048	剝片	安山岩A			Ⅹ層	24.8	6.7	5.7	1.01					○		1									R	F	-26098.985	51596.071	41.190	
2h		08F44	0049	剝片	安山岩A			Ⅹ層	17.2	14.0	2.5	0.43	1	72					1										F	-26097.802	51596.644	41.185	
2h		08F44	0050	剝片	安山岩B			Ⅹ層	9.7	11.1	5.7	0.49	1	118															F	-26097.678	51597.273	41.150	
2h		08F44	0051	砕片	チャート	13		Ⅹ層	5.8	6.0	0.8	0.03	P						2										F	-26097.482	51597.125	41.185	
2h		08F44	0052	砕片	安山岩A			Ⅸ～Ⅹ層	7.6	7.2	1.8	0.07																	F	-26098.072	51596.692	41.294	
2d		08F45	0002	剝片	凝灰岩	12		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	7.0	12.4	1.2	0.14																H	H	-26096.272	51600.409	41.414	
2		08F56	0002	礫片	凝灰岩			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	30.9	24.7	6.9	8.27																		-26103.248	51604.812	41.279	
2e		08F13	0003	楔形石器調整剝片	珪質頁岩			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	11.2	8.6	2.1	0.21	L																F	-26087.803	51592.427	41.075	
2e		08F13	004b	剝片	珪質頁岩			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	12.1	9.0	2.3	0.17	L						2									L	F	-26087.660	51592.235	41.070	
2		08F24	003b	使用痕のある剝片	安山岩B				43.6	22.8	8.3	5.01	P				○		5										F				確認グリッド出土
2b		08F26	043a	砕片	黒曜石	1		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	3.7	2.3	0.6	0.00	P						2									T		-26089.983	51605.068	41.515	
2b		08F26	043b	砕片	黒曜石	1		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	2.6	1.8	0.3	0.00	P						1										F	-26089.983	51605.068	41.515	
2b		08F26	049b	砕片	黒曜石	1		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	4.4	5.6	0.7	0.02	P						2										F	-26089.754	51605.689	41.571	
2b		08F26	0067	砕片	安山岩B			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	2.0	1.2	1.0	0.00																		-26089.331	51604.709	41.482	
2b		08F26	0069	砕片	黒曜石	1		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	6.1	10.5	2.1	0.14	1	110					1									T		-26089.376	51604.672	41.428	
2g		08F33	035b	礫片	メノウ			Ⅸ～Ⅹ層	8.0	4.1	2.9	0.07																		-26094.302	51595.305	41.240	
2g		08F33	041b	礫片	メノウ	18		Ⅸ～Ⅹ層	7.3	7.9	2.7	0.13																		-26094.528	51595.548	41.224	
2d		08F34	0003	楔形石器調整剝片	珪質頁岩	7		Ⅸ層下部（Ⅸc層）	12.0	10.8	2.2	0.24	L						2			1						T		-26092.647	51599.277	41.235	
2d		08F34	0004	剝片	安山岩A			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	16.0	8.8	1.7	0.27							1									H・T・R		-26092.962	51599.824	41.237	
2d		08F34	0008	剝片	凝灰岩	12		Ⅸ層上部（Ⅸa層）	5.9	11.6	2.1	0.13	1	115					2										F	-26092.832	51598.793	41.444	
2d		08F34	012b	剝片	珪質頁岩			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	13.6	8.8	2.0	0.09																		-26094.843	51599.213	41.142	
2g		08F34	023b	剝片	珪質頁岩				10.8	7.3	1.2	0.11	P					○			1								H	-26095.651	51596.109	41.356	
2		08F35	0009	剝片	珪質頁岩				12.9	16.7	4.5	0.59							1		1	1											出土位置不明
2		08F42	0002	剝片	ホルンフェルス				21.0	17.6	3.7	1.45																		-26098.604	51590.281	41.089	
2		08F54	0002	使用痕のある剝片	珪質頁岩			Ⅶ～Ⅸ層上部	24.6	36.0	6.5	5.50	2	108					4										H				確認グリッド出土
3	1	08H02	0002	石核	チャート			Ⅸ～Ⅹ層	36.1	39.7	23.5	32.36																					
3	2	08H04	0002	剝片	珪質頁岩			Ⅶ層下部～Ⅸ層上部	34.2	32.9	10.3	13.38	2	109			○		2	1									F				確認調査時出土
3		08H04	0003	礫片	凝灰岩			Ⅸ層上部（Ⅸa層）	12.9	12.6	6.2	1.37																		-26080.788	51678.875	41.656	
3		08H05	0002	礫片	チャート			Ⅸ層下部（Ⅸc層）	31.5	15.8	11.5	6.56																		-26082.177	51680.855	41.366	

第４節　AT上位石器群

１　石器集中４（第24・25図，第13・20表，図版４・13）

分　布　11H37・38グリッドを中心として径約７ｍの範囲に分布する。密集部は約３ｍの帯状分布を形成している。出土層位はⅥ層上部～Ⅲ層（ソフトローム）で比較的上下に分散している印象を持つ。出土レベルの最大値は41.002m，最小値は40.502mと約50cmの上下差をもち，平均値が40.704mとなっている。周辺は耕作による溝が比較的密に走り，その溝はⅥ層上面まで達している。遺物の分散は，その影響を受けた可能性が高く，本来の出土層位はⅣ～Ⅴ層付近に相当するのではないかと考えられる。

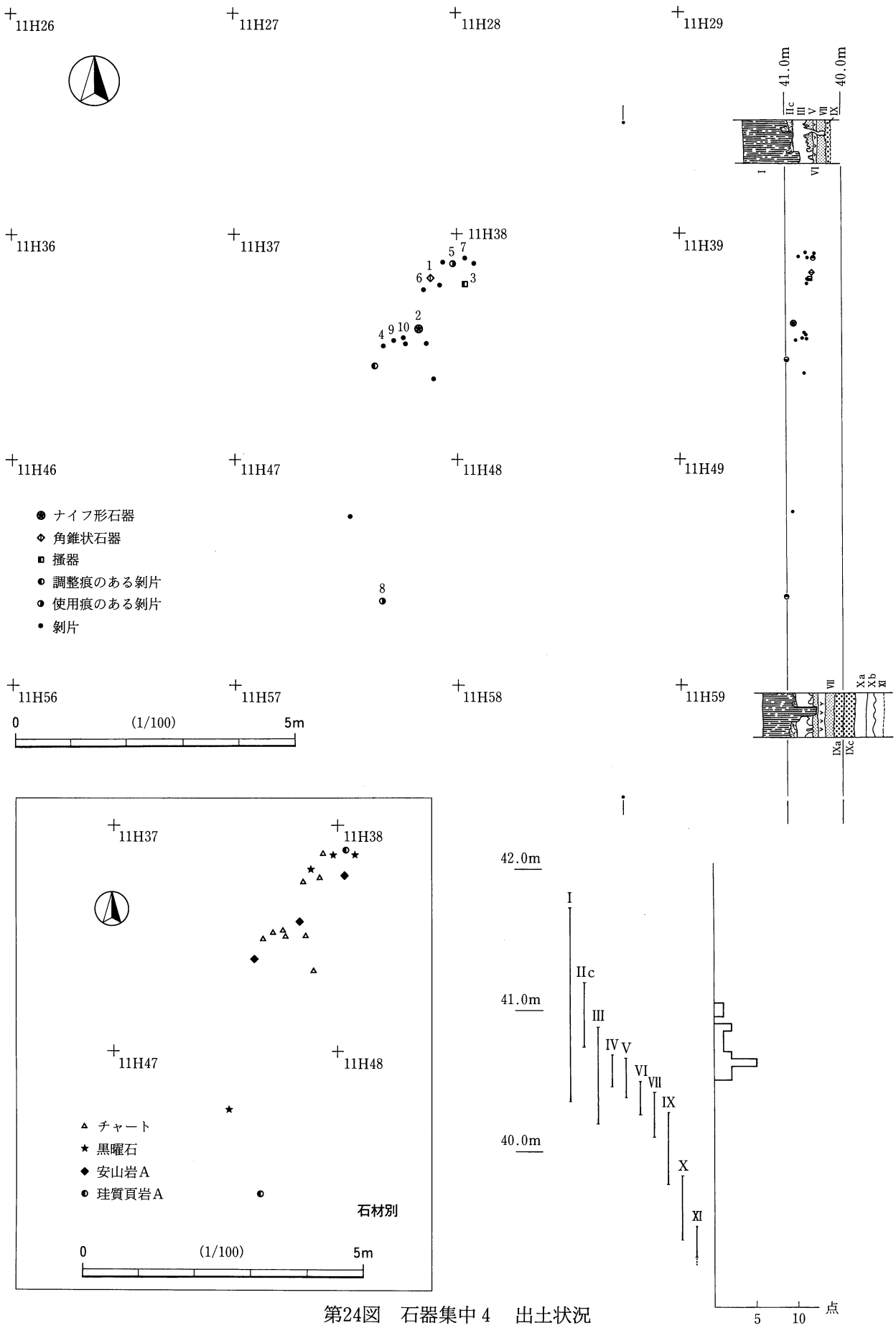
器　種　ナイフ形石器１点，掻器２点，調整痕のある剥片１点，使用痕のある剥片２点，剥片12点の合計18点が出土した。１は安山岩Ａ製のナイフ形石器で，幅広の剥片の端部と打面側に調整を施している。２はやや厚みのある縦長剥片の両側縁と端部に急角度調整が施された掻器である。黒曜石製である。３は安山岩Ａ製の掻器で，厚みをもつ剥片の端部に調整を施し，円形に整形している。

石　材　チャート９点，黒曜石４点，安山岩Ａ３点，珪質頁岩Ａ２点（珪質頁岩Ａは風化剥離面がチョコレート色を呈した光沢のある資料を一括したものである）で構成される。複数点数で構成される母岩は４母岩あり，チャート２母岩，黒曜石１母岩，珪質頁岩Ａ１母岩となっている。母岩№１（チャート）は霜降り状に白色の模様が広がるもので，やや乾いた印象を持つ。剥片３点で構成される（９）。母岩№２（チャート）は青緑色を呈した比較的良質なものであるが，小型扁平礫を素材としたもので，剥片２点で構成される（４）。母岩№３（黒曜石）は斑状に黒色模様の入る透明感のある黒曜石で，剥片２点で構成されるが，１点は縁辺に微細剥離をもつものである（５）。母岩№４（珪質頁岩Ａ）は濃いチョコレート色を呈したもので良質のものであり，剥片２点で構成される（７・８）。そのうち１点には縁辺に微細剥離痕が観察される（８）。安山岩Ａにはナイフ形石器１点（１），掻器１点（３），剥片１点があるがいずれも単独母岩である。黒曜石製の掻器（２）も同じく単独母岩である。

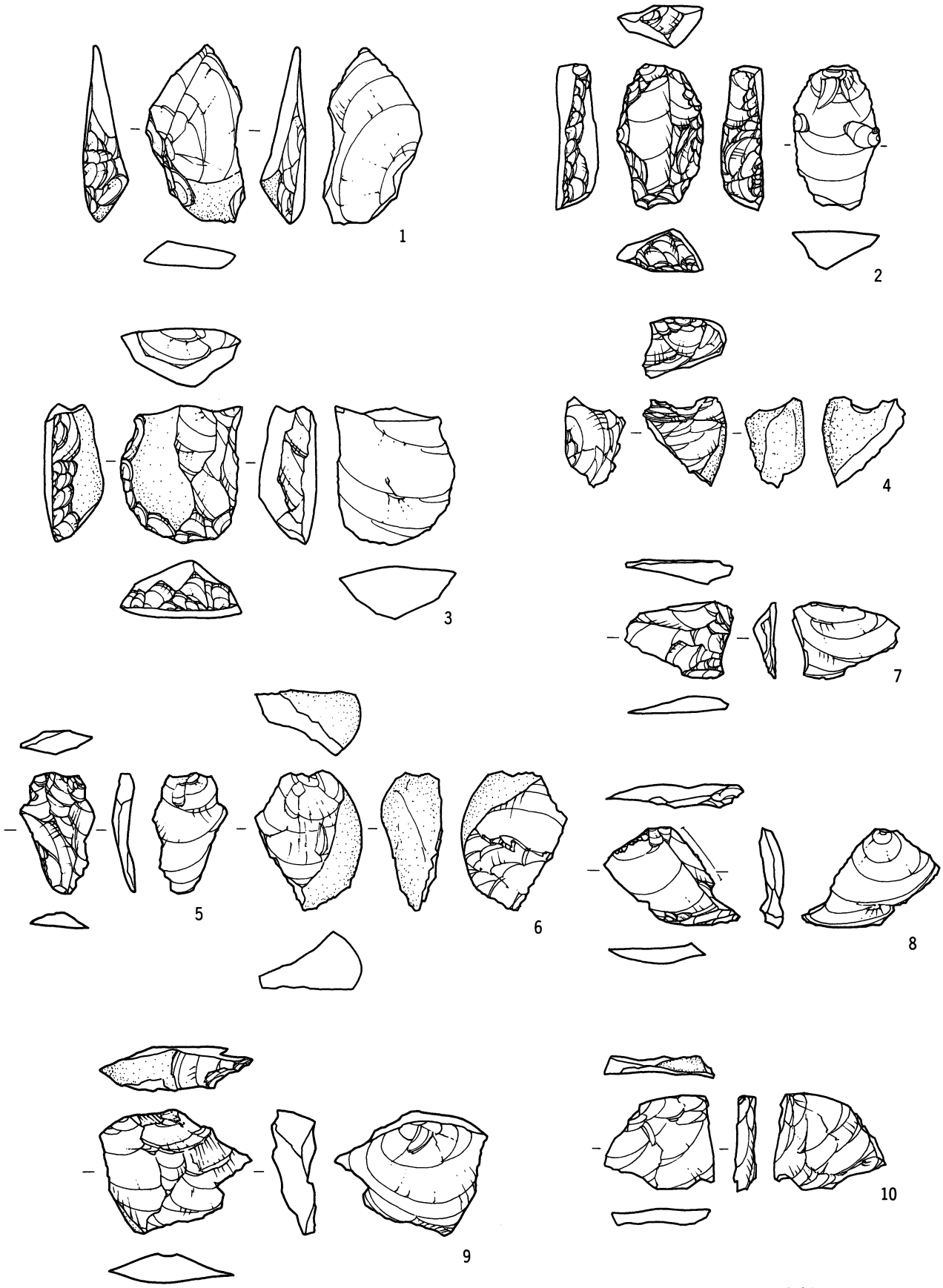
全体として製品の類はすべて単独母岩を用いたものであることから，製品がそのまま遺跡に搬入されたのであろう。また，いくつか同一母岩も抽出できたもののその数はきわめて少なく，遺跡内での剥片剥離は特に限定されたものであったことが窺える。

第13表　石器集中４　組成表

	ナイフ形石器	掻器	調整痕のある剥片	使用痕のある剥片	剥片	合計	組成比
チャート					9 26.86	9 26.86	50.0 48.6
黒曜石		1 4.76		1 0.97	2 2.13	4 7.86	22.2 14.2
安山岩A	1 6.00	1 10.57	1 0.92			3 17.49	16.7 31.6
珪質頁岩A				1 2.02	1 1.04	2 3.06	11.1 5.5
合計(点数) 合計(重量)	1 6.00	2 15.33	1 0.92	2 2.99	12 30.03	18 55.27	100.0 100.0
組成比(点数) 組成比(重量)	5.6 10.9	11.1 27.7	5.6 1.7	11.1 5.4	66.7 54.3	100.0 100.0	



第24図　石器集中４　出土状況



第25図　石器集中４　出土石器

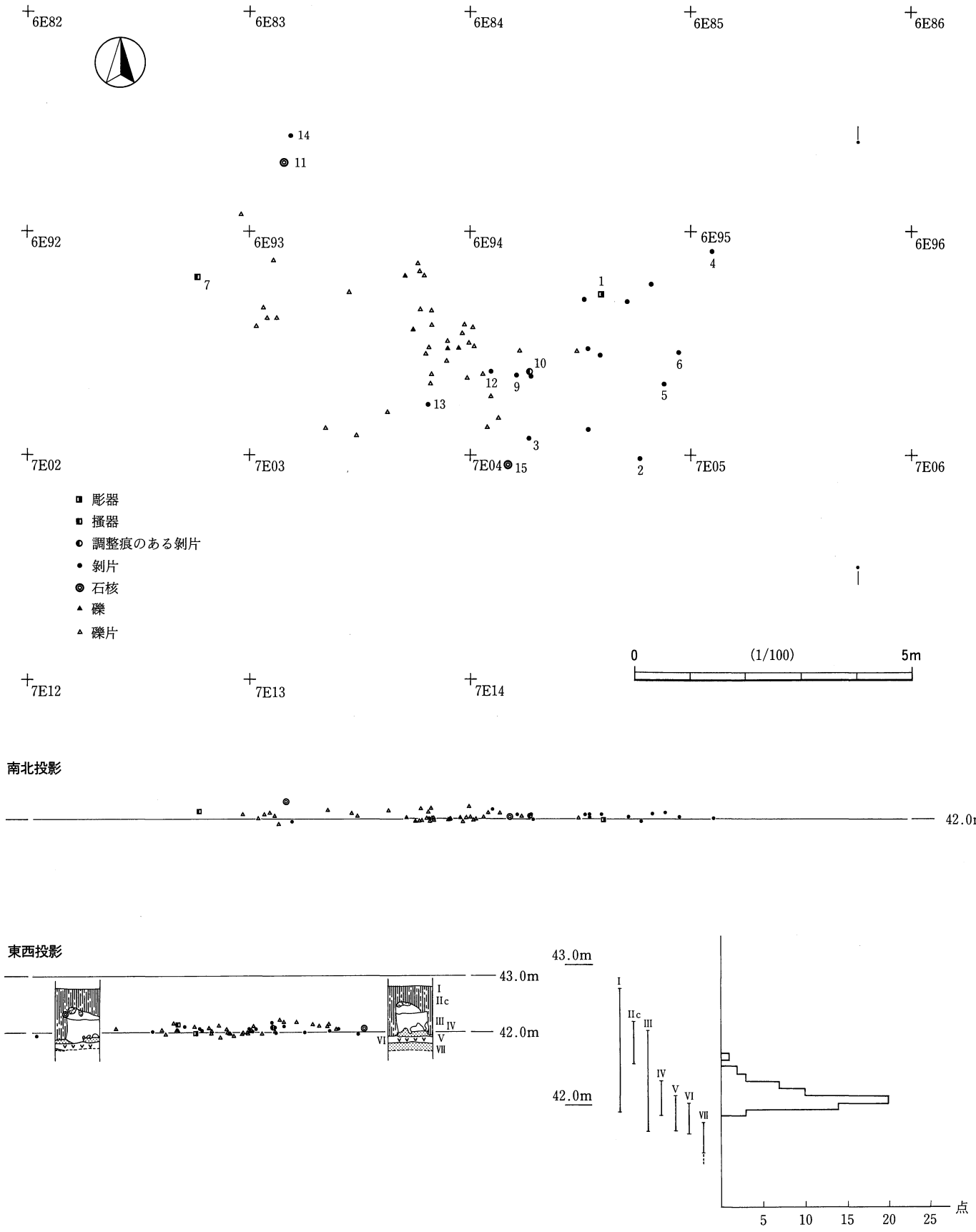
2　石器集中５（第26～30図，第14・20・21表，図版４・13・14）

分　布　6E93・94グリッドを中心に，南北約10m・東西約６mの範囲に分布している。分布の中心は礫・礫片で，周辺に剥片類が分布する。遺物の垂直分布は比較的安定し，出土層位はⅢ層が主体であるが，土層断面図への投影やヒストグラムを見ると，Ⅲ層（ソフトローム）でも中位～下位に分布の中心があると考えられる。出土レベルは最大値42.325m，最小値41.908m，平均値42.059mとなっている。

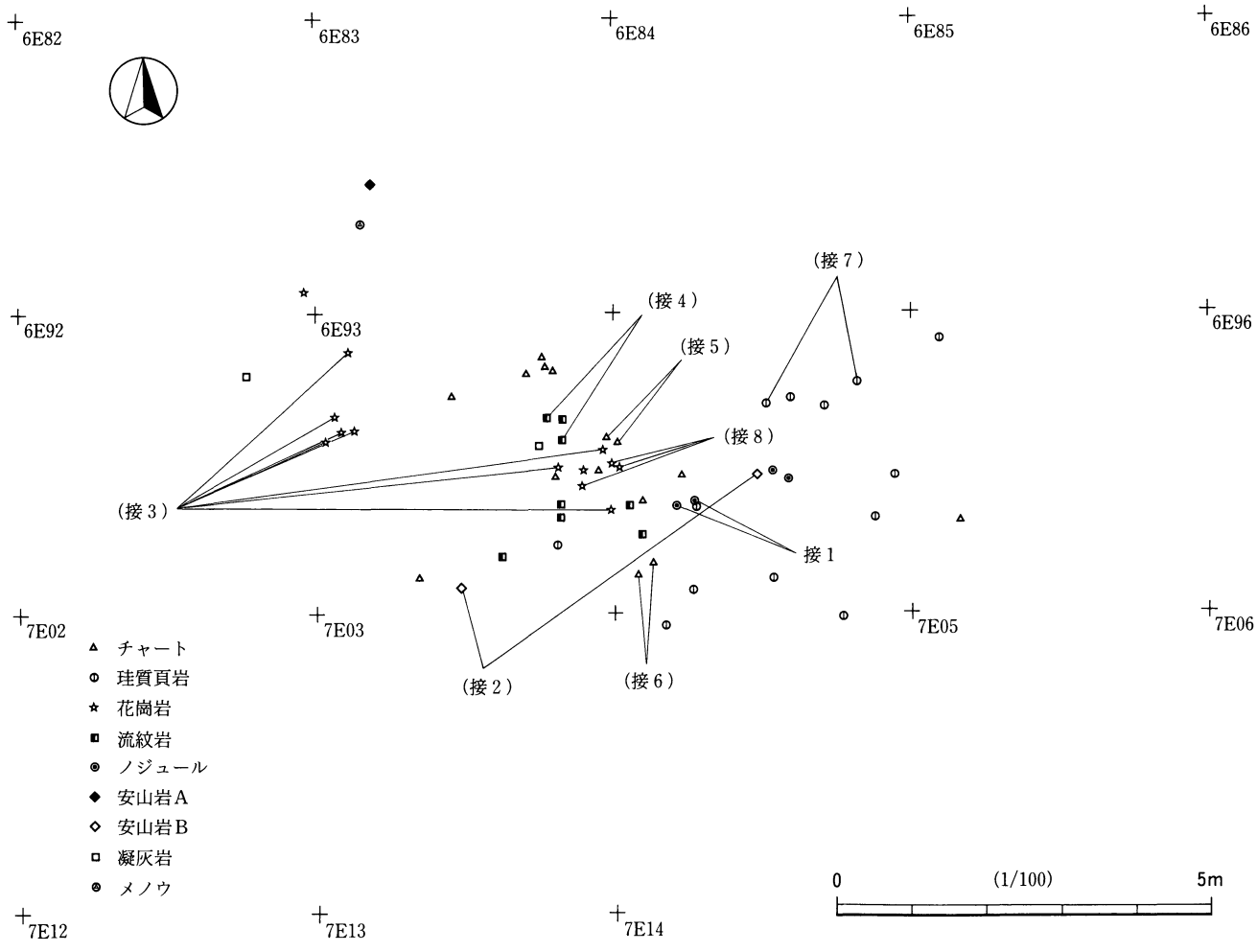
器　種　彫刻刀形石器１点，掻器１点，調整痕のある剥片１点，剥片16点，石核２点，礫４点，礫片34点の59点が出土した。１は剥片を横位に折断して，折断面から木口面に樋状剥離を施して彫刀面を作出した彫刻刀形石器である。珪質頁岩製であるが，他に同一母岩を用いた剥片が８点出土している（２～６）。剥片の形態には規則性がなく，打面転位を繰り返した剥片剥離が想定される。７は残核を利用して，長軸方向の端部に急角度調整を施した円弧状を呈した刃部をもつ，凝灰岩製の掻器である(単独母岩)。８～10はノジュールの同一母岩（母岩№３）を用いた剥片で，不定型な形状を呈している。11はメノウ製の石核で，ブロック状を呈した残核の剥離面の状況からは，打面転位を繰り返しながら，剥離可能な打面・作業面を探している印象を受ける。12～14はそれぞれ単独母岩を用いた剥片である。13は嶺岡産の特徴を有する珪質頁岩で良質のものである。15は嶺岡産珪質頁岩を用いた大型の石核であるが，節理が縦横に走る質の良くない原石のため自然面・節理面を一通り剥いた後，その後の剥片剥離に期待できなかったため廃棄されたのであろう。剥片剥離は稜を挟んで表裏（上下）に，作業面と打面を入れ替えながら進行していったようである。

石　材　剥片石器・石核に利用された石材は，珪質頁岩13点，ノジュール４点，チャート１点，安山岩Ａ１点，凝灰岩１点，メノウ１点で構成される。珪質頁岩は２母岩が抽出されたが，単独資料を含めてすべて嶺岡産の特徴を有するものである。母岩№1（珪質頁岩）は，濃灰緑色を呈した珪化したツルツルした部分と薄灰黄色を呈したやや乾いたカサカサした部分が同一の剥片に共存する資料である。彫刻刀形石器１点（１），剥片８点（２～６）で構成される。母岩№２（珪質頁岩）は薄灰黄色を呈した風化剥離面がややカサカサする乾いた感じのする資料であり，珪化したツルツルした部分が点状に挟入している。石核(15)とブロック状に剥がされた剥片２点で構成される。質が悪く剥片剥離には不向きであったため石核は大きなまま廃棄された。母岩№３（ノジュール）の風化剥離面は灰黄褐色を呈した乾いたカサカサした特徴をもち，一見熱を受けたような印象を受ける。剥片３点で構成される(８～10)。これもやはり嶺岡産の特徴を有していることから，ブロック内で剥片剥離に供された珪質頁岩・ノジュールはすべて南房総の嶺岡地域と強い関連をもつことが理解される。

礫　群　礫群は石器集中５の分布の中心部を形成し，礫４点，礫片34点で構成される。多くの資料が熱を受けたため表面が赤化し，細かく破砕している。完形礫（礫）の長軸平均長は38.9mm，破損礫（礫片）の長軸平均長は57.1mmであり，径100mm程度の比較的大きな礫が破砕していることが分かる。石材構成は，チャート13点，花崗岩13点，流紋岩８点，安山岩Ｂ２点，凝灰岩１点で，チャート・花崗岩・流紋岩が主体を占める。礫片は同一母岩を抽出すると８母岩に分離され(母岩№４～11)，それぞれに接合するものが多い（第27図)。花崗岩・チャートに比較的大きな礫が用いられている。



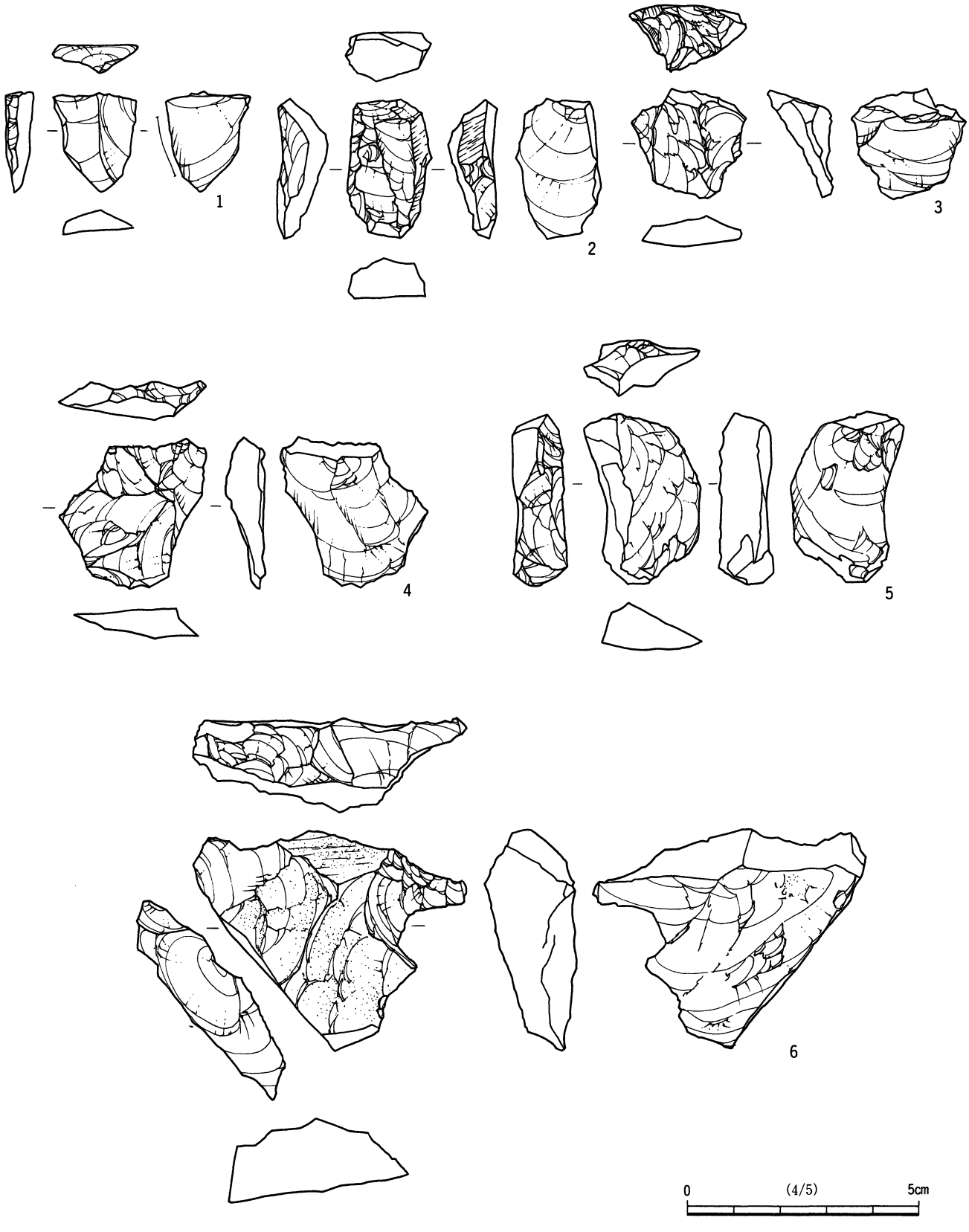
第26図　石器集中５　器種別出土状況



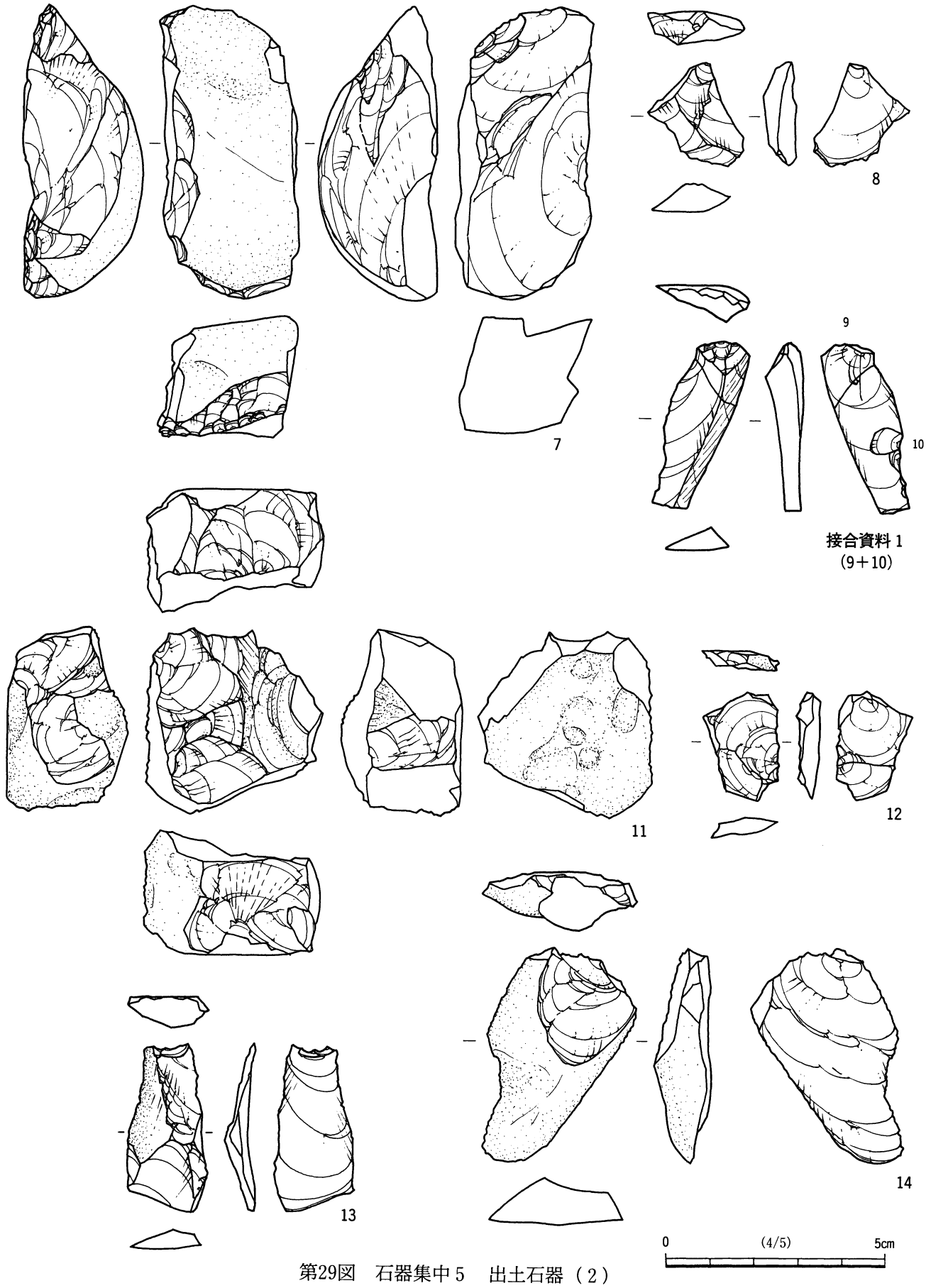
第27図　石器集中５　石材別出土状況

第14表　石器集中５　組成表

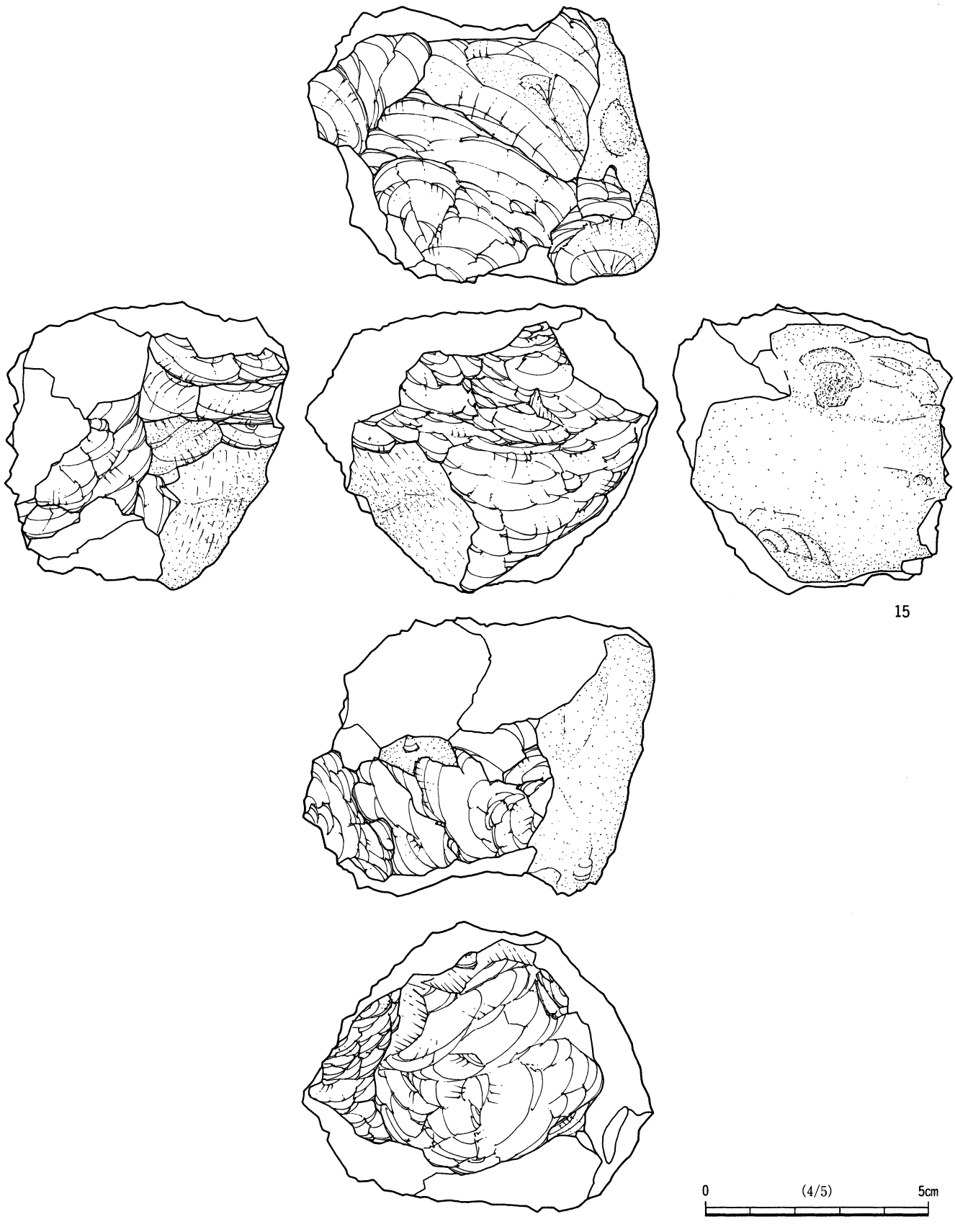
	彫刻刀形石器	掻器	調整痕のある剝片	剝片	石核	礫	礫片	合計	組成比
チャート				1 1.73		2 127.81	11 167.98	14 297.52	23.7 19.0
珪質頁岩	1 1.84			11 89.79	1 341.02			13 432.65	22.0 27.6
花崗岩						1 56.41	12 334.28	13 390.69	22.0 25.0
流紋岩							8 159.75	8 159.75	13.6 10.2
ノジュール			1 1.96	3 5.48				4 7.44	6.8 0.5
安山岩A				1 17.02				1 17.02	1.7 1.1
安山岩B							2 45.61	2 45.61	3.4 2.9
凝灰岩		1 63.06				1 44.79		2 107.85	3.4 6.9
メノウ					1 52.49			1 52.49	1.7 3.4
その他・不明							1 54.12	1 54.12	1.7 3.5
合計(点数) 合計(重量)	1 1.84	1 63.06	1 1.96	16 114.02	2 393.51	4 229.01	34 761.74	59 1565.14	100.0 100.0
組成比(点数) 組成比(重量)	1.7 0.1	1.7 4.0	1.7 0.1	27.1 7.3	3.4 25.1	6.8 14.6	57.6 48.7	100.0 100.0	



第28図　石器集中５　出土石器（１）



第29図　石器集中５　出土石器（２）



第30図　石器集中５　出土石器（３）

3　石器集中６（第31～48図，第15～18・21～24表，図版４・15～18）

分　布　平面分布は東西に大きく２地点に分離される。

西集中域はさらに小規模な集中域が点在し，全体として南北約20m，東西約13mの範囲に広がっている。特に石器分布が集中するのは8G65・8G84グリッドで，それぞれは別の母岩を主体として形成されている。出土層位はソフトローム中であるが上下にややばらけて分布しているためソフトローム層の上位であるのか下位であるのかは判断できない。出土レベルは最大値43.126m，最小値42.025m，平均値42.633mである。また同集中域からは，上層の縄文時代の包含層（Ⅱｃ層）出土の石器として，石器集中６と同一母岩を利用した剝片類が出土していた。これらについては，本来は同等に扱うべき資料ではあるが整理の段取りの都合により，第48図にまとめて掲載した。これらの資料は，耕作等により本来の包含層を遊離したものと考えられる。

東集中域は8G89グリッドを中心に径４mの範囲にまとまるものの，少数は周辺に広く点在する状況がみられる。平面分布のまとまりが象徴しているように，垂直分布を見ると，比較的安定した出土状況を示している。出土層位はソフトローム（Ⅲ層）中であるが，ちょうど土層断面図を作成した位置が耕作による撹乱が著しくソフトロームのほとんどが削られている状況であるので，西集中域と同様にソフトローム中での出土状況は把握できない。出土レベルは最大値42.730m，最小値42.296m，平均値42.504mである。

器　種　**西集中域**では，彫刻刀形石器１点，剝片72点，砕片２点，石核７点，敲石１点，礫・礫片２点の合計85点が出土した（第34～42図，第16表）。

１は右肩に彫刀面が形成された彫刻刀形石器で，背面には石核への稜調整が観察される。右側縁には微細な剝離痕が連続している。

２～７は少点数で構成される母岩の剝片を掲載した。接合資料１は唯一黒曜石を用いた剝片で，折れ面同士の接合資料である。黒曜石の特徴は，透明度の低い漆黒で斑晶が入るものである。４・６はチャートの同一母岩（母岩№７）で，小型礫を用いてやや厚めの剝片を剝離している。５は東集中域に主に分布する母岩№２（ホルンフェルス）と同一母岩で，背面に自然面をもつ。７は嶺岡産の珪質頁岩の特徴を持つ

第15表　石器集中６　組成表

	ナイフ形石器	角錐状石器	彫刻刀形石器	調整痕のある剝片	剝片	砕片	石核	敲石	礫	礫片	合計	組成比
安山岩A	2 8.47				33 154.79		3 79.27				38 242.53	26.8 19.1
安山岩B					2 17.66						2 17.66	1.4 1.4
安山岩									1 52.08		1 52.08	0.7 4.1
チャート			1 8.49		30 201.36	1 0.12	2 128.62				34 338.59	23.9 26.6
流紋岩	1 4.84				25 107.74	1 0.05	1 46.49			1 54.73	29 213.85	20.4 16.8
珪質頁岩	1 4.92	1 2.81		1 3.68	13 83.94	1 0.06	1 34.03				18 129.44	12.7 10.2
ホルンフェルス					14 160.93						14 160.93	9.9 12.6
黒曜石					2 2.77						2 2.77	1.4 0.2
メノウ					1 4.08						1 4.08	0.7 0.3
砂岩								1 79.36			1 79.36	0.7 6.2
その他・不明										2 30.89	2 30.89	1.4 2.4
合計(点数) 合計（重量）	4 18.23	1 2.81	1 8.49	1 3.68	120 733.27	3 0.23	7 288.41	1 79.36	1 52.08	3 85.62	142 1272.18	100.0 100.0
組成比(点数) 組成比(重量)	2.8 1.4	0.7 0.2	0.7 0.7	0.7 0.3	84.5 57.6	2.1 0.0	4.9 22.7	0.7 6.2	0.7 4.1	2.1 6.7	100.0 100.0	

もので，単独母岩で搬入されている。東集中域にも同様に大型の剝片が出土している。

8～14・16は安山岩Ａを用いた剝片・石核・接合資料である。8・9は寸詰まりの横長剝片で，10～12は縦長で厚みのある剝片形態である。13・14・16は石核である。13・14は裏面に自然面を残し，打面調整の施されない平坦打面から，小型横長剝片を剝離している。16は分厚い剝片を分割した分割面を打面として，長軸方向に数枚の縦長剝片を剝離している。裏面には稜調整が施されている。

15・17は安山岩Ｂ製の剝片で背面には自然面が残る。

18は珪質頁岩製の石核で，分厚い剝片の主要剝離面を打面として，素材剝片の打面背面側から小型横長剝片を剝離している。

接合資料３は，剝片12点，石核１点の合計13点が接合した。母岩№３（流紋岩）を用いており，接合しないが他に剝片類が11点出土している。石核（31）だけやや離れて出土し（8G96グリッド），その他は西集中域の中でも南側のブロックから出土している。まず，大きく剝離された平坦面を打面として19→20→21が剝離され，その作業面を打面として90°転位して23が剝離された。そしてこの剝離面を打面として再び90°転位し，22→24→25→27→28が同一打面から連続的に剝離されている。その後も，作業面と打面を入れ替えながら30・26・29が剝離された。

接合資料４は，剝片18点，石核２点の合計20点が接合し，径80mm程度のチャート楕円礫の利用が判明した（母岩№１）。大半が6G65・75グリッドに集中して分布しているが，32・33のみ離れて8G54グリッドから出土した。両者は折れ面で接合する資料で，以下に述べるように最も早い段階に剝離されたものである。まず始めに，楕円礫の長軸方向の端部から剝離を開始し（32＋33→34），打面を入れ替えながら自然面を除去している（35＋36→37＋38→39）。さらに数点の剝片を剝離しているが，素材となった楕円礫の側方から40を剝離した剝離面を打面として，90°転位して連続的に，同一打面から41→42→43→44→45が剝離される。そしてまたこの作業面を打面として90°転位して分厚い剝片を剝離している。剝離後，この剝片は石核として利用され（46），主要剝離面を打面として小型剝片が剝離されている。46を剝離後，この剝離面を打面として47・48（同時割れ）→49が剝離され，さらに作業面と打面を入れ替えて50→51が剝離された。

53は背面に自然面を残す分厚い剝片で，珪質頁岩（母岩№４）を用いている。

54は砂岩製の敲石である。上下端部に顕著な敲打痕が観察される。

東集中域では，角錐状石器１点，ナイフ形石器４点，調整痕のある剝片１点，剝片48点，砕片１点，礫片２点の合計57点が出土した（第43～47図，第17表）。急角度調整や鋸歯状の調整が特徴的に施された角錐状石器・ナイフ形石器が検出された（56・57・59・61・62＋63）。56～58は珪質頁岩の同一母岩（母岩№８）が用いられている。57は先端部が欠損している。59・60は流紋岩（母岩№５）が用いられている。59も先端部が欠損している。61・62は安山岩Ａ製で，前者は基部のみに調整が施されたもので，後者は片側面にのみ鋸歯状の荒々しい調整が施されている。

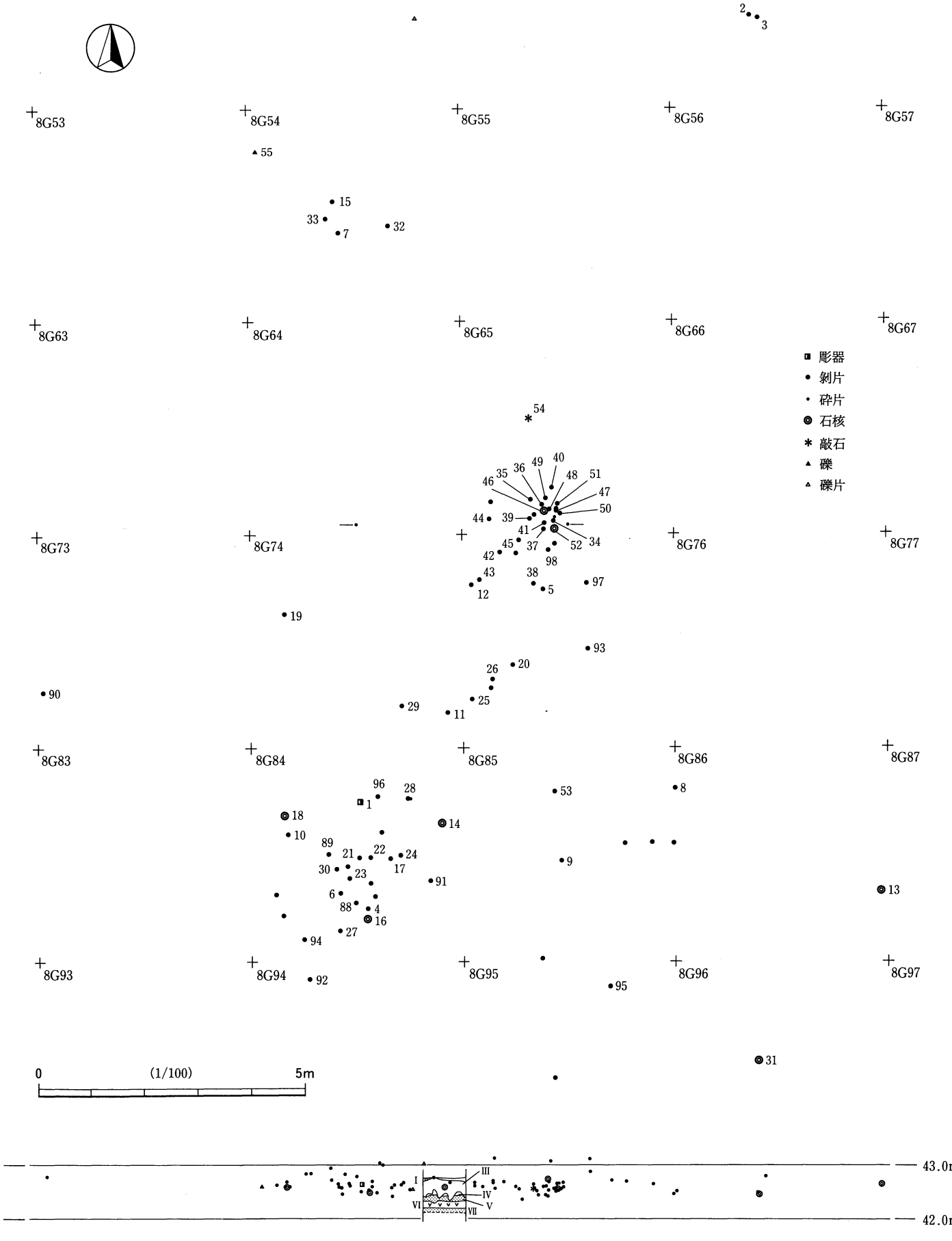
64～71は安山岩Ａ製の剝片類である。67の背面には石核への稜調整が見られる。

72・74は嶺岡産の特徴を有する珪質頁岩を用いた剝片で，単独母岩である。

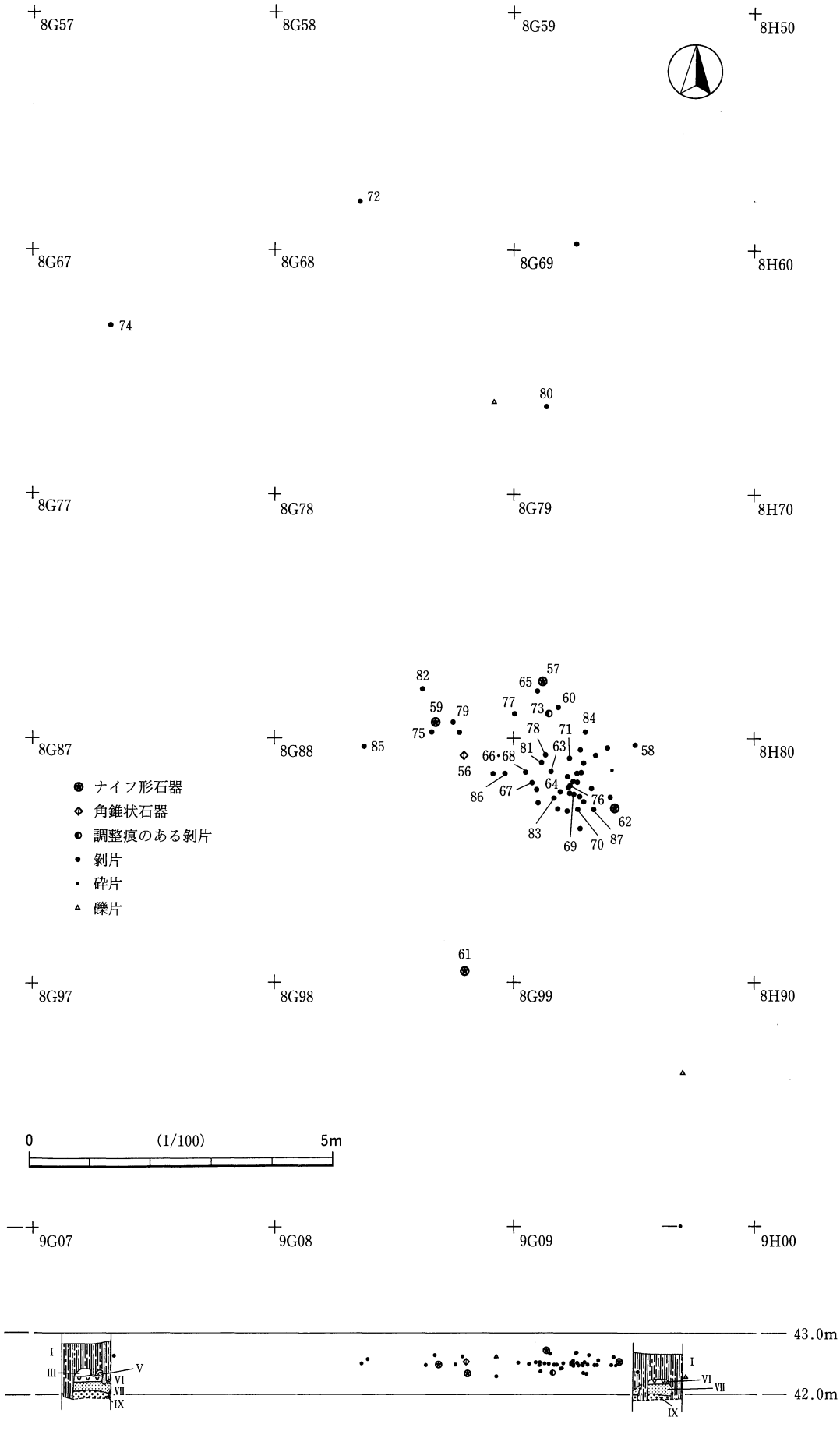
73は西集中域に分布している珪質頁岩と同一母岩（母岩№６）で，縁辺の一部に調整痕が観察される。

75はチャート製（単独母岩）の剝片である。

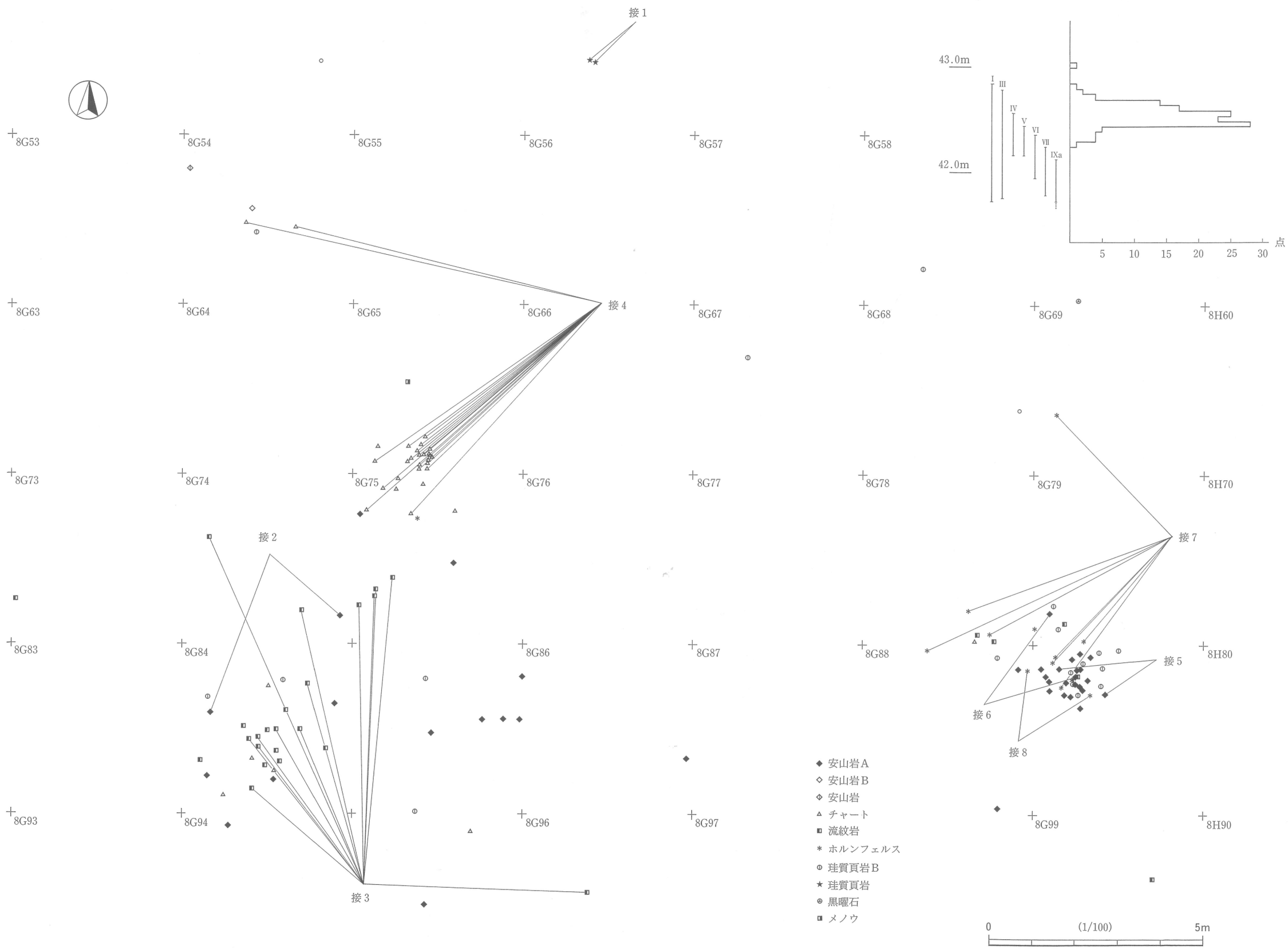
76・77は接合資料７と同一母岩（母岩№２）の剝片で，背面は自然面に覆われた酷似した形態を呈している。接合資料７は剝片８点が接合したものである。ホルンフェルス（母岩№２）を用いている。東集中



第31図　石器集中６　器種別出土状況（１）

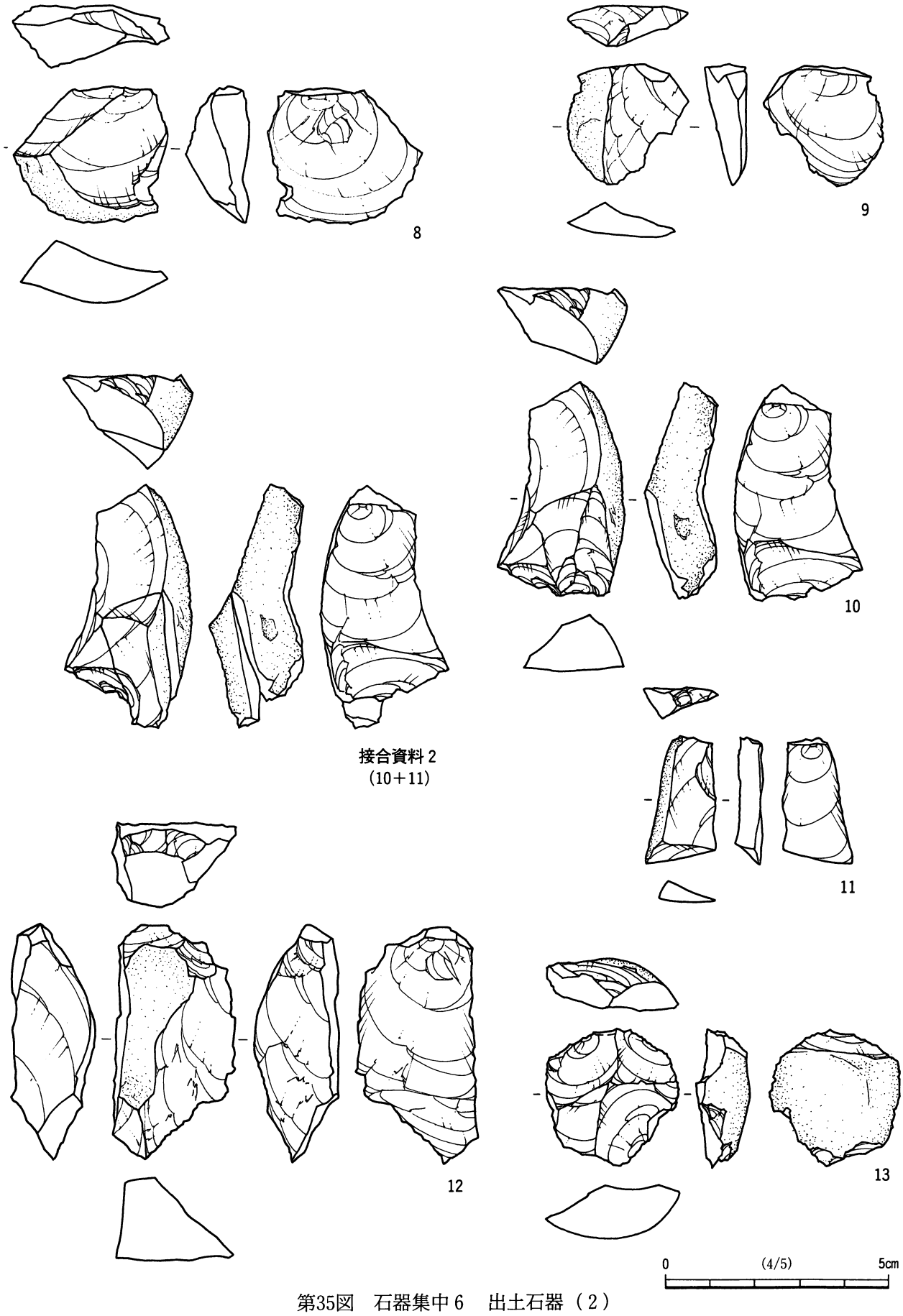


第32図　石器集中６　器種別出土状況（２）

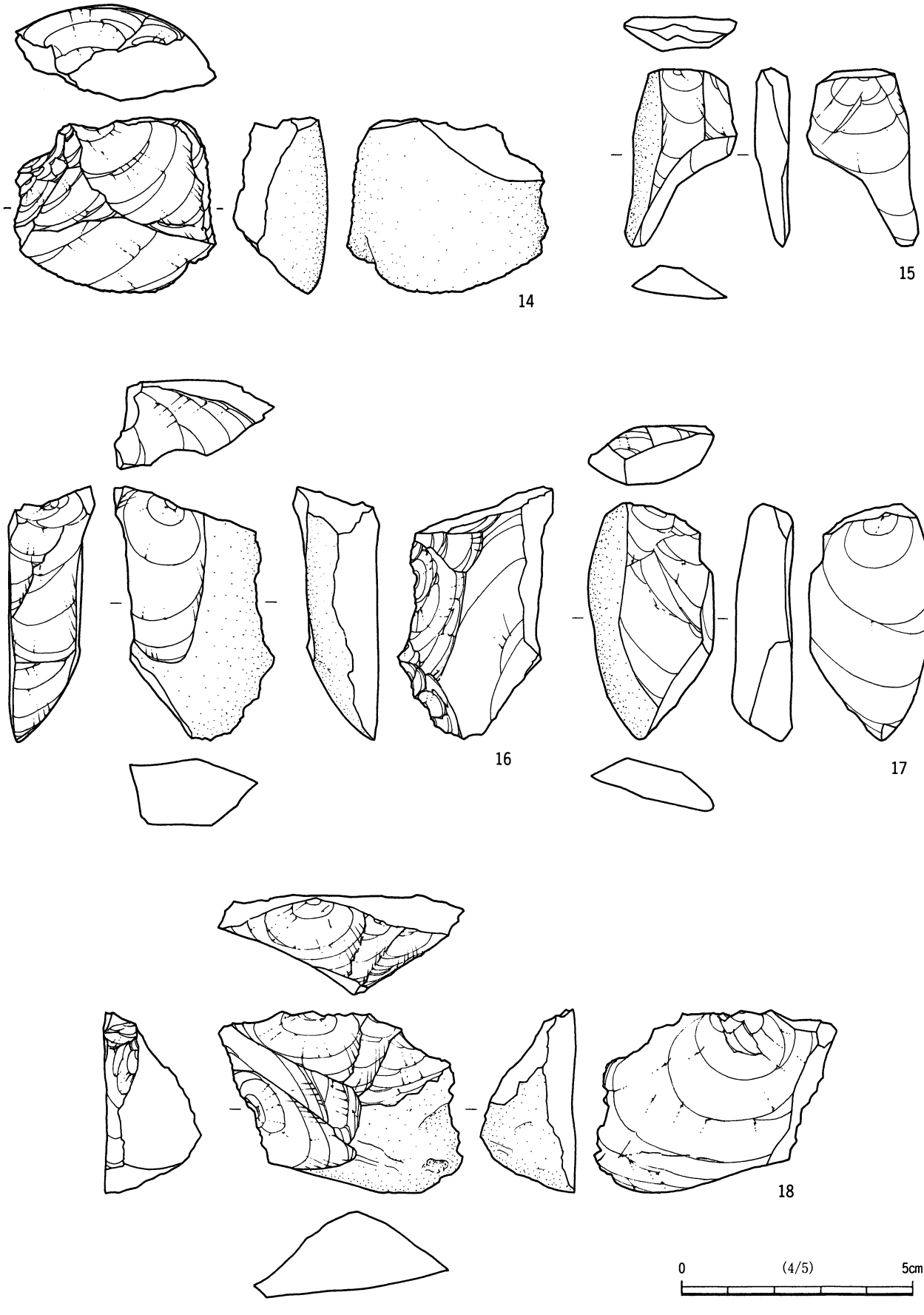


第33図　石器集中6　石材別出土状況

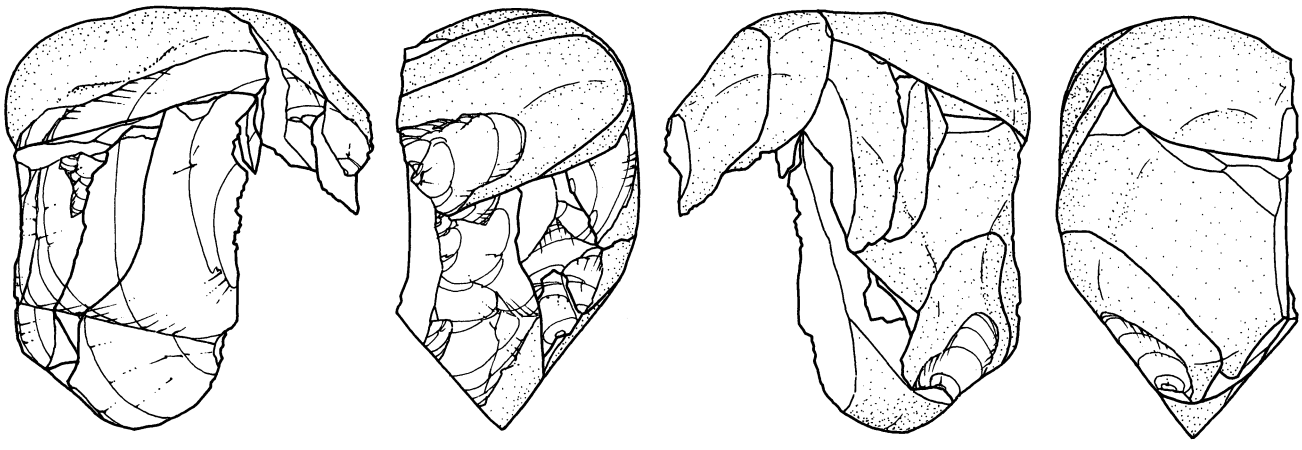
第34図　石器集中６　出土石器（１）



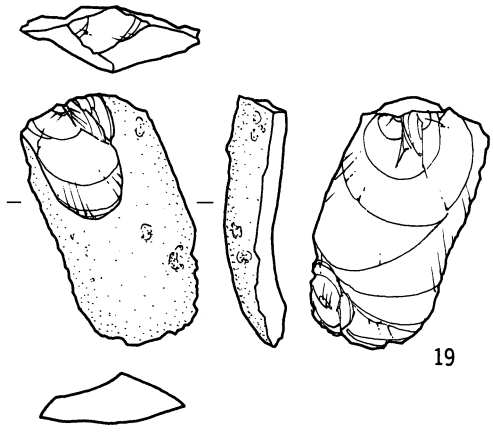
第35図　石器集中 6　出土石器（2）



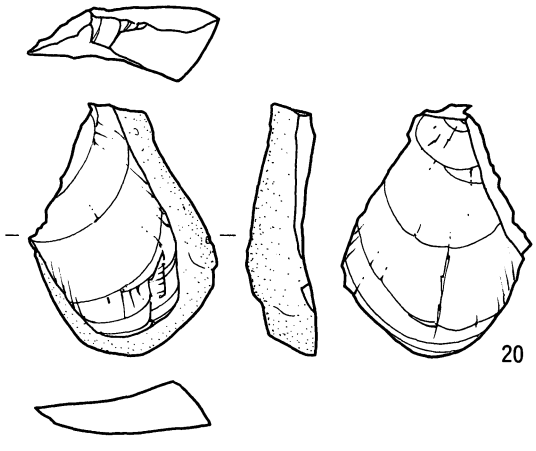
第36図　石器集中６　出土石器（３）



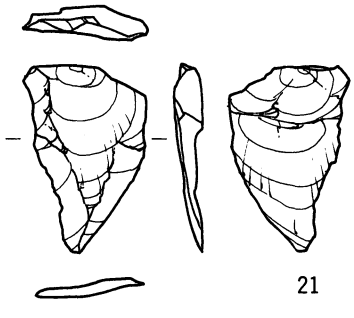
接合資料 3
(19～31)



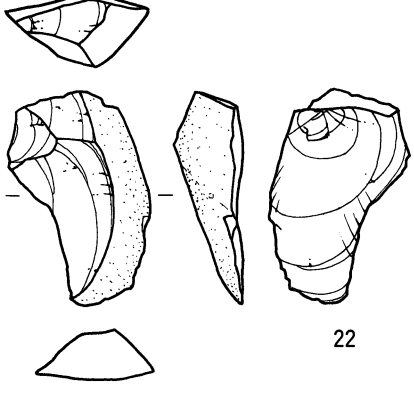
19



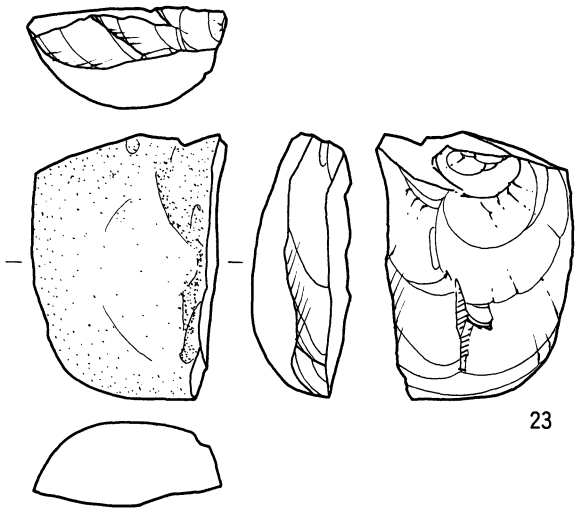
20



21



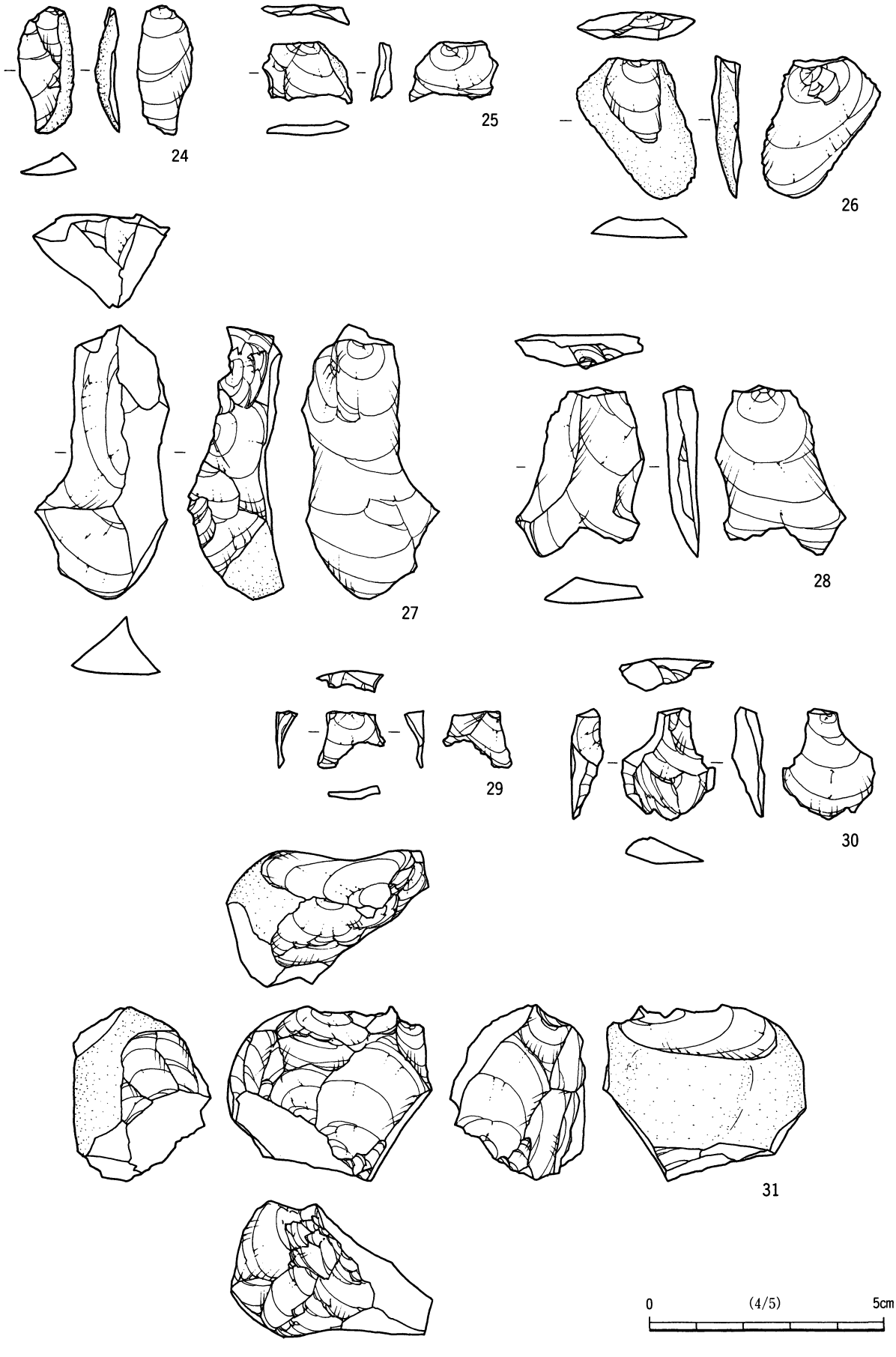
22



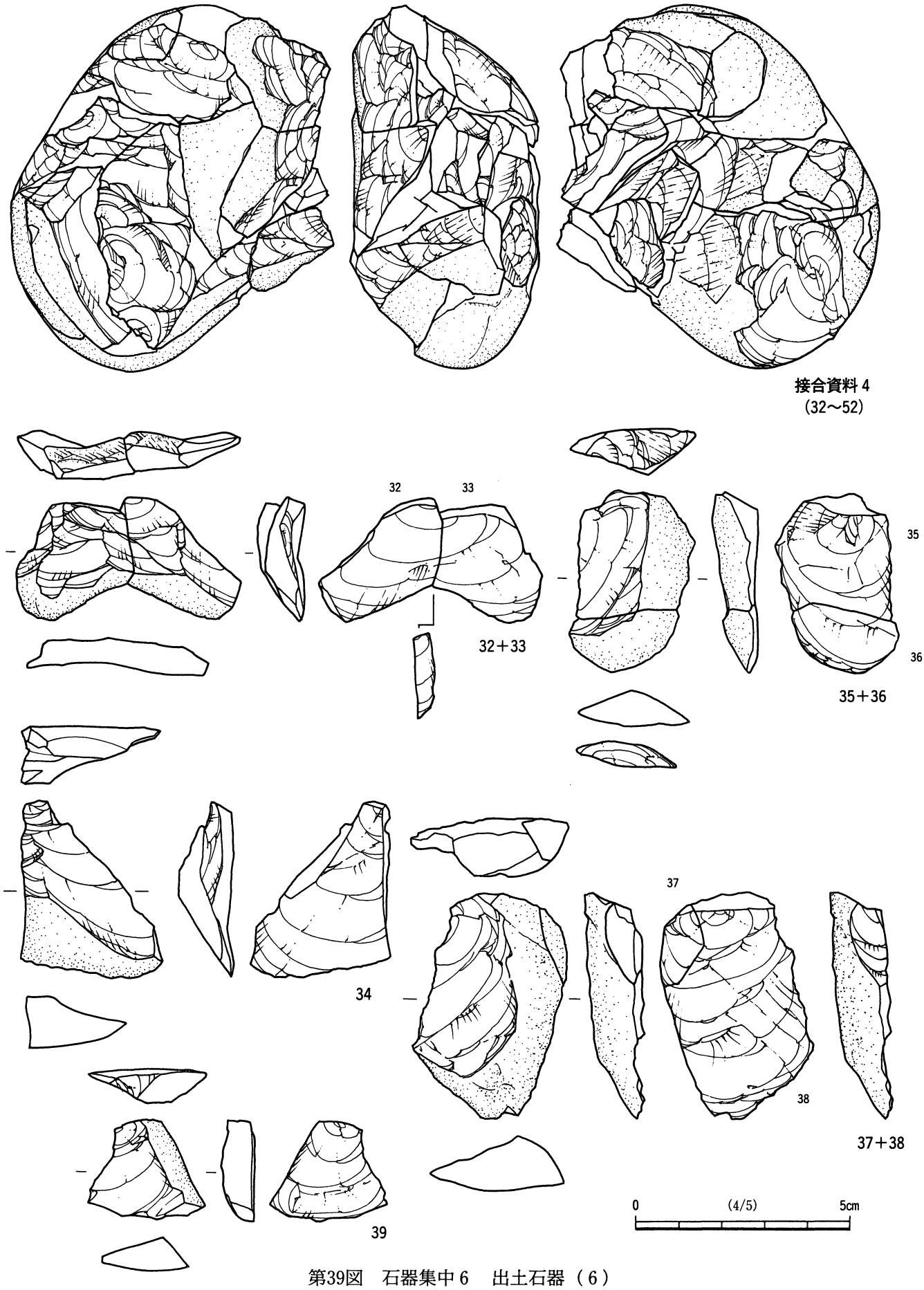
23

0 (4/5) 5cm

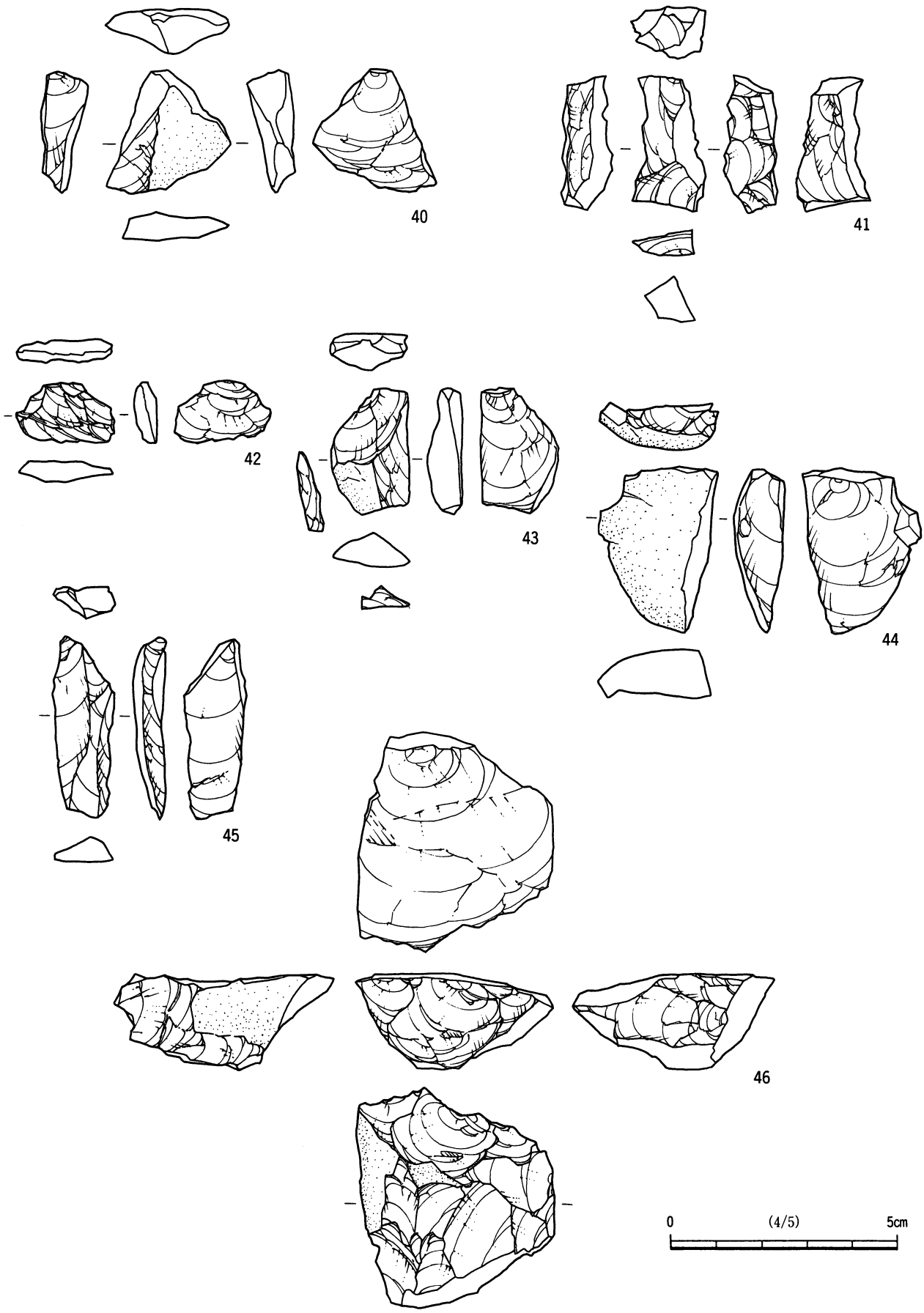
第37図　石器集中 6　出土石器（4）



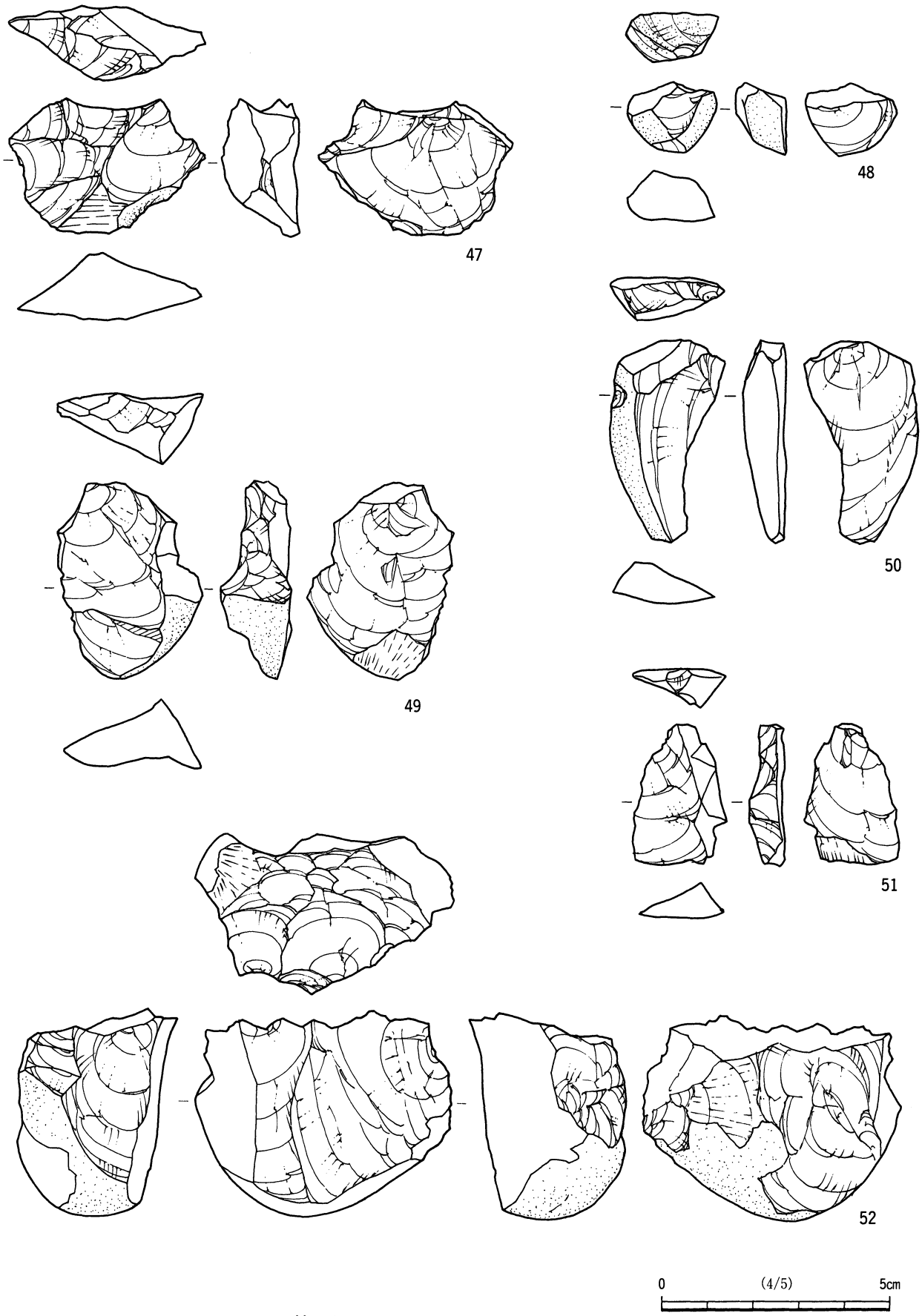
第38図　石器集中６　出土石器（５）



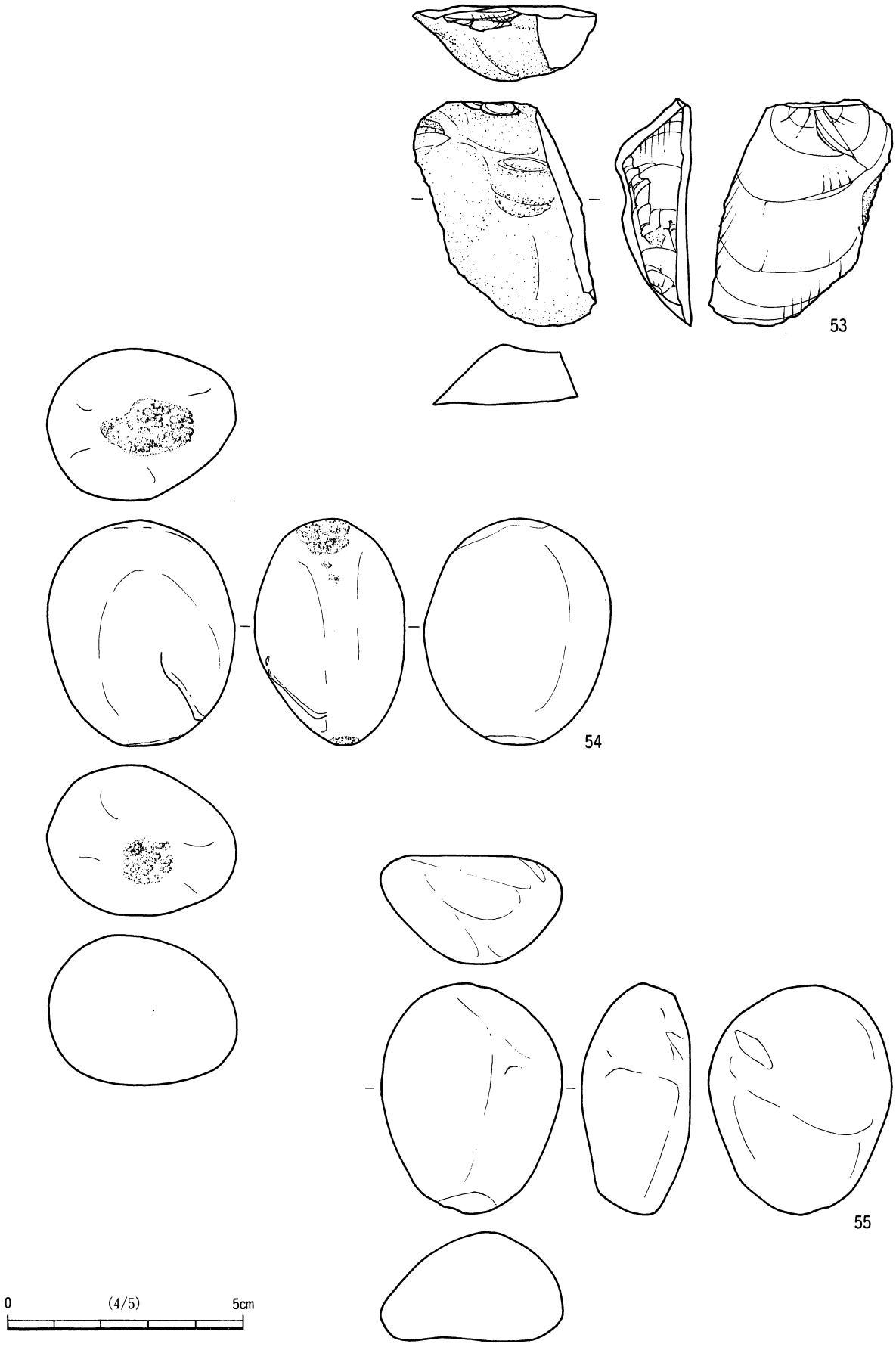
第39図　石器集中６　出土石器（６）



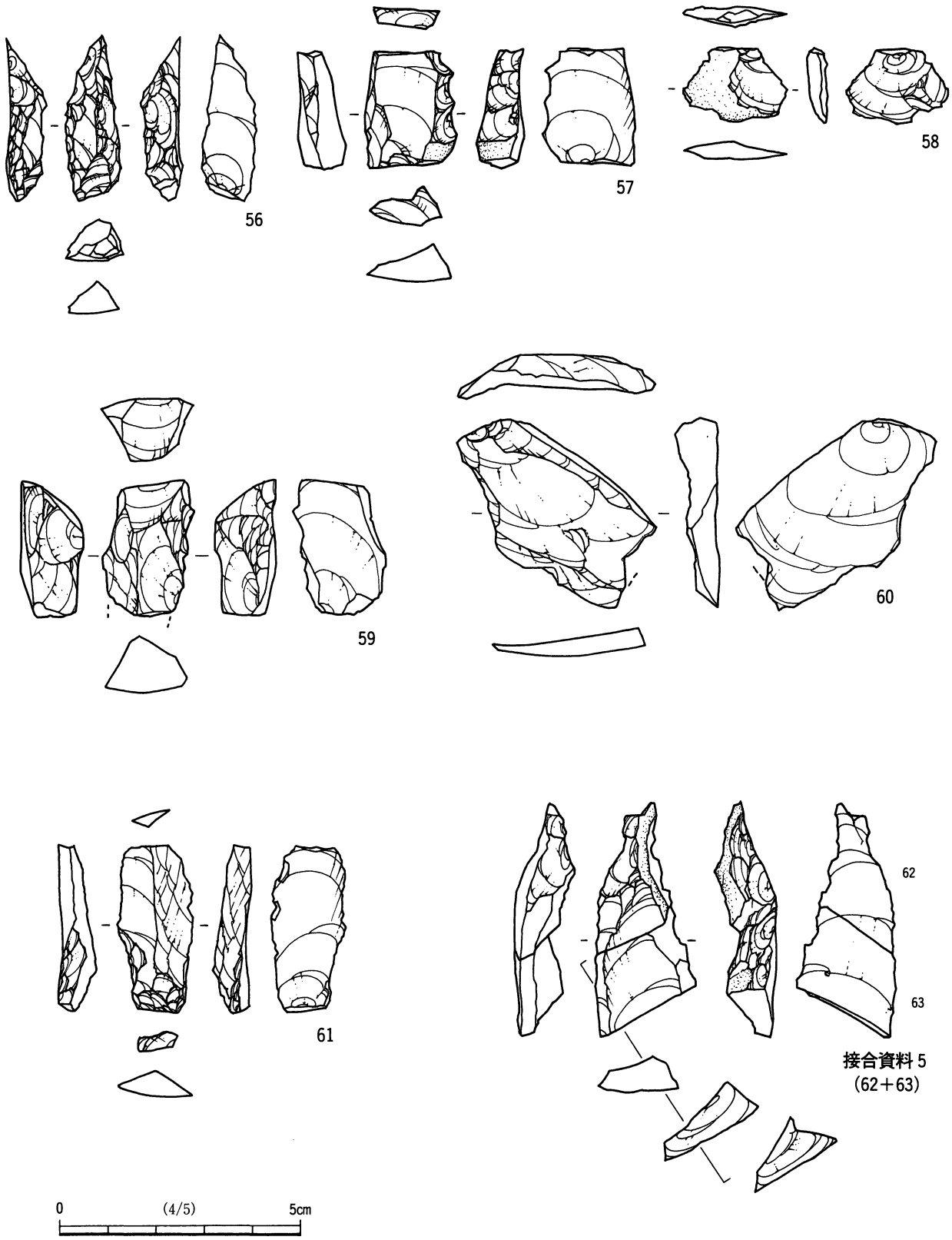
第40図　石器集中６　出土石器（７）



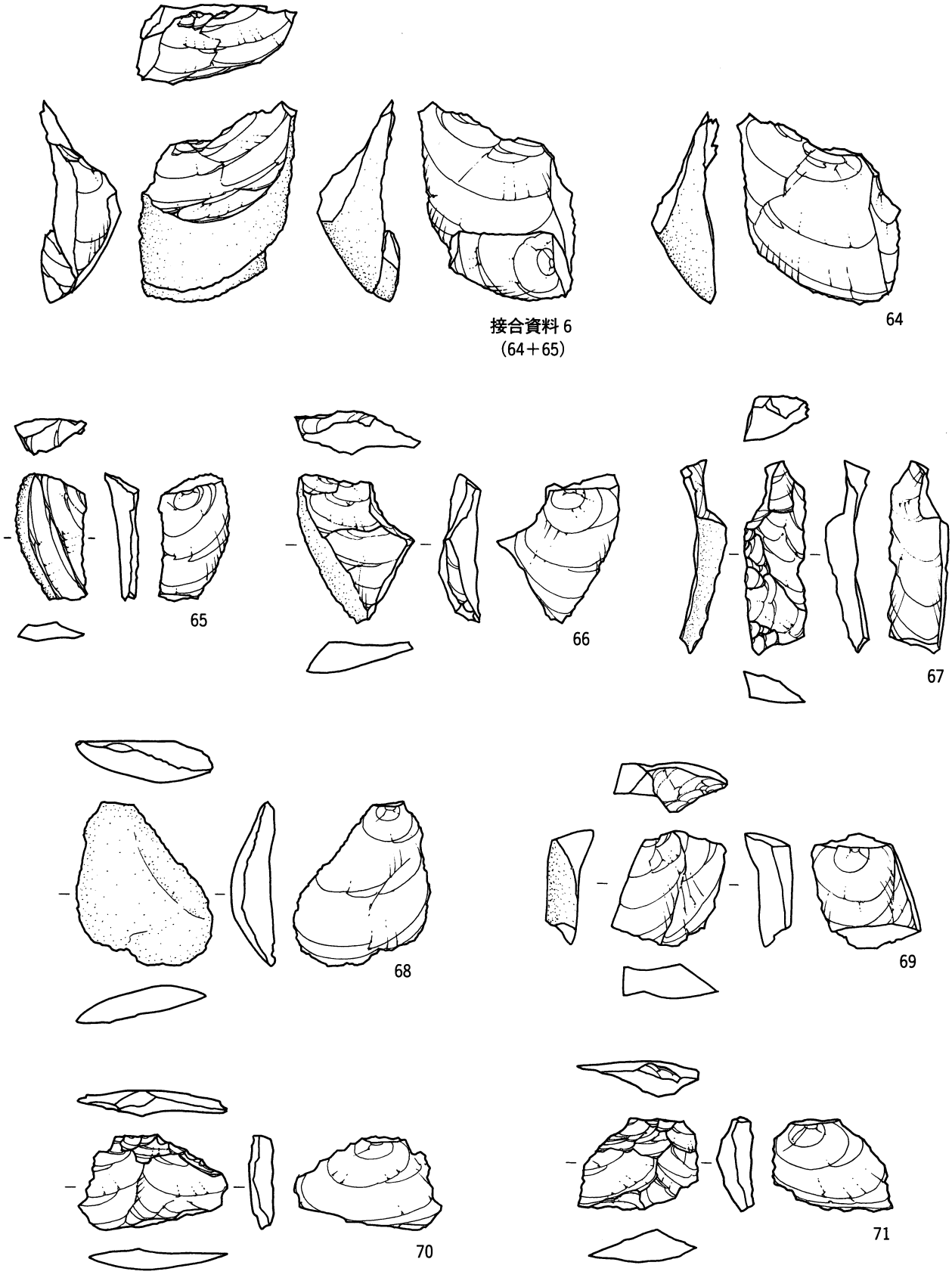
第41図　石器集中６　出土石器（８）



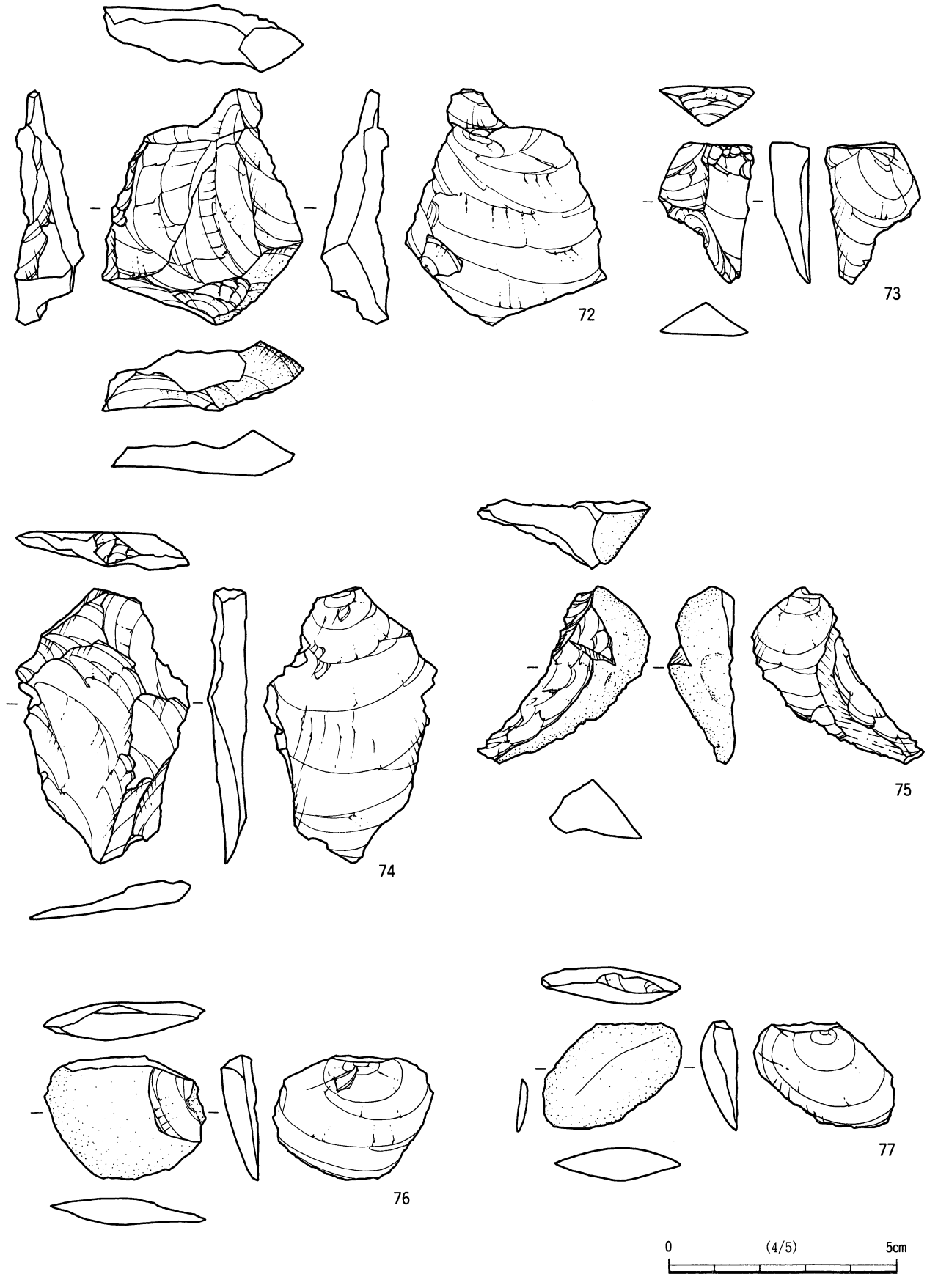
第42図　石器集中６　出土石器（９）



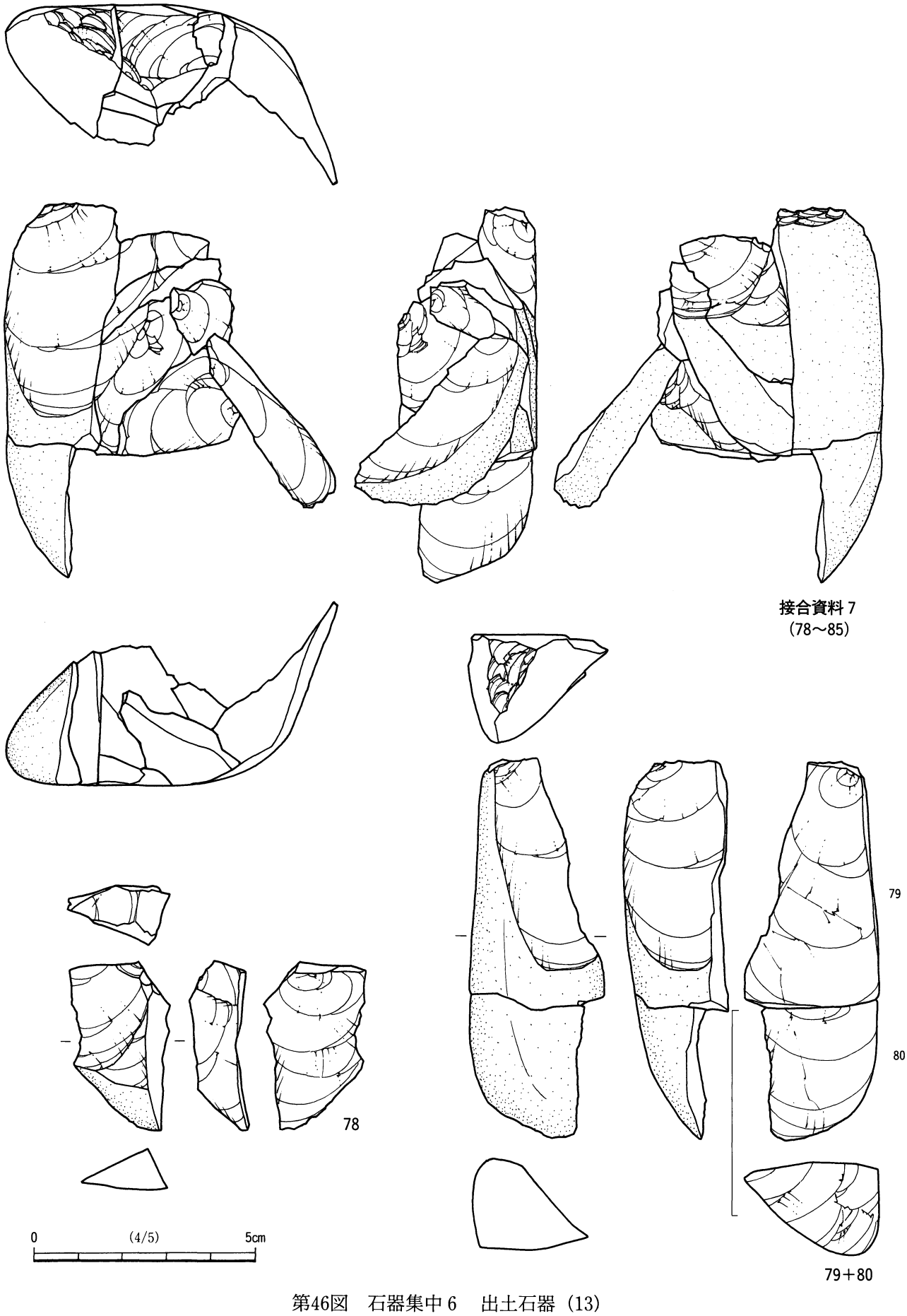
第43図　石器集中6　出土石器（10）



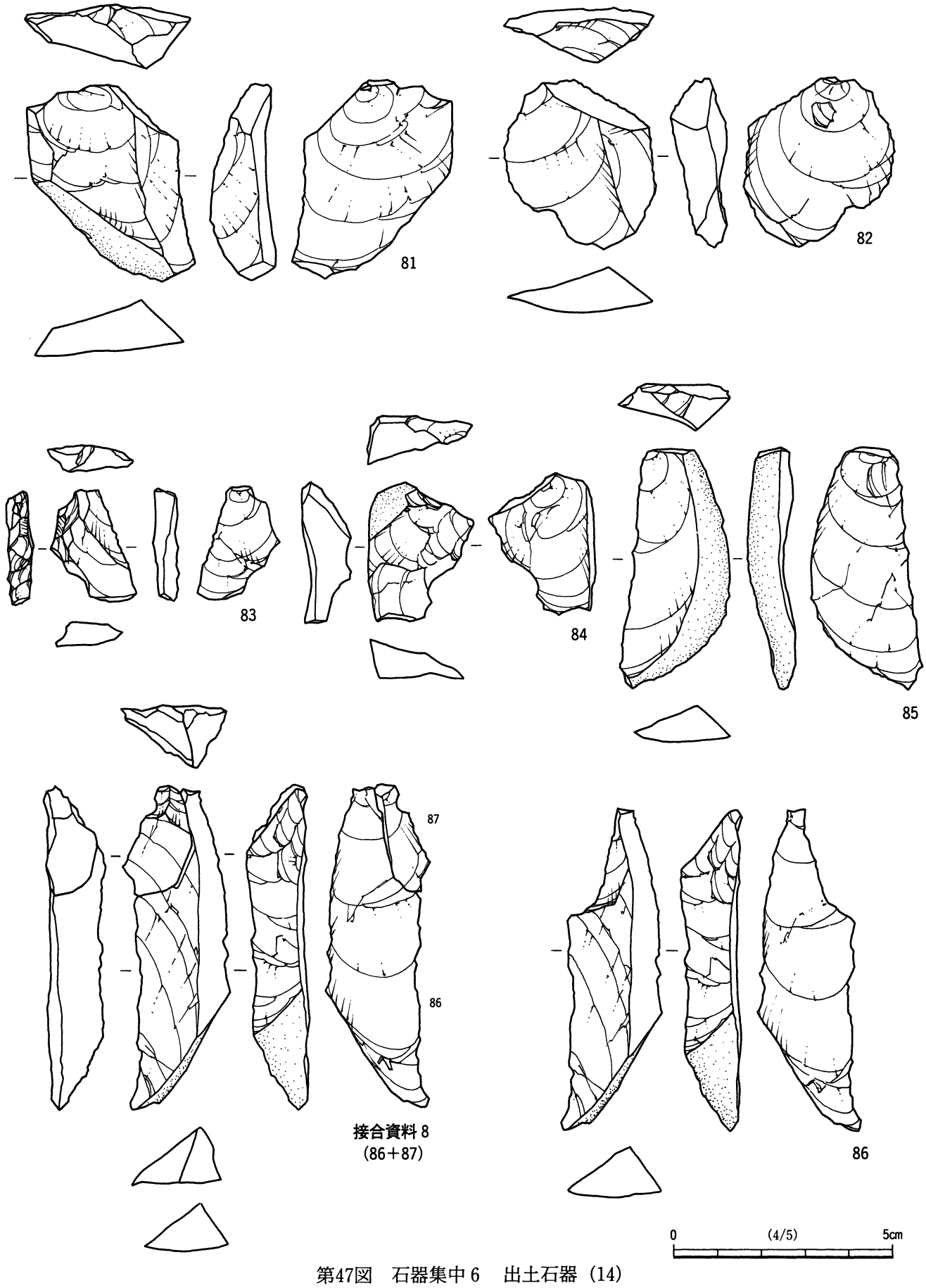
第44図　石器集中 6　出土石器（11）



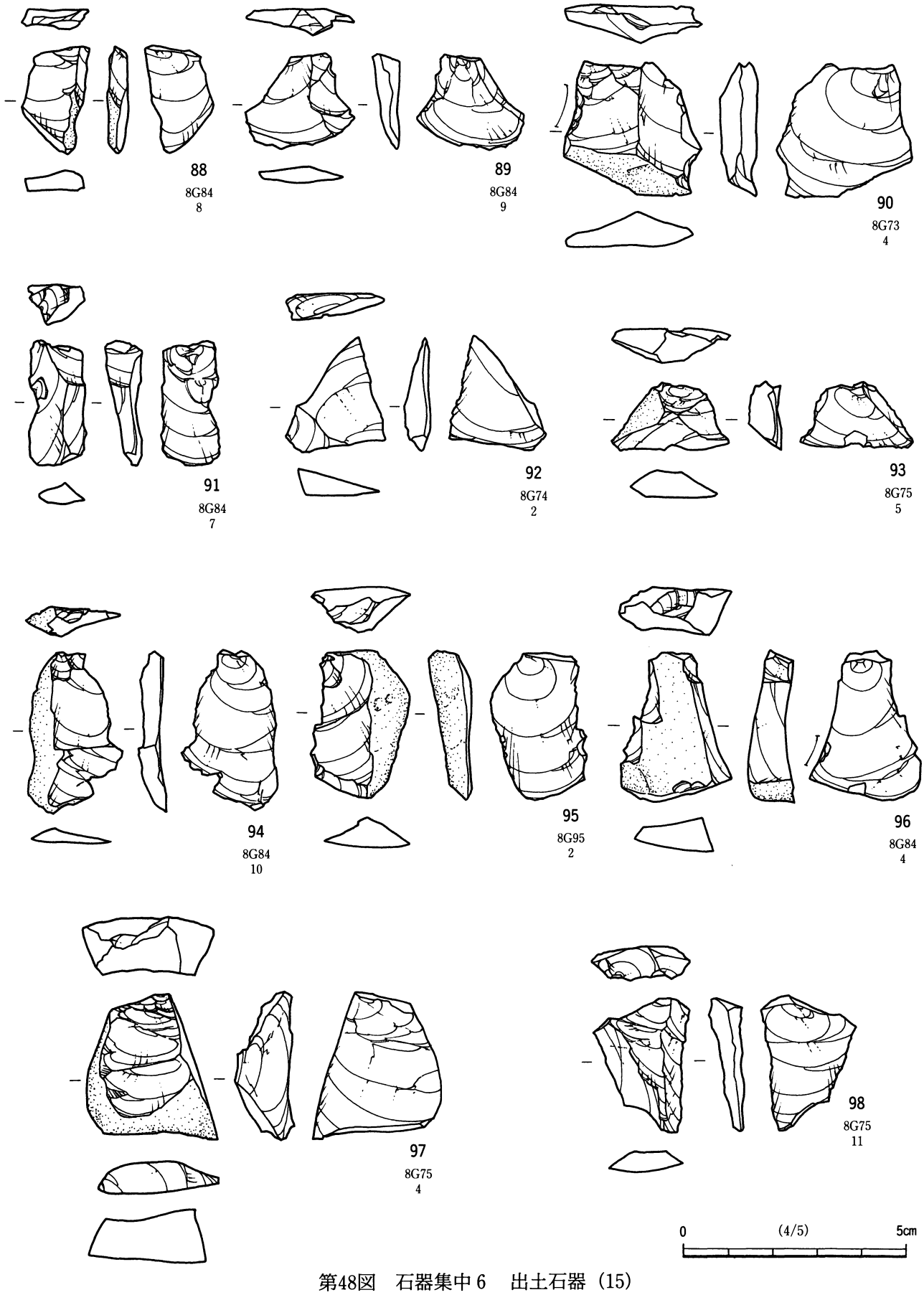
第45図　石器集中６　出土石器（12）



第46図　石器集中６　出土石器（13）



第47図　石器集中 6　出土石器（14）



第48図　石器集中6　出土石器（15）

域の北側にやや偏って分布する。厚みが片方の端部に向って薄くなる円礫の縁辺を長軸方向に分厚く剝離し(79・80)，先に作業面だった平坦面を打面として78→81→82→83を剝離している。その後も打面と作業面を入れ替えながら85→86が剝離されている。

接合資料８は接合資料７と同一母岩で剝片剝離時に同時に割れたものが接合している。

石　材　利用石材は，安山岩Ａ38点，安山岩Ｂ２点，安山岩１点，チャート34点，流紋岩29点，珪質頁岩18点，ホルンフェルス14点，黒曜石２点，メノウ１点，砂岩１点で構成される。

複数資料で抽出された母岩は13母岩に及ぶ，主なものについてその特徴を述べる（第18表)。

安山岩Ａは風化が著しく母岩分類を行っていないが，接合資料２・接合資料５・接合資料６についてはそれぞれ母岩№12・13・11と番号を振った。

チャートは２母岩を抽出した(母岩№１・７)。母岩№１は濃青色を呈したチャートで，剝片・砕片24点と石核２点の合計26点で構成される。その内の20点に接合関係が認められ，完形礫近くにまで復元された（接合資料４)。母岩№７は，濃緑色を呈したチャートで，剝片４点で構成される（4・6・94・95)。背面に自然面をもつ厚めの小型剝片であることから，原石もそれほど大きなものではなかったと推測される。

流紋岩は２母岩を抽出した(母岩№３・５)。母岩№３は黒雲母状のキラキラした鉱物が混じる灰色を呈した流紋岩で，剝片・砕片23点・石核１点の合計24点で構成される(19～31・88～91)。その内，13点に接合関係が認められ，原石近くまで復元された（接合資料３)。母岩№５は，ナイフ形石器１点（59)，剝片３点（60）で構成され，白色を帯びた母岩でややもろい印象を受けるものである。

珪質頁岩は３母岩を抽出した(母岩№４・６・８)。母岩№４は自然面が明るいクリーム色を呈し，内部に向かって風化剝離面が薄灰緑色へ変化している。剝片４点で構成される(53)。母岩№６は質的に№４とよく類似している母岩であるが，自然面は薄灰青色を呈し，風化剝離面も網目状の模様が特徴的である。石核１点（18)，調整痕のある剝片１点（73)，砕片１点の３点で構成される。母岩№８は，ナイフ形石器１点（57)，角錐状石器１点（56)，剝片５点（58）で構成され，薄黄褐色を呈する特徴的な母岩である。

ホルンフェルスは１母岩を抽出した(母岩№２)。自然面・剝離面ともに風化が著しく，同様に灰色を呈している。内部にはひも状に黒色の節理面？が走り，特徴的である。剝片14点で構成され（５・76～87)，その内２個体（８点・２点）に接合関係が認められた（接合資料７・８)。

母岩毎の分布は，東集中域・西集中域のどちらかのみに分布するものと，偏りはあるものの両集中域に分布するものがある。西集中域のみ分布するのは母岩№１・３・７・９・10で，東集中域のみに分布するのは母岩№５・８・11・12・13である。また両集中域から出土するのは，母岩№２（ホルンフェルス）と母岩№４・６（珪質頁岩）である。

第16表　石器集中６西集中域　組成表

	彫刻刀形石器	剝片	砕片	石核	敲石	礫	礫片	合計	組成比
チャート	1 8.49	29 191.12	1 0.12	2 128.62				33 328.35	38.8 35.9
流紋岩		22 99.74	1 0.05	1 46.49				24 146.28	28.2 16.0
安山岩Ａ		12 95.32		3 79.27				15 174.59	17.6 19.1
安山岩Ｂ		2 17.66						2 17.66	2.4 1.9
安山岩						1 52.08		1 52.08	1.2 5.7
珪質頁岩		4 44.79		1 34.03				5 78.82	5.9 8.6
黒曜石		2 2.77						2 2.77	2.4 0.3
ホルンフェルス		1 8.63						1 8.63	1.2 0.9
砂岩					1 79.36			1 79.36	1.2 8.7
その他							1 26.80	1 26.80	1.2 2.9
合計(点数) 合計(重量)	1 8.49	72 460.03	2 0.17	7 288.41	1 79.36	1 52.08	1 26.80	85 915.34	100.0 100.0
組成比(点数) 組成比(重量)	1.2 0.9	84.7 50.3	2.4 0.0	8.2 31.5	1.2 8.7	1.2 5.7	1.2 2.9	100.0 100.0	

第17表　石器集中６東集中域　組成表

	ナイフ形石器	角錐状石器	調整痕のある剥片	剥片	砕片	礫片	合計	組成比
安山岩Ａ	2 8.47			21 59.47			23 67.94	40.4 19.0
珪質頁岩	1 4.92	1 2.81	1 3.68	9 39.15	1 0.06		13 50.62	22.8 14.2
ホルンフェルス				13 152.30			13 152.30	22.8 42.7
流紋岩	1 4.84			3 8.00		1 54.73	5 67.57	8.8 18.9
チャート				1 10.24			1 10.24	1.8 2.9
メノウ				1 4.08			1 4.08	1.8 1.1
その他						1 4.09	1 4.09	1.8 1.1
合計(点数) 合計(重量)	4 18.23	1 2.81	1 3.68	48 273.24	1 0.06	2 58.82	57 356.84	100.0 100.0
組成比(点数) 組成比(重量)	7.0 5.1	1.8 0.8	1.8 1.0	84.2 76.6	1.8 0.0	3.5 16.5	100.0 100.0	

第18表　石器集中６　母岩別組成表

母岩No.	ナイフ形石器	角錐状石器	調整痕のある剥片	剥片	砕片	石核	合計	重量〔g〕
1　チャート				23	1	2	26	284.56
2　ホルンフェルス				14			14	160.93
3　流紋岩				22	1	1	24	146.28
4　珪質頁岩				4			4	28.4
5　流紋岩	1			3			4	12.84
6　珪質頁岩			1		1	1	3	37.77
7　チャート				4			4	31.69
8　珪質頁岩	1	1		5			7	13.37
9　安山岩Ｂ				2			2	17.66
10　黒曜石				2			2	2.77
11　安山岩Ａ				2			2	14.61
12　安山岩Ａ				2			2	2.66
13　安山岩Ａ	1			1			2	8.77

４　石器集中７（第49・50図，第19・24表，図版18）

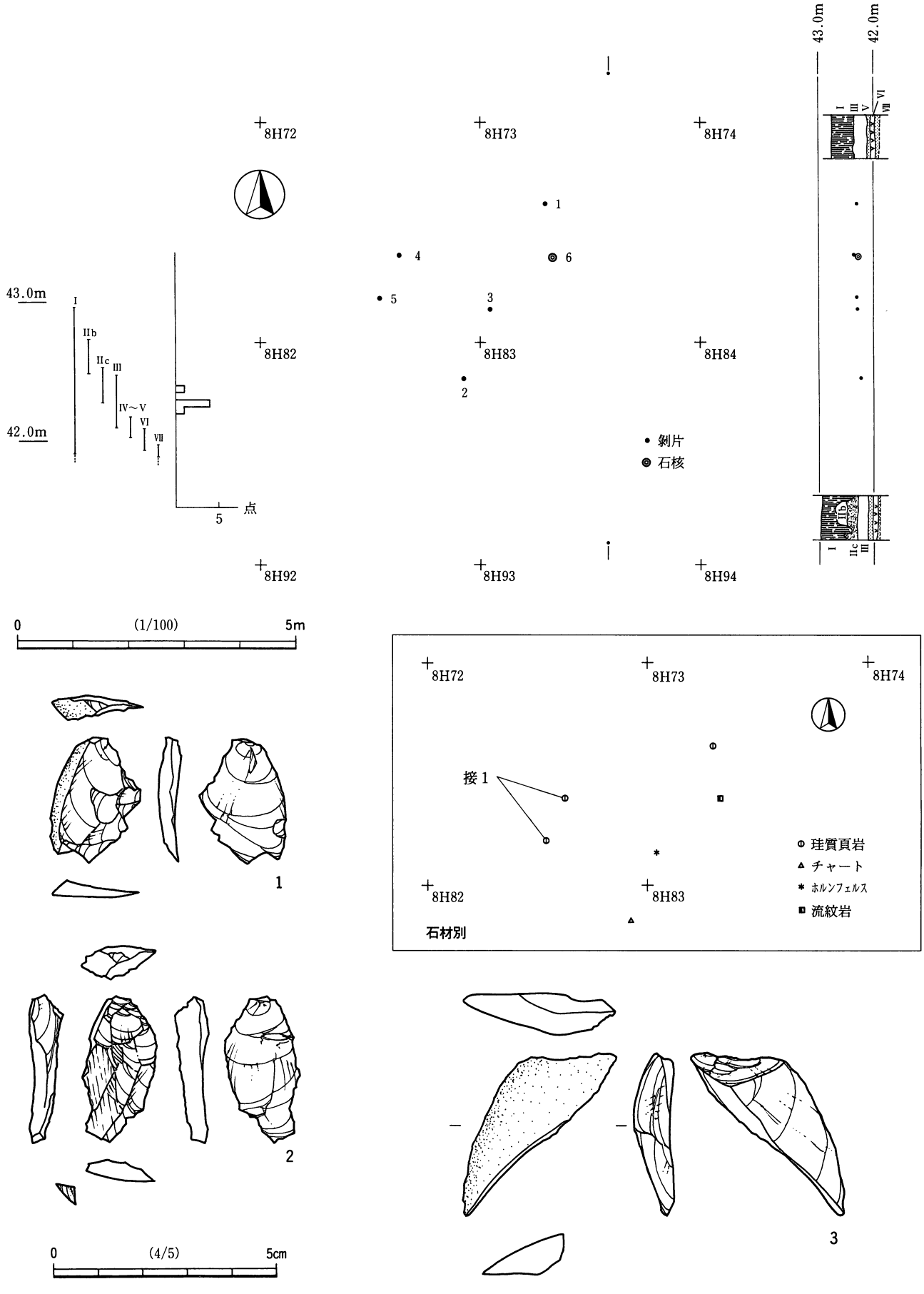
分　布　8H72・73グリッドを中心として，径４ｍの小範囲に広がる。出土層位はⅢ層中部～上部を主体とする。出土レベルは安定し，最大値42.350m，最小値42.218m，平均42.284mとなっている。

器　種　剥片５点，石核１点の合計６点が出土した。１（珪質頁岩）・２（チャート）は小さな打面をもつ小型の剥片で，単独母岩を用いている。３はホルンフェルス製の剥片で背面に自然面が残っている。上端部に調整痕が見られるが，その意図するところは判断できない。接合資料１（珪質頁岩）は縦長の剥片同士の接合で，左側面に大きく自然面が残っている。平坦な剥離面を打面とし，打面調整・頭部調整は顕著ではない。６と類似した石核から剥がされたものと思われる。６は流紋岩製の石核である。平坦な節理面に大きく作業面側から剥離された剥離面を打面として，大振りな剥片を剥離している。打面調整は若干見られるが，ほとんど施されていない。石核の下端部側面には自然面が残っている。

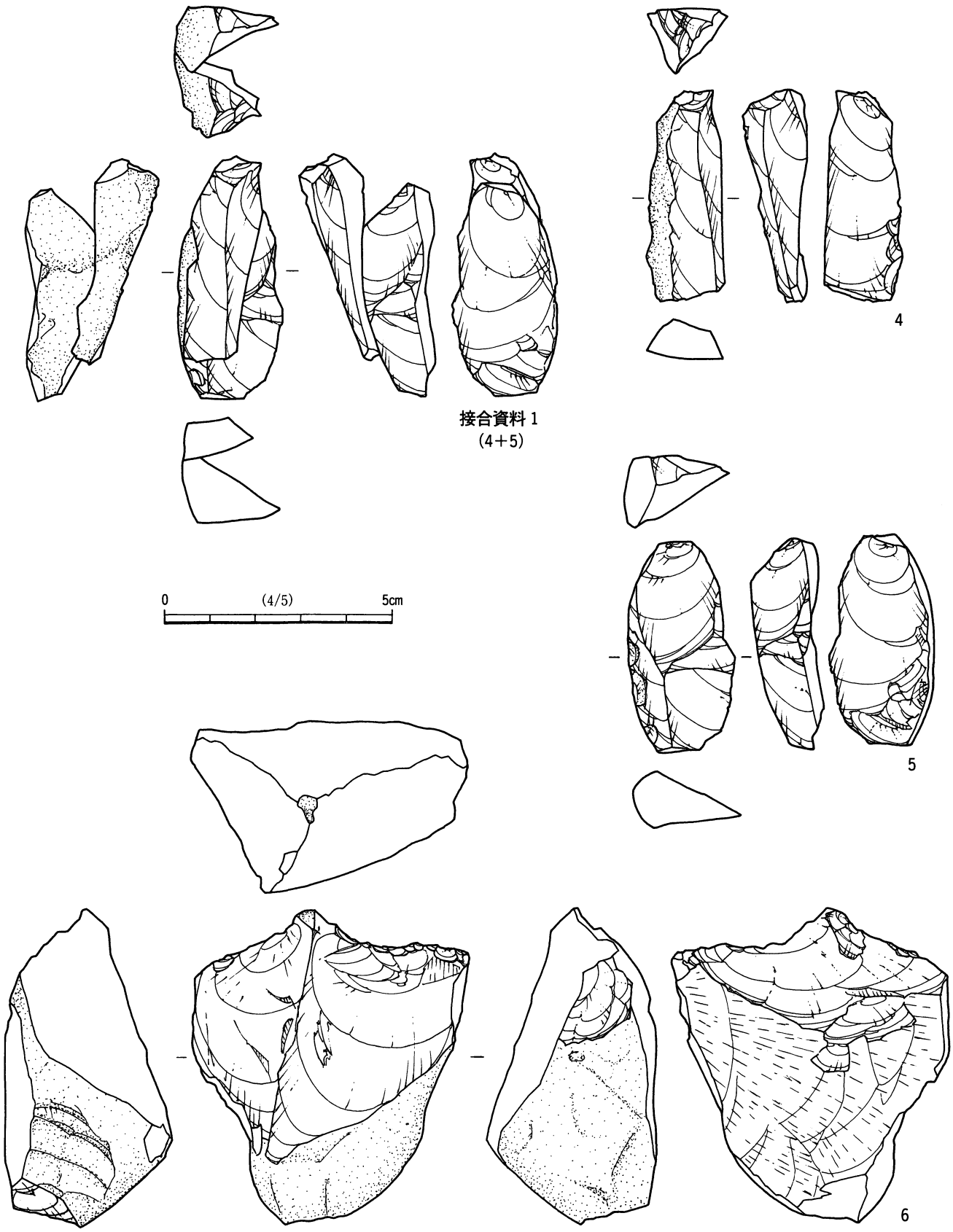
石　材　珪質頁岩３点，チャート１点，ホルンフェルス１点，流紋岩１点で構成される。同一母岩は接合した珪質頁岩２点のみで(母岩No.１)，他はすべて単独母岩である。珪質頁岩・流紋岩は，風化によって白色～クリーム色に風化したもので特徴的である。

第19表　石器集中７　組成表

	剥片	石核	合計	組成比
チャート	1 3.09		1 3.09	16.7 2.0
ホルンフェルス	1 5.53		1 5.53	16.7 3.6
珪質頁岩	3 23.77		3 23.77	50.0 15.4
流紋岩		1 121.60	1 121.60	16.7 79.0
合計(点数) 合計(重量)	5 32.39	1 121.60	6 153.99	100.0 100.0
組成比(点数) 組成比(重量)	83.3 21.0	16.7 79.0	100.0 100.0	



第49図　石器集中７　出土状況と出土石器（１）



第50図　石器集中７　出土石器（２）

第20表　ＡＴ上位石器群　観察表（１）

石器集中	挿図No.	グリッド	遺物番号	器種	石材	母岩No.	接合No.	層位	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	打面形状	打角°	打面調整	頭部調整	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整角°	先端角°	調整部位	折面部位	末端	X座標	Y座標	標高	備考
4	1	11H37	0007	ナイフ形石器	安山岩A			Ⅲ層	39.5	21.0	9.0	6.00																		-26213.686	51691.303	40.857	
4	2	11H37	0013	掻器	黒曜石			Ⅵ層上部	31.7	18.6	8.8	4.76	1	99																-26212.782	51691.527	40.532	
4	3	11H38	0004	掻器	安山岩A			Ⅲ～Ⅴ層	29.3	25.8	11.7	10.57					○		3									H		-26212.887	51692.146	40.555	
4	4	11H37	0004	剝片	チャート	2		Ⅲ層	11.8	22.2	14.4	3.32	C	108			○		3										H	-26213.995	51690.666	40.825	
4	5	11H37	0014	使用痕のある剝片	黒曜石	3		Ⅵ層上部	25.3	16.3	4.6	0.97	L			○			4			1							F	-26212.533	51691.922	40.502	
4	6	11H37	0008	剝片	チャート			Ⅴ層	24.0	30.0	13.2	7.58	C	105			○					2						T		-26212.987	51691.392	40.618	
4	7	11H38	0002	剝片	珪質頁岩A	4		Ⅲ～Ⅴ層	16.4	23.8	4.4	1.04									5							H	F	-26212.433	51692.148	40.638	
4	8	11H47	0003	使用痕のある剝片	珪質頁岩A	4		Ⅲ層	20.7	20.5	4.5	2.02	1	98		○			2		2								H	-26218.528	51690.628	41.002	
4	9	11H37	0012	剝片	チャート	1		Ⅴ層	27.5	33.2	9.3	5.86	C	116			○	○	3										H	-26213.895	51690.843	40.632	
4	10	11H37	0005	剝片	チャート			Ⅲ～Ⅴ層	19.8	23.9	4.4	2.29	C	98					1										S	-26213.853	51691.021	40.665	
4		11H37	0002	剝片	チャート			Ⅲ～Ⅴ層	22.0	9.9	5.5	0.97					○		1									H	F	-26214.584	51691.567	40.680	
4		11H37	0003	調整痕のある剝片	安山岩A			Ⅲ層	18.8	10.6	3.6	0.92							2									H	F	-26214.346	51690.516	40.978	
4		11H37	0006	剝片	チャート	1		Ⅲ層	15.8	24.6	5.1	1.71	C	110				○	2			2							H	-26213.953	51691.437	40.705	
4		11H37	0009	剝片	チャート			Ⅴ層	23.8	15.6	11.7	3.00	P					○	3										O	-26212.910	51691.683	40.610	
4		11H37	0010	剝片	チャート	2		Ⅲ層	17.5	11.8	5.3	1.45	C	126		○			2			1						R	H	-26212.511	51691.743	40.757	
4		11H37	0011	剝片	チャート	1		Ⅴ層	13.5	14.7	3.3	0.68	S	117		○	○		2									L	F	-26213.966	51691.064	40.630	
4		11H38	0003	剝片	黒曜石	3		Ⅲ～Ⅴ層	17.1	15.3	4.8	0.99	L							1		1	2	2					F	-26212.528	51692.303	40.594	
4		11H47	0002	剝片	黒曜石			Ⅲ層	15.1	17.7	6.1	1.14	1	104					2	1									S	-26217.016	51690.064	40.885	
5	1	06E94	0005	彫刻刀形石器	珪質頁岩	1		Ⅲ層	21.1	18.5	5.6	1.84							2		1							H	H	-26037.125	51558.394	41.994	
5	2	07E04	0003	剝片	珪質頁岩	1		Ⅲ層	30.3	18.7	9.9	6.17	L					○	3										F	-26040.057	51559.080	41.968	
5	3	06E94	0016	剝片	珪質頁岩	1		Ⅲ層	23.4	25.3	13.5	5.20	3	119								1								-26039.701	51557.060	42.060	
5	4	06E95	0002	剝片	珪質頁岩	1		Ⅲ層	31.5	32.5	7.5	5.66	1	139					1		1								H	-26036.348	51560.389	42.022	
5	5	06E94	0013	剝片	珪質頁岩	1		Ⅲ層	36.2	25.6	10.9	8.80	1	117					2									T		-26038.724	51559.513	42.114	
5	6	06E94	0014	剝片	珪質頁岩	1		Ⅲ層	46.6	59.6	15.5	37.33	2	126		○		○	7										F	-26038.158	51559.774	42.037	
5	7	06E92	0002	掻器	凝灰岩				68.1	30.8	26.7	63.06					○													-26036.810	51551.066	42.141	
5	8	06E94	0012	剝片	ノジュール	3		Ⅲ層	24.2	22.4	6.8	2.22	1	103					2			1							F	-26038.212	51558.360	42.074	
5	9	06E94	0008	剝片	ノジュール	3	1	Ⅲ層	14.8	12.4	7.6	0.91	1	115		○		○	4									T		-26038.565	51556.835	42.090	
5	10	06E94	0009	調整痕のある剝片	ノジュール	3	1	Ⅲ層	33.5	14.6	6.3	1.96						○	1									H・T		-26038.506	51557.084	42.088	
5	11	06E83	0002	石核	メノウ			Ⅲ層	24.8	41.2	39.8	52.49																		-26034.784	51552.627	42.325	
5	12	06E94	0020	剝片	チャート			Ⅲ層	17.5	23.7	4.3	1.73	L				○		1										H	-26038.503	51556.377	42.187	
5	13	06E93	0003	剝片	珪質頁岩			Ⅲ層	37.5	18.5	6.5	2.82					○		2	2								H	H	-26039.096	51555.220	42.006	
5	14	06E83	0003	剝片	安山岩A			Ⅲ層	50.8	28.6	12.4	17.02	1	120			○		1										F	-26034.267	51552.739	41.955	
5	15	07E04	0004	石核	珪質頁岩	2		Ⅲ層	71.9	86.4	68.4	341.02																		-26040.167	51556.690	42.050	
5		06E82	0002	礫片	花崗岩	4		Ⅲ層	27.0	29.6	10.3	7.67																		-26035.708	51551.857	42.069	
5		06E93	0002	礫片	花崗岩	4	(3)	Ⅲ層	29.6	23.6	13.7	8.73																		-26038.641	51555.949	42.221	
5		06E93	0004	礫片	流紋岩			Ⅲ層	27.5	21.6	13.5	8.75																		-26038.718	51555.271	42.191	
5		06E93	0005	礫片	流紋岩	9		Ⅲ層	37.0	22.1	7.4	5.31																		-26039.243	51554.482	42.144	
5		06E93	0006	礫片	安山岩B	10	(2)	Ⅲ層	31.3	14.2	8.3	3.26																		-26039.659	51553.923	42.045	
5		06E93	0007	礫片	チャート			Ⅲ層	32.6	24.8	15.5	10.27																		-26039.527	51553.376	42.141	
5		06E93	0008	礫片	チャート			Ⅲ層	39.0	22.5	19.5	15.51																		-26038.180	51555.203	42.118	
5		06E93	0009	礫	花崗岩			Ⅲ層	63.1	48.9	12.0	56.41																		-26038.092	51555.592	42.009	
5		06E93	0010	礫	チャート			Ⅲ層	54.1	36.0	35.9	91.55																		-26038.093	51555.781	42.019	
5		06E93	0011	礫片	流紋岩	9		Ⅲ層	43.7	29.7	24.5	37.68																		-26037.414	51555.296	42.034	
5		06E93	0012	礫片	チャート	7		Ⅲ層	26.9	25.4	14.4	8.70																		-26036.726	51555.070	42.170	
5		06E93	0013	礫	チャート			Ⅲ層	50.3	24.6	30.1	36.26																		-26036.804	51554.810	42.035	
5		06E93	0014	礫片	チャート	6	(5)	Ⅲ層	35.1	28.0	21.1	19.87																		-26037.665	51555.893	42.033	
5		06E93	0015	礫片	花崗岩	4	(8)	Ⅲ層	56.0	38.2	16.8	31.88																		-26038.004	51555.971	42.030	
5		06E93	0016	礫片	チャート			Ⅲ層	29.2	20.8	18.5	15.96																		-26037.089	51553.804	42.088	

第21表　ＡＴ上位石器群　観察表（２）

石器集中	挿図No.	グリッド	遺物番号	器種	石材	母岩No.	接合No.	層位	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	打面形状	打角°	打面調整	頭部調整	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整角°	先端角°	調整部位	折面部位	末端	X座標	Y座標	標高	備考
5		06E93	0017	礫片	花崗岩	4	(3)	Ⅲ層	41.9	24.0	18.6	26.69																		-26037.552	51552.328	42.108	
5		06E93	0018	礫片	花崗岩	4	(3)	Ⅲ層	21.3	18.5	10.4	6.14																		-26036.516	51552.442	42.040	
5		06E93	0019	礫片	チャート	7		Ⅲ層	30.1	28.7	24.5	21.39																		-26036.781	51555.170	42.025	
5		06E93	0020	礫片	流紋岩	8	(4)	Ⅲ層下部	55.6	20.5	24.5	27.69																		-26037.693	51555.296	41.978	
5		06E93	0021	礫片	花崗岩	4	(3)	Ⅲ層下部	62.8	52.1	20.9	84.53																		-26037.822	51555.845	41.936	
5		06E93	0022	礫片	流紋岩	8	(4)	Ⅲ層下部	77.3	26.2	26.8	56.79																		-26037.398	51555.092	41.976	
5		06E93	0023	礫	凝灰岩			Ⅲ層下部	61.0	25.8	23.3	44.79																		-26037.758	51554.969	41.954	
5		06E93	0024	礫片	その他・不明			Ⅲ層下部	53.1	43.4	19.1	54.12																		-26037.965	51555.589	41.995	
5		06E93	0025	礫片	花崗岩	4	(3)	Ⅲ層下部	40.8	32.6	13.8	23.47																		-26038.071	51555.244	41.970	
5		06E93	0026	礫片	花崗岩	4	(8)	Ⅲ層下部	59.0	42.4	18.6	56.58																		-26038.314	51555.566	41.985	
5		06E93	0027	礫片	流紋岩	11		Ⅲ層下部	41.3	30.5	11.5	15.44																		-26038.557	51555.282	42.035	
5		06E93	0028	礫片	花崗岩	4	(3)	Ⅲ層	39.4	35.9	29.5	46.23																		-26037.362	51552.249	42.075	
5		06E93	0029	礫片	花崗岩	4	(3)	Ⅲ層	35.5	21.2	21.1	17.33																		-26037.702	51552.126	41.998	
5		06E93	0030	礫片	チャート	7		Ⅲ層下部	24.7	20.8	17.7	8.92																		-26036.584	51555.037	41.970	
5		06E93	0031	礫片	花崗岩	4	(3)	Ⅲ層下部	29.0	22.2	17.6	13.54																		-26037.556	51552.501	41.908	
5		06E94	0002	剝片	ノジュール	3		Ⅲ層	14.6	22.9	8.4	2.35	1	140					1		2							T・L		-26038.089	51558.141	42.081	
5		06E94	0003	その他・不明	その他・不明			Ⅲ層																						-26037.986	51558.531	42.055	遺物不明
5		06E94	0004	剝片	珪質頁岩	2	(7)	Ⅲ層	19.2	14.5	5.9	1.53					○		2									H	F	-26037.198	51558.064	42.078	
5		06E94	0006	剝片	珪質頁岩	1		Ⅲ層	21.8	33.8	8.8	4.18									1	1						H	O	-26037.242	51558.856	42.046	
5		06E94	0007	剝片	珪質頁岩	2	(7)	Ⅲ層	32.7	29.3	15.5	15.40	1	111			○		1									T・R		-26036.928	51559.285	42.106	
5		06E94	0010	礫片	チャート	7		Ⅲ層	22.5	14.1	16.1	4.77																		-26038.147	51556.906	42.047	
5		06E94	0011	礫片	安山岩Ｂ	10	(2)	Ⅲ層	63.8	34.1	16.3	42.35																		-26038.151	51557.942	42.016	
5		06E94	0015	剝片	珪質頁岩	1		Ⅲ層	11.3	13.1	9.4	1.10	1	123					2		1								F	-26039.546	51558.146	42.035	
5		06E94	0017	礫片	チャート	5	(6)	Ⅲ層	37.9	24.5	11.4	23.71																		-26039.350	51556.513	42.099	
5		06E94	0018	礫片	チャート	5	(6)	Ⅲ層	51.1	22.9	20.3	26.41																		-26039.499	51556.304	42.100	
5		06E94	0019	礫片	流紋岩			Ⅲ層	26.3	17.7	11.1	4.33																		-26038.951	51556.376	42.201	
5		06E94	0021	礫片	チャート	6	(5)	Ⅲ層下部	27.4	20.4	17.3	12.47																		-26037.728	51556.042	41.977	
5		06E94	0022	礫片	花崗岩	4	(8)	Ⅲ層下部	43.3	31.9	14.1	11.49																		-26038.056	51556.068	41.998	
5		06E94	0023	剝片	珪質頁岩	1		Ⅲ層下部	15.2	27.1	5.8	1.60	1	112					1			2						T		-26038.583	51557.111	41.995	
5		06E94	0024	礫片	流紋岩	11		Ⅲ層下部	23.0	19.4	9.3	3.76																		-26038.560	51556.217	42.033	
6	1	08G84	0013	彫刻刀形石器	チャート			Ⅲ層	51.1	17.4	10.1	8.49	3(2)	101							7							T		-26112.998	51638.044	42.618	
6	2	08G46	0002	剝片	黒曜石	10	1	Ⅲ層	20.7	20.9	5.9	2.19	3	120					2									T・L		-26098.226	51645.508	42.494	
6	3	08G46	0001	剝片	黒曜石	10	1	Ⅲ層上部	16.0	16.6	4.3	0.58							1	1								H・R	H	-26098.277	51645.658	42.779	
6	4	08G84	0020	剝片	チャート	7		Ⅲ層	38.2	26.7	11.8	12.15	1	124			○		4										F	-26115.006	51638.169	42.530	
6	5	08G75	0023	剝片	ホルンフェルス	2		Ⅲ層	27.0	32.9	10.8	8.63	1	115			○		1										H	-26109.045	51641.524	42.598	
6	6	08G84	0018	剝片	チャート	7		Ⅲ層	26.4	34.2	13.6	10.69	2	118			○		6		2								F	-26114.707	51637.656	42.562	
6	7	08G54	0002	剝片	珪質頁岩			Ⅰ層	43.9	31.2	7.5	10.12	1	110		○		○	5										F	-26102.328	51637.713	42.823	
6	8	08G85	0012	剝片	安山岩Ａ			Ⅲ～Ⅳ層	32.0	35.3	12.9	12.67	1	106			○		2										F	-26112.755	51643.996	42.520	
6	9	08G85	0007	剝片	安山岩Ａ			Ⅲ層	27.1	27.4	8.4	5.27	1	102			○		1											-26114.115	51641.854	42.672	
6	10	08G84	0024	剝片	安山岩Ａ	12	2	Ⅲ層	47.6	30.4	16.1	17.90	1	117			○			3			2					T		-26113.615	51636.680	42.585	
6	11	08G74	0012	剝片	安山岩Ａ	12	2	Ⅲ層	29.5	15.6	5.6	2.55	1	103			○		2		1								F	-26111.329	51639.713	42.677	
6	12	08G75	0018	剝片	安山岩Ａ			Ⅲ層	52.6	27.0	20.0	25.78	2	118			○		1					1					S	-26108.953	51640.173	42.657	
6	13	08G86	0001	石核	安山岩Ａ			Ⅲ層	30.7	31.5	12.1	10.95																		-26114.681	51647.865	42.645	
6	14	08G84	0011	石核	安山岩Ａ			Ⅲ層	34.5	46.3	27.7	33.99																		-26113.407	51639.593	42.585	
6	15	08G54	0006	剝片	安山岩Ｂ	9		Ⅲ層	40.6	22.0	6.9	5.07	1	115					3										F	-26101.746	51637.606	42.578	
6	16	08G84	0026	石核	安山岩Ａ			Ⅲ層	20.4	58.3	32.3	34.33																		-26115.186	51638.166	42.482	
6	17	08G84	0025	剝片	安山岩Ｂ	9		Ⅲ層	49.8	27.5	10.3	12.59	2	106			○		4										F	-26114.057	51638.597	42.564	
6	18	08G84	0021	石核	珪質頁岩	6		Ⅲ層	20.4	59.3	36.8	34.03																		-26113.255	51636.617	42.585	

第22表　ＡＴ上位石器群　観察表（３）

石器集中	挿図No.	グリッド	遺物番号	器種	石材	母岩No.	接合No.	層位	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	打面形状	打角°	打面調整	頭部調整	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整角°	先端角°	調整部位	折面部位	末端	X座標	Y座標	標高	備考
6	19	08G74	0013	剥片	流紋岩	3	3	Ⅲ層	41.3	22.2	9.9	9.04	1	119			○		1										H	-26109.488	51636.631	42.677	
6	20	08G75	0017	剥片	流紋岩	3	3	Ⅲ層	40.2	28.9	11.0	9.95	1	110			○		1										F	-26110.440	51640.953	42.590	
6	21	08G84	0016	剥片	流紋岩	3	3		29.7	20.4	4.8	1.95	1	96					4										F	-26114.206	51637.801	42.645	
6	22	08G84	0015	剥片	流紋岩	3	3	Ⅲ層	34.6	22.1	11.0	5.60	1	114			○					3							F	-26114.029	51638.228	42.682	
6	23	08G84	0028	剥片	流紋岩	3	3	Ⅲ層	42.9	32.2	16.3	27.76	2	115			○		1										F	-26114.431	51637.816	42.602	
6	24	08G84	0014	剥片	流紋岩	3	3	Ⅲ層	28.0	12.5	4.7	1.05	P				○		2											-26114.005	51638.788	42.624	
6	25	08G75	0015	剥片	流紋岩	3	3	Ⅲ層	13.0	18.7	3.4	0.66	1	107		○	○		2										H	-26111.089	51640.172	42.599	
6	26	08G75	0024	剥片	流紋岩	3	3	Ⅲ層	29.9	27.2	5.2	3.67	1	104			○		1										F	-26110.717	51640.553	42.558	
6	27	08G84	0022	剥片	流紋岩	3	3	Ⅳ～Ⅴ層	57.9	29.6	18.6	19.45	1	108			○				1		4						O	-26115.420	51637.657	42.452	
6	28	08G84	012a	剥片	流紋岩	3	3	Ⅲ層	35.5	28.0	6.6	5.10	3(2)	106					3										F	-26112.941	51638.968	42.545	
6	29	08G74	0011	剥片	流紋岩	3	3	Ⅲ層	12.2	14.9	3.6	0.25	1	94					1										F	-26111.217	51638.827	42.665	
6	30	08G84	0017	剥片	流紋岩	3	3	Ⅲ層	23.8	19.8	6.5	1.81	2	107					3										F	-26114.251	51637.585	42.640	
6	31	08G96	0001	石核	流紋岩	3	3	Ⅲ層	37.8	44.1	29.4	46.49																		-26117.844	51645.543	42.455	
6	32	08G54	0008	剥片	チャート	1	4	Ⅲ層	24.5	28.6	7.0	4.33	C	105			○		3									L	F	-26102.189	51638.656	42.618	
6	33	08G54	0007	剥片	チャート	1	4	Ⅲ層	28.1	27.9	9.2	5.46	C	129			○		4									R	F	-26102.073	51637.469	42.712	
6	34	08G65	0051	剥片	チャート	1	4	Ⅲ層	41.0	31.4	12.5	10.60	1	126			○		3									L	F	-26107.757	51641.738	42.545	
6	35	08G65	0044	剥片	チャート	1	4	Ⅲ層	32.1	27.3	8.9	7.76	1	120			○		1									T		-26107.344	51641.307	42.573	
6	36	08G65	0054	剥片	チャート	1	4	Ⅲ層	14.4	26.1	6.7	2.53					○											H	H	-26107.459	51641.515	42.430	
6	37	08G65	0056	剥片	チャート	1	4	Ⅲ層	10.8	18.1	8.8	1.49	1	126			○		1										F	-26107.909	51641.559	42.410	
6	38	08G75	0022	剥片	チャート	1	4	Ⅲ層	52.9	34.7	14.2	23.34	1	113			○		1										F	-26108.936	51641.356	42.515	
6	39	08G65	0045	剥片	チャート	1	4	Ⅲ層	22.8	27.0	7.4	3.84	2	107			○		1					2					F	-26107.713	51641.285	42.647	
6	40	08G65	0039	剥片	チャート	1	4	Ⅲ～Ⅳ層	27.1	27.7	9.2	5.33	1	118			○	○	1										S	-26107.127	51641.711	42.501	
6	41	08G65	0055	剥片	チャート	1	4	Ⅲ層	29.5	15.7	12.0	4.92	1	126					2		1		1					T		-26107.799	51641.568	42.524	
6	42	08G75	0020	剥片	チャート	1	4	Ⅲ層上部	13.5	21.0	4.5	1.44	L						2										F	-26108.340	51640.724	42.682	
6	43	08G75	0025	剥片	チャート	1	4	Ⅲ層	27.3	17.4	8.5	4.11	1	103				○	3									T		-26108.861	51640.325	42.592	
6	44	08G65	0046	剥片	チャート	1	4	Ⅲ層上部	30.1	20.7	8.0	3.93	1	109					2										F	-26107.708	51640.522	42.702	
6	45	08G75	0021	剥片	チャート	1	4	Ⅲ層	36.6	21.6	6.3	2.87	L						3										F	-26108.108	51641.073	42.355	
6	46	08G65	0043	石核	チャート	1	4	Ⅲ層上部	20.8	51.9	46.5	41.08	1	124			○													-26107.563	51641.563	42.727	
6	47	08G65	0053	剥片	チャート	1	4	Ⅲ層	32.0	38.4	17.0	18.17	1	133					4					1					F	-26107.567	51641.796	42.555	
6	48	08G65	0052	剥片	チャート	1	4	Ⅲ層	17.6	19.6	10.1	3.29	1(1)	119			○		1			2							F	-26107.538	51641.666	42.550	
6	49	08G65	0042	剥片	チャート	1	4	Ⅲ層	42.5	32.5	15.9	14.49	1	124			○		2										F	-26107.329	51641.582	42.677	
6	50	08G65	0041	剥片	チャート	1	4	Ⅲ層	43.1	24.7	9.0	7.98	1(1)	103			○		2										F	-26107.614	51641.861	42.581	
6	51	08G65	0040	剥片	チャート	1	4	Ⅲ層	36.4	27.5	9.6	10.04	2(1)	117			○							1					F	-26107.419	51641.815	42.557	
6	52	08G65	0050	石核	チャート	1	4	Ⅲ層	37.4	56.1	45.5	87.54																		-26107.897	51641.749	42.552	
6	53	08G85	0006	剥片	珪質頁岩	4		Ⅲ層	47.7	33.9	15.8	24.84	1	103			○		1										F	-26112.820	51641.730	42.645	
6	54	08G65	0038	敲石	砂岩			Ⅲ層	47.6	39.2	30.8	79.36																		-26105.832	51641.277	42.547	
6	55	08G54	0005	礫	安山岩			Ⅲ層	47.2	38.7	23.3	52.08																		-26100.794	51636.158	42.583	
6	56	08G88	0004	角錐状石器	珪質頁岩	8		Ⅲ層	34.5	11.6	8.2	2.81	2	110																-26112.295	51655.173	42.547	
6	57	08G79	0001	ナイフ形石器	珪質頁岩	8		Ⅲ層	25.4	20.1	9.5	4.92	1	100																-26111.076	51656.490	42.730	
6	58	08G89	0027	剥片	珪質頁岩	8		Ⅲ層	16.4	21.8	3.8	1.09	1	103			○		1										F	-26112.120	51658.020	42.368	
6	59	08G78	0004	ナイフ形石器	流紋岩	5		Ⅲ層	28.4	19.6	2.5	4.84																		-26111.757	51654.702	42.492	
6	60	08G79	0003	剥片	流紋岩	5		Ⅲ～Ⅳ層	39.4	40.4	10.1	6.37	1	116					4										F	-26111.507	51656.745	42.438	
6	61	08G88	0002	ナイフ形石器	安山岩Ａ			Ⅳ層	35.5	16.3	7.4	4.12	1	107																-26115.838	51655.182	42.340	
6	62	08G89	0028	ナイフ形石器	安山岩Ａ	13	5	Ⅲ層	34.1	16.0	12.2	4.35																		-26113.157	51657.699	42.528	
6	63	08G89	0019	剥片	安山岩Ａ	13	5	Ⅲ層	18.7	24.0	8.2	4.42					○		2					2				H・T		-26112.551	51656.623	42.494	
6	64	08G89	0010	剥片	安山岩Ａ	11	6	Ⅲ層	33.0	44.1	12.0	12.21	P				○		2										F	-26112.711	51656.990	42.679	
6	65	08G79	0005	剥片	安山岩Ａ	11	6	Ⅲ層	24.8	18.6	6.1	2.40	1	114			○		2									T		-26111.242	51656.387	42.521	
6	66	08G89	0001	剥片	安山岩Ａ			Ⅲ層	32.2	26.6	8.8	4.73	1	125			○		2										F	-26112.556	51656.204	42.489	

第23表　ＡＴ上位石器群　観察表（４）

石器集中	挿図No.	グリッド	遺物番号	器種	石材	母岩No.	接合No.	層位	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	打面形状	打角°	打面調整	頭部調整	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整角°	先端角°	調整部位	折面部位	末端	X座標	Y座標	標高	備考
6	67	08G89	0002	剥片	安山岩A			Ⅲ層	41.1	15.1	7.5	3.32	P				○		2									T		-26112.730	51656.311	42.526	
6	68	08G89	0011	剥片	安山岩A			Ⅲ層	33.1	29.8	7.6	5.79					○												F	-26112.832	51657.295	42.475	
6	69	08G89	0009	剥片	安山岩A			Ⅲ層	24.3	21.5	8.5	4.46	1	113			○		2										S	-26112.926	51656.997	42.679	
6	70	08G89	0016	剥片	安山岩A				19.7	31.6	5.3	3.11	1	106					4										H	-26113.048	51657.163	42.334	
6	71	08G89	0022	剥片	安山岩A			Ⅲ層	19.5	25.5	6.9	2.98	1	103		○			4										F	-26112.333	51656.940	42.469	
6	72	08G58	0001	剥片	珪質頁岩			Ⅲ～Ⅳ層	52.3	45.1	11.4	21.77							4					1				H	F	-26103.166	51653.410	42.506	
6	73	08G79	0006	調整痕のある剥片	珪質頁岩	6		Ⅲ層	31.0	19.7	8.0	3.68	1	100		○			2										F	-26111.623	51656.597	42.348	
6	74	08G67	0001	剥片	珪質頁岩			Ⅲ層	59.8	38.4	6.8	11.09	2(1)	100							2	3							F	-26105.219	51649.297	42.629	
6	75	08G78	0003	剥片	チャート			Ⅲ層	38.6	39.3	13.6	10.24	1	110			○		1										F	-26111.917	51654.629	42.633	
6	76	08G89	0031	剥片	ホルンフェルス	2		Ⅲ層	26.9	34.8	7.1	6.20	2	113			○				1								F	-26112.784	51656.937	42.555	
6	77	08G79	0002	剥片	ホルンフェルス	2		Ⅲ層	23.1	31.5	7.2	4.88	1	122			○												F	-26111.615	51656.033	42.529	
6	78	08G89	0004	剥片	ホルンフェルス	2	7	Ⅲ層	39.2	23.5	12.8	9.74	1	105			○		1				1						F	-26112.288	51656.535	42.495	
6	79	08G78	0005	剥片	ホルンフェルス	2	7	Ⅲ層	33.0	27.4	17.0	14.01					○											H	H	-26111.758	51654.986	42.477	
6	80	08G69	0001	剥片	ホルンフェルス	2	7	Ⅲ層	57.3	31.0	24.0	44.64	5(3)	108	○		○		1					1					O	-26106.560	51656.546	42.653	
6	81	08G89	0013	剥片	ホルンフェルス	2	7	Ⅲ層	46.4	36.2	13.3	19.39	1	109			○		2			1							S	-26112.403	51656.467	42.498	
6	82	08G78	0001	剥片	ホルンフェルス	2	7	Ⅲ～Ⅳ層	40.8	34.1	11.3	12.07	P						1		1		1						H	-26111.205	51654.485	42.495	
6	83	08G89	0003	剥片	ホルンフェルス	2	7	Ⅲ層	25.5	17.0	5.4	2.51	1	100			○		2										F	-26112.990	51656.674	42.498	
6	84	08G79	0004	剥片	ホルンフェルス	2	7	Ⅲ層	30.9	23.8	10.8	7.02	1	110			○		2		1								F	-26111.915	51657.194	42.646	
6	85	08G88	0001	剥片	ホルンフェルス	2	7	Ⅲ層	54.8	24.5	9.0	10.47	2	115			○		1										F	-26112.146	51653.504	42.577	
6	86	08G88	0003	剥片	ホルンフェルス	2	8	Ⅲ～Ⅳ層	73.0	21.3	13.8	17.90					○		2					2					F	-26112.581	51655.850	0.000	
6	87	08G89	0006	剥片	ホルンフェルス	2	8	Ⅲ層	26.4	19.6	7.5	2.75	1	135					4									L・T		-26113.176	51657.330	42.485	
6	88	08G84	0008	剥片	流紋岩	3		Ⅱc層	24.4	13.7	3.4	1.45	1	115			○		2									L	F	-26114.866	51637.942	42.775	上層出土
6	89	08G84	0009	剥片	流紋岩	3		Ⅱc層	20.3	24.3	4.9	1.54	1	96			○		3									T		-26113.949	51637.435	42.924	上層出土
6	90	08G73	0004	剥片	流紋岩	3		Ⅰ層	30.3	30.6	7.4	5.60					○		3									H	F	-26110.943	51632.103	42.790	上層出土
6	91	08G84	0007	剥片	流紋岩	3		Ⅱc層	28.2	13.2	8.0	2.39	P						2			1							H	-26114.475	51639.352	42.776	上層出土
6	92	08G94	0002	剥片	安山岩A			Ⅱc層	25.4	22.0	5.5	2.11							1	1								H・T		-26116.306	51637.062	42.825	上層出土
6	93	08G75	0005	剥片	安山岩A			Ⅱb層	17.3	25.9	6.8	2.28					○		2		1							H	H	-26110.115	51642.355	43.124	上層出土
6	94	08G84	0010	剥片	チャート	7		Ⅱc層	36.1	21.2	4.7	3.03	1	114			○		2										F	-26115.555	51636.966	42.831	上層出土
6	95	08G95	0002	剥片	チャート	7		Ⅰ層	32.7	22.4	9.2	5.82	1	105			○		2			1							F	-26116.443	51642.753	42.721	上層出土
6	96	08G84	0004	剥片	珪質頁岩			Ⅱb層	33.6	25.5	8.3	6.92	2	111			○		4										F	-26112.880	51638.358	43.042	上層出土
6	97	08G75	0004	剥片	チャート	1		Ⅱc層	33.9	26.6	12.5	13.72	1	120		○	○		3									R・T		-26108.903	51642.356	42.880	上層出土
6	98	08G75	0011	剥片	チャート	1		Ⅱb層	29.7	22.5	7.2	3.75	3	114					2			1						T		-26108.277	51641.620	43.076	上層出土
6		08G44	0002	礫片	その他・不明			Ⅰ層	64.3	19.0	21.2	26.80																		-26098.262	51639.204	43.020	
6		08G59	0001	剥片	メノウ			Ⅲ～Ⅳ層	20.1	20.0	14.3	4.08	1	126			○		1					2					F	-26103.897	51657.034	42.480	
6		08G65	0021	剥片	チャート			Ⅱb層	19.3	8.7	5.3	0.84	1	121			○											R	F	-26107.363	51640.551	43.126	上層出土
6		08G65	0047	剥片	チャート	1		Ⅲ層	37.7	18.7	4.4	1.90	1	125					3										F	-26107.538	51641.793	42.543	
6		08G65	0048	砕片	チャート	1		Ⅲ層	6.2	9.0	2.4	0.12																		-26107.687	51641.765	42.655	
6		08G65	0049	剥片	チャート	1		Ⅲ層	15.1	13.1	2.8	0.53	1	100			○				1								H	-26107.645	51641.376	42.438	
6		08G68	0001	礫片	その他・不明			Ⅲ層	19.0	15.8	12.5	4.09																		-26106.488	51655.675	42.618	
6		08G75	0016	剥片	流紋岩	3		Ⅲ層	22.5	14.4	3.3	0.95	1	113			○		3										H	-26110.876	51640.530	42.656	
6		08G75	0019	剥片	チャート			Ⅲ層	29.5	10.3	8.8	2.77	1	117			○		2									L	S	-26108.356	51641.018	42.548	
6		08G78	0002	剥片	流紋岩	5		Ⅲ層	30.0	14.5	6.9	1.40	P				○		3										F	-26111.921	51655.093	42.619	
6		08G84	0005	剥片	流紋岩	3		Ⅱc層	15.3	12.8	1.9	0.31					○		3									H	F	-26113.560	51638.424	42.992	上層出土
6		08G84	012b	砕片	流紋岩	3		Ⅲ層	8.5	7.5	1.5	0.05	L																F	-26112.941	51638.968	42.545	
6		08G84	0019	剥片	流紋岩	3		Ⅲ層	9.1	11.8	2.8	0.26							2									H・T		-26114.524	51638.234	42.587	
6		08G84	0023	剥片	流紋岩	3		Ⅲ層	11.0	12.6	3.9	0.39	1	97					1									T		-26114.743	51636.448	42.614	
6		08G84	0027	剥片	安山岩A			Ⅲ層	8.2	10.8	2.5	0.19	P				○		2										F	-26115.120	51636.591	42.588	
6		08G84	0029	剥片	流紋岩	3		Ⅲ～Ⅳ層	11.8	11.7	2.5	0.31	L						2									T		-26114.769	51638.309	42.472	

第24表　ＡＴ上位石器群　観察表（５）

石器集中	挿図No.	グリッド	遺物番号	器種	石材	母岩No.	接合No.	層位	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	打面形状	打角°	打面調整	頭部調整	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整角°	先端角°	調整部位	折面部位	末端	X座標	Y座標	標高	備考
6		08G84	0030	剥片	流紋岩	3		Ⅲ～Ⅳ層	10.3	9.3	3.2	0.25	1	110					3									T		-26114.045	51638.019	42.491	
6		08G85	0005					Ⅲ層																						-26114.062	51641.161	42.791	遺物不明
6		08G85	0008	剥片	安山岩A			Ⅲ層	24.7	27.0	7.3	3.85	1	112			○												F	-26113.779	51643.058	42.690	
6		08G85	0009	剥片	安山岩A			Ⅲ層	34.3	19.0	11.5	4.12	2	115			○		1				2						F	-26113.754	51643.552	42.634	
6		08G85	0010	剥片	安山岩A			Ⅳ～Ⅴ層	34.7	34.3	15.5	13.77					○		1									H・L	F	-26113.762	51643.941	42.456	
6		08G85	0011	剥片	珪質頁岩	4		Ⅲ層	29.8	14.8	9.7	2.91					○				1							H・T		-26115.944	51641.484	42.594	
6		08G88	0005	剥片	安山岩A			Ⅳ層	23.8	38.5	6.7	4.24	1	108			○		1					1					H	-26112.583	51655.660	42.305	
6		08G89	0005	剥片	安山岩A			Ⅲ層	18.6	21.8	5.7	2.01	1	124			○		2									T		-26112.292	51657.359	42.551	
6		08G89	0007	剥片	安山岩A			Ⅲ～Ⅳ層	30.1	23.5	6.6	2.46	C	106					1									T		-26113.498	51657.109	42.353	
6		08G89	0008	剥片	珪質頁岩	8		Ⅲ層	17.2	21.6	11.8	3.66					○					1						H	F	-26113.169	51657.070	42.484	
6		08G89	0012	剥片	安山岩A			Ⅲ層	11.7	22.1	5.5	1.05	2	103					2										F	-26112.196	51657.108	42.503	
6		08G89	0014	剥片	安山岩A			Ⅲ層	11.0	22.5	3.8	0.94	1	122			○												F	-26112.560	51657.127	42.530	
6		08G89	0015	剥片	珪質頁岩	8		Ⅲ層	16.1	15.6	3.2	0.53	1	100					1			2						T		-26112.415	51657.175	42.482	
6		08G89	0017	剥片	安山岩A			Ⅲ層	20.8	20.5	3.4	1.22	1	106					3										F	-26113.197	51656.896	42.519	
6		08G89	0018	剥片	珪質頁岩	4		Ⅲ層	10.9	12.2	2.9	0.22	1	106					4										F	-26112.165	51657.562	42.471	
6		08G89	0020	剥片	安山岩A			Ⅲ層	11.8	19.4	5.3	0.97					○		1										F	-26112.884	51656.777	42.522	
6		08G89	0021	剥片	安山岩A			Ⅲ層	11.1	15.1	4.3	0.52	1	120					2										F	-26113.159	51656.731	42.431	
6		08G89	0023	剥片	安山岩A			Ⅲ層	5.0	11.0	2.9	0.16	1	109							2								F	-26113.063	51656.400	42.383	
6		08G89	0024	剥片	安山岩A			Ⅲ層	13.2	26.7	4.5	1.61	1	120			○		1										H	-26112.844	51656.372	42.485	
6		08G89	0025	砕片	珪質頁岩	6		Ⅲ層	6.9	9.6	1.3	0.06							2									H	F	-26112.533	51657.641	42.469	
6		08G89	0026	剥片	珪質頁岩	4		Ⅲ層	7.2	18.1	3.4	0.43	1	118					3										F	-26112.978	51657.612	42.607	
6		08G89	0029	剥片	ホルンフェルス	2		Ⅲ層	9.8	22.2	4.1	0.72	1	113					2										F	-26112.807	51656.921	42.514	
6		08G89	0030	剥片	珪質頁岩	8		Ⅲ層	9.2	12.2	1.5	0.16	P						2										H	-26112.624	51656.896	42.495	
6		08G89	0032					Ⅲ層																						-26112.833	51657.058	42.517	遺物不明
6		08G89	0033	剥片	流紋岩	5		Ⅲ層	10.0	11.5	4.0	0.23							2									H	F	-26112.723	51657.057	42.510	
6		08G89	0034	剥片	珪質頁岩	8		Ⅲ層	9.5	11.4	2.7	0.20	1	118					2										O	-26112.904	51656.938	42.481	
6		08G89	0035	剥片	安山岩A			Ⅲ層	11.6	14.0	5.0	0.57	P				○		2										F	-26112.963	51657.099	42.475	
6		08G89	0036	剥片	安山岩A			Ⅲ層	10.5	12.0	3.1	0.30	P				○		1										F	-26112.573	51657.055	42.468	
6		08G95	0005	剥片	安山岩A			Ⅲ層	21.2	23.7	9.1	4.83	1	114					4									T		-26118.154	51641.705	42.561	
6		08G99	0001	礫片	流紋岩			Ⅳ層	44.3	40.2	32.4	54.73																		-26117.504	51658.821	42.296	
7	1	08H73	0002	剥片	珪質頁岩			Ⅲ層	26.1	21.3	4.2	1.54	1	107			○		1		2							T		-26109.506	51673.190	42.290	
7	2	08H82	0002	剥片	チャート			Ⅲ層	32.2	15.7	6.7	3.09	1	113		○		○	3									T		-26112.653	51671.690	42.218	
7	3	08H73	0004	剥片	ホルンフェルス			Ⅲ層	49.2	18.8	6.9	5.53					○											R		-26111.403	51672.178	42.284	
7	4	08H72	0004	剥片	珪質頁岩	1	1	Ⅲ層	45.5	15.9	12.9	8.53	3	103			○		2									T		-26110.436	51670.510	42.350	
7	5	08H72	0003	剥片	珪質頁岩	1	1	Ⅲ層	45.8	23.6	13.0	13.70	1	102			○		4										F	-26111.199	51670.163	42.293	
7	6	08H73	0003	石核	流紋岩			Ⅲ層	68.6	60.7	37.5	121.60																		-26110.459	51673.319	42.270	

第3章　縄　文　時　代

第1節　遺構

縄文時代の遺構は，遺跡の調査面積に比べてきわめて稀薄である。検出された遺構は土坑及び陥穴のみで，住居跡等の痕跡はない。また，これらの遺構を取り囲むように6D～6E，7D～7G，8F～8G，9E～9G，10E～10Gのグリッドを範囲とする縄文時代早期及び前期の包含層が展開していることが金沢台遺跡の遺構の特徴である。

1号土坑（第52図）

規模は，開口部の長軸径1.38m×短軸径1.22m，深さ0.28mの平面楕円形である。土坑開口部の長軸の方位はN-30°-Eである。覆土の状況は，緩やかな皿状の自然堆積である。特定の用途を想定できるような残留物も検出されておらず，徐々に埋没したものと考えられる。底部は比較的平坦で，長軸径1.1m×短軸径0.76mの楕円形を呈し，底部の長軸方位は開口部の長軸方位と一致している。

1号陥穴（第52図）

1号陥穴は，9Eグリッドの西から入り込む谷頭の東側に位置する。規模は，開口部の長軸径1.5m×短軸径0.9m，深さ0.7mの平面楕円形である。陥穴開口部の長軸の方位はN-52°-Eで，覆土の状況は，緩やかな皿状の自然堆積である。底部は比較的平坦で，長軸径1.3m×短軸径0.6mの長方形を呈し，底部の長軸方位は開口部の長軸方位と一致しており，南西端2か所にピット状の浅い掘込みが見られる。特定の用途を想定できるような残留物も検出されておらず，徐々に埋没したものと考えられる。

2号陥穴（第52図）

2号陥穴は，8Fグリッドの西から入り込む谷頭の東側に位置する。規模は，開口部の長軸径1.04m×短軸径0.8m，深さ0.8mの平面楕円形である。陥穴開口部は西側を中心に確認調査トレンチによって削平されており規模は確認できない。底部の長軸の方位はN-12°-Wで，長軸方向に3か所のピットがある。覆土の状況は，緩やかな皿状の自然堆積である。特定の用途を想定できるような残留物も検出されておらず，徐々に埋没したものと考えられる。

3号陥穴（第52図）

3号陥穴は，8Eグリッドと9Eグリッドの境付近の西から入り込む谷頭の東側に位置する。規模は，開口部の長軸径1.8m×短軸径1.2m，深さ1.2mの平面隅丸方形である。陥穴開口部の長軸の方位はN-35°-Eで，覆土の状況は，緩やかな皿状の自然堆積である。底部は比較的平坦で，長軸径1.4m×短軸径0.8mの長方形を呈し，底部の長軸方位は開口部の長軸方位と一致しており，底部中央には長軸方向に2か所のピットがある。特定の用途を想定できるような残留物も検出されておらず，徐々に埋没したものと考えられる。

4号陥穴（第53図）

4号陥穴は，8Ｆグリッドの西から入り込む谷頭の東側に位置する。規模は，開口部の長軸径3.5m×短軸径1.0m，深さ1.8mの平面形は東にやや広がりを見せる逆『く』の字状楕円形である。陥穴開口部は短軸幅に比べて長軸方向に著しく伸びており，開口部の長軸の方位はN-20°-E，底部の長軸方位も同一である。覆土の状況は，下部1/3程は緩やかな皿状の自然堆積であるが，それより上部は陥穴中央下部に向かって傾斜堆積の様相を示す。

5号陥穴（第53図）

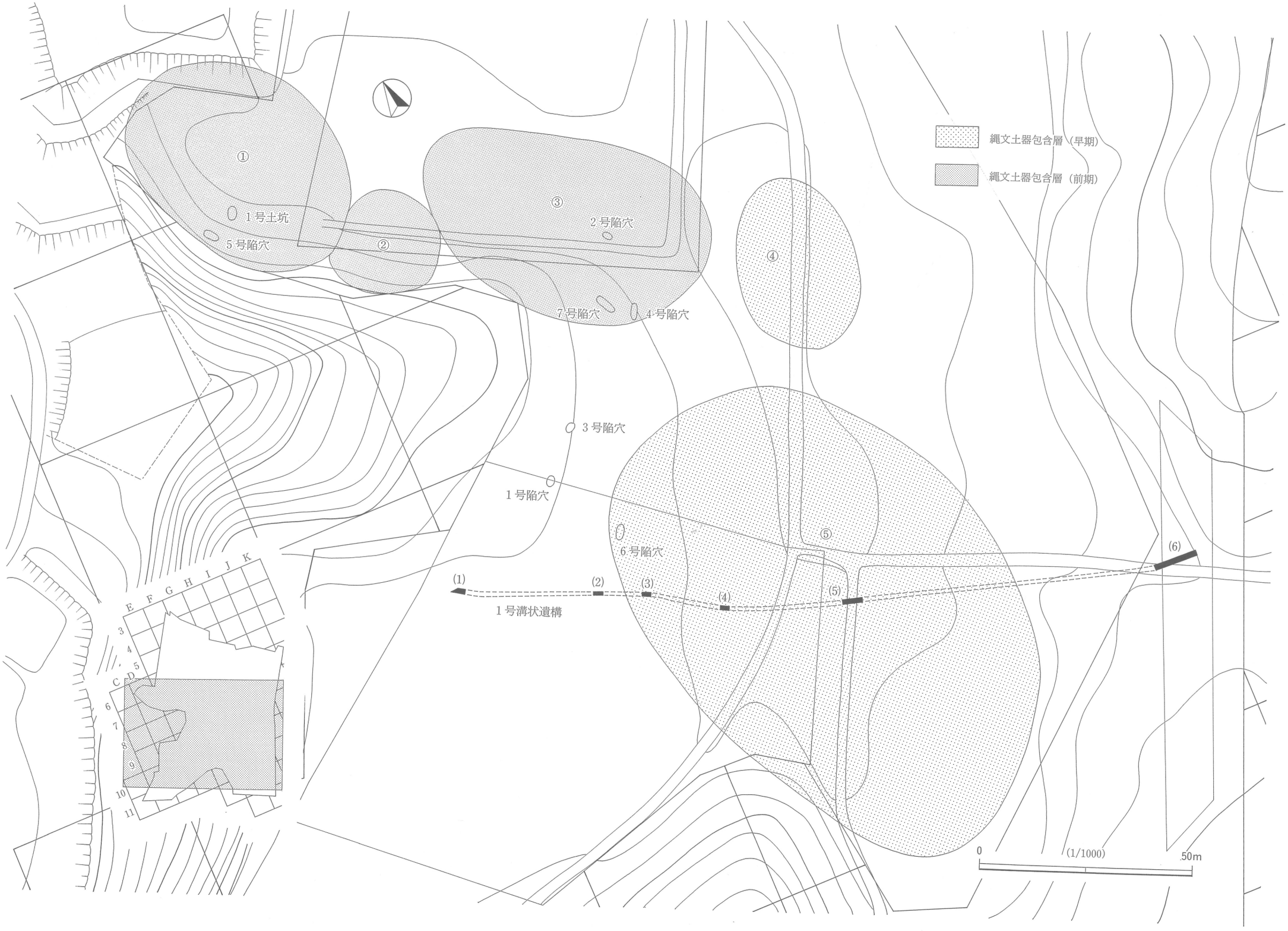
5号陥穴は，7Ｄグリッドの西から入り込む谷頭の北側に位置する。規模は，開口部の長軸径3.0m×短軸径0.3m，深さはこのタイプの陥穴としてはやや浅めの0.7mで，平面長楕円形である。陥穴開口部は短軸幅に比べて長軸幅は著しく伸びており，開口部の長軸の方位はN-20°-W，底部の長軸方位も同一である。開口部から底部までほぼ同じ幅を保ち，覆土の状況は単純な自然堆積を示す。

6号陥穴（第54図）

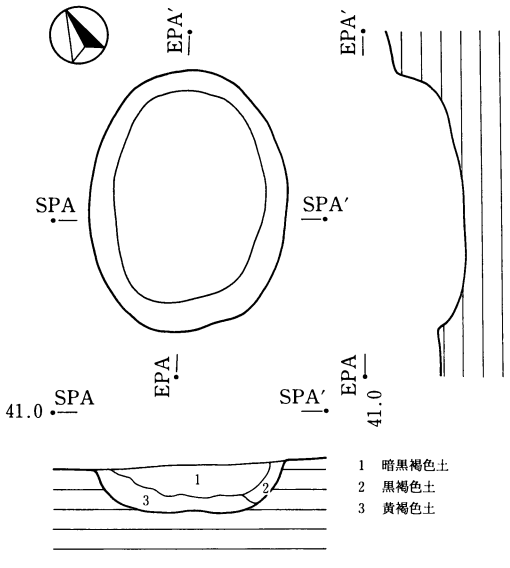
6号陥穴は，9Ｅグリッドの西から入り込む谷頭の東側に位置する。規模は，開口部の長軸径2.2m×短軸径0.9m，深さは2.0mで，平面長楕円形である。陥穴開口部は短軸幅に比べて長軸幅は著しく伸びており，開口部の長軸の方位はN-55°-E，底部の長軸方位も同一である。開口部から底部にかけて緩やかに窄まり，底部中央では長軸方向に一段と深い溝状の掘り込みが見られ，覆土の状況は9層以下は単純な自然堆積を示すものの，7層は8層中に落ち込んでいるところから一部埋没後に再度陥穴として利用された可能性も考えられる。

7号陥穴（第54図）

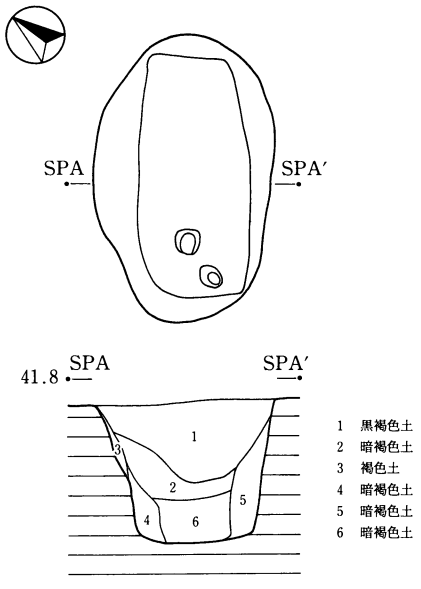
7号陥穴は，8Ｆグリッドの西から入り込む谷頭の東側に位置する。規模は，開口部の長軸径2.5m×短軸径0.6m，深さは1.7mで，平面長楕円形である。陥穴開口部は短軸幅に比べて長軸幅は著しく伸びており，開口部の長軸の方位はN-15°-W，底部の長軸方位も同一である。開口部から底部までほぼ同じ幅を保ち，覆土の状況は単純な自然堆積を示す。



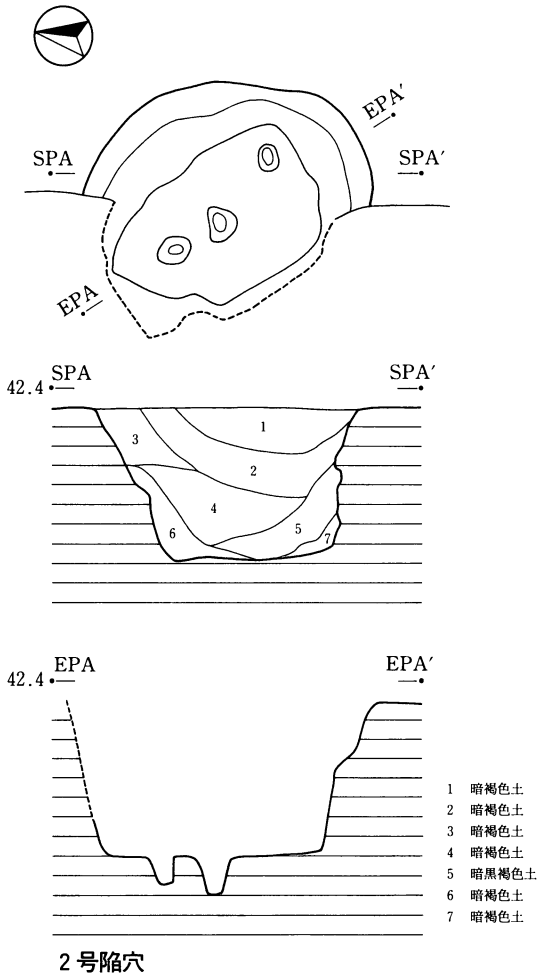
第51図　上層土器包含層・遺構分布図



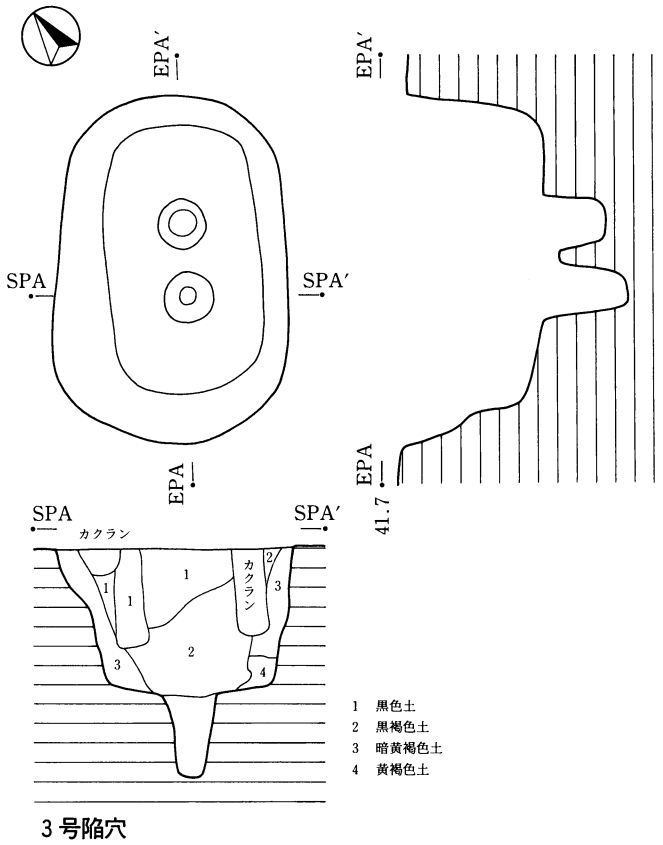
1号土坑



1号陥穴



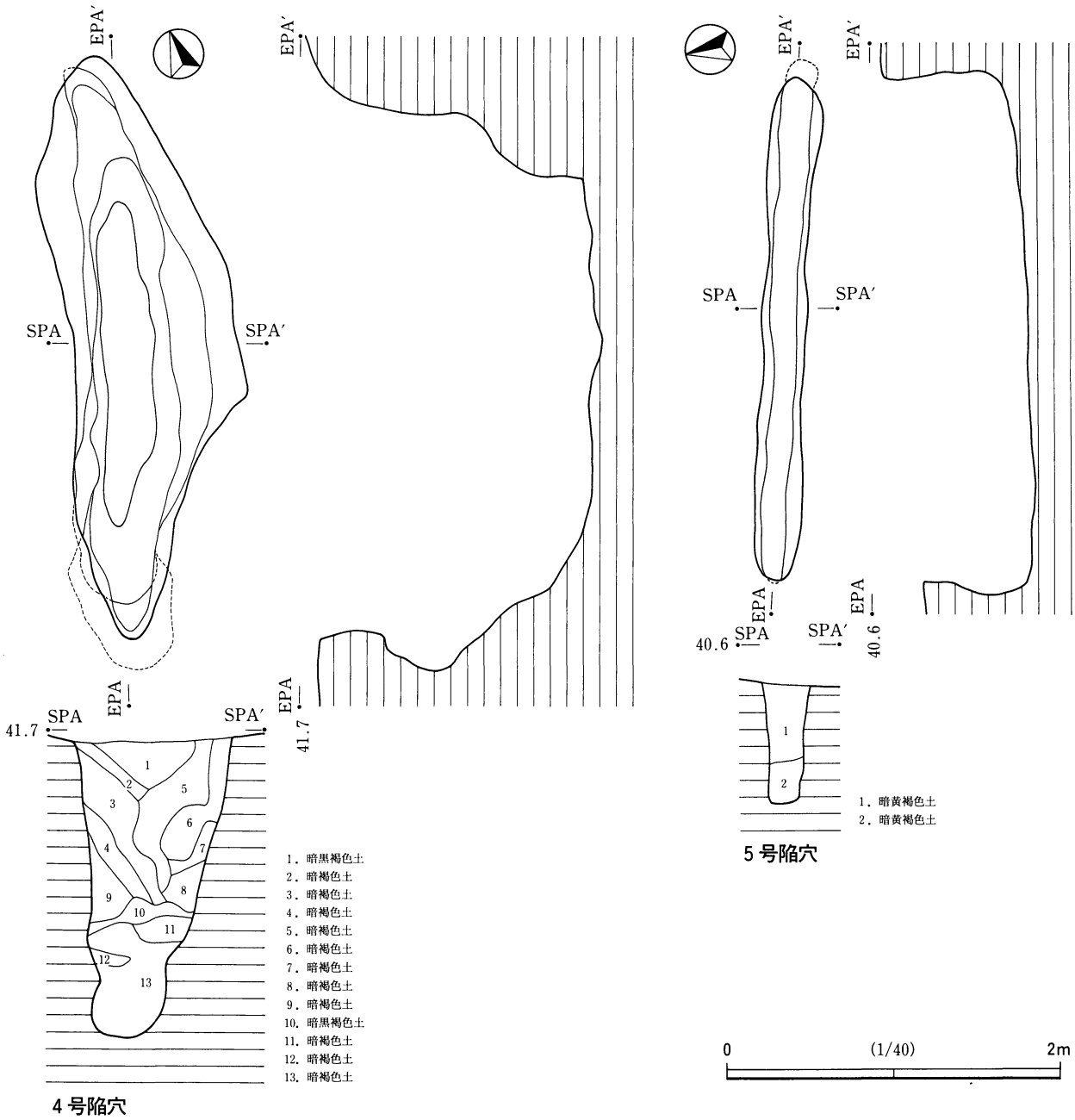
2号陥穴



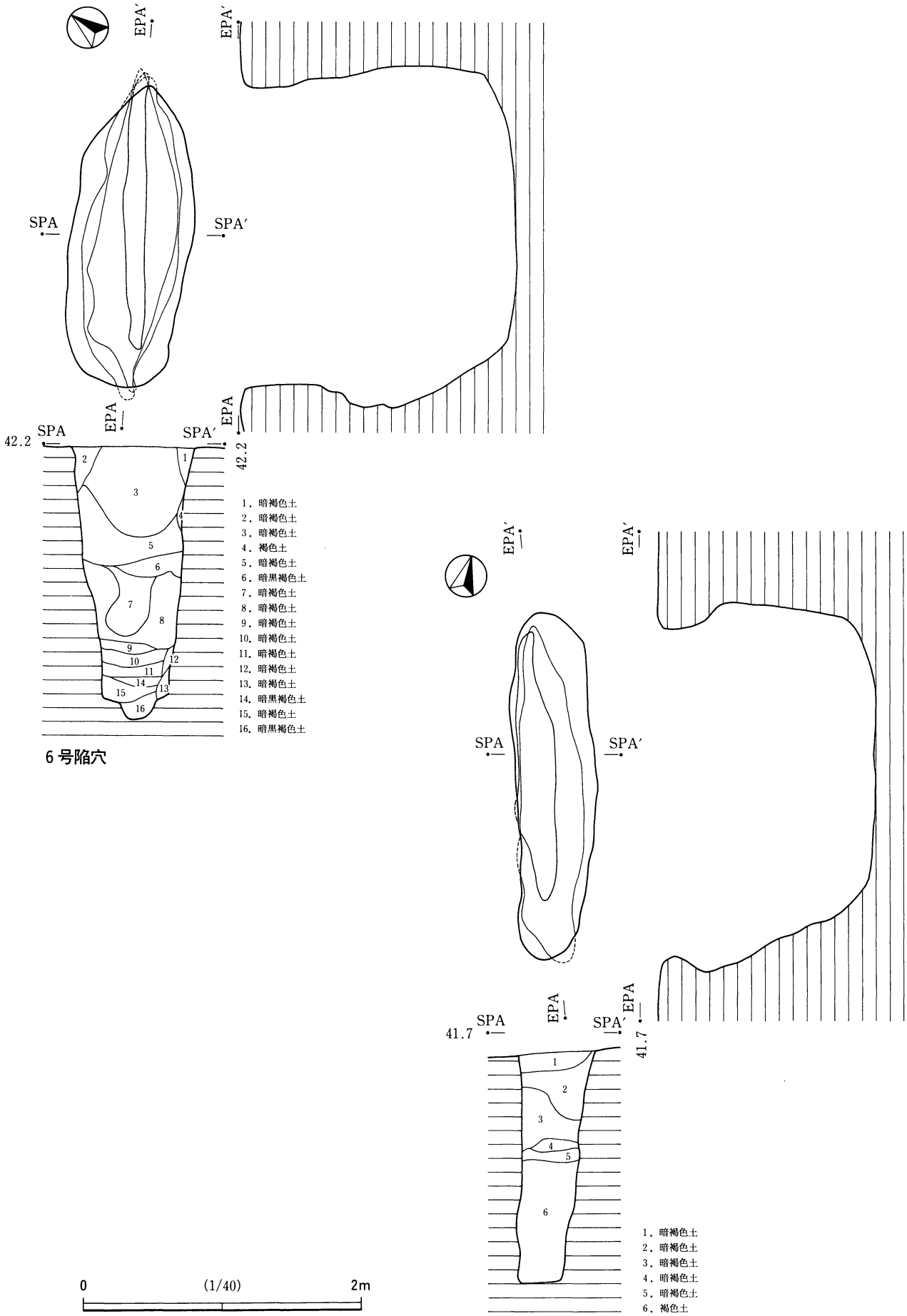
3号陥穴

0 (1/40) 2m

第52図　土抗・陥穴（1）


EPA′
EPA
SPA
SPA′
41.7
40.6
1．暗黒褐色土
2．暗褐色土
3．暗褐色土
4．暗褐色土
5．暗褐色土
6．暗褐色土
7．暗褐色土
8．暗褐色土
9．暗褐色土
10．暗黒褐色土
11．暗褐色土
12．暗褐色土
13．暗褐色土
4号陥穴
1．暗黄褐色土
2．暗黄褐色土
5号陥穴
0
(1/40)
2m

第53図　陥穴（2）


EPA′
EPA
SPA
SPA′
42.2
1. 暗褐色土
2. 暗褐色土
3. 暗褐色土
4. 褐色土
5. 暗褐色土
6. 暗黒褐色土
7. 暗褐色土
8. 暗褐色土
9. 暗褐色土
10. 暗褐色土
11. 暗褐色土
12. 暗褐色土
13. 暗褐色土
14. 暗黒褐色土
15. 暗褐色土
16. 暗黒褐色土
6号陥穴
41.7
1. 暗褐色土
2. 暗褐色土
3. 暗褐色土
4. 暗褐色土
5. 暗褐色土
6. 褐色土
7号陥穴
0
(1/40)
2m

第54図　陥穴（3）

第２節　遺物

１　土器

金沢台遺跡の出土遺物は，比較的量は少なく，遺跡中央西側から入り込む谷津に面して集中している状況が確認された。この谷津の東側には④（８Ｇグリッド），⑤（９Ｆ・９Ｇ・10Ｆ・10Ｇ・11Ｆ・11Ｇの各グリッド）両地点に縄文時代早期の包含層が展開し，谷津の北側には①（６Ｄ・６Ｅ・７Ｄ・７Ｅの各グリッド），②（７Ｅグリッド），③（７Ｅ・７Ｆ・７Ｇ・８Ｆ・８Ｇの各グリッド）の各地点に縄文時代前期の包含層が展開している。

第Ｉ群　撚糸文系土器（第55図１～第57図85）

Ａ類（第55図１～58）

Ａ類は口唇部に斜行縄文を有し，口縁部直下に横位または斜位の文様帯と胴部に縦位の縄文を配する井草Ｉ式の土器群。

１～39は外反する口縁部の口唇部に斜行縄文が施され，口縁直下には横位の縄文と胴部に縦位の縄文を基本とする井草Ｉ式土器の口縁部付近である。

１は口縁部直下の横位のRL縄文に続き縦位のRL縄文が見られる。２は口唇部の斜行縄文と口縁直下の不規則な斜行縄文に続いて縦位のRL縄文が見られる。３は口唇部の斜行縄文と口縁直下の横位の縄文が施され，口唇部の縄文は二段に施されており装飾的な趣を見せる。４は口唇部の斜行縄文と口縁部直下の疎らな横位のRL縄文が見られる。５～16は口唇部に斜行縄文と口縁部直下の横位のRL縄文は共通して見られるが，15は口唇部の斜行縄文が単段のままである。

17～22は口唇部の斜行縄文に続いて直下にRLの斜行縄文が特徴となっている。

23～30は口唇部の斜行縄文に続いて直下にLRの斜行縄文が特徴となっている。

31は口唇部の斜行縄文に続いて若干の無文部分を挟んで左上がりの斜行縄文が続き，縦位のRL縄文が直下に連続する。32は口唇部の斜行縄文に続いてRLの斜行縄文，胴部の縦位の縄文が続く。33は口唇部の斜行縄文に続いて横位のRL縄文と縦位の縄文が連続する。34は口唇部に羽状縄文が見られ，直下は無文部分を挟んでLRの斜行縄文とやや右傾ぎみの縦位の縄文が続く。35は口唇部の斜行縄文に続いてLRの斜行縄文と縦位のRL縄文が連続する。36は斜行縄文に続いて横位のやや粗い縄文が見られる。37は口唇部に横位の縄文と直下に僅かな無文部分を挟んで横位の縄文が続く。38は口唇部の斜行縄文に横位の繊細な縄文が続く。39は口唇部の斜行縄文に続いて横位の細かな縄文が見られる。

40～46は口頸部の破片で，このうち40～42はLRの斜行縄文に縦位の縄文が連続する。43・44は横位の縄文に縦位の縄文が連続する。45・46は文様帯の境に押圧された１条の縄文が特徴となっている。

47～58は口縁部直下に横位の押圧縄文が見られる。47～52は押圧された１条の縄文以下に縦位のRL縄文が見られ，53は押圧縄文を挟んで縦位のRL縄文が見られることから複数条の押圧縄文の一部と思われる。54は口縁部直下の押圧縄文が，施文方法または施文原体の乱れをそのまま反映している。55は押圧縄文が２条となっている。56・57は押圧縄文が３条となっている。58は押圧された縄文が３条見られるが，上から２条目の縄文は蛇行しており３条目の縄文と交差している。

Ｂ類（第56図59～77）

Ｂ類は口唇部に斜行縄文を有し，口縁部直下の文様帯が消失し，胴部に縄文を配する井草II式相当の土

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
0
(1/3)
10cm

第55図　縄文土器（1）

47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
0
(1/3)
10cm

第56図　縄文土器（2）

器群。

59～65は口唇部の斜行縄文と口縁部直下から縦位の縄文が始まっている。

66～74は口縁部直下に無文帯を有し，この無文帯が口縁部と胴部に施文された縦位の縄文との緩衝帯となっている。66・73は口唇部の斜行縄文がやや不鮮明ながら確認でき，やや広めの無文帯も似ており同一個体の可能性もある。67～72は無文帯の幅は狭く，71・72は胴部の縄文も傾斜している。

75～77は口唇部の斜行縄文と口縁部直下の無文帯は共通するが，胴部の縄文の施文角度が斜行化の度を強めており，やや後出の可能性は否めない。75・76は底部に近くなるとともに無文化する様子がうかがえる。

C類（第57図78～84）

C類は口縁部の斜行縄文が消え，口縁部直下から縦位の縄文・撚糸文が施文される夏島式の土器群。

78・79，81～84は胴部が縦位の縄文，80は撚糸文となっている。

D類（第57図85）

D類は口唇部は無文で，胴部の縄文または撚糸文の施文がまばらとなる稲荷台式土器。

85は口縁部直下の撚糸文の間隔が広がりまばらとなっている。

第II群　沈線文系土器（第57図86～第58図95）

86～89は横位の4本の沈線を単位とする文様帯の間に左傾及び右傾する沈線を格子状に充填する三戸式土器。

90～92は同一個体で横位の沈線文を基調文様とし，90は口縁部に左傾する斜行沈線の連続施文が見られ，91は横位の沈線文に続いて太い沈線が左傾，右傾を繰り返し「V」字状に連なり，92は横位の沈線文に続いて左傾，右傾する沈線文帯が交差し，再び横位の沈線文となり，斜行する太い沈線文様へと連なる。胎土に大粒のスコリアの混入が目立つ三戸式土器。

93～95は横位の沈線文を基調とし，93・94はさらに縦位の沈線を格子状に重ねている。95は胴部上半は横位の沈線で下半は無文となっている。

第III群　縄文時代早期のその他の土器（第58図96～97）

96は横位の微隆起平行線文と胴部中程の右傾する微隆起線が見られ，内面は粗い条痕文を主体とするが口縁部付近では磨り消されている。97は角棒状の刺突文が2列に連続施文されている子母口式相当の土器。

第IV群　縄文時代早期から前期の無文土器（98～108）

100・107は指頭による横位のナデの痕跡が明瞭に残っており，101・102は輪積み痕を明瞭に残している。104～106・108は器面をヘラ状の道具を使用した縦方向のナデ調整が見られる。

第V群　縄文時代前期の土器（109～131）

A類（第59図109～114）

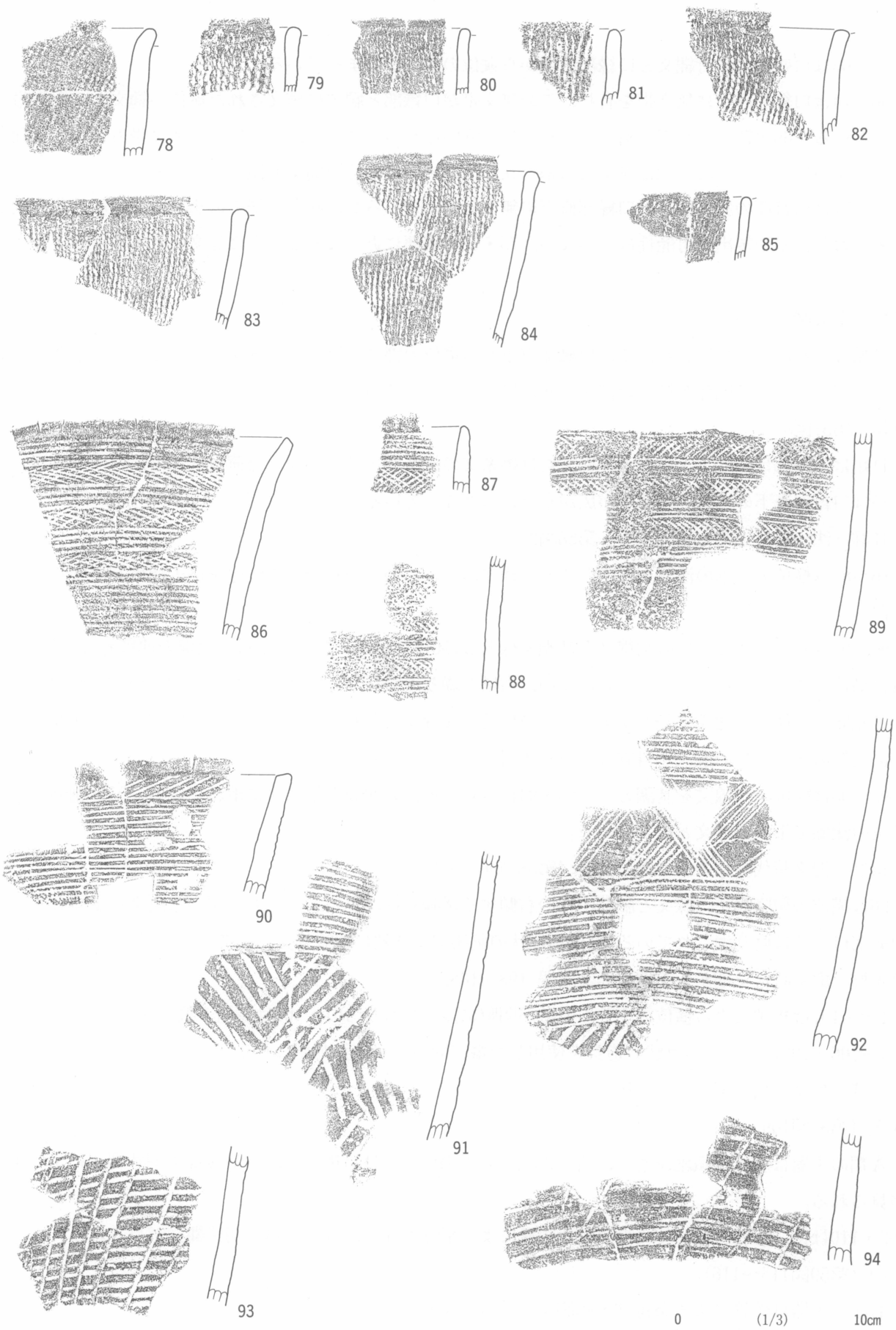
A類の土器は胎土に繊維を含み，断面の色調も黒褐色または暗褐色で，貝殻腹縁や羽状縄文による施文が見られる。

109・110はRL縄文斜行縄文，111は貝殻腹縁による平行条線文，112～114は羽状縄文が見られる。

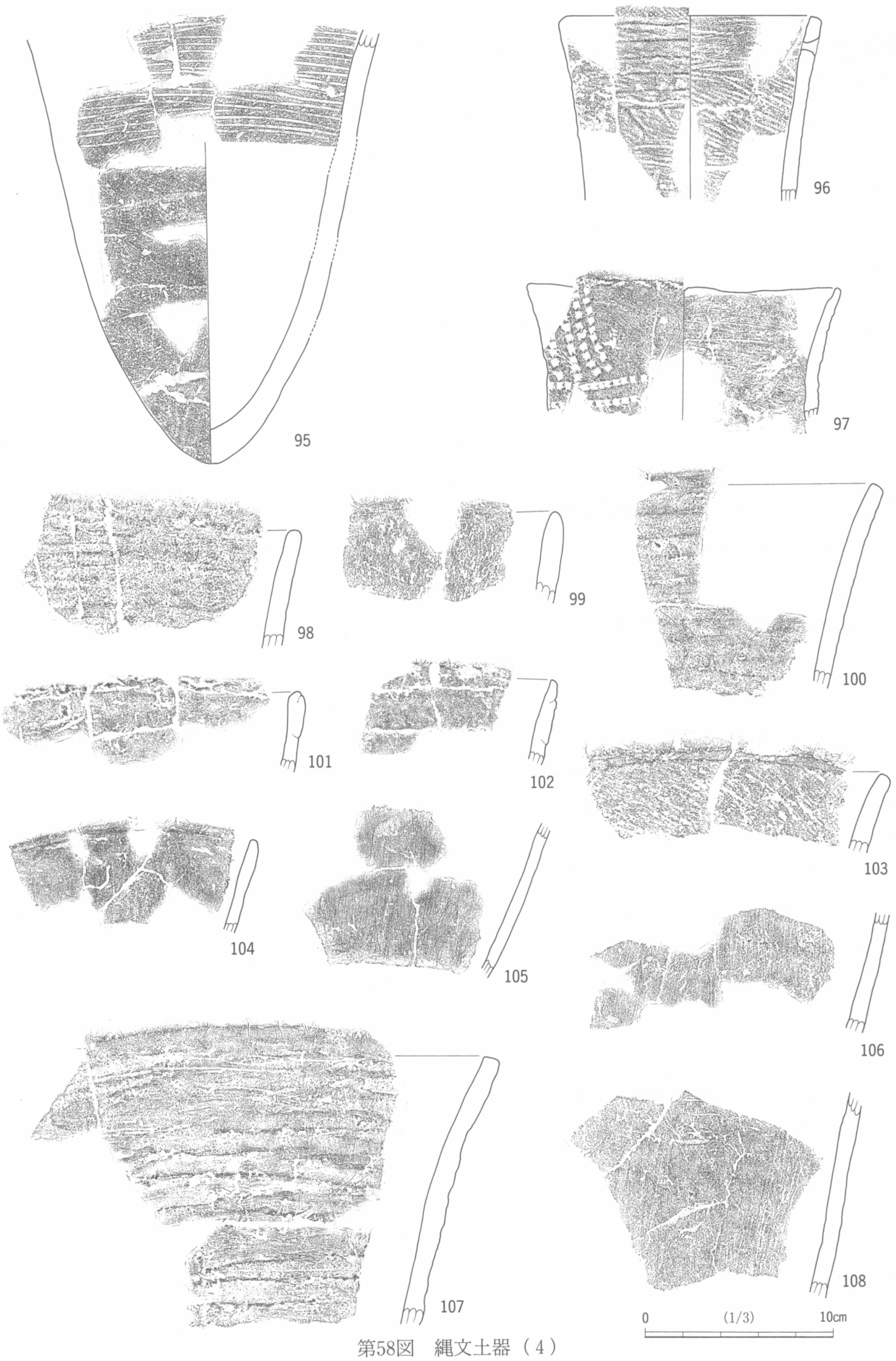
B類（第59図115～116）

B類の土器は竹管による条線文と刺突文を特徴とする。

115・116はともに半裁竹管の裁断面を使用した条線文を弧状に左右対称に配置し，その線上または間に



第57図　縄文土器（3）



第58図　縄文土器（4）

竹管の角を使った刺突文を重ねる十三菩提式相当の土器である。

C類（第59図117～126）

C類の土器は貝殻腹縁による連続刺突文を特徴とする浮島式・興津式土器。

117・118は貝殻の腹縁をやや引きずりぎみに支点を交互に移動させながら連続施文しており，117は施文方向が不規則な様相を呈し，118は支点を横方向にずらす浮島式では一般的な施文方法をとっている。119～126は貝殻腹縁の支点を横方向にずらしながら先端部分のみを反復施文する。126は口縁部分付近で口唇部に竹管の背面による刺突文が見られる。

D類（第59図127～130）

D類の土器は竹管による三角文や貝殻腹縁を組み合わせた施文を特徴とする。

127～130は胴部上半に半裁竹管の角を使用した連続刺突と胴部下半には貝殻腹縁の先端を並行に連続刺突した爪形文が特徴の浮島式である。129は口唇部外縁に半裁竹管による縦位の並列刻文を周回させている。131は口唇部外縁に半裁竹管による縦位の並列刻文を周回させているところは129と同様であるが，胴部は先端の扁平な工具による押し引き文を並行に3条施文している。

第Ⅵ群　中期・後期の土器（第61図132～137）

A類（第60図132・133）

A類の土器は中期の土器である。

132はS字状結節縄文のある中期初頭の土器。

133は隆帯に沿って角押し文が伴走する阿玉台式土器。

B類（第60図134～137）

B類の土器は斜行縄文を地文として沈線文と紐線文を特徴とする後期堀之内式土器。

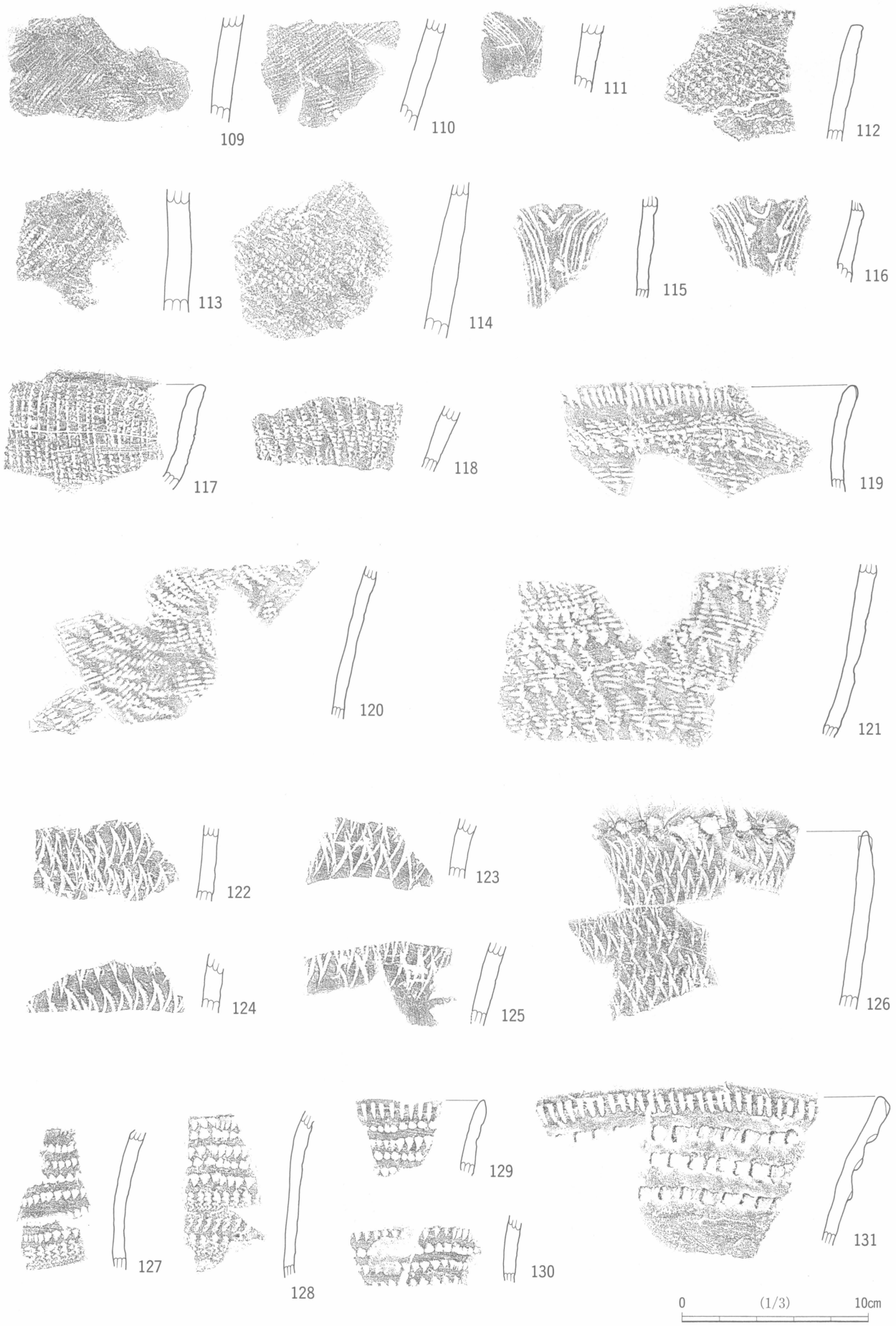
134は縦位の紐線文と半裁竹管による並行沈線文が見られる。135～137は地文である斜行縄文を背景に半裁竹管の裁断面による並行沈線が横位または斜位に走る。

その他の遺物（第60図138～145）

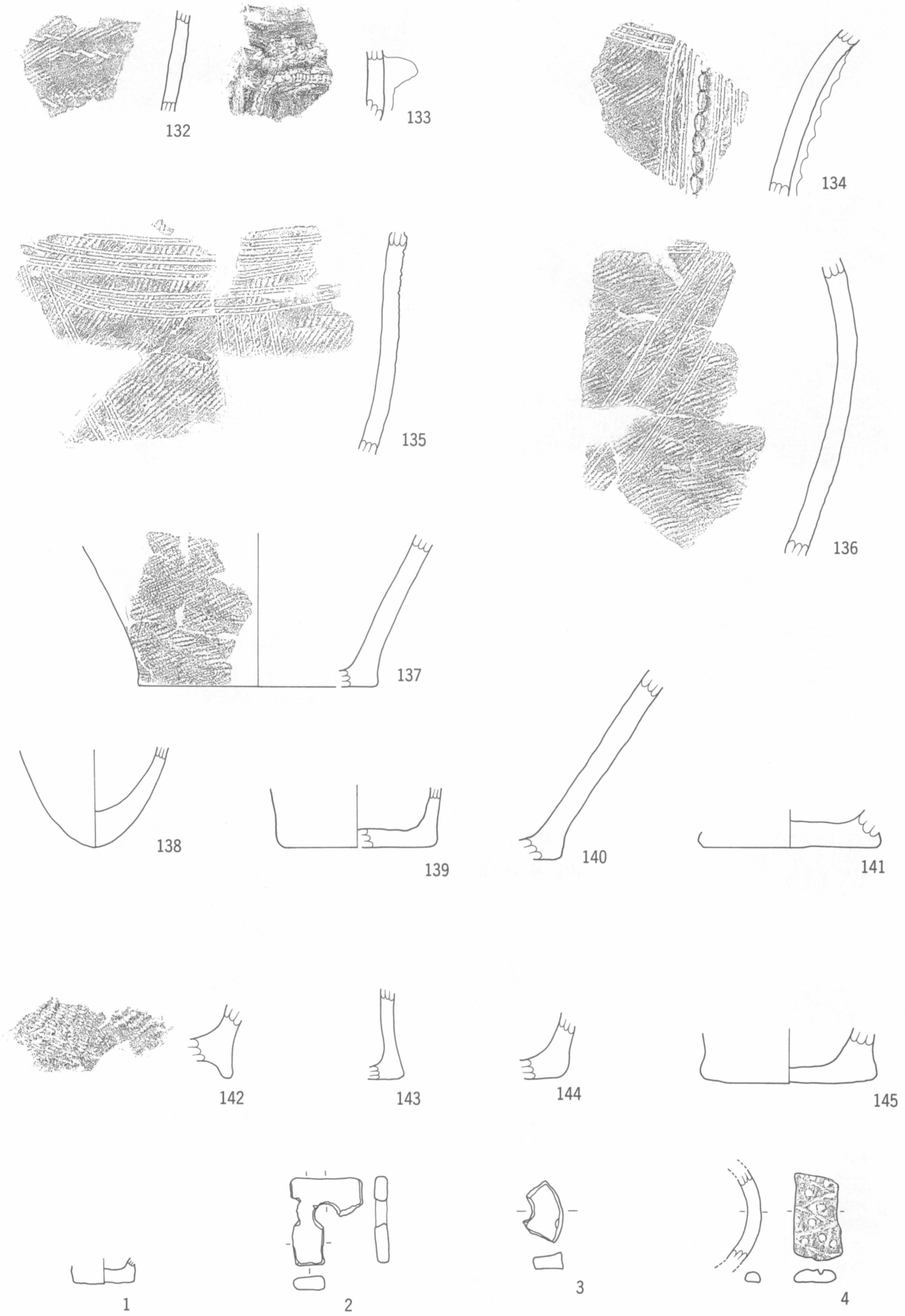
138～145は早期及び前期の土器底部付近である。145は早期の尖底部，他の底部はいずれも前期の土器と考えられるが142は底部がやや上げ底の様相を呈しており，斜行縄文が胴最下部まで丁寧に施文されている。

土製品（第60図1～4）

1はミニチュア土器の底部。2～4は土製耳飾で，2は4.7cm×3.9cm×0.8cm，平面が方形で短辺の一つから切れ目が入る形態で，3は遺存度が悪く全体の規模は不明であるが厚さは内縁部で0.6cm，周縁部で0.9cm，平面は円形タイプで円周の一方向から中心に向かって切れ込みをいれた玦状耳飾。4も全体の規模は不明であり，厚みが0.8cm，側面2.4cm，平面はリング状と思われるが厚みがあり，側面は幅広で沈線と刺突文が施されている。


109
110
111
112
113
114
115
116
117
118
119
120
121
122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
0
(1/3)
10cm

第59図　縄文土器（５）



第60図　縄文土器（6）・土製品

2　石器

縄文時代の包含層調査時に縄文土器と一緒に取り上げられた石器及び礫について「上層出土石器」としてここで扱う。分布状況から特に石器群のまとまりを認識することができたものは，縄文の石器集中ということで石器集中１Ｊ～３Ｊとして報告する（第61図）。

石器集中地点外（第62図１・２・第63図１～５，第29～31表，図版26）

第62図１は細身でやや厚みのある棒状の尖頭器である。刺突の衝撃によるものか，先端からの小さな剝離痕が観察される。チャート製である。第62図２は安山岩製の有舌尖頭器で，身部側縁が内側にやや内湾しており，かえし部が突出した形態を呈している。かえし部分の抉りはほぼ水平で明確な屈曲点を境に直線的に基部を形成している。いわゆる「花見山型」と呼ばれる一群の範疇にはいると考えられるが，空港予定地内では天神峰最上遺跡で同様の形態の有舌尖頭器が見つかっている。１・２とも縄文時代の草創期に属するものと考えられる。

第63図１～５は石器集中１J～３Jから離れて，単独で検出された縄文時代早期以降の石器である。１は黒曜石製の剝片で，打面から作業面への頭部調整が著しい。２～５はチャート製の石鏃である。２～４は基部に抉りがはいるもので，抉りが浅く２等辺三角形を呈するもの（２），側縁が外にふくらむもの（３），側縁が直線的で脚部が明瞭なもの（４）がある。５はいはゆる「平基」で，基部に抉りがはいらない三角鏃である。丁寧な作りで薄く仕上げられている。

石器集中１Ｊ（第63図６，第25・30表，図版26）

縄文時代早期の井草Ｉ式から井草II式の土器がまとまって出土したエリア（９Ｆ・９Ｇ・10F・10G区）で，遺物がまとまる径30mの範囲を石器集中１Jとする。本石器集中からは石器５点，礫13点，礫片16点の合計34点が出土した。分布はまとまった集中域を形成せず，土器の分布範囲に散漫に点在する状況である（第61図）。

石器は剝片３点，石核１点，礫器１点があり，第63図６に礫器を掲載した。礫器は砂岩製で，片面を主体に剝離を加えた片刃のものである。

礫・礫片は最大長100mm以下の小振りのものばかりで，礫片にしても大きな礫が破砕したようなものは見あたらない。被熱により赤化した資料はあるが赤変の度合いは弱く，同一個体はほとんどなく接合関係も確認できなかった。

第25表　石器集中１Ｊ　組成表

	剝片	石核	礫器	礫	礫片	合計	組成比
チャート	1 0.20	1 9.83		3 91.59	4 12.18	9 113.80	26.5 9.1
凝灰岩				3 99.79	6 353.50	9 453.29	26.5 36.1
砂岩			1 442.11	2 7.44	3 163.42	6 612.97	17.6 48.8
安山岩	1 1.46			3 42.30		4 43.76	11.8 3.5
粘板岩					2 3.06	2 3.06	5.9 0.2
流紋岩					1 10.78	1 10.78	2.9 0.9
メノウ	1 1.11					1 1.11	2.9 0.1
その他・不明				2 16.92		2 16.92	5.9 1.3
合計（点数） 合計（重量）	3 2.77	1 9.83	1 442.11	13 258.04	16 542.94	34 1255.69	100.0 100.0
組成比(点数) 組成比(重量)	8.8 0.2	2.9 0.8	2.9 35.2	38.2 20.5	47.1 43.2	100.0 100.0	

石器集中２Ｊ（第64・65図７～24，第26・30表，図版26）

縄文時代前期の興津・浮島式の土器がまとまって出土したエリア（６Ｄ・７Ｄ・７Ｅ区）で，北西部の径約50ｍの集中地点（６Ｄ・７Ｄ区）を石器集中2Jとする。石器40点，礫69点，礫片35点の合計144点が出土した。礫・礫片は，ブロックとして括った範囲の南端に２か所小さな集中域を形成し，この集中域から離れると土器の分布域に点在する状況である。石器は礫の集中域からは微妙にずれて礫分布が希薄なところに展開している（第61図）。

石器は石鏃８点，楔形石器２点，剥片・砕片27点，石核３点がある。石鏃は基部に浅い抉りがはいり，側縁がやや外湾する２等辺三角形を呈するものが主体を占める（７～10・12・13）。また，14は抉りが深く脚部が明瞭なものであるが，11は先端と基部を欠損しているため形状はよく分からない。石材はチャート（７・９・10・12～14），黒曜石（11），トロトロ石（８）が用いられている。15～21は黒曜石製の石器で，厚みのある大振りな剥片（15～17），楔形石器（18），小型の石核（19・20）がある。22は頁岩製の調整痕のある剥片で左右の側縁の表裏に調整痕が観察される。23はチャート製の楔形石器で扁平な小型楕円礫を用いて長軸方向に両極剥離を施している。24はチャート製の石核で，やや厚みのある小型楕円礫を用いて短軸方向に小型剥片が剥離されている。

礫・礫片はやはり小振りのものが主体を占めるが，最大長100mm以上のものが石器集中1J・3Jと比較して多いのが目立つ。ホルンフェルス・流紋岩の２個体に接合関係が確認されたが，本ブロックもやはり，同一個体は少ない。被熱により赤化した資料が主体を占めるが，石器集中3Jと比較するとその赤変の度合いは低いように見える。

第26表　石器集中２Ｊ　組成表

	楔形石器	石鏃	調整痕のある剥片	砕片	石核	剥片	礫	礫片	合計	組成比
チャート	1 14.15	6 4.08			1 31.45	1 5.42	38 1248.68	7 307.84	54 1611.62	37.5 24.8
珪質頁岩A	1 2.02	1 0.60	1 0.34	4 0.41	2 13.27	14 25.28			23 41.92	16.0 0.6
珪質頁岩			1 0.82						1 0.82	0.7 0.0
流紋岩							8 77.08	6 1024.99	14 1102.07	9.7 16.9
安山岩A		1 0.71							1 0.71	0.7 0.0
安山岩B							5 83.30	7 327.55	12 410.85	8.3 6.3
安山岩						1 1.40			1 1.40	0.7 0.0
黒曜石							5 1414.48	6 578.57	11 1993.05	7.6 30.6
砂岩						2 33.20	1 9.75	3 75.76	6 118.71	4.2 1.8
ホルンフェルス							4 352.32	1 2.41	5 354.73	3.5 5.5
石英							2 24.41		2 24.41	1.4 0.4
粘板岩			1 2.07					1 13.47	2 15.54	1.4 0.2
凝灰岩			1 0.22						1 0.22	0.7 0.0
メノウ						1 1.37			1 1.37	0.7 0.0
頁岩							1 70.87		1 70.87	0.7 1.1
片岩								1 7.34	1 7.34	0.7 0.1
その他・不明							5 550.54	3 196.47	8 747.01	5.6 11.5
合計（点数） 合計（重量）	2 16.17	8 5.39	4 3.45	4 0.41	3 44.72	19 66.67	69 3831.43	35 2534.40	144 6502.64	100.0 100.0
組成比(点数) 組成比(重量)	1.4 0.2	5.6 0.1	2.8 0.1	2.8 0.0	2.1 0.7	13.2 1.0	47.9 58.9	24.3 39.0	100.0 100.0	

石器集中３Ｊ（第65図25～28，第27・30表，図版26）

石器集中2Jに隣接する径25mほどの集中地点（７Ｅ区）を石器集中3Jとする。石器４点，礫52点，礫片28点の合計84点が出土した。礫・礫片は２か所の小さな集中域にまとまり，その周辺に石器が点在する状況である（第61図）。

石器は石鏃１点，石鏃未製品１点，剥片１点，敲石１点がある。25は黒曜石製の石鏃で裏面には素材剥片の主要剥離面が残っている。粗雑な作りで左側面はまだ整形途中であるような印象を受ける。26は裏面の中央にある突出部を除去できなかったため整形途中で廃棄されたものと考えられる。網目状に薄い褐色の模様がはいる黒曜石で，周辺から出土したものとは趣を異にする。27は黒曜石製の幅広剥片で上部に折断面が見られる。28は砂岩製の敲石で周縁に顕著な敲打痕が観察される。

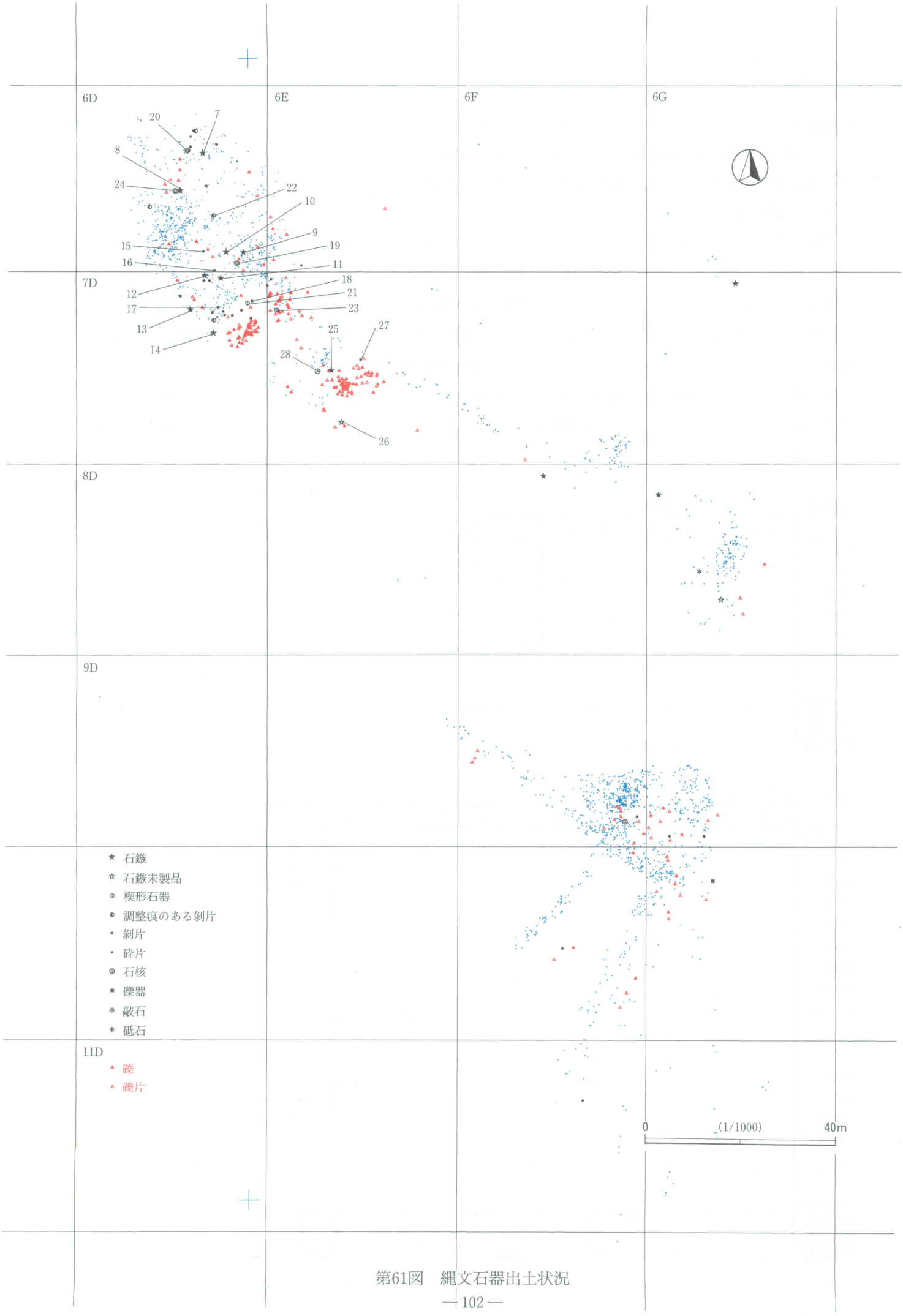
礫・礫片は最大長100mm以下の小振りなものが主体を占めるが，被熱による赤化が著しいものが目立つ。熱を受けたことにより破砕したような資料がほどんどないことから，同一個体も少なく，接合資料も確認できなかかった。

第27表　石器集中３Ｊ　組成表

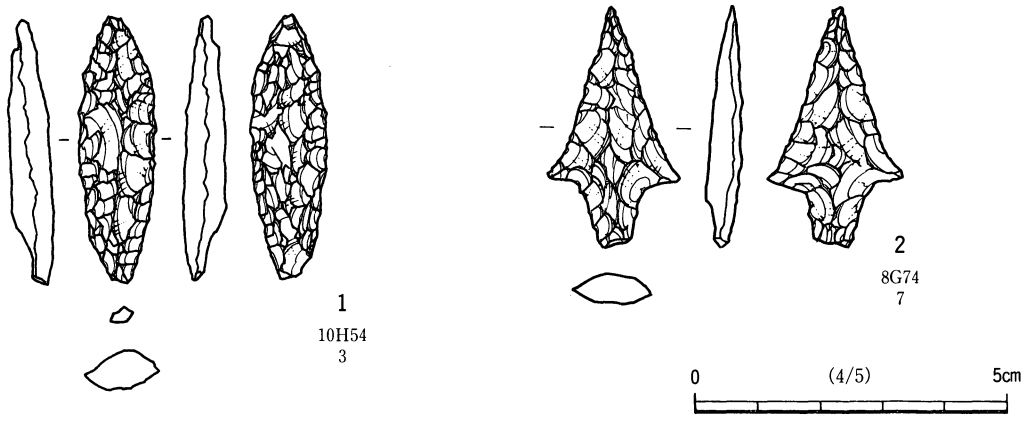
	石鏃	石鏃未製品	剥片	敲石	礫	礫片	合計	組成比
チャート					31 1109.45	14 352.75	45 1462.20	53.6 43.1
砂岩				1 169.52	9 655.74	4 120.53	14 945.79	16.7 27.9
凝灰岩					3 99.11	5 332.56	8 431.67	9.5 12.7
流紋岩					5 203.45	2 85.16	7 288.61	8.3 8.5
黒曜石	1 0.83	1 6.03	1 4.01				3 10.87	3.6 0.3
花崗岩					1 20.55	1 45.54	2 66.09	2.4 1.9
ホルンフェルス						1 16.31	1 16.31	1.2 0.5
その他・不明					3 140.65	1 28.10	4 168.75	4.8 5.0
合計（点数） 合計（重量）	1 0.83	1 6.03	1 4.01	1 169.52	52 2228.95	28 980.95	84 3390.29	100.0 100.0
組成比(点数) 組成比(重量)	1.2 0.0	1.2 0.2	1.2 0.1	1.2 5.0	61.9 65.7	33.3 28.9	100.0 100.0	

第28表　石器集中１Ｊ～３Ｊ　組成表

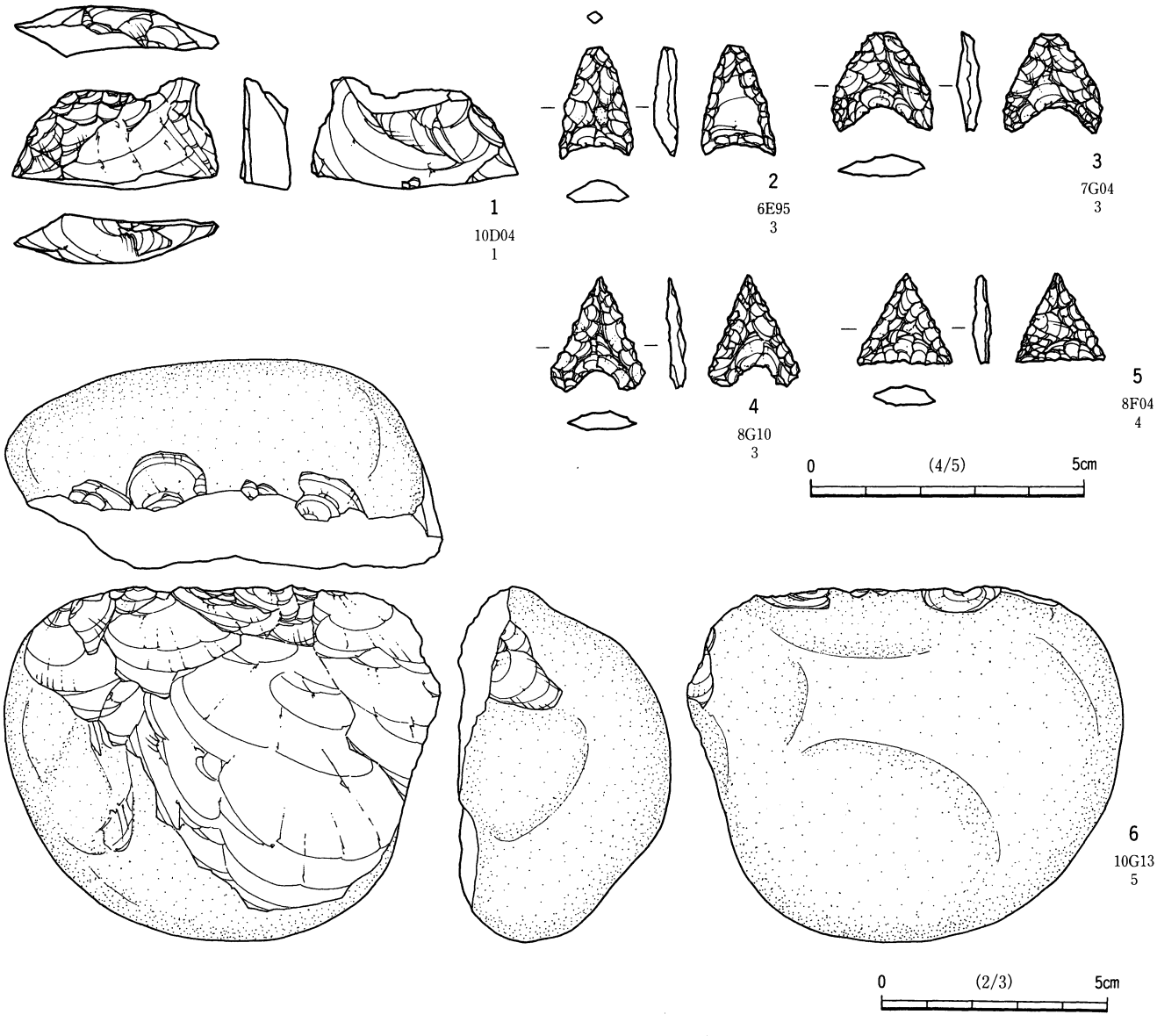
	楔形石器	石鏃	石鏃未製品	調整痕のある剥片	剥片	砕片	石核	敲石	礫器	礫	礫片	合計	組成比
チャート	1 14.15	6 4.08			2 5.62		2 41.28			72 2449.72	25 672.77	108 3187.62	41.2 28.6
砂岩								1 169.52	1 442.11	16 2077.66	13 862.52	31 3551.81	11.8 31.9
凝灰岩										11 282.20	18 1013.61	29 1295.81	11.1 11.6
黒曜石	1 2.02	2 1.43	1 6.03	1 0.34	15 29.29	4 0.41	2 13.27					26 52.79	9.9 0.5
流紋岩										13 280.53	9 1120.93	22 1401.46	8.4 12.6
安山岩					1 1.46					7 394.62	1 2.41	9 398.49	3.4 3.6
安山岩A					1 1.40							1 1.40	0.4 0.0
安山岩B		1 0.71										1 0.71	0.4 0.0
ホルンフェルス					2 33.20					1 9.75	4 92.07	7 135.02	2.7 1.2
粘板岩				1 2.07							3 16.53	4 18.60	1.5 0.2
メノウ					2 2.48							2 2.48	0.8 0.0
花崗岩										1 20.55	1 45.54	2 66.09	0.8 0.6
石英										2 24.41		2 24.41	0.8 0.2
珪質頁岩				1 0.22								1 0.22	0.4 0.0
珪質頁岩A				1 0.82								1 0.82	0.4 0.0
頁岩										1 70.87		1 70.87	0.4 0.6
片岩											1 7.34	1 7.34	0.4 0.1
その他・不明										10 708.11	4 224.57	14 932.68	5.3 8.4
合計（点数） 合計（重量）	2 16.17	9 6.22	1 6.03	4 3.45	23 73.45	4 0.41	4 54.55	1 169.52	1 442.11	134 6318.42	79 4058.29	262 11148.62	100.0 100.0
組成比(点数) 組成比(重量)	0.8 0.1	3.4 0.1	0.4 0.1	1.5 0.0	8.8 0.7	1.5 0.0	1.5 0.5	0.4 1.5	0.4 4.0	51.1 56.7	30.2 36.4	100.0 100.0	



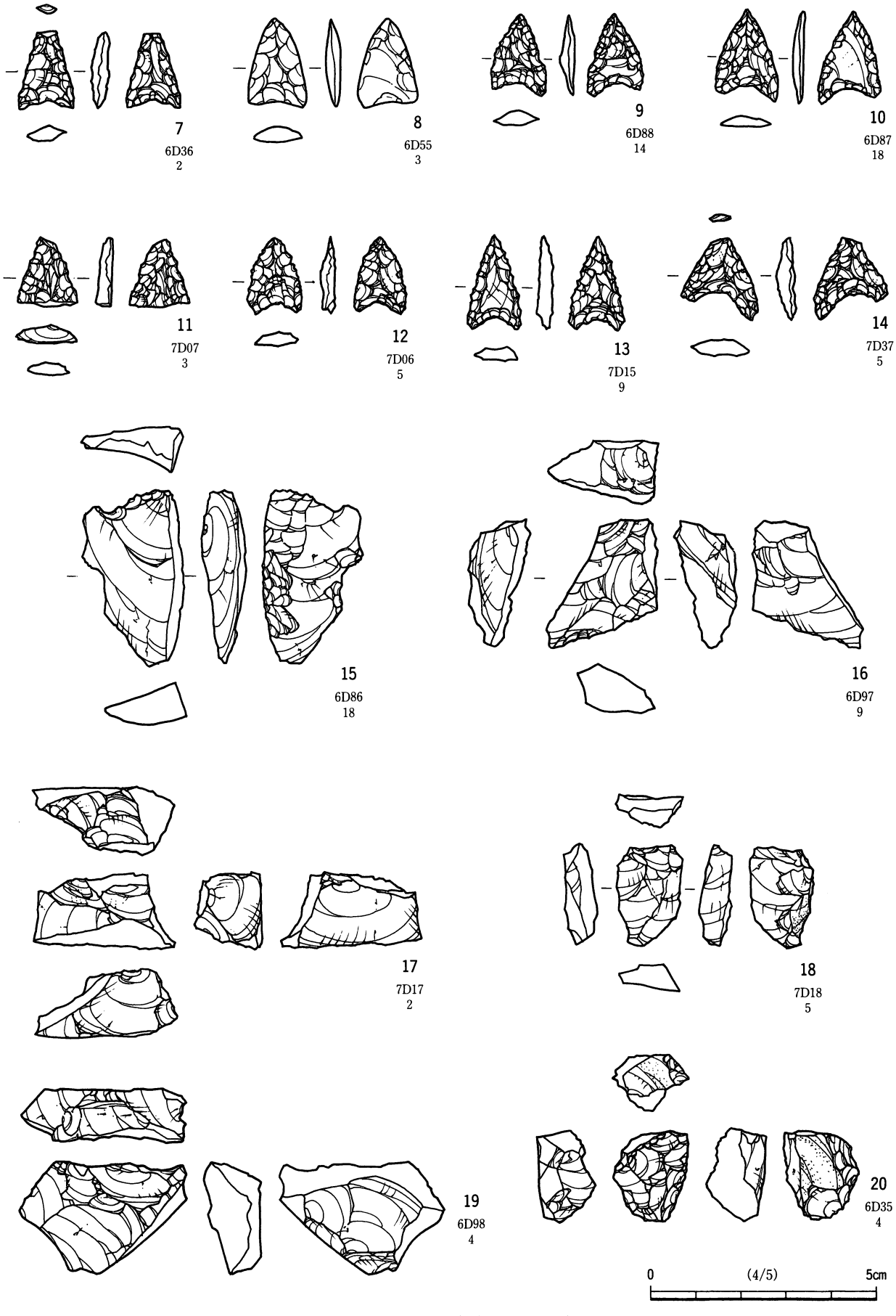
第61図　縄文石器出土状況



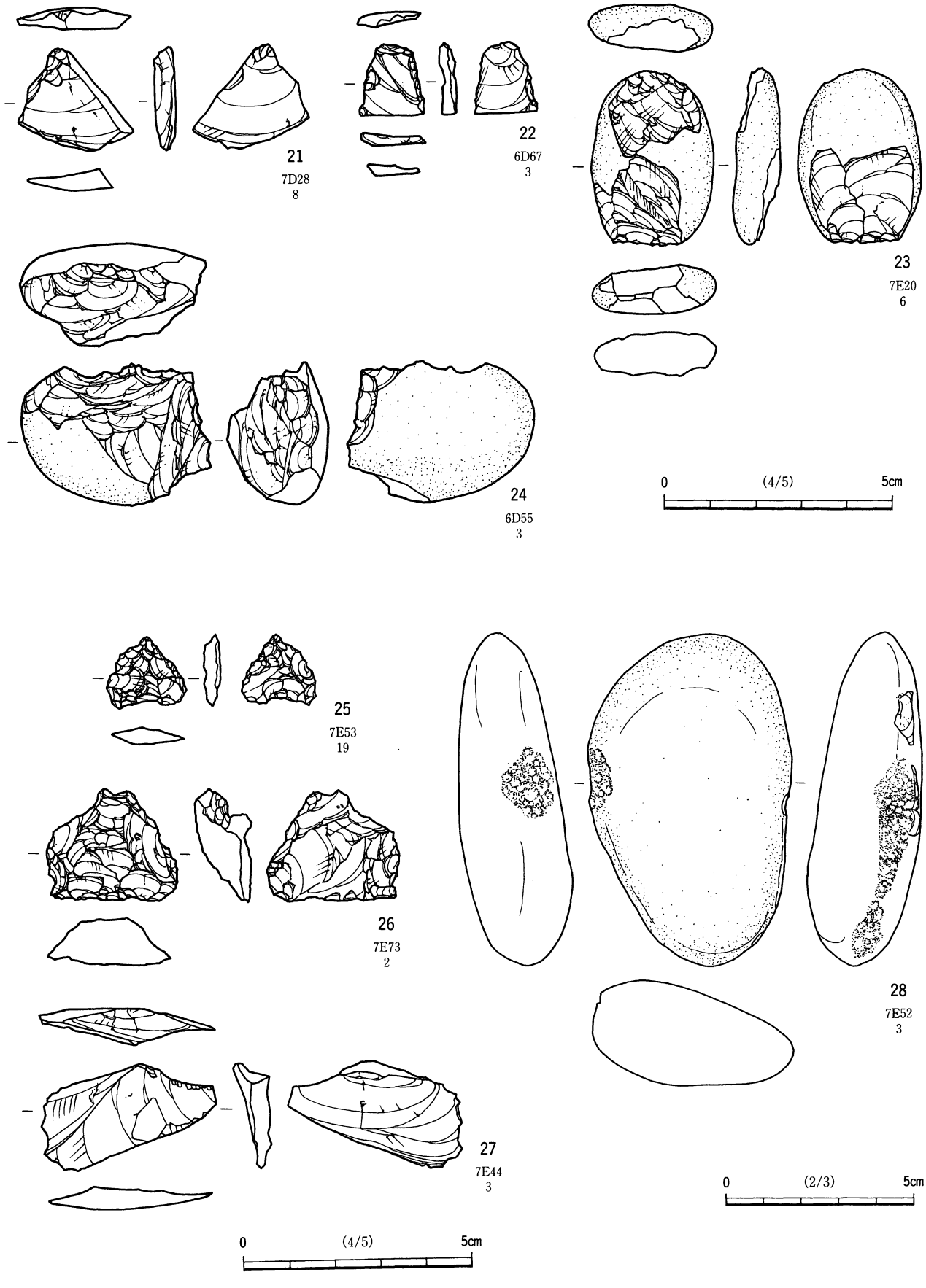
第62図　上層出土石器（1）



第63図　上層出土石器（2）



第64図　上層出土石器（3）



第65図　上層出土石器（4）

第29表　上層出土石器　観察表（1）

挿図No.	ブロックNo.	グリッド	遺物番号	器種	長さ[mm]	幅[mm]	厚さ[mm]	重量[g]	石材	X座標	Y座標	標高	備考
1	単独	10H54	0003	尖頭器	43.2	12.6	7.0	4.07	珪質頁岩				
2	単独	08G74	0007	有舌尖頭器	38.9	21.2	5.1	2.65	安山岩A	-26109.600	51638.835	43.002	

第30表　上層出土石器　観察表（2）

挿図No.	ブロックNo.	グリッド	遺物番号	器種	長さ[mm]	幅[mm]	厚さ[mm]	重量[g]	石材	X座標	Y座標	標高	備考
1	単独	10D04	0001	剝片	20.6	37.1	8.8	5.70	黒曜石				
2	単独	06E95	0003	石鏃	19.7	13.8	4.5	1.24	チャート				
3	単独	07G04	0003	石鏃	18.0	18.7	3.8	1.12	チャート	-26042.467	51638.574	41.539	
4	単独	08G10	0003	石鏃	20.7	17.3	3.7	0.86	チャート	-26086.382	51622.605	42.720	
5	単独	08F04	0004	石鏃	16.6	17.3	3.1	0.69	チャート	-26082.606	51598.292	42.772	
6	1 J	10G13	0005	礫器	78.6	97.9	43.5	442.11	砂岩	-26166.761	51633.990	42.715	
7	2 J	06D36	0002	石鏃	17.2	12.2	3.7	0.73	チャート	-26014.671	51526.281	42.044	先端欠
8	2 J	06D55	003b	石鏃	19.8	12.7	3.3	0.71	安山岩B				
9	2 J	06D88	0014	石鏃	17.8	12.3	3.4	0.51	チャート	-26035.544	51534.956	42.358	
10	2 J	06D87	0018	石鏃	20.7	13.8	2.4	0.59	チャート	-26035.631	51531.287	41.987	
11	2 J	07D07	0003	石鏃	14.6	13.0	3.4	0.60	黒曜石	-26041.336	51530.245	41.760	
12	2 J	07D06	0005	石鏃	16.4	12.0	3.2	0.54	チャート	-26040.865	51526.779	41.557	
13	2 J	07D15	0009	石鏃	20.5	12.6	3.4	0.83	チャート	-26047.957	51523.761	40.643	
14	2 J	07D37	0005	石鏃	17.4	17.0	4.1	0.88	チャート	-26052.457	51528.564	40.713	
15	2 J	06D86	0018	剝片	37.1	20.7	8.3	5.34	黒曜石	-26035.670	51526.618	41.954	
16	2 J	06D97	0009	剝片	32.0	23.2	11.6	6.56	黒曜石	-26039.939	51528.949	42.668	
17	2 J	07D17	0002	剝片	16.8	31.2	14.7	6.16	黒曜石	-26047.445	51529.673	0.000	
18	2 J	07D18	0005	楔形石器	22.1	14.3	5.9	2.02	黒曜石	-26046.655	51535.597	41.920	
19	2 J	06D98	0004	石核	23.6	36.8	10.7	9.48	黒曜石	-26038.230	51533.623	42.026	
20	2 J	06D35	0004	石核	20.1	18.6	11.7	3.79	黒曜石	-26014.161	51523.236	41.884	
21	2 J	07D28	0008	剝片	20.2	25.1	3.5	1.78	黒曜石	-26048.131	51534.458	41.672	
22	2 J	06D67	0003	調整痕のある剝片	16.4	14.1	3.1	0.82	珪質頁岩A	-26027.953	51528.811	41.999	
23	2 J	07E20	0006	楔形石器	38.6	27.1	10.0	14.15	チャート	-26048.144	51541.994	0.000	
24	2 J	06D55	003a	石核	21.3	40.9	31.4	31.45	チャート	-26022.557	51520.689	42.043	
25	3 J	07E53	0019	石鏃	15.9	17.2	3.8	0.83	黒曜石	-26060.211	51553.287	42.213	
26	3 J	07E73	0002	石鏃未製品	25.9	28.6	11.5	6.03	黒曜石	-26071.468	51553.361	40.690	
27	3 J	07E44	0003	剝片	18.5	39.2	7.3	4.01	黒曜石	-26058.321	51559.477	42.510	
28	3 J	07E52	0003	敲石	88.0	53.9	27.1	169.52	砂岩	-26060.688	51550.493	42.054	

第31表　上層出土石器（石器集中１Ｊ～３Ｊ・石器集中地点外）　組成表

	有舌尖頭器	楔形石器	石鏃	石鏃未製品	調整痕のある剝片	剝片	砕片	石核	礫器	砥石	敲石	礫	礫片	合計	組成比
チャート		1 14.15	9 6.75			2 5.62		2 41.28				76 2649.73	26 716.05	116 3433.58	40.7 28.5
砂岩						1 8.67			1 442.11		1 169.52	17 2102.47	14 879.07	34 3601.84	11.9 29.9
凝灰岩										1 8.77		12 289.40	19 1167.48	32 1465.65	11.2 12.2
黒曜石		1 2.02	2 1.43	2 12.07	1 0.34	16 29.70	4 0.41	2 13.27						28 59.24	9.8 0.5
流紋岩												13 280.53	10 1514.84	23 1795.37	8.1 14.9
安山岩A	1 2.65					1 1.40								2 4.05	0.7 0.0
安山岩B			1 0.71											1 0.71	0.4 0.0
安山岩						2 16.94						9 415.49	1 2.41	12 434.84	4.2 3.6
ホルンフェルス						2 33.20						1 9.75	5 94.65	8 137.60	2.8 1.1
粘板岩					1 2.07								3 16.53	4 18.60	1.4 0.2
珪質頁岩					1 0.22									1 0.22	0.4 0.0
珪質頁岩A					1 0.82									1 0.82	0.4 0.0
メノウ						2 2.48								2 2.48	0.7 0.0
花崗岩												1 20.55	1 45.54	2 66.09	0.7 0.5
石英												2 24.41		2 24.41	0.7 0.2
頁岩												1 70.87		1 70.87	0.4 0.6
片岩													1 7.34	1 7.34	0.4 0.1
その他・不明												10 708.11	5 229.25	15 937.36	5.3 7.8
合計（点数） 合計（重量）	1 2.65	2 16.17	12 8.89	2 12.07	4 3.45	26 98.01	4 0.41	4 54.55	1 442.11	1 8.77	1 169.52	142 6571.31	85 4673.16	285 12061.07	100.0 100.0
組成比点数） 組成比(重量)	0.4 0.0	0.7 0.1	4.2 0.1	0.7 0.1	1.4 0.0	9.1 0.8	1.4 0.0	1.4 0.5	0.4 3.7	0.4 0.1	0.4 1.4	49.8 54.5	29.8 38.7	100.0 100.0	

第４章　その他の時代

第１節　遺構（第67図）

１号溝状遺構

金沢台遺跡の建設センター用地内を東西方向に走り，調査範囲内における全長は推定で180m，溝の幅は0.3m～0.8mで深さは0.4m～0.7m，上層確認調査のトレンチ内で確認された（１）地点から（６）地点のみの検出であるが，全体としてはほぼ直線的に連なっているものと考えられる。

１号溝状遺構は，遺物は伴わないものの周辺から出土したキセルの形態から中世以降の時期の溝状遺構と考えられる。周辺には野馬土手等の牧に関わる遺構の痕跡は確認されておらず，溝状の遺構の掘込みも浅い。

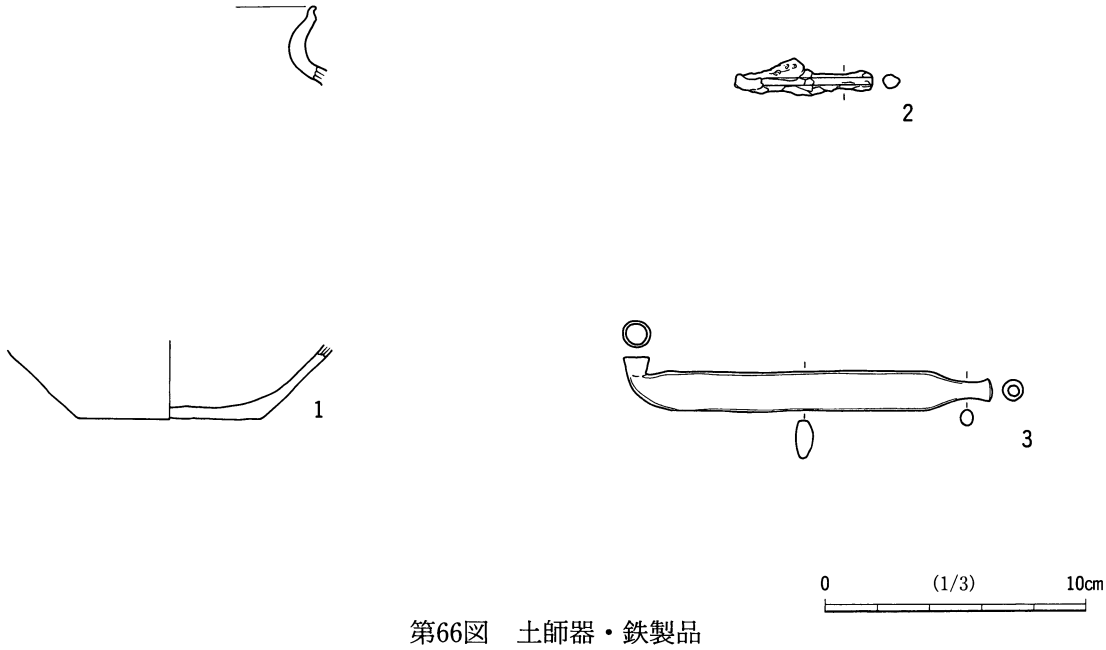
第51図によれば，西側の谷津に向かって現在の道路と並行して延びていることがわかり，本遺構の規模から中・近世の農耕用の古道である可能性が高い。

第２節　遺物（第66図）

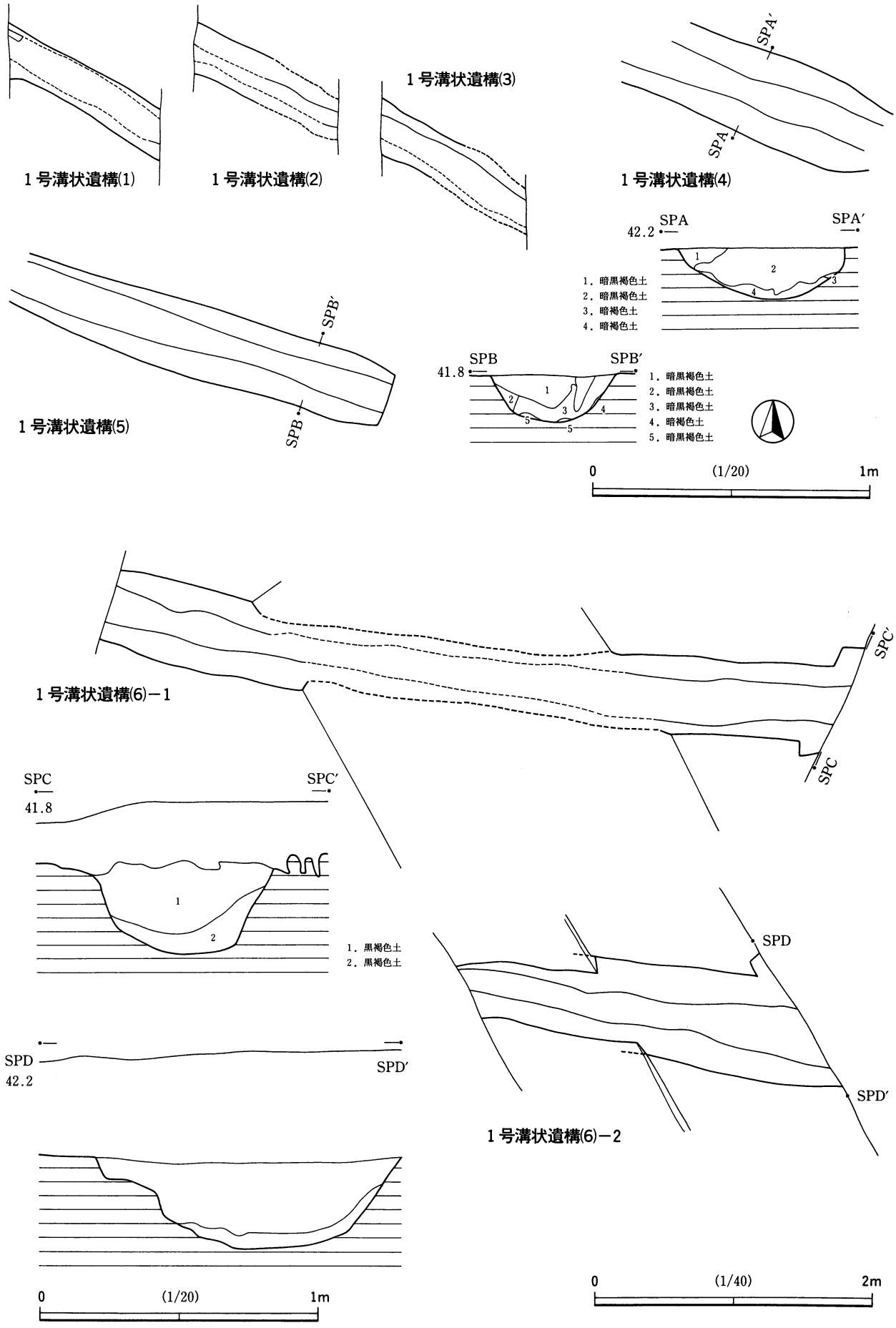
１は土師器の小型甕で，口縁部径は推定で10.2cm，高さは推定15.1cm，底部径8.4cm。遺存度は悪く口縁部付近と底部のみであるが，口唇部内側の段はろくろ回転を利用してヘラ状工具で作り出している。全体に暗褐色で薄い作りを特徴とし奈良・平安時代の年代が想定されるが，詳細な時期は特定できない。

２は釘状の鉄製品の一部で，残存部長6.3cm，厚み0.5cm。

３は全長10.1cm，吸口部の直径は0.7cm，火皿部の直径は1.0cmの鉄製のキセルで，吸口部に続く煙管部が扁平な造りとなっており厚みは0.5cm，吸口端部や火皿端部がほぼ円形を呈する。



第66図　土師器・鉄製品


1号溝状遺構(1)
1号溝状遺構(2)
1号溝状遺構(3)
1号溝状遺構(4)
SPA′
SPA
42.2
1．暗黒褐色土
2．暗黒褐色土
3．暗褐色土
4．暗褐色土
1号溝状遺構(5)
SPB′
SPB
41.8
1．暗黒褐色土
2．暗黒褐色土
3．暗黒褐色土
4．暗褐色土
5．暗黒褐色土
0
(1/20)
1m
1号溝状遺構(6)－1
SPC′
SPC
41.8
1．黒褐色土
2．黒褐色土
SPD
42.2
SPD′
1号溝状遺構(6)－2
0
(1/40)
2m
0
(1/20)
1m

第67図　1号溝状遺構

第5章　ま　と　め

第1節　旧石器時代

旧石器時代の石器集中地点は6地点から7ブロックが検出された。石器群はATを包含する立川ロームⅥ層を境にして分離され，AT下位石器群は石器集中1～3の3ブロック，AT上位石器群は石器集中4～7の4ブロックが該当する。零細な石器集中3と石器集中7を除いたブロックについて，様相を以下にまとめる。

石器集中1は嶺岡産の特徴を有する珪質頁岩を用いて，矩形の小型剥片を剥離した良好な接合資料が確認された。立川ロームⅨ層下部～Ⅹ層上部に包含された資料は，本遺跡における最古の石器群である。空港予定地内及び周辺ではⅩ層中から検出された遺跡はさほど多くなく，多古町一鍬田甚兵衛山西遺跡（空港No.16遺跡）で，台形様石器を伴う小規模な石器群が検出されている。剥片剥離は本遺跡と同様に矩形の小型剥片生産が確認されている。

石器集中2は立川ロームⅨ層上半部に包含された石器群で，小さな8か所の集中域によって形成されたブロックである。石器群の構成は，両極剥離による台形様石器・楔形石器を主体とする構成Ⅰ，一般的な剥片剥離を主体とする構成Ⅱ，石斧製作に関する構成Ⅲに大きく分離される。

母岩・石材と各構成との関係は以下の通りである。

構成Ⅰ　母岩No.6（珪質頁岩）・安山岩A・母岩No.21（安山岩）・母岩No.5（珪質頁岩）・ホルンフェルス・母岩No.14（石英）・母岩No.12（凝灰岩）・母岩No.11（凝灰岩）・母岩No.13（チャート）・母岩No.1（黒曜石）・母岩No.2（黒曜石）

構成Ⅱ　母岩No.3（珪質頁岩）・母岩No.15（メノウ）・母岩No.16（メノウ）・珪質頁岩・安山岩A・安山岩B

構成Ⅲ　ホルンフェルス・母岩No.22（凝灰岩）

構成Ⅰは両極剥離を基本とする構成で，楔形石器・楔形石器剥片・台形様石器を含む，多数の母岩があり，石材構成も多彩であるが，各母岩に属する石器は少数のものが多い。「楔形石器」については多角的な機能がすでに指摘されている[1]。石器集中2では，両極剥離によって側縁を形成し，未調整の鋭い縁辺を刃部とした台形様石器が9点検出され，「それ」自体が「刃器」としての機能をもつものが主体を占める。さらに，そのような台形様石器の素材剥片には一般的な剥片剥離によって得られたもの以外に，両極剥離によって得られた横長剥片を用いたと推測された。それを裏付けるように石核的な機能を持つ「楔形石器」が検出された（第14図）。

構成Ⅱのなかで，遺跡内で剥離作業を行った痕跡が見られるのは，安山岩A・安山岩B・メノウだけである。メノウは小型の角柱状の礫を用いたものであるが点数自体はさほど多くない。安山岩A・安山岩Bについても，剥片同士の接合関係が見られたわけではないので，積極的な剥片剥離が行われたとは言い難い。比較的縦長で薄手の剥片が剥離されている一方で，同石材は構成Ⅰのための素材剥片生産をも担っているといえよう。また，一般的な剥片剥離によって生産された剥片及びトゥールが遺跡内に搬入されている。周縁に急角度調整が施された尖頭器やナイフ形石器が該当する。

構成Ⅲは石斧生産に関するものである。扁平礫を利用して周縁に調整を施し刃部を研磨する作業には，整形剝片・砥石等の存在が不可欠であるが，出土した打製石斧・刃部磨製石斧と同一母岩，及び砥石は検出されていない。ただし，母岩№9・10（ホルンフェルス）は石斧周縁調整のために剝離された剝片である可能性が指摘される。

つまり，構成Ⅰのための素材剝片の一部は遺跡内で供給されるが(安山岩A・安山岩B)，ほとんどが余所で剝離された剝片，あるいは，すでに両極剝離の施された資料が搬入されていると理解される。また，両極剝離によって調整された台形様石器の存在は他の遺跡でも指摘されることではあるが（台形様石器として分類されなくても，未調整部分に使用痕が残された「楔形石器」は比較的定型的なものが多い)，本遺跡のように，それが主体を占めている石器群は極めて希ではないだろうか。そして，そのような台形様石器（楔形石器）の素材剝片生産にも両極剝離が多用され，その短冊状を呈した「残核」が検出されたことは注目される。

佐原市出口遺跡・佐倉市大林遺跡・同芋窪遺跡・同大堀遺跡・横芝町遠山天ノ作遺跡・成田市東峰御幸畑西遺跡（空港№61遺跡）で，第二黒色帯から楔形石器を主体とする石器群が検出されているが，本遺跡のような両極剝離調整による台形様石器がまとまって検出される遺跡は見あたらない。また，出口遺跡・遠山天ノ作遺跡・東峰御幸畑西遺跡で主体を占める，小型扁平円礫を素材とした楔形石器は本遺跡では検出されなかった。台形様石器製作には，まず始めに刃部となる未調整の縁辺が用意されなければいけないが，小型扁平礫ではそれがまず困難である。一方で，石斧は本遺跡で唯一検出されているが，台形様石器との組み合わせに何かしら意味を求めることができるのかもしれない。遺跡の性格等にかかわる石器組成については，今後の課題である。

石器集中4～7はAT上位石器群で，いずれもソフトローム層中から検出された石器群である。石器集中4・5はソフトロームの中でも中位～下位に分布の中心があるが，石器集中6は耕作によるソフトロームへの撹乱が著しく本来の包含層を遊離していたり，土層断面図作成位置がちょうど撹乱を受けてしまっていたりして，ソフトローム層中のどのあたりが中心となるのかはっきりしない。石器集中4は総数18点の小規模なブロックで，切出形を呈したナイフ形石器・円形掻器が特徴である。石器集中5は，小規模な礫群を中心に，嶺岡産珪質頁岩製の彫器・剝片類が検出されたブロックである。石器集中6は，東西に分かれて集中域が形成されている。西集中域では良好な接合資料が検出された。接合によって原石段階まで復元された接合資料3・4は，打面と作業面を頻繁に入れ替えながら剝離を進行させていく特徴が見られる。東集中域では，鋸歯状の調整が施された小型の角錐状石器・ナイフ形石器，基部調整のナイフ形石器が出土した。また，ホルンフェルスの良好な接合資料が確認された。これは，扁平礫の長軸方向への剝離後，短軸方向へ打面転位している。このようにAT上位石器群のうち石器集中4～7は，出土層位，ナイフ形石器・角錐状石器の特徴や礫群の存在等から，いわゆる「Ⅴ層～Ⅳ下段階」に相当する石器群と捉えることができる。それぞれの石器群は同時に残されたとは考えにくく，時間差をもっているものと考えられるが，石器集中6の西集中域についていえば，ナイフ形石器・角錐状石器の特徴から，同段階の中でも新しい時期に位置づけられよう。

第2節　縄文時代

金沢台遺跡の縄文時代の特徴は，台地中央部に西側から入り込んだ谷津を取り囲むように遺構と遺物の包含層が展開していることである。

この谷津の最深部に近い台地上には縄文時代早期の遺物の包含層が2地点（第51図④，⑤）あり，特に⑤地点では撚糸文系の井草Ⅰ式・Ⅱ式を主とする包含層が検出された。井草Ⅰ式土器は⑤地点のほぼ全域すなわち8Ｆ・8Ｇ・9Ｆ・9Ｇ・10Ｆ・10Ｇの各グリッドに集中した出土を示し，井草Ⅱ式土器は⑤地点の南部域である10Ｆ・10Ｇの各グリッドに集中した出土を示している。なお，⑤地点の西側には6号陥穴をはじめ周辺に1号陥穴及び3号陥穴が谷津沿いに展開している。

また，縄文時代早期の沈線文系土器は微隆起線を有する土器片や絡条体圧痕文を特徴とする子母口式土器片とともに，6Ｄ・6Ｅ・7Ｄ・7Ｅの各グリッドから散発的に出土している。

谷津の北側には縄文時代前期の包含層が3地点（第51図①，②，③）あり，浮島式・興津式を主とする遺物の分布が確認された。一方，胎土に繊維を含む黒浜式の土器片は8Ｆ・10Ｆの各グリッドから出土しており，縄文時代早期の包含層と重なっている。

①地点では1号土坑及び5号陥穴が谷津の肩口付近に位置し，縄文時代前期の浮島式・興津式の土器を主とする包含層が展開している。また，十三菩提式の土器片もこの地点の出土である。また，この地点は縄文時代早期の沈線文系土器の分布とも重なっている。

②・③地点では2号陥穴，4号陥穴，7号陥穴が谷津の肩口に展開しており，②地点では浮島式・興津式の土器包含層となっている。

それぞれの陥穴から出土した遺物は無く，重複する位置にある包含層との関わりは認められない。いずれの陥穴も長軸が谷津に沿う状況が見られ，特に4号陥穴から7号陥穴は形態も似ており同時期のものであることが考えられる。

金沢台遺跡出土の縄文時代遺物のうち，土器以外では土製の耳飾が検出されている。空港周辺の遺跡では，木の根拓美遺跡から縄文時代前期の耳飾が5点出土している。耳飾は方形タイプと円形タイプが知られているが，本遺跡では両者に加え，平面はリング状で側面に沈線と刺突文による装飾のある耳飾が検出されている。

木の根拓美遺跡出土の耳飾の中に，背面に沈線と刺突文の文様を持つものがある。沈線を挟んで両側に刺突列点文が配置されており，ジグザクの沈線によって作り出された三角形の区画内に刺突文を配置する本遺跡の耳飾とはやや異なる意匠となっている。類似の耳飾に船橋市西の台遺跡[2]出土のものがある。

また，一鍬田甚兵衛山北遺跡では，縄文時代前期の浮島式・興津式の土器包含層との関連が指摘される土製玦状耳飾が16点検出されている。いずれも平面は円形タイプで円周の一方向から中心に向かって切れ込みを入れている。

注1　田村　隆　1989「第6章収束」『佐倉市南志津地区埋蔵文化財発掘調査報告書』1（財）千葉県文化財センター

2　1985『西の台（第2次）』船橋市遺跡調査会

写　真　図　版

航空写真

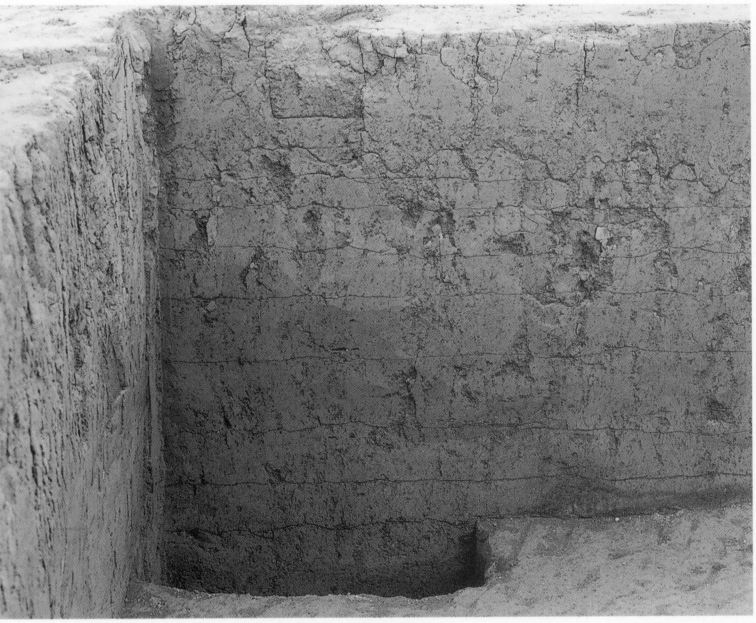
図版２

遺跡近景（建設センター）　（８Ｇグリッド→ＳＷ）

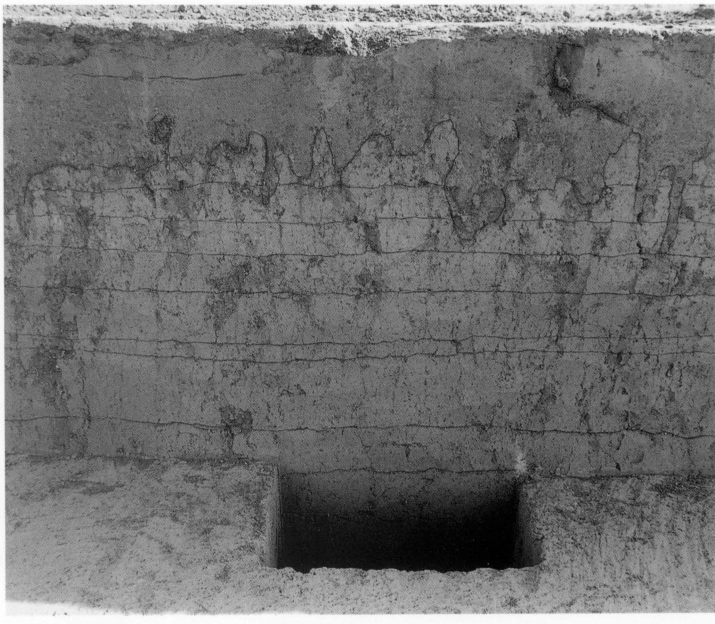
遺跡近景（建設センター）　（８Ｇグリッド→Ｓ）

遺跡近景（建設センター）　（８Ｇグリッド→Ｗ）

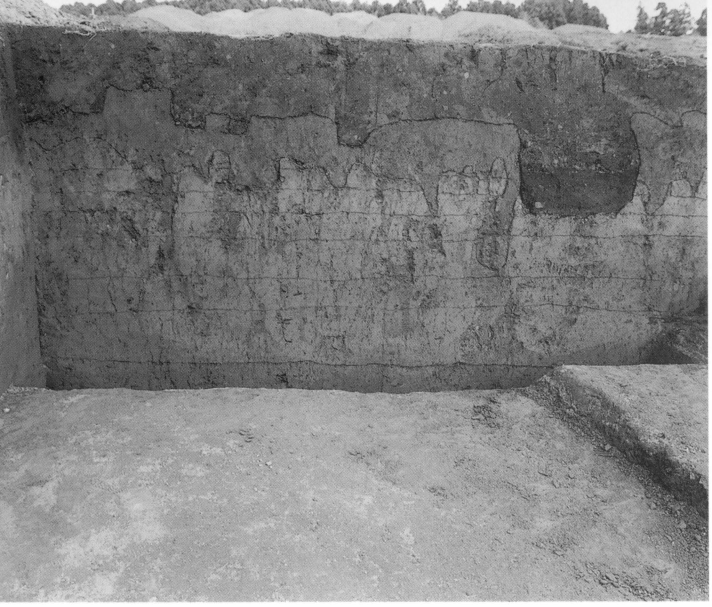
確認調査風景（保全事務所）　（５Ｅグリッド→Ｓ



石器集中１（１０Ｆ５５　南壁）　（Ｎ→）



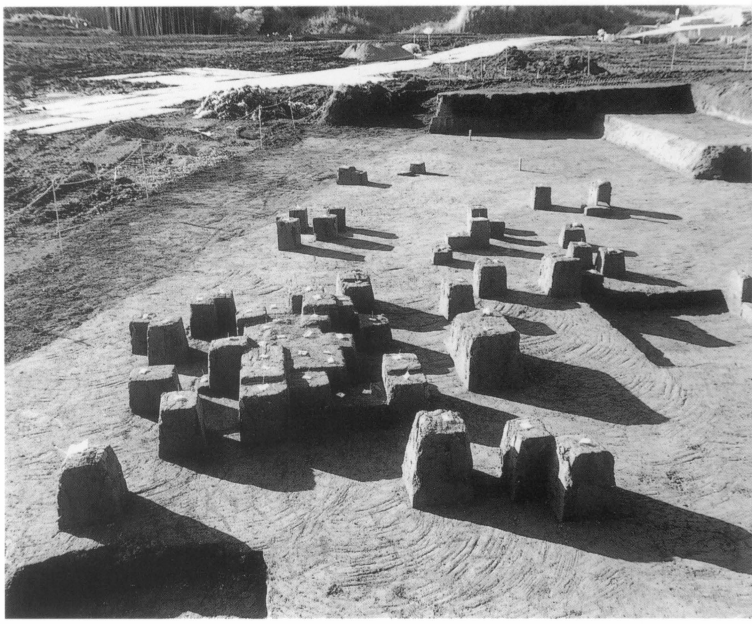
石器集中２（８Ｆ１７　東壁）　（Ｗ→



石器集中３（８Ｈ０５　東壁）　（Ｗ→）

石器集中１　（Ｎ→）

石器集中２（北東部）　（Ｗ→）



石器集中２（北東部）　（Ｅ→）

石器集中２（南西部）　（Ｎ→）

石器集中２（南西部）　（ＳＥ→）

図版４

石器集中４　（N→）

石器集中５　（E→

石器集中６　（S→）

石器集中６　（WNW→

石器集中７　（W→）

１０Ｆグリッド（縄文時代・早期）②　（N→

１０Ｇグリッド包含層（縄文時代・早期）①　（Ｗ→）

１０Ｇグリッド包含層（縄文時代・早期）②　（Ｎ→）

１０Ｇグリッド包含層（縄文時代・早期）③　（ＮＷ→）

９Ｆグリッド（縄文時代･早期）　（ＮＷ→）

１０Ｆグリッド（縄文時代・早期）①　（Ｎ→）

６Ｄグリッド包含層（縄文時代・前期）①　（Ｎ→）

６Ｄグリッド包含層（縄文時代・前期）②　（Ｎ→）

６Ｄグリッド包含層（縄文時代・前期）③　（Ｎ→

６Ｄグリッド包含層（縄文時代・前期）④　（ＮＷ→）

７Ｅグリッド包含層（縄文時代・前期）①　（Ｅ→

７Ｅグリッド包含層（縄文時代・前期）②　（Ｎ→）

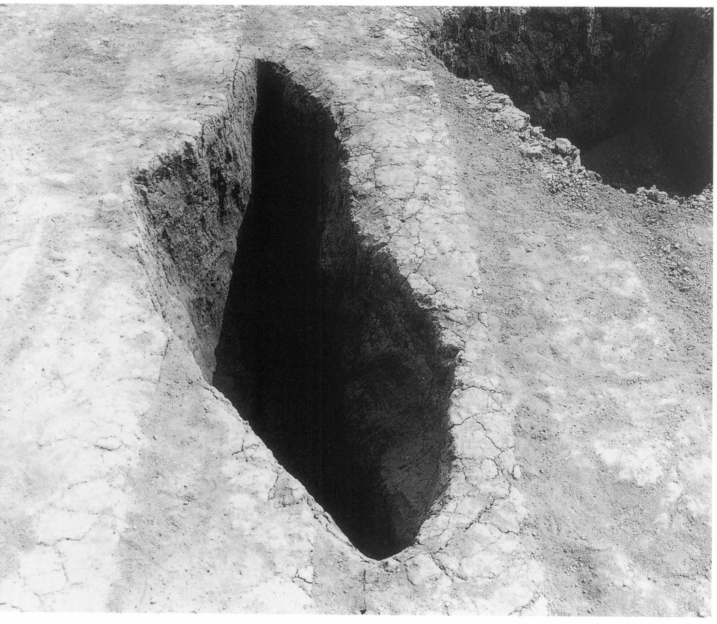
７Ｄグリッド包含層（縄文時代・前期）①　（ＥＮＥ→

１号土坑　（ＳＷ→）

１号陥穴　（ＮＥ→）

２号陥穴　（ＮＥ→）

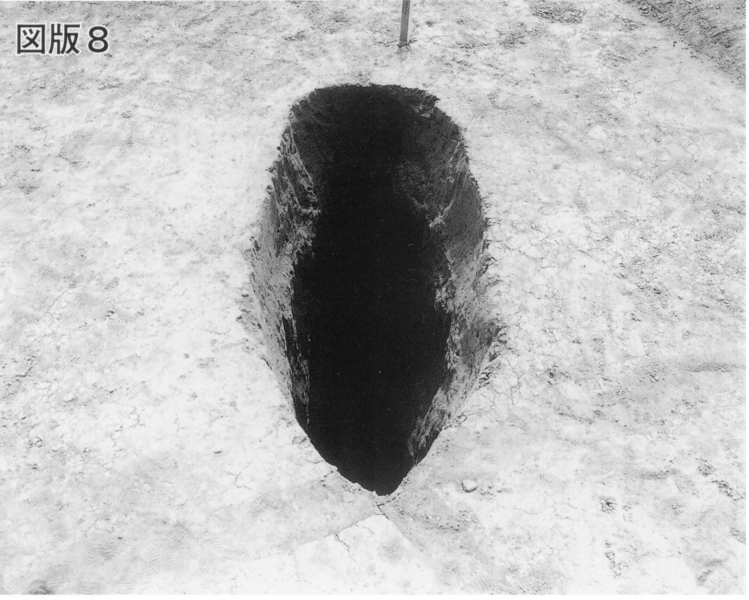
３号陥穴　（Ｎ→）



４号陥穴　（Ｓ→）

５号陥穴　（Ｗ→）

図版８



６号陥穴　（ＮＥ→）

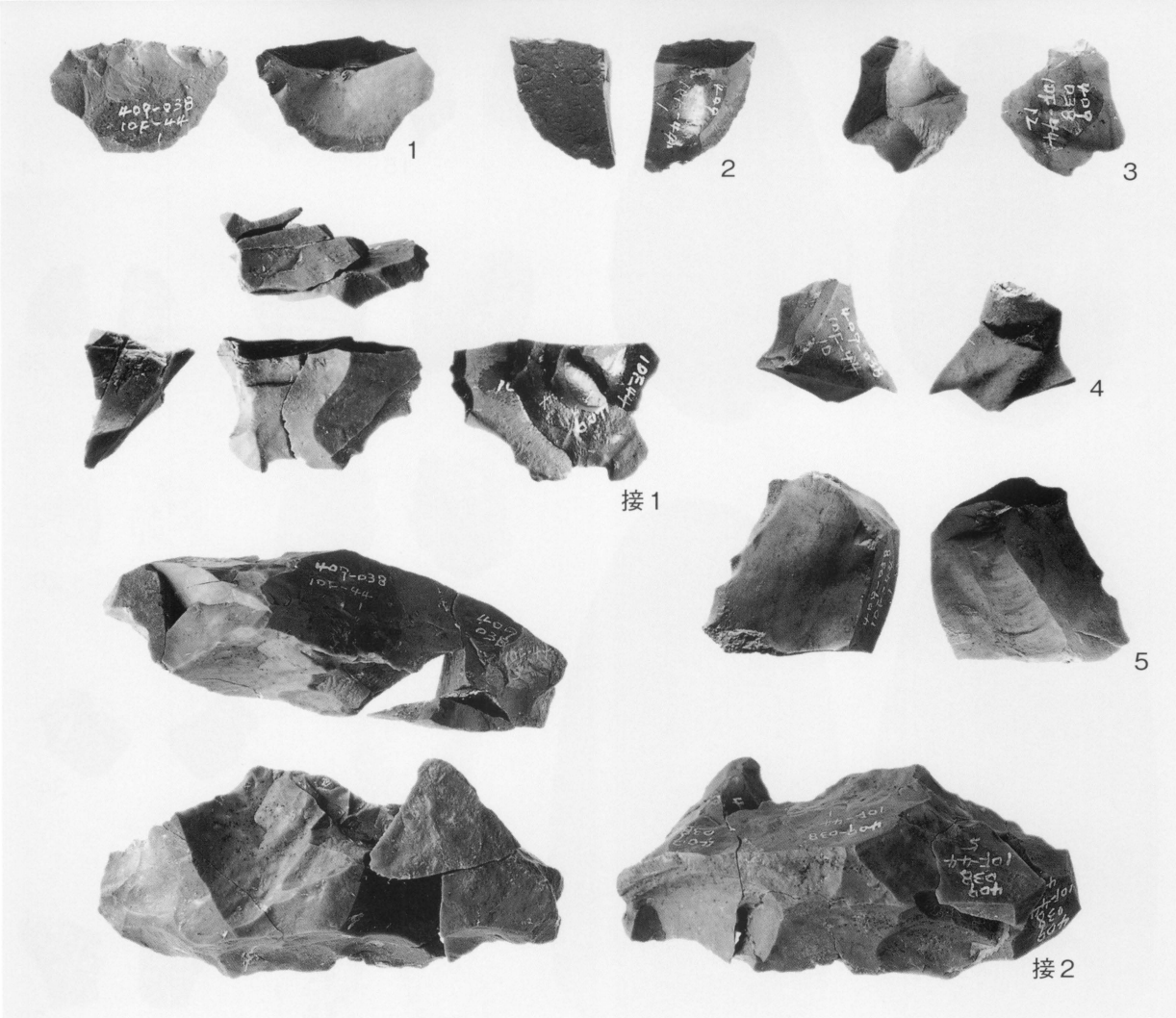
７号陥穴　（Ｎ→

１号溝状遺構（No.４）　（Ｅ→）

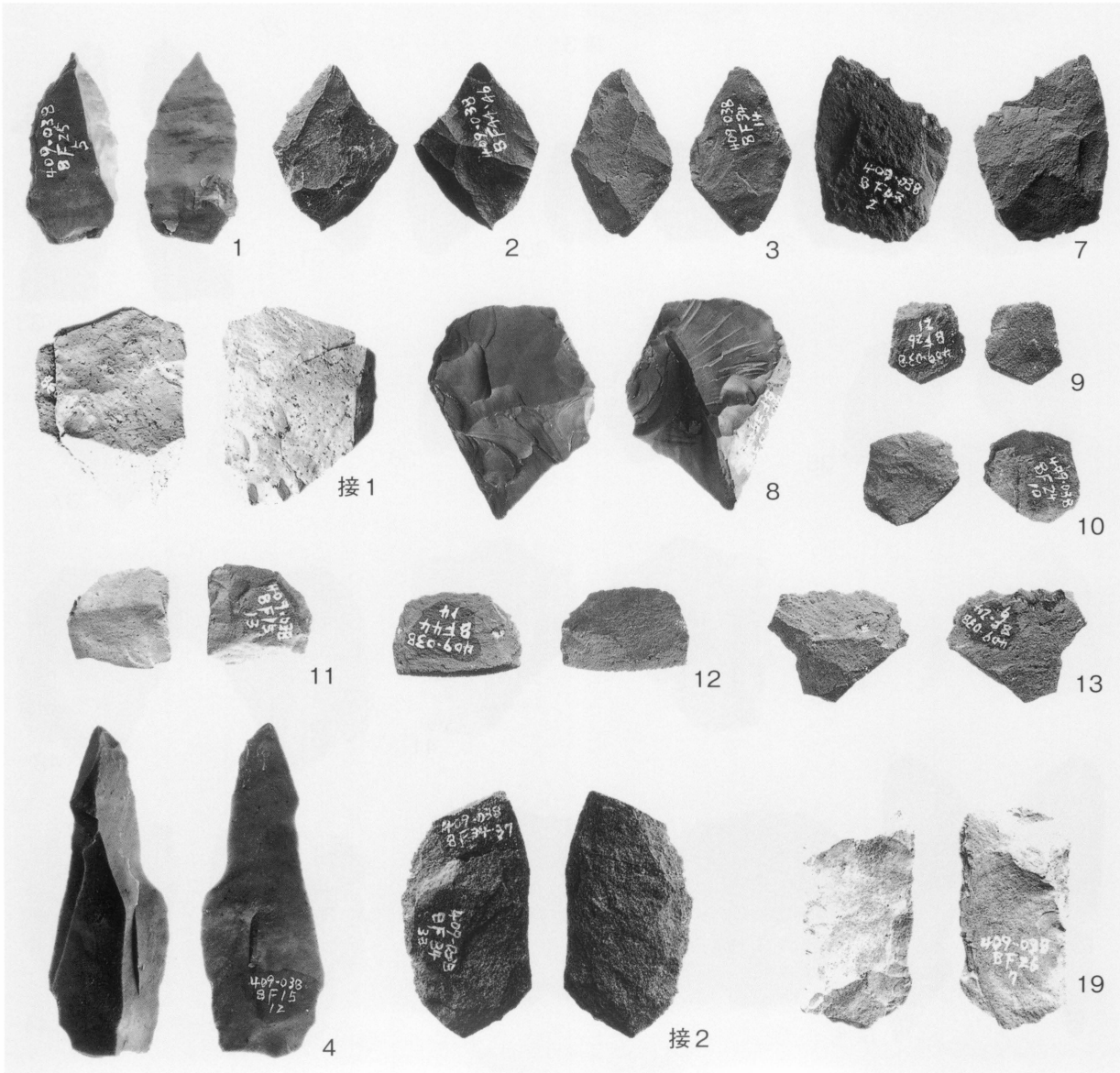
１号溝状遺構（No.５）　（Ｅ→

１号溝状遺構（No.６）　（Ｗ→）

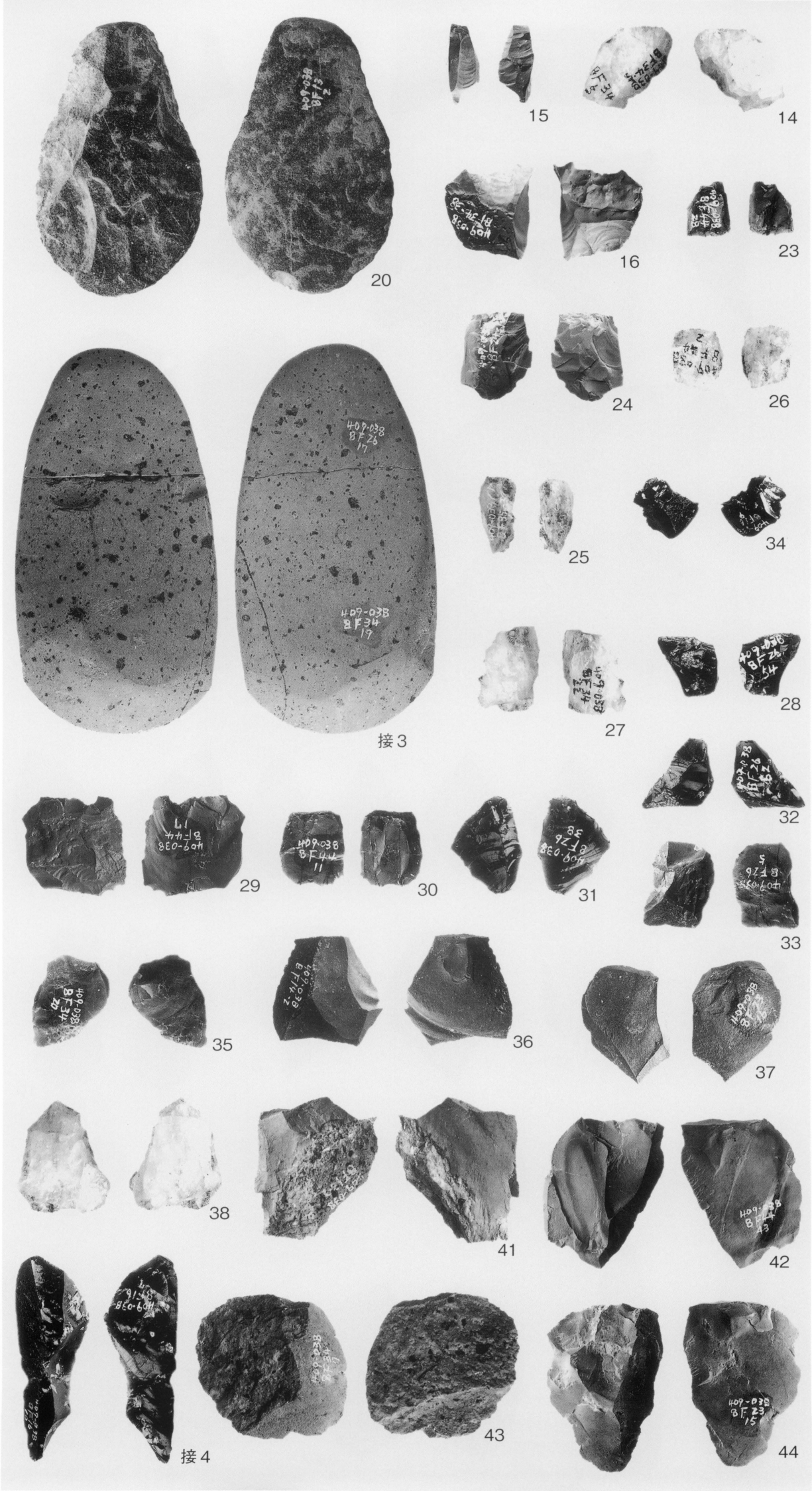
１号溝状遺構（No.６）　（ＳＷ→

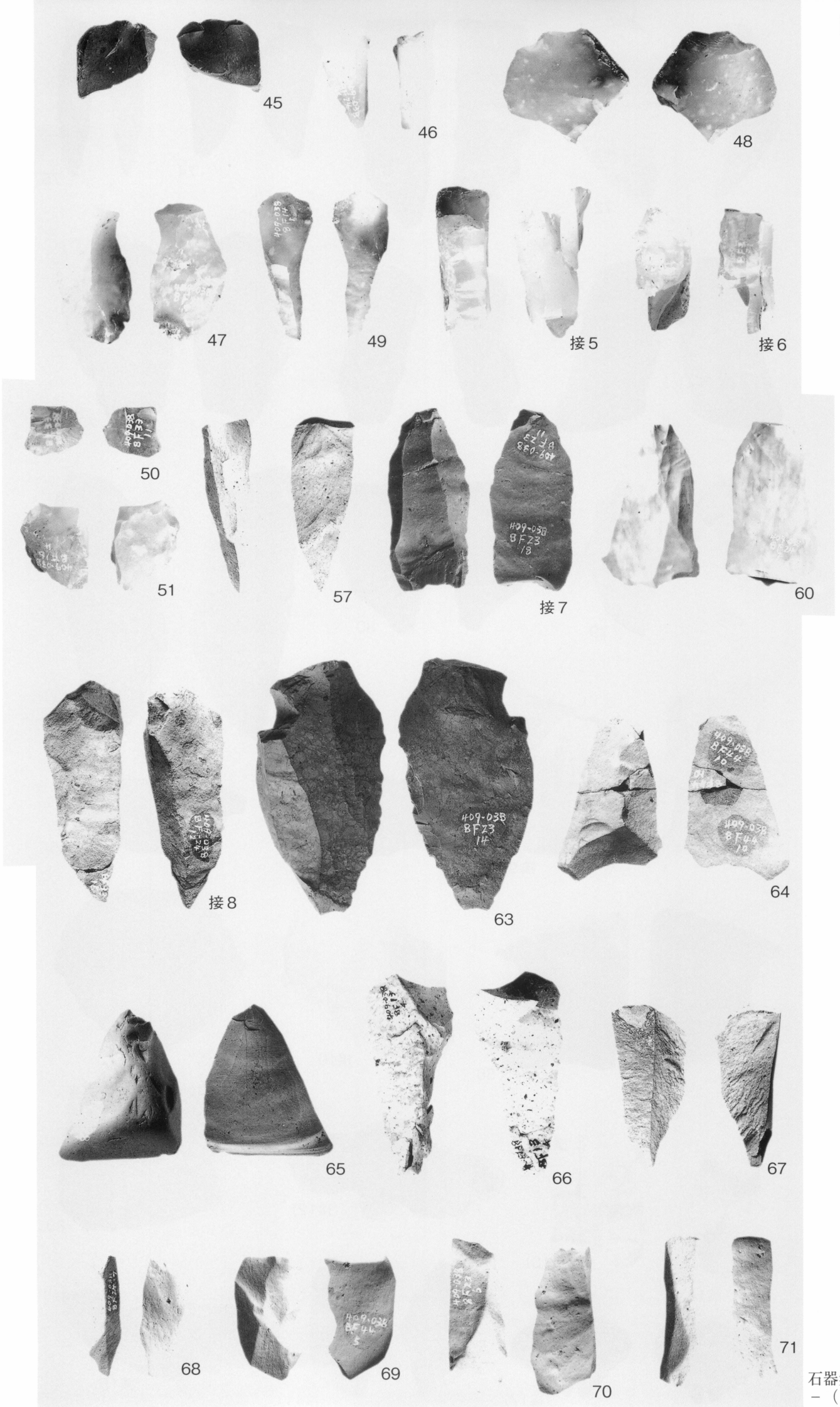


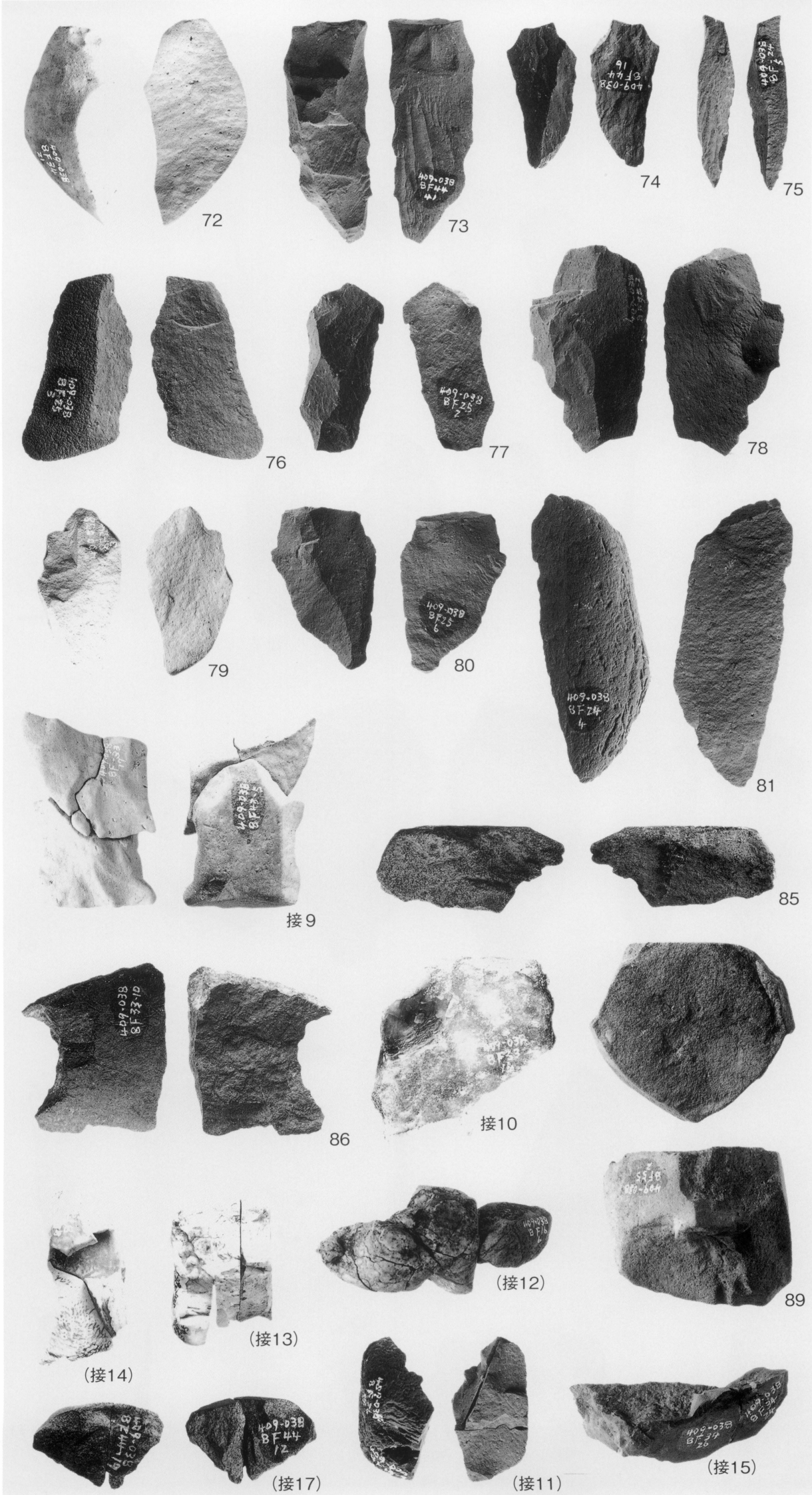
石器集中1



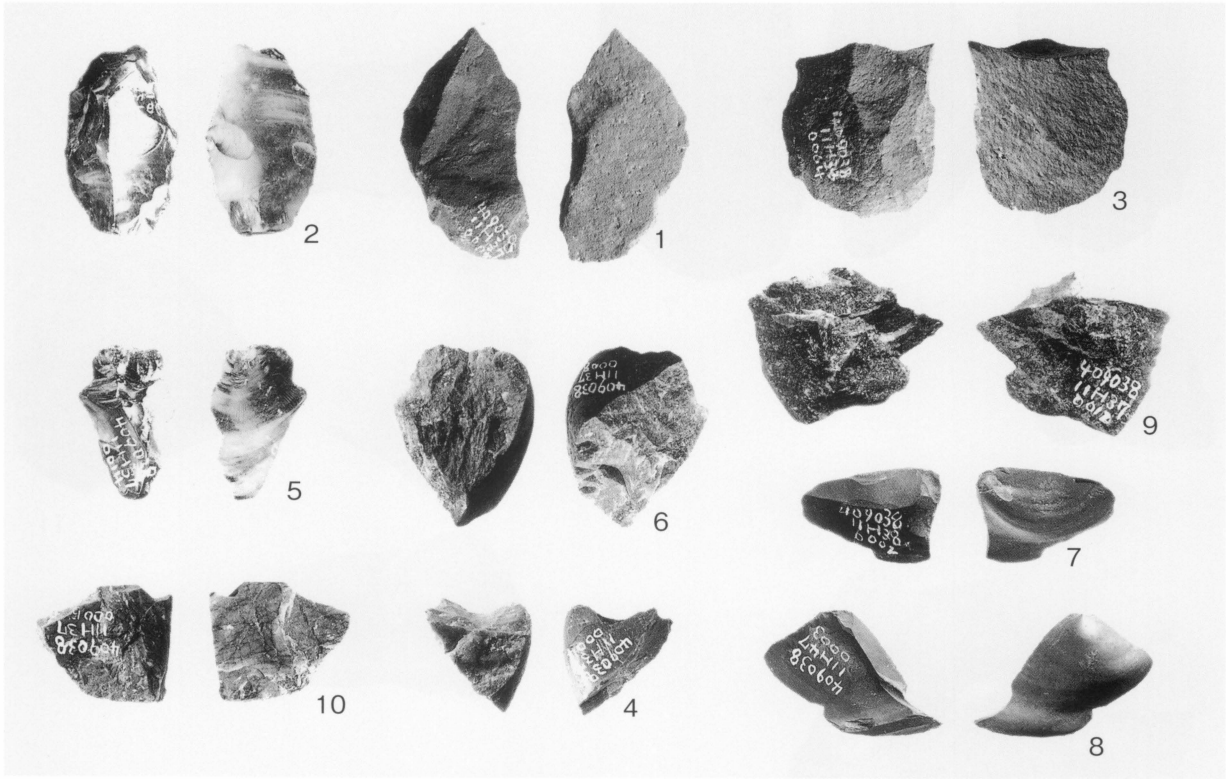
石器集中2
－（1）


20
15
14
16
23
24
26
25
34
接3
28
27
32
29
30
31
33
35
36
37
38
41
42
43
44
接4

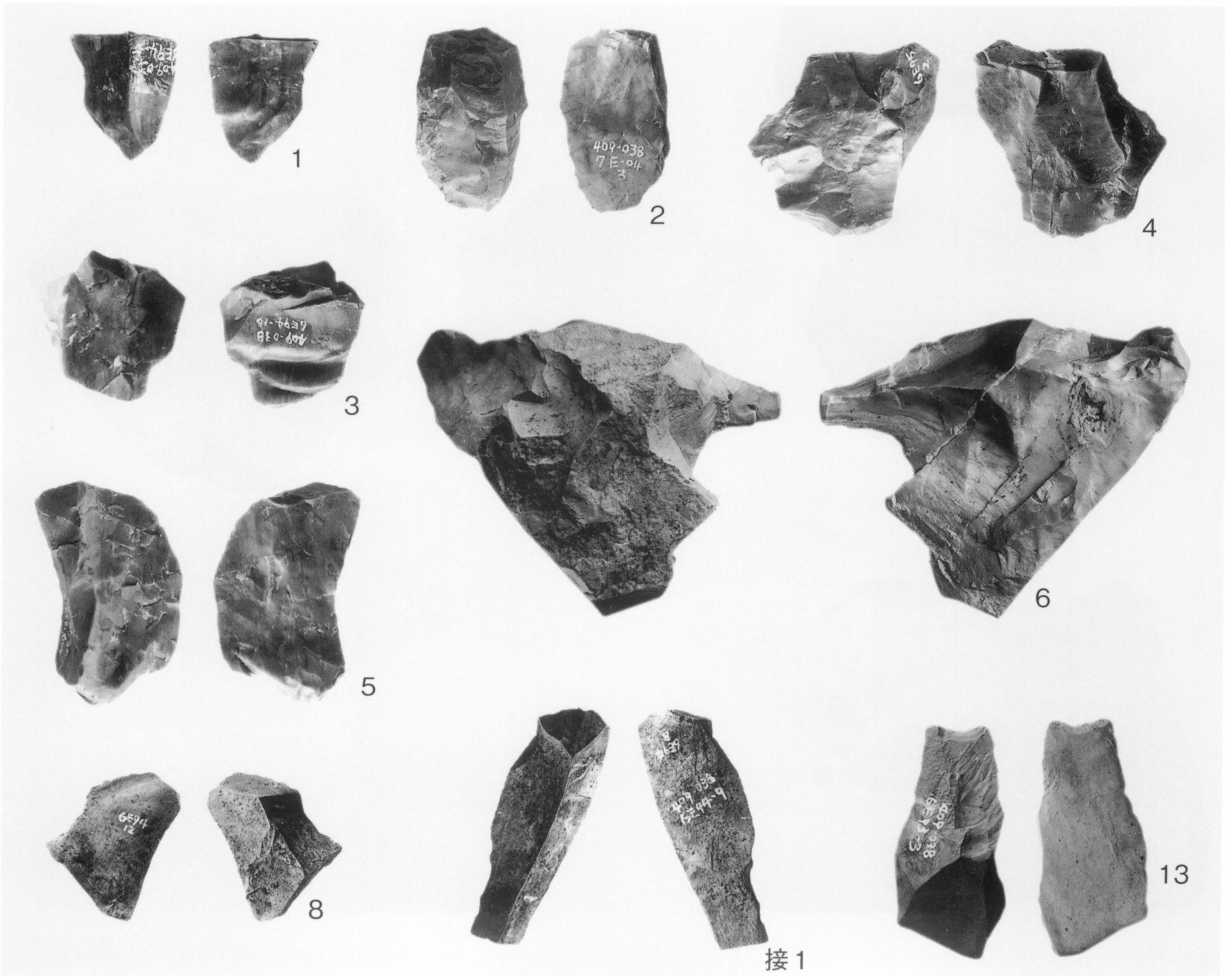

45
46
48
47
49
接5
接6
50
51
57
接7
60
接8
63
64
65
66
67
68
69
70
71


72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
接9
85
86
接10
89
(接12)
(接13)
(接14)
(接17)
(接11)
(接15)

石器集中3

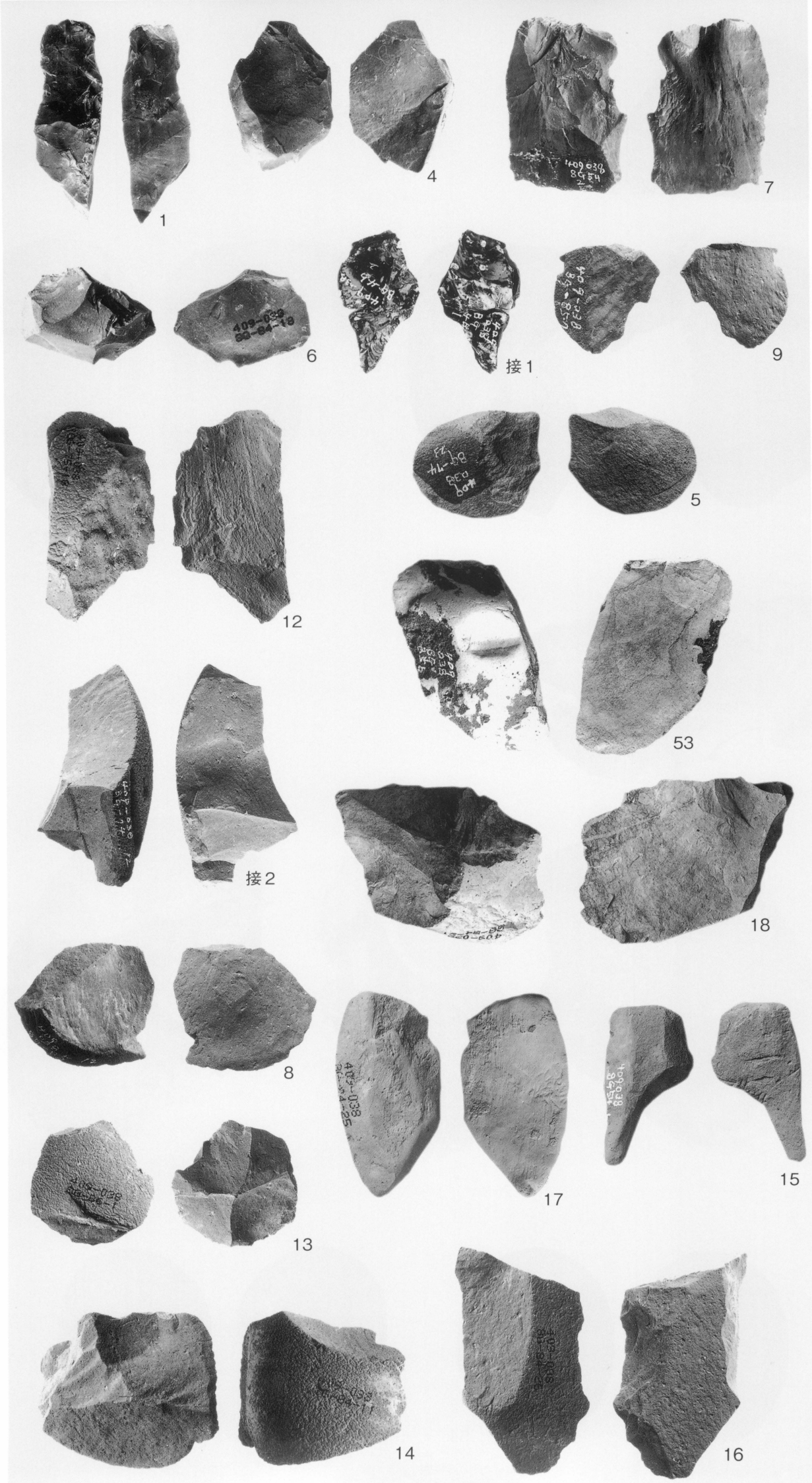


石器集中4

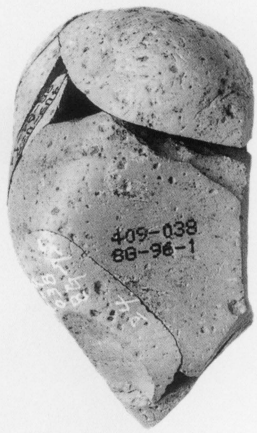


石器集中5
－（1）

12
14
7
11
15

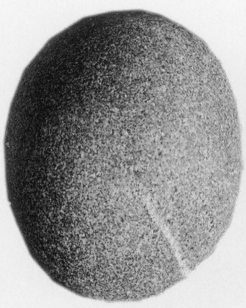


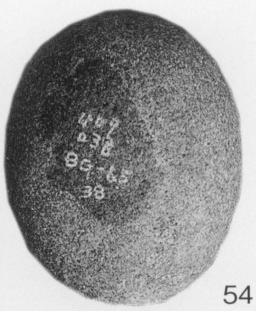
石器集中6
西－（1）



接3

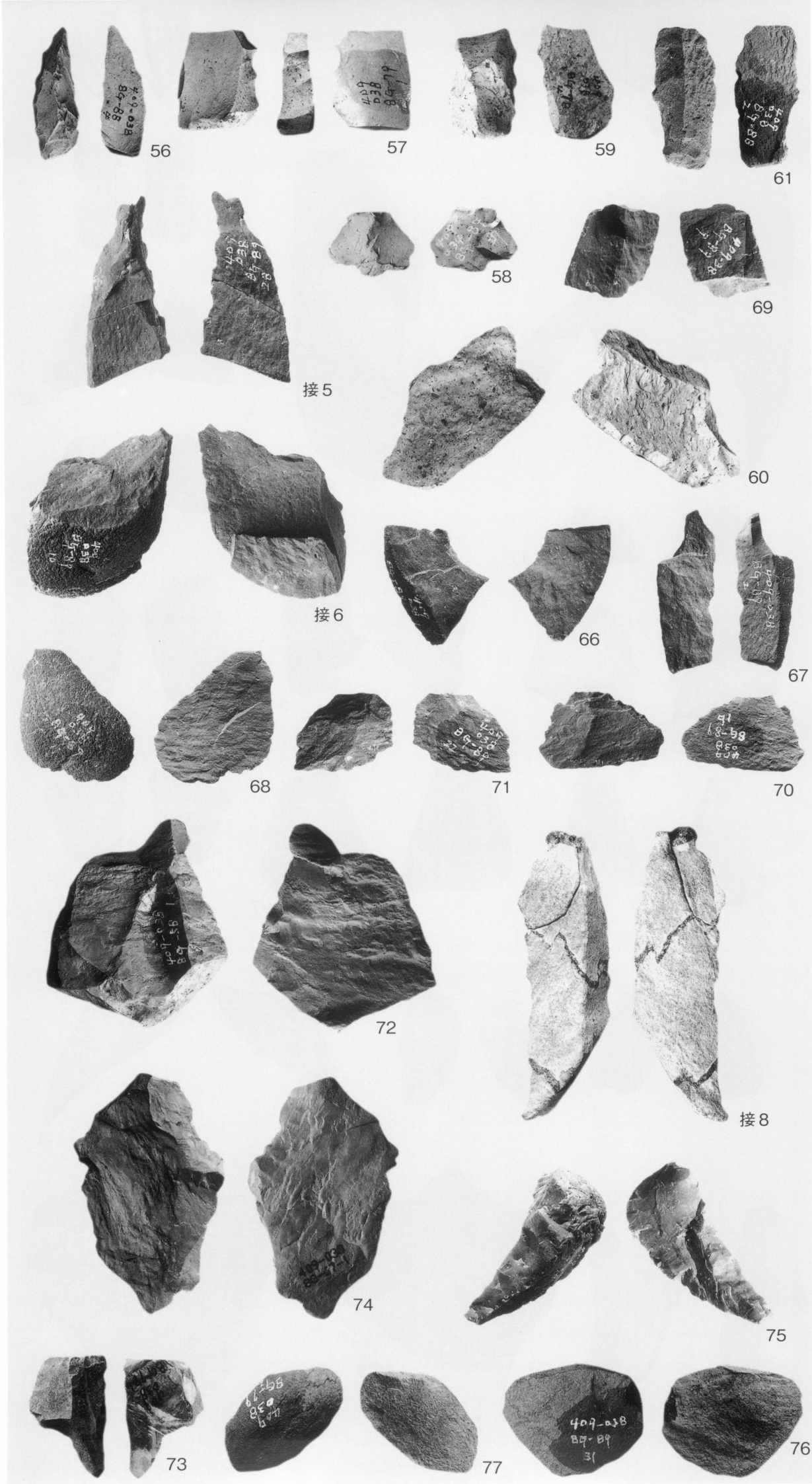
接4



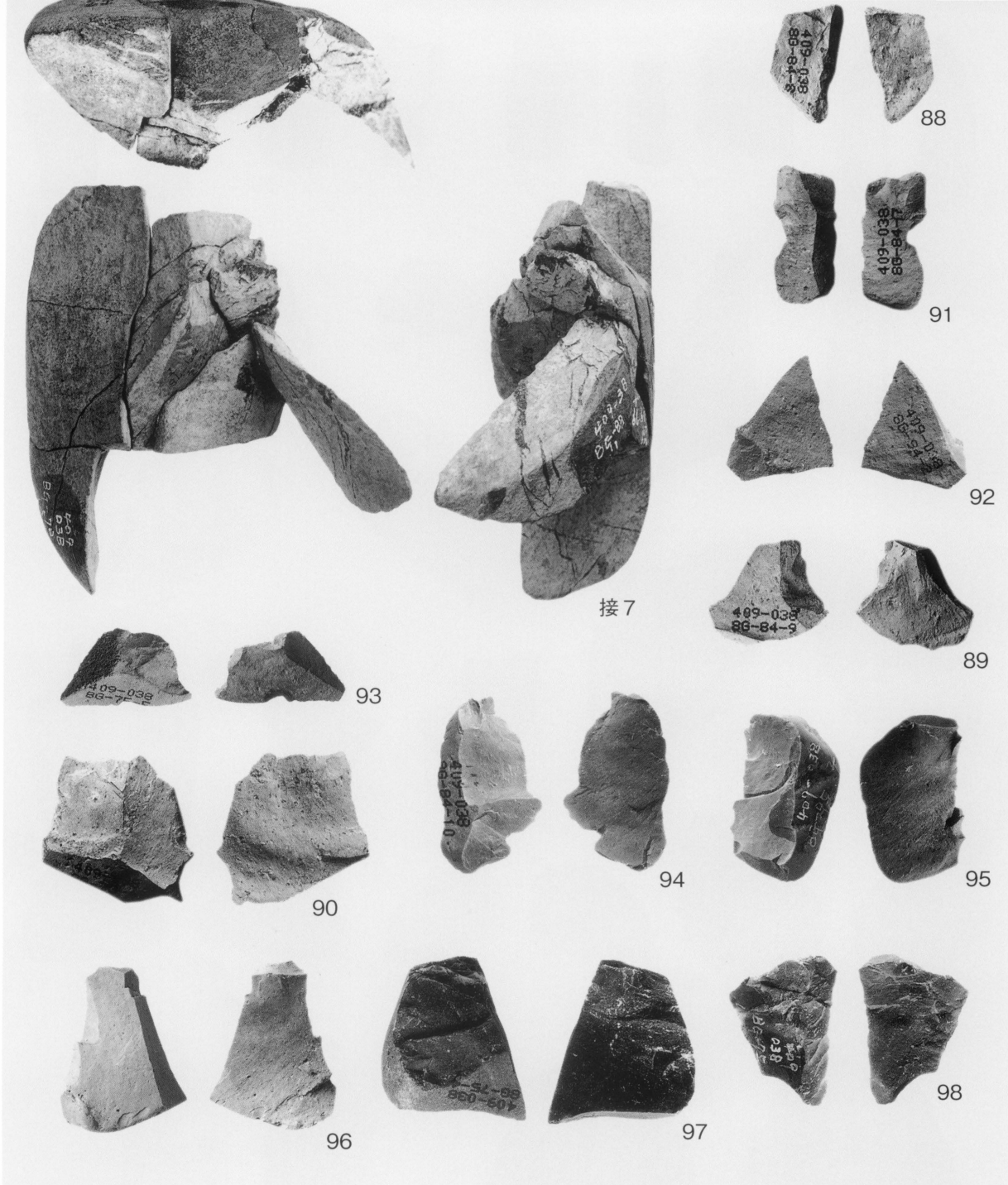


54

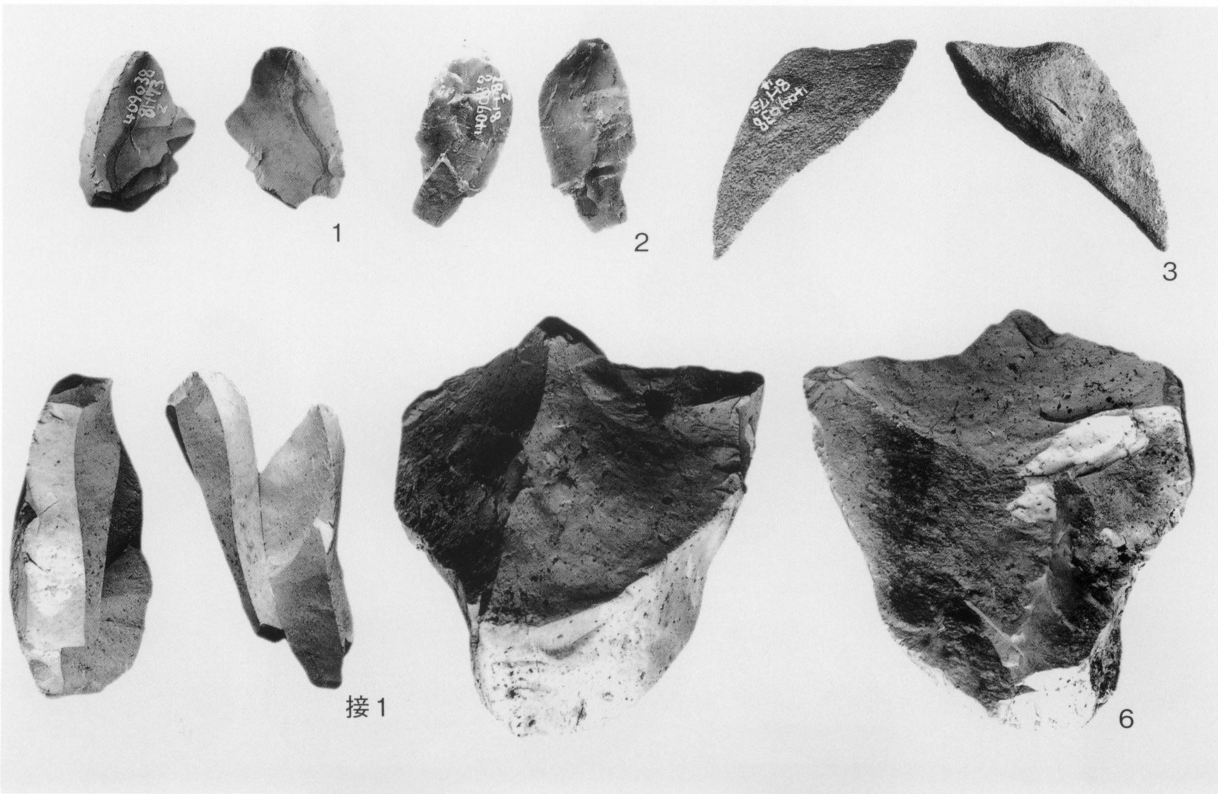
55



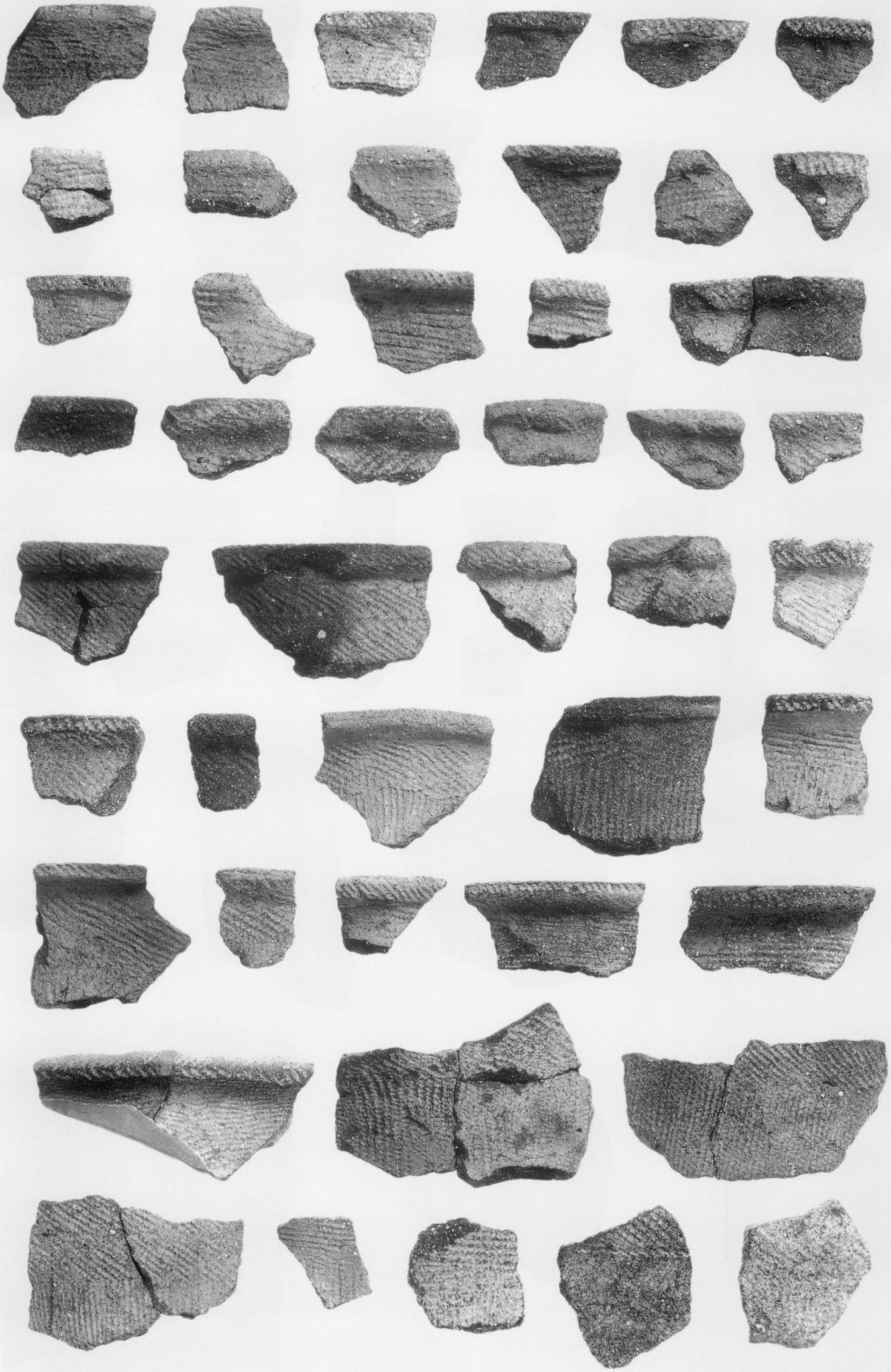
石器集中6
東－（1）



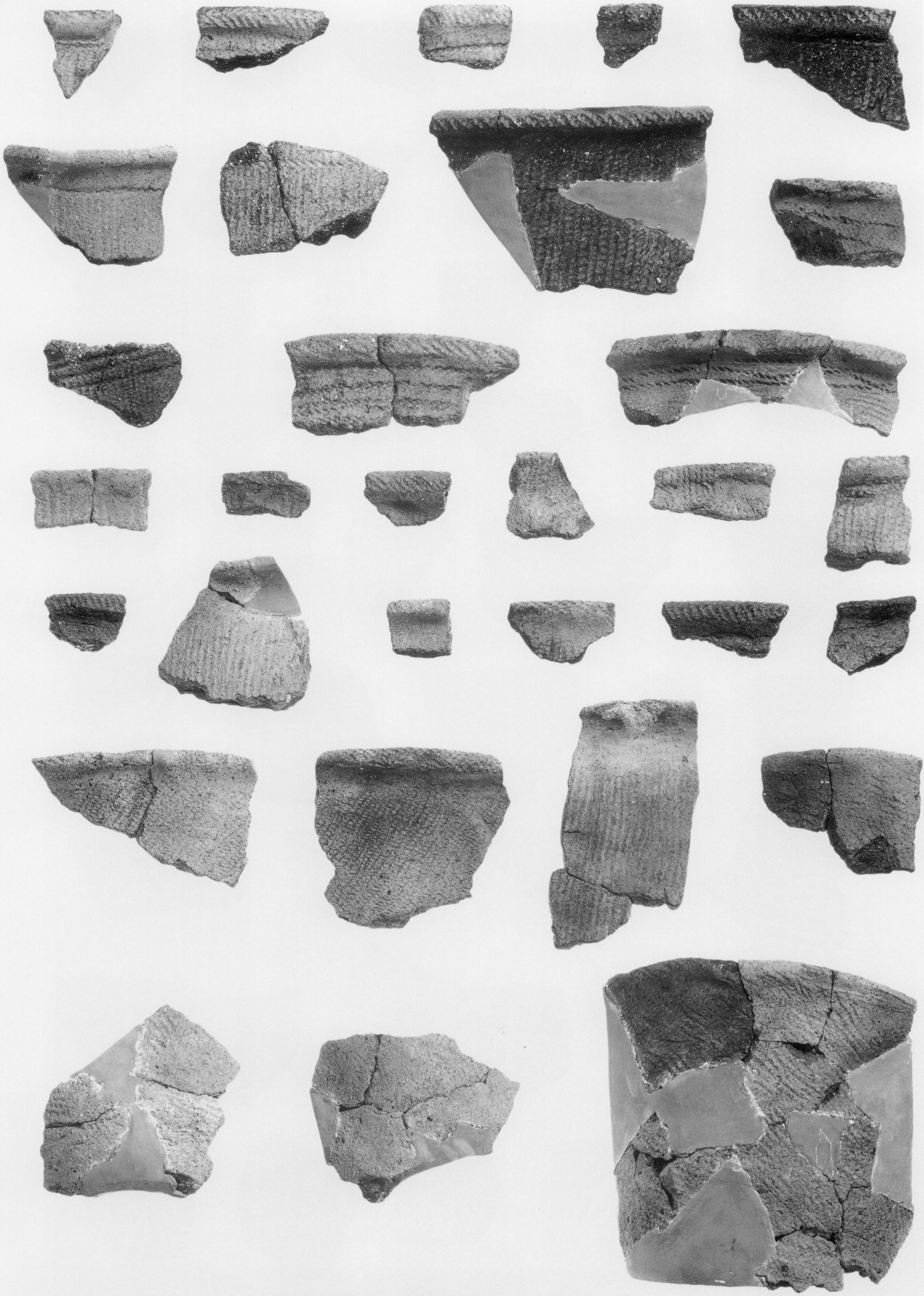
石器集中6
東－（2）



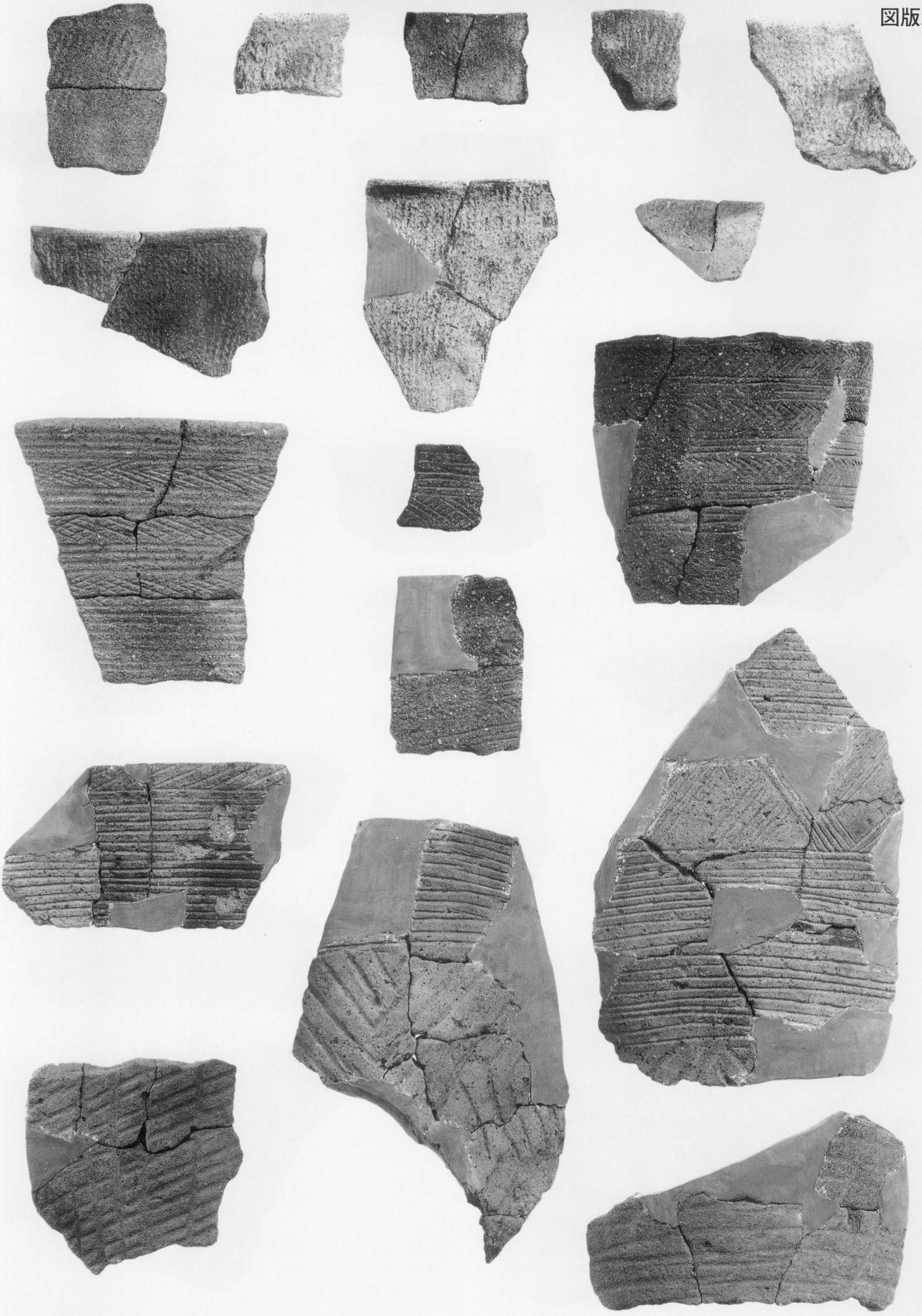
石器集中7



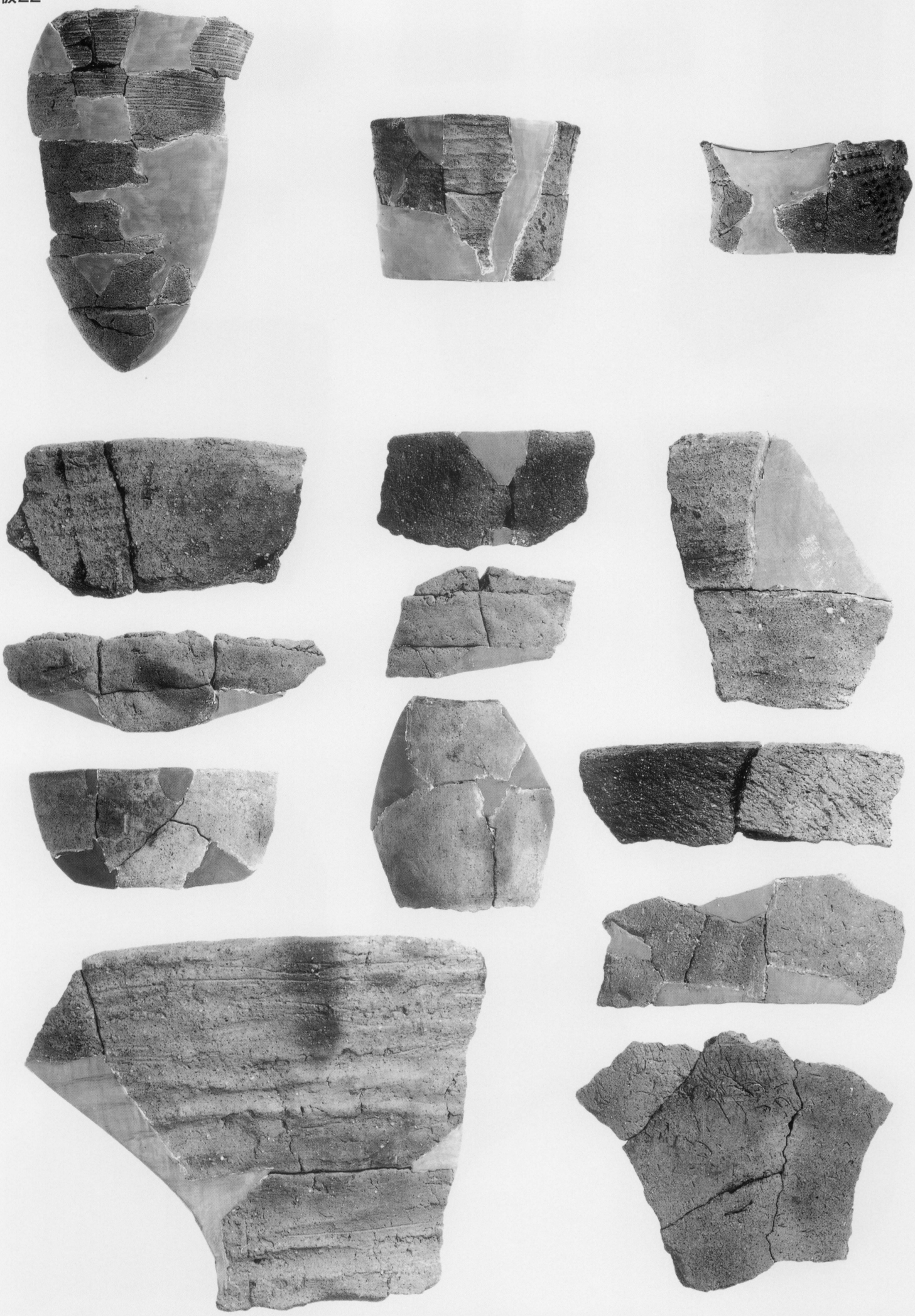
縄文土器（1）



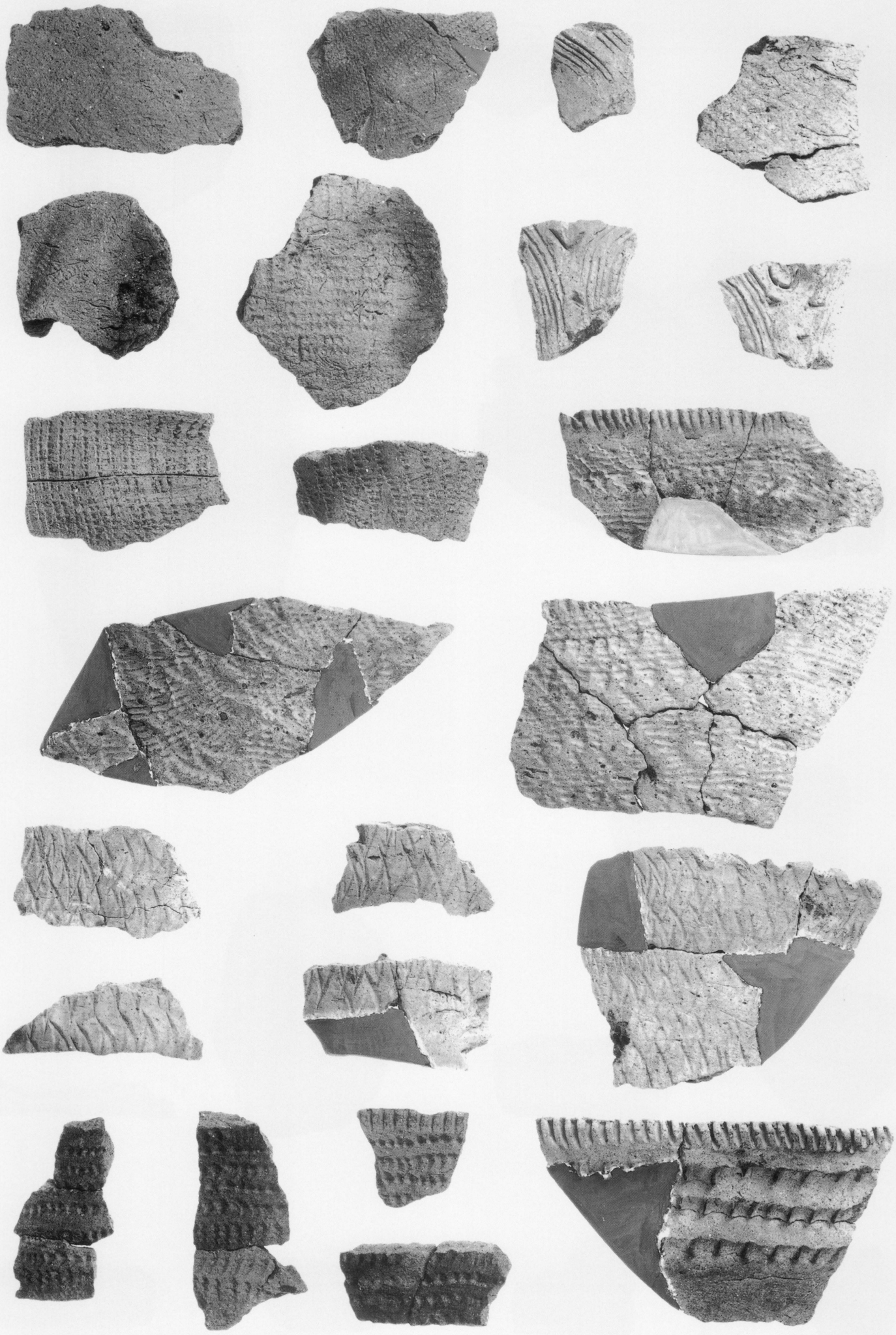
縄文土器（2）



縄文土器（3）



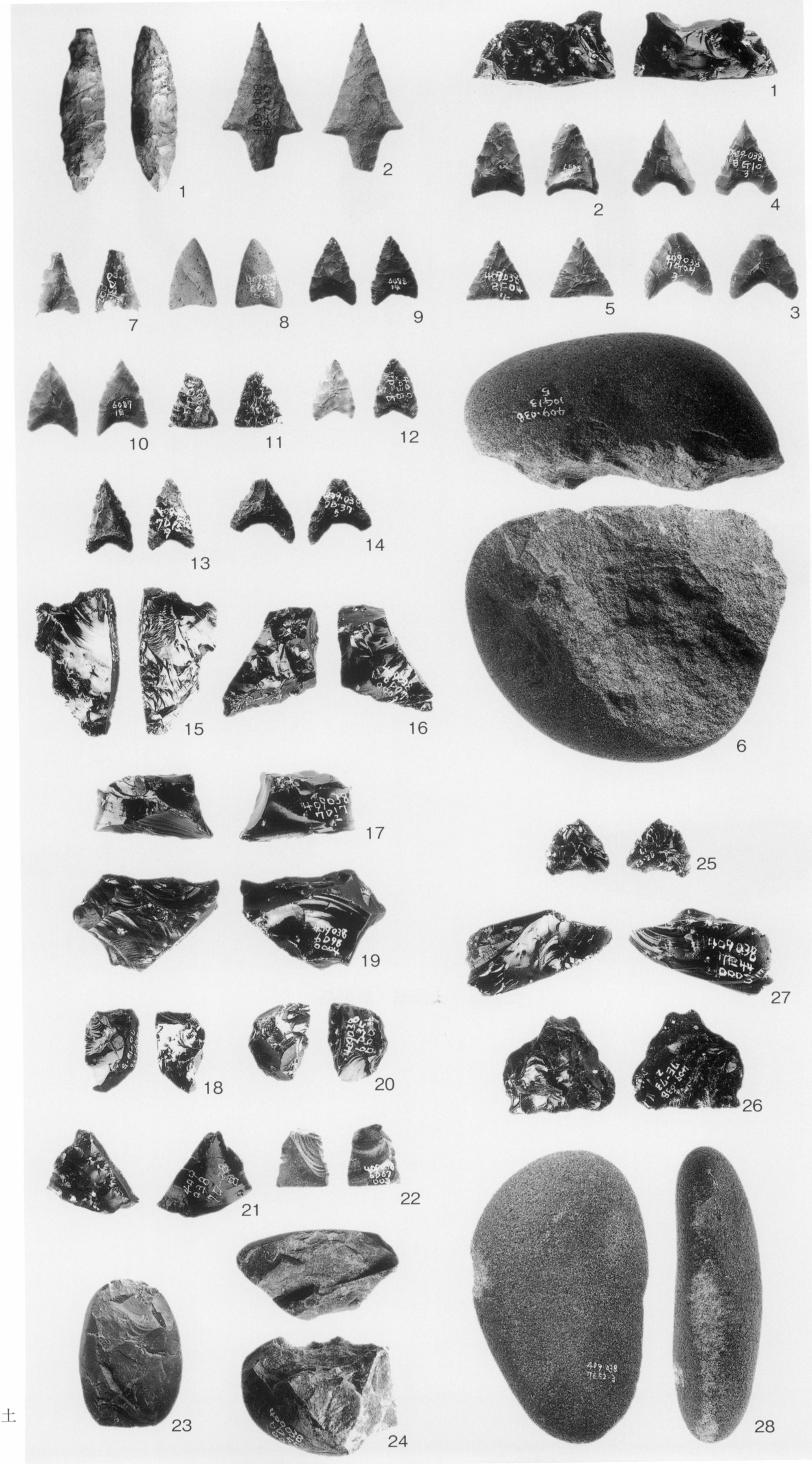
縄文土器（4）



縄文土器（5）

縄文土器（6）

土製品・土師器・鉄製品



上層出土
石器

報告書抄録

ふりがな	けんせつセンター・ほぜんじむしょようちないまいぞうぶんかざいちょうさほうこくしょ
書名	建設センター・保全事務所用地内埋蔵文化財調査報告書
副書名	芝山町金沢台遺跡
巻次	
シリーズ名	千葉県文化財センター調査報告
シリーズ番号	第476集
編著者名	石倉亮治・永塚俊司
編集機関	財団法人　千葉県文化財センター
所在地	〒284-0003　千葉県四街道市鹿渡809番地2　Tel.043-422-8811
発行年月日	2004年3月25日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積	調査原因
かなざわだいいせき 金沢台遺跡	さんぶぐんしばやまちおお 山武郡芝山町大 あざかやましんでんあざかな 字香山新田字金 ざわだいはちじゅうばんちほか 沢台80番地他	409	038	35° 45″ 47′	140° 24″ 15′	20001218～ 20010328 20010409～ 20010928 20011001～ 20011221	25,523m² 9,115m² 9,401m²	建設センター・保全事務所建設に伴う事前調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
金沢台遺跡	包蔵地	旧石器時代 縄文時代 近世	遺物集中地点 包含層、土坑、陥穴 溝状遺構	石器 土師器 鉄製品	立川ローム Ⅶ層～Ⅹ層3か所 Ⅲ層～Ⅵ層4か所 包含層 縄文時代早期及び前期

千葉県文化財センター調査報告第476集

建設センター・保全事務所用地内埋蔵文化財調査報告書

－芝山町金沢台遺跡－

平成16年３月25日発行

編　　集　　財団法人　千葉県文化財センター

発　　行　　新東京国際空港公団

千葉県成田市木の根字神台24番地

財団法人　千葉県文化財センター

千葉県四街道市鹿渡809-2

印　　刷　　株式会社　弘　文　社

市川市市川南２丁目７番２号